

豊島区

介護保険アンケート調査

報告書



平成26年3月

豊島区

【目次】

	ページ
I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査の概要	1
3 調査方法・調査期間	1
4 調査項目	2
5 調査結果の見方	4
II 調査結果概要	5
1 介護・医療	5
2 予防	8
3 住まい	8
4 生活支援・福祉サービス	9
III 調査結果	11
1 基本属性	11
(1) 記入者	11
(2) 性別	13
(3) 年齢	14
(4) 世帯状況	15
(5) 居住圏域	16

2	介護・医療	17
(1)	介護度分布	17
(2)	要介護となった主原因	18
(3)	治療中の病気・けが	23
(4)	直近の要介護認定後の状態	24
(5)	要介護状態が良くなった原因	25
(6)	要介護状態が悪くなった原因	26
(7)	通院・往診の状況	28
(8)	かかりつけ医の有無	32
(9)	在宅サービスの利用状況	33
(10)	住宅改修について	37
(11)	介護保険サービス利用について	38
(12)	平成25年10月以前の在宅サービス利用状況、未利用の理由	42
(13)	地域密着型サービス利用者について	47
(14)	認知症について	48
(15)	介護者について	60
(16)	在宅介護の困難な点や負担となっていること	64
(17)	高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）について	69
(18)	サービス利用料負担感について	71
(19)	保険料について	72
3	予防	79
(1)	介護予防分布	79
(2)	外出について	82
(3)	外出頻度	87

(4) 外出目的	90
(5) ふだんの近所との付き合い	93
(6) 健康維持のためのサービス利用状況	96
(7) 健康維持のためのサービス利用意向	98
(8) 健康・介護予防で取り組んでいること	100
(9) 口腔ケアについて	102
4 住まい	109
(1) 住居形態	109
(2) 居住地	110
(3) 圏域別構成（年齢・介護度）	111
(4) 居住年数	112
(5) 介護サービス利用と住まいについて	113
5 生活支援・福祉サービス	121
(1) 心配ごと・悩みごと	121
(2) 心配ごとや悩みの相談先	124
(3) 住みやすさ・生活環境	126
(4) 介護保険以外の保健福祉サービス利用状況・利用意向	127
(5) 近所との付き合いの程度	135
(6) 地域活動について	140
(7) 高齢者クラブについて	142
(8) 災害時の町会等への個人情報の提供について	144

6 ケアマネジャー調査	147
(1) 基本属性（法人種類、事業所所在地 等）	147
(2) 回答者本人の性・年齢	151
(3) 保有資格（ケアマネジャー以外）	151
(4) 業務従事経験	152
(5) 担当利用者数（平成 25 年 9 月末時点）	153
(6) 訪問介護サービス平均利用回数（要支援 1、2）	154
(7) 居宅サービス計画新規作成件数（平成 25 年 9 月 1 日～30 日の該当件数）	155
(8) 居宅サービス計画変更件数	156
(9) 給付管理票作成件数	157
(10) 最も利用者数の多い地域	158
(11) 量的に不足しているサービス	159
(12) 利用者から相談されるサービス	161
(13) 必要なサービス	163
(14) サービス提供依頼可能数	165
(15) 情報収集、連絡・調整	169
(16) 医療連携での工夫	170
(17) 区職員との連携	171
(18) 認知症対応について	172
(19) 業務遂行上の課題	173
(20) 業務遂行上負担に感じること	174
(21) ケアプラン作成時の相談	175
(22) 研修の実施状況	176
(23) 今後希望する取り組み	177
(24) 居宅介護支援事業所の独立性について	178

(25) 介護保険制度で課題と感じられること	179
(26) 利用者への情報提供時の課題	180
(27) 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の役割について	181
(28) 自由回答	182

資料編

○ 高齢者一般（健康や介護についてのアンケート）	183
○ 居宅サービス等利用者：要介護（介護保険在宅サービス利用者調査）	198
○ 居宅サービス等利用者：要支援（介護保険在宅サービス利用者調査）	214
○ サービス未利用者（介護保険サービス未利用者調査）	230
○ ケアマネジャー調査（ケアマネジャー調査）	246

I 調査概要

1 調査目的

第6期介護保険事業計画は、2025年を見据え、第5期事業計画より取り組んできた認知症施策等をさらに発展させるとともに、医療・介護連携、介護予防、生活支援等を本格的に推進するための計画にしていく必要がある。

このため、高齢者の生活実態等を把握するとともに、介護保険サービスの利用状況や利用意向、介護保険以外のサービスニーズ、介護保険制度等に対する被保険者の意識・要望、健康状態や介護予防に関する取り組み、保健福祉サービスに対する需要等を地域別に把握・分析し、平成26年度の介護保険事業計画策定作業に向けて必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の概要

調査名	調査対象	抽出数	回収数 (有効回収数)	回収率% (有効回収率)
① 高齢者一般調査	豊島区に住んでいる65歳以上の方で、要支援・要介護認定を受けていない方	2,000人	1,142	57.1
② 居宅サービス等利用者調査	要支援・要介護の認定を受けている方のうち、居宅サービス及び地域密着型サービスを受けている方（平成25年10月時点）	1,500人	742	49.5
③ サービス未利用者調査	要支援・要介護認定を受けている方のうち、サービスを利用していない方（平成25年10月時点）	1,600人	679	42.4
④ ケアマネジャー調査	豊島区内に住所があり、平成25年10月にケアプラン作成の実績がある居宅介護支援事業所で働いているケアマネジャー	95事業所	81	85.2

3 調査方法・調査期間

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：平成26年1月8日（調査票発送）～1月24日（調査票回収締切）

4 調査項目

調査名 (カッコ内はアンケート表題)	主な調査内容	
① 高齢者一般調査 (健康や介護についてのアンケート)	<ul style="list-style-type: none"> ○基本属性(性・年齢等) ○住まいの状況 ○日常生活(外出、付き合い 等) ○身体の状況(健康状態、傷病の状況)等 ○健康づくり、介護予防の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○就労・社会参加の状況 ○地域活動参加状況 ○介護保険に対する考え方、保険料 <p style="text-align: right;">等</p>
② 居宅サービス等利用者調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)	<ul style="list-style-type: none"> ○基本属性(性・年齢等) ○住まいの状況 ○日常生活(外出、付き合い 等) ○身体の状況(健康状態、傷病の状況)等 ○治療中の傷病、通院・往診状況、往診内容 ○介護度、要介護となった主原因 ○健康づくり、介護予防の状況(軽度者中心) 	<ul style="list-style-type: none"> ○介護者の状況(属性、介護時間、介護負担感) ○在宅サービス利用種類 ○介護保険サービス利用について (上限額までの利用状況、理由) ○介護保険以外のサービス利用状況、利用意向 ○介護保険に対する考え方、保険料 <p style="text-align: right;">等</p>
③ サービス未利用者調査 (介護保険サービス未利用者調査)	<ul style="list-style-type: none"> ○基本属性(性・年齢等) ○住まいの状況 ○日常生活(外出、付き合い 等) ○身体の状況(健康状態、傷病の状況)等 ○治療中の傷病、通院・往診状況、往診内容 ○介護度、要介護となった主原因 ○健康づくり、介護予防の状況(軽度者中心) 	<ul style="list-style-type: none"> ○介護者の状況(属性、介護時間、介護負担感) ○25年10月以前の在宅サービス利用状況、未利用の理由 ○介護保険以外のサービス利用状況、利用意向 ○介護保険に対する考え方、保険料 <p style="text-align: right;">等</p>

<p style="text-align: center;">調 査 名 (カッコ内はアンケート表題)</p>	<p style="text-align: center;">主 な 調 査 内 容</p>	
<p>④ ケアマネジャー調査 (ケアマネジャー調査)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基本属性(所属事業所の種別、事業所所在地) ○本人属性(性・年齢、保有資格、従事経験・期間) ○担当利用者数 ○利用者数の多い地域で不足しているサービス等 ○在宅生活を支える上で今後充実が必要なサービス ○サービス提供依頼可能な事業所の種類・数 ○各種情報収集、連絡調整(現状、課題) 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関等との連携、課題 ○認知症対応について ○ケアマネジャー業務での課題等 ○研修の状況(開催、参加等) ○高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)について ○要望・意見 <p style="text-align: right;">等</p>

5 調査結果の見方

- 図表中の「N」、「サンプル数」は、設問への回答者数を表す。
- 図表中の数値は、特に断りのある場合を除き、いずれも回答率（%）を表示している。
- 回答率（%）は、すべて小数点以下第二位を四捨五入し、小数第一位までを表示している。したがって、その合計値が 100.0%にならない場合がある。
- 回答には、単数回答「(○はひとつ)」と複数回答「(あてはまるものすべてに○) 等」の 2 種類がある。複数回答の場合、その回答率（%）の合計が 100.0%を超える場合がある。
- クロス集計では、内容により適宜、分析軸の「その他」や「無回答」等を省略している場合があり、分析軸のNの合計値と「TOTAL」が一致しない場合がある。
- 回答者数が少ない場合（おおむね 30 サンプル未満）、他の回答集団（例：「要介護 1」と「要介護 5」など、別の回答者）どうしの比較が難しい場合などにおいて、回答割合の差があるかどうか検定を行い、その結果を図表中に○、△で示している。
○は回答者全体や特定の回答集団と比べて割合が高いことを意味し、△は回答者全体や特定の回答集団と比べて割合が低いことを意味している。
- 図表の間のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。
- IIIでは、以下の調査結果（図表、文章）において略称を用いている。

〔 調査票の表題 〕

「健康や介護についてのアンケート」

「介護保険在宅サービス利用者調査」

「介護保険サービス未利用者調査」

「ケアマネジャー調査」

⇒

⇒

⇒

⇒

【 表記（略称） 】

「高齢者一般」

「居宅サービス等利用者」

「サービス未利用者」

「ケアマネジャー」

「利用者」

「未利用者」

- 傷病については、対象者本人、もしくは家族等の判断による回答であることに留意する必要がある。

Ⅱ 調査結果概要

今回調査結果より、本区における地域包括ケアシステム構築に向けてのポイントとなる点を取りまとめた。なお、「地域包括ケアシステム」については、下記説明に基づいている。(厚生労働省 HP より)

【地域包括ケアシステム】

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるしくみ

なお、「地域包括ケア研究会報告書（平成25年3月）」によれば、地域包括ケアシステムの構成要素である5点は、次のように説明されている。

『「介護」、「医療」、「予防」という専門的なサービスと、その前提としての「住まい」と「生活支援・福祉サービス」が相互に関係し、連携しながら在宅の生活を支えている。』

1 介護・医療

（要介護の背景）

- 居宅サービス等利用者調査（以下、「利用者調査」という。）では、要介護にいたる主な傷病として、骨折・転倒のほか、脳血管疾患、認知症などがあげられている。特に介護度が高い高齢者では、脳血管疾患、認知症が多いことから、運動器機能の維持のほか、医療的ケア、認知症への専門的ケアを含めた対応が今後さらに重要となる。また、サービス未利用者調査（以下、「未利用者調査」という。）では、中・重度者（要介護3～5）において「脊椎損傷」「呼吸器疾患」等疾病をあげる回答も多いことから、介護・医療両面から在宅生活を支える基盤づくりのなかで、サービス利用につなげるしくみが重要となってくると思われる。

（要介護状態の改善）

- 調査結果（利用者調査、未利用者調査）によれば、介護サービス等の利用により、約2割が「(状態が)良くなった」と回答している。
適切なケアマネジメントに基づいたケアの継続により、機能回復等状態の改善が表れている一方で、8割前後が「変わらない」、「悪くなった」とする高齢者もいる点を踏まえ、サービス提供後の適切なフォローと改善に向けた取り組みを充実していく必要がある。
特に中・重度者（要介護3～5）においては、認知症の進行により要介護状態が悪化したとする回答が多いことから、早い段階からの認知症ケア対応の確立が重度化防止のために必要である。

(医療)

- 中・重度者における通院・往診の併用、往診の利用割合は多くみられ、利用者調査では往診のみで3割、頻度は、通院含め「月1回」「月2回程度」合わせて約7割となっている。今後の在宅療養環境充実のためには、定期的な医療、介護サービスの利用サイクルを安定的に供給するシステム基盤の確立が重要である。

なお、口腔ケア等歯科診療の利用割合が往診のうちでも多くみられることから（利用者調査）、全身のケア、予防の観点からの口腔ケアの充実は重要と考えられる。

(介護サービス利用)

- 介護サービスについては通所系サービスが多く、また看護・医療系サービスは中・重度者ほど多く利用されている。特に訪問系サービスの安定的な供給体制の確立が今後とも重要である。

新たなサービスとして期待されている「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」についても、すでに利用者調査では重度者の利用実態がみられることから、随時対応の介護系サービス、医療・看護系サービスの連携は今後ますます需要増大が予想される。

- 介護サービス未利用の実態からは、家族介護の継続・依存、入院等による未利用などの実態がうかがわれる。老々介護の状況が今後進行すると予想されるなかで、介護者自身の健康面を考えると、現在未利用状態にある高齢者も、早期にサービス利用に移行できるよう、様々な支援策が必要と思われる。

(量的に不足しているサービス：ケアマネジャー調査より)

- 今回、区内でケアマネジメントを実施しているケアマネジャーへの調査を実施した中で、担当区域で不足していると思われるサービスへの回答では、「訪問リハビリテーション」、「通所リハビリテーション」、「短期入所生活介護」がそれぞれ32.5%、30.0%、30.0%となっている。また地域密着型サービスでは、「小規模多機能型居宅介護」、「認知症対応型共同生活介護」が18.8%、17.5%となっている。今後、重度者が在宅での生活を継続できる環境を整えていくうえで、これらサービスは重要な役割を担うと思われることから、事業者参入・誘導を含め適切なケアマネジメント力の向上を促進していくことが重要である。

(認知症ケア)

- 今回調査において、「認知機能障害程度分布」により、高齢者一般の中で約8%前後の認知症、または認知症に移行するおそれのある層が見えてきた。外出行動や近所付き合いなどの日常生活を重ね合わせるにより、閉じこもりがちで日常生活が比較的不活発であることが調査結果より推測される。こうした潜在層に対して、積極的な外出を促し、社会参加の動機付けを得るなどの支援環境をどのように構築するかが、認知症ケアの初期段階として非常に重要な鍵を握っていると思われる。

なお、利用者における認知症分布は、中等度以上が2割という結果が表れているが、介護者の介護負担感等からも徘徊等の周辺症状への対応を含め、在宅でのケア体制を充実させていく必要があるものと思われる。

(介護者)

- 調査結果からは、介護者自身の高齢化への効果的な支援を図ることがますます重要となってきた。そのためには、通所、短期入所系サービスを利用しやすくすることと合わせて、随時対応型サービスの普及が必要である。また今後は、介護者自身の心身の健康を守り高めるためにも、介護者の生活サイクルに即した支援体制、より柔軟なサービス利用環境の構築を図る必要があるものと思われる。

(介護サービスと保険料、相談支援)

- 介護サービスと保険料の関係については、高齢者一般、利用者とも大きな考え方の違いはなく、4割はサービス量・保険料とも現状程度、1割は保険料が高くなってもサービス量を増やす方が良く、と回答している。一方、高齢者一般では、1割がサービス量が低下しても保険料は安いほうがよいとする回答がみられ、未利用者では、わからない、とする回答が前期高齢者で3割を超えている。

今後とも制度の周知、PRを図る中で、よりわかりやすい情報提供、相談支援を図ることにより理解につながるよう、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）等、地域の第一線にある窓口機能の充実を図ることが非常に重要である。

2 予防

(予防必要者の把握と今後の取り組み)

- 高齢者一般への調査結果より、二次予防対象と推定される約 26%の高齢者のうち、運動器の予防対象割合よりも口腔の予防対象割合が上回っていることがうかがえる結果となった（運動器 10.6%、口腔 19.4%）。

また介護予防必要者では、介護予防に該当しない者よりも外出行動を好まず、また外出をおっくうに感じている割合が高い傾向もみられる。

調査結果からは、少なくとも、後期高齢者年齢に至るまでの間に、ウォーキングや外出などの行動と合わせて、口腔ケア、また関連して食生活への配慮も含めた、日常生活面での取り組みが効果的であると思われる。

課題としては、高齢者本人が介護予防を必要と認識していない場合の動機づけをどのように進めていくかという点である。また口腔ケアについては、介護予防の重要なポイントであるにもかかわらず、十分認識されていない可能性がある、という点である。「介護予防＝運動機能の向上」というイメージで捉えられているとすると、口腔衛生や歯、歯ぐきの健康といったイメージを介護予防の中でより積極的にアピールしていく必要がある。

調査結果からは、通院やリハビリ等以外は外出行動に対して活発でなく、家で過ごすことでよしとする状況がうかがえる。健康づくりや予防に取り組むためには、まずはふだんの生活行動から変化、変容を促すことが重要であることから、生活習慣病対策など生涯を通じた健康増進対策の一環としてより一層啓発、PRに取り組む必要があると思われる。

(口腔における介護予防)

- 今回調査では、出現割合の高い口腔予防対象者についての分析を加えている。調査結果からは、自らが口腔ケアの必要性を十分認識して顕著なニーズが表れたものはなく、食事やかむことへの意識など、日常生活でのこころがけの中で若干の違いがみられた程度であった。今後、運動器の予防もさることながら、食べること、口腔内の衛生、栄養面での配慮など、全身にわたる予防の取り組みを充実させていくことが重要であると思われる。

3 住まい

- 地域包括ケアシステムの中では、住まいは専門的サービスの前提として提示されている。住み慣れた住居や地域社会との接点を重視しながら、在宅で要介護状態になっても住み続けられることが求められていることから、まずはじめに区内高齢者の居住、世帯状況等の把握と整理を行った。
- 調査結果からは、区内居住年数 30 年以上、持家戸建てに居住する高齢者のイメージが浮かび上がるが、ひとり暮らし、高齢夫婦世帯等の高齢者のみ世帯が高齢者一般、利用者、未利用者とも 5 割を超えており、今までの住まい方が継続するとした場合、単身化や日常生活での支援は今まで以上に重

要な課題となることが予想される。

- 今後の生活継続の意向では、半数は「在宅サービスを利用しつつ、自宅での生活継続」を希望している一方、高齢者一般では年収250万円までの層では、2割前後が「介護が必要になった場合特別養護老人ホーム等の介護施設への入所」を希望する結果となっている。また、西部地区において、約1割が「介護が必要になった場合特別養護老人ホーム等の介護施設への入所」を希望する結果となっている。
また未利用者では、要介護者で介護サービスを利用せず自宅での生活継続を希望する割合も2割となっている。
- 住まいのあり方や在宅での生活継続のための必要条件など、高齢者本人が検討し、より具体的な情報に基づいた判断ができるよう、相談支援のしくみづくりを進めていく必要がある。

4 生活支援・福祉サービス

- 上述の3と同様、生活支援・福祉サービスは、専門的サービスの前提として提示されている。
- 今回調査では、生活面での不安への対応と、高齢者自身のネットワーク・情報、在宅生活支援のために今後需要の高まる可能性のあるサービス、地域活動への参加など、多様な側面からの把握を行った。
- 生活面での不安や悩みごとでは、本人、家族親族等の健康面への不安が目立つとともに、孤立化、災害時の避難、外出時の転倒・事故など高齢者特有の課題も多くあげられている。そうしたなかで相談先は家族親族が主となっており、外部へのつながり（かかりつけ医、ヘルパー・ケアマネジャー等）を志向した回答は利用者で3割程度である。
- 介護保険以外の保健福祉サービスへのニーズでは、紙おむつ（現物又は購入費支給）、緊急通報システム、配食サービス、寝具洗濯・乾燥サービス、出張理美容サービス、訪問診療・歯科診療等があげられている。
- また一方、地域社会とのかかわりを把握する一環で地域活動への参加経験と参加意向を調査したが、結果的に参加意向割合は参加経験割合とほぼ同じ（3割）であった。ただし今後の参加意向では、自身の健康づくりやスポーツ活動に関するもの、趣味活動、環境美化等のまちづくりなどへの意向割合が参加経験割合を上回る結果となった。
- 今後の地域包括ケアシステムを構築するうえで、高齢者自身の主体的な参加まで視野を広げた中で、多様なニーズへの対応と、高齢になっても住み続けられるための条件整備について、中長期的な視野で取り組む必要があると思われる。

(在宅生活支援に必要なサービス：ケアマネジャー調査より)

- ケアマネジャー調査では、給付外、インフォーマル含めて在宅生活支援に必要なサービスとして、「緊急時の短期入所サービス」、「家族が休むための短期入所サービス」、「医療対応可能なショートステイサービス」、「見守りサービス」、「訪問診療（歯科・眼科・神経内科・精神科など）」、「相談・話し相手の訪問サービス」等があげられている。給付サービスの谷間を補う専門性の高いもの、インフォーマルに特化したものなど、高齢者や介護家族を支える様々な資源が必要とされていることがわかる。

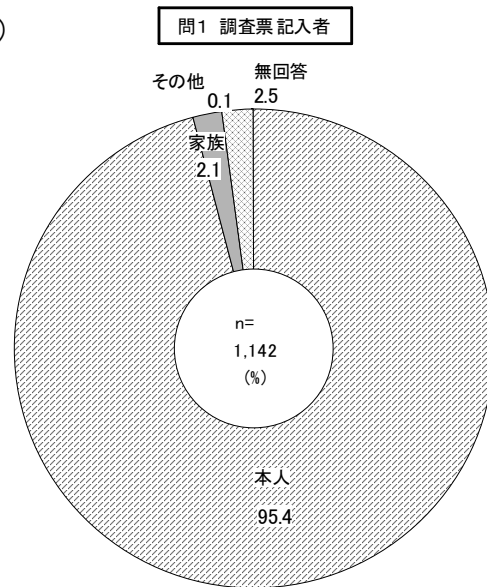
自由回答からは、介護サービスにとどまらず、金銭問題や住宅問題など、高齢者を取り巻く専門性の高い対応が求められている点も課題としてあげられており、今後の地域包括ケアシステムを構築するうえで、生活する高齢者の視点に立った、より総合的な相談対応やネットワークづくりを目指す必要性が伺える。

Ⅲ 調査結果

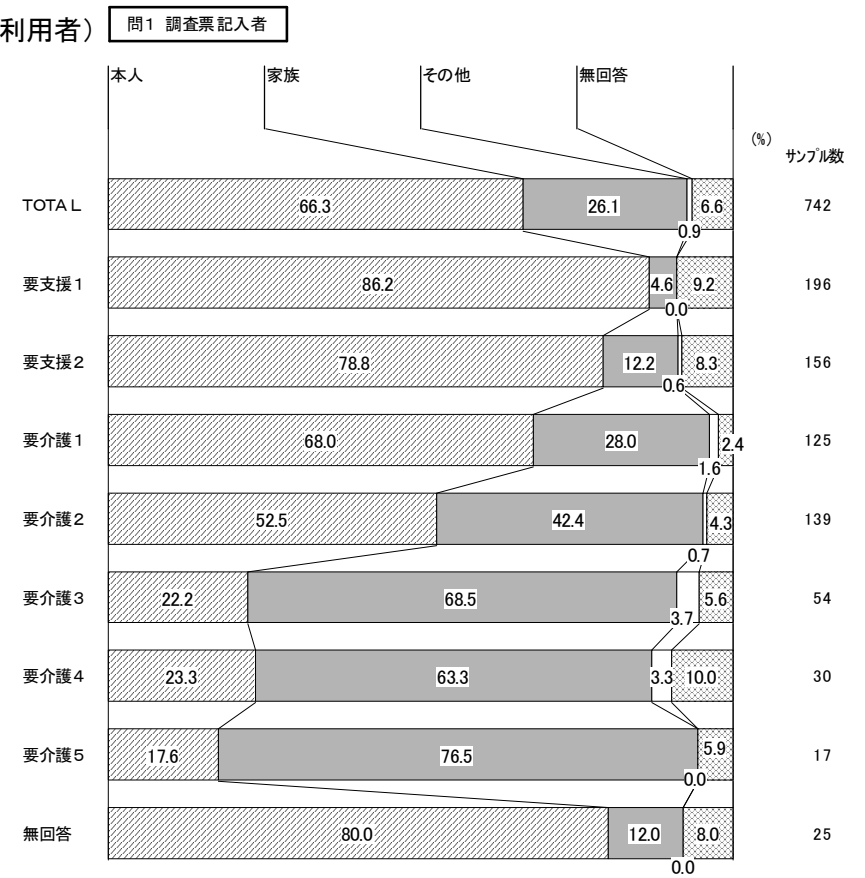
1 基本属性

(1) 記入者

(高齢者一般)

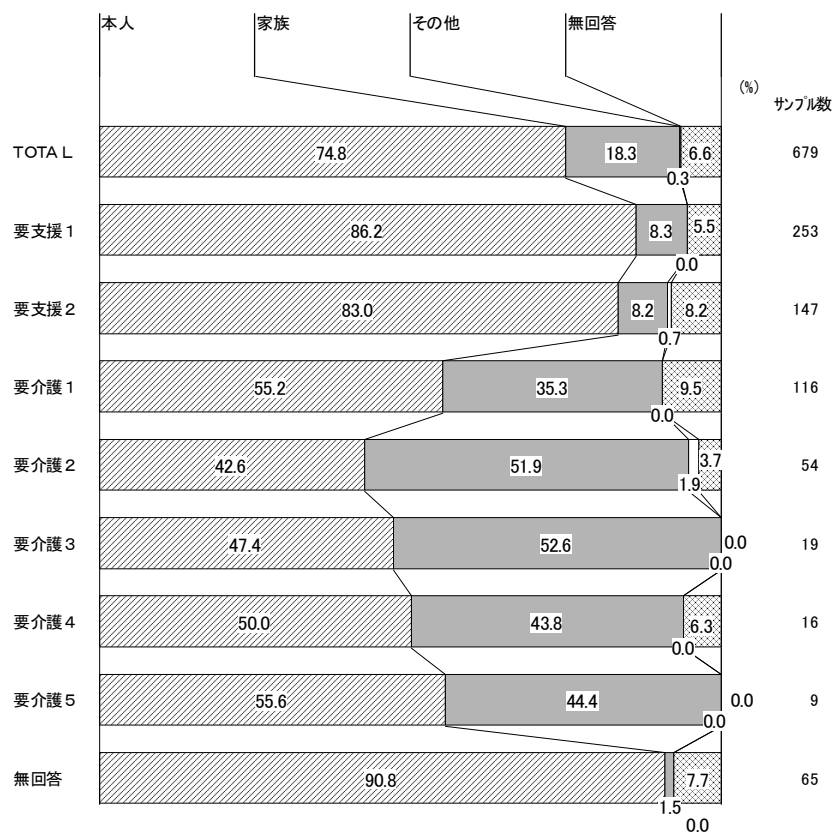


(居宅サービス等利用者)



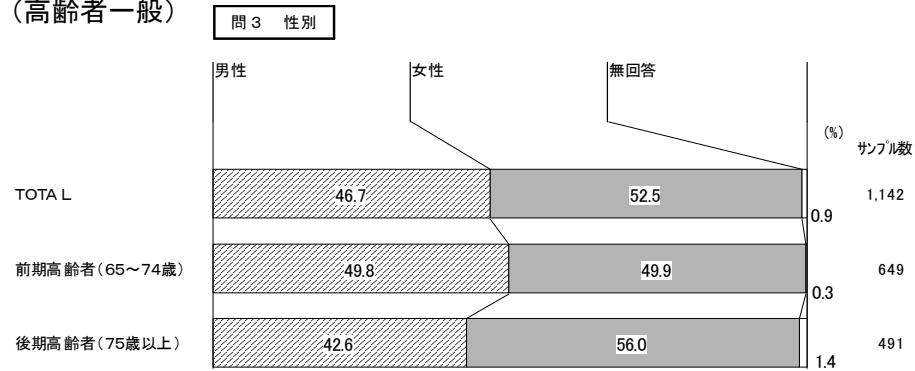
(サービス未利用者)

問1 調査票記入者



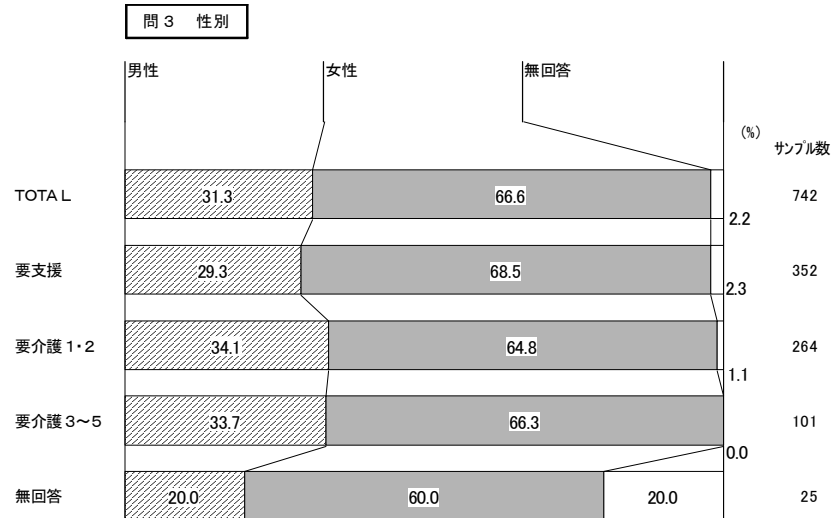
(2) 性別

(高齢者一般)

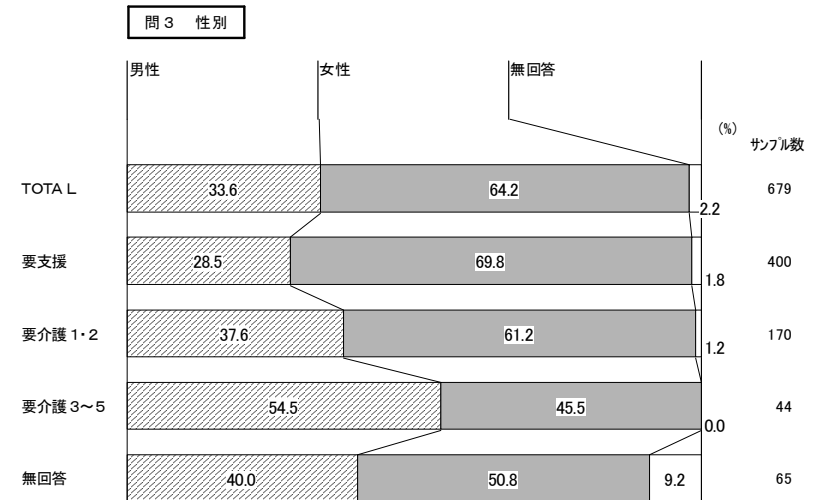


(年齢無回答 n=2 を除く)

(居宅サービス等利用者)

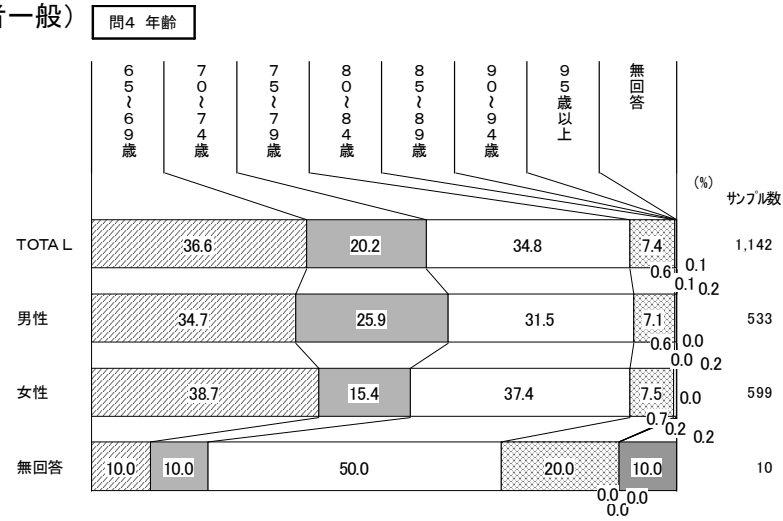


(サービス未利用者)

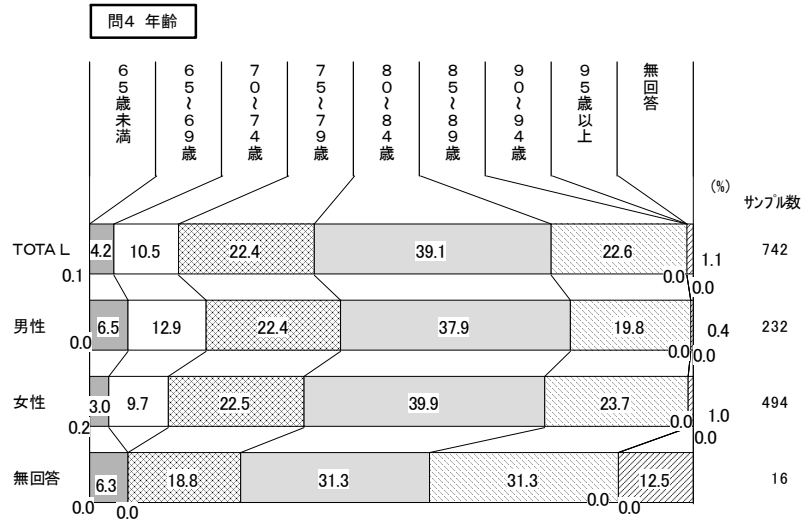


(3) 年 齢

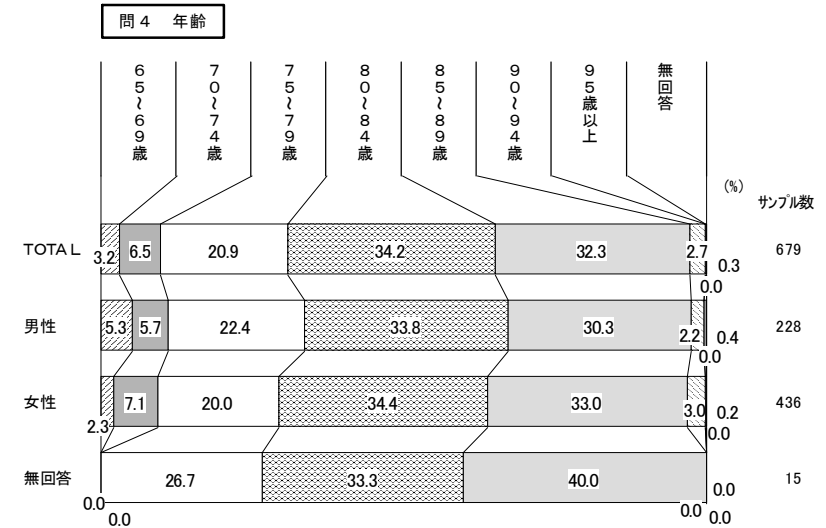
(高齢者一般)



(居宅サービス等利用者)

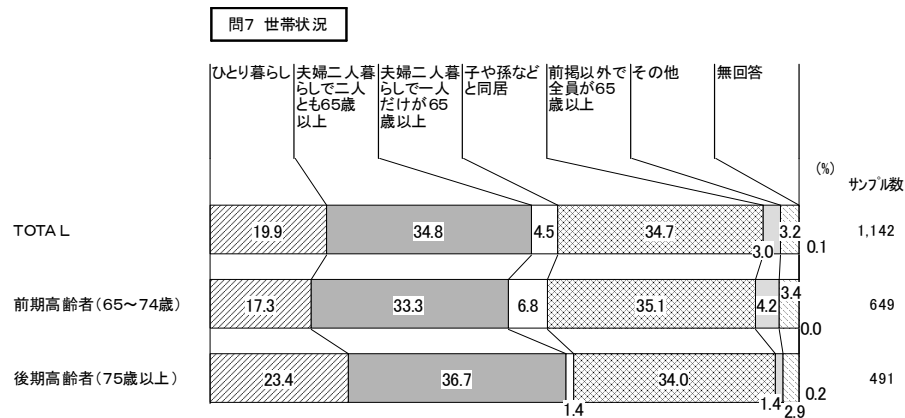


(サービス未利用者)



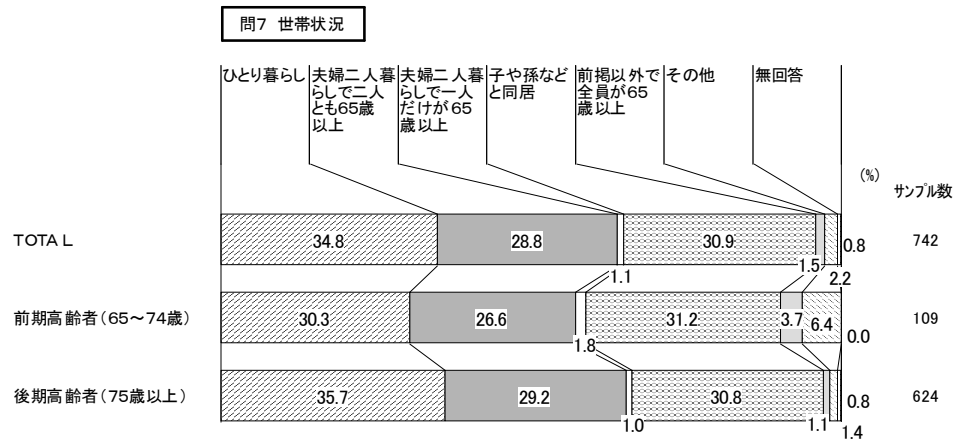
(4) 世帯状況

(高齢者一般)



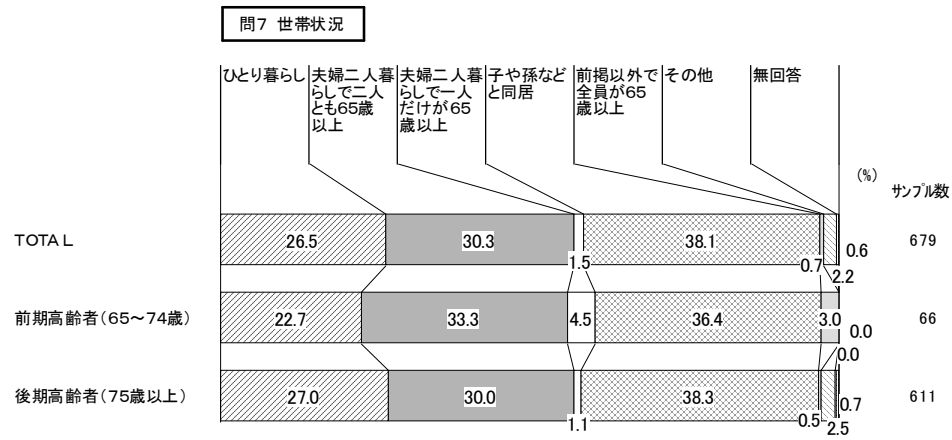
(年齢無回答 n=2 を除く)

(居宅サービス等利用者)



(65歳未満 n=1 年齢無回答 n=8 を除く)

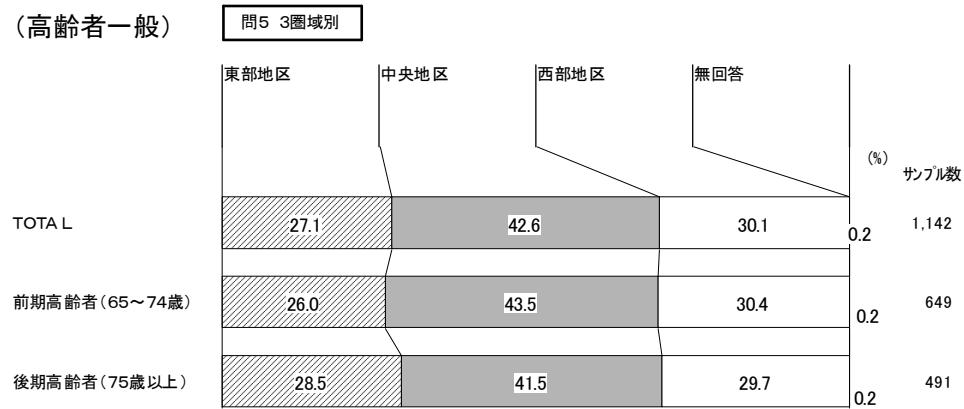
(サービス未利用者)



(年齢無回答 n=2 を除く)

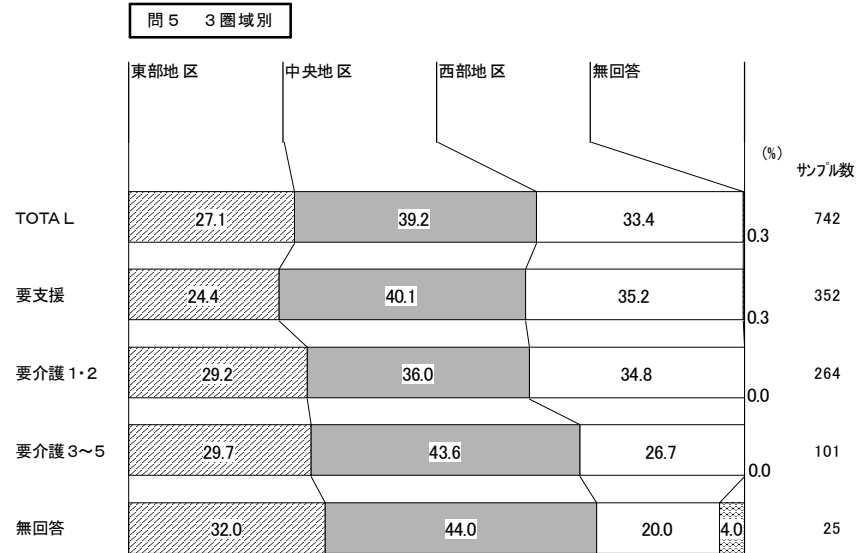
(5) 居住圏域

(高齢者一般)

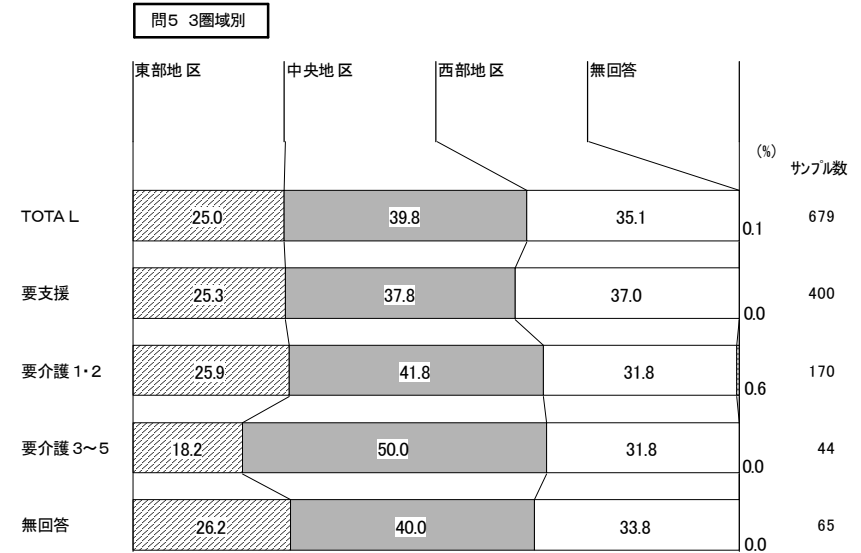


(年齢無回答 n=2 を除く)

(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)

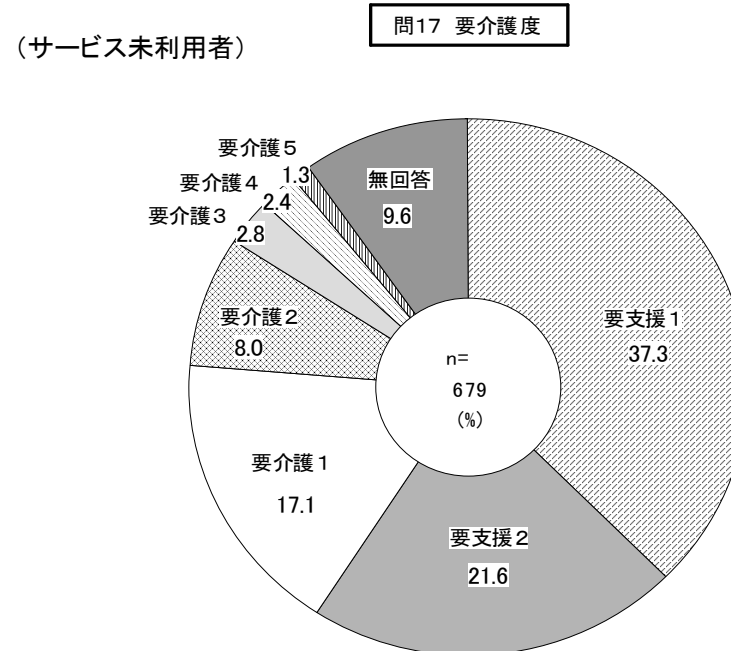
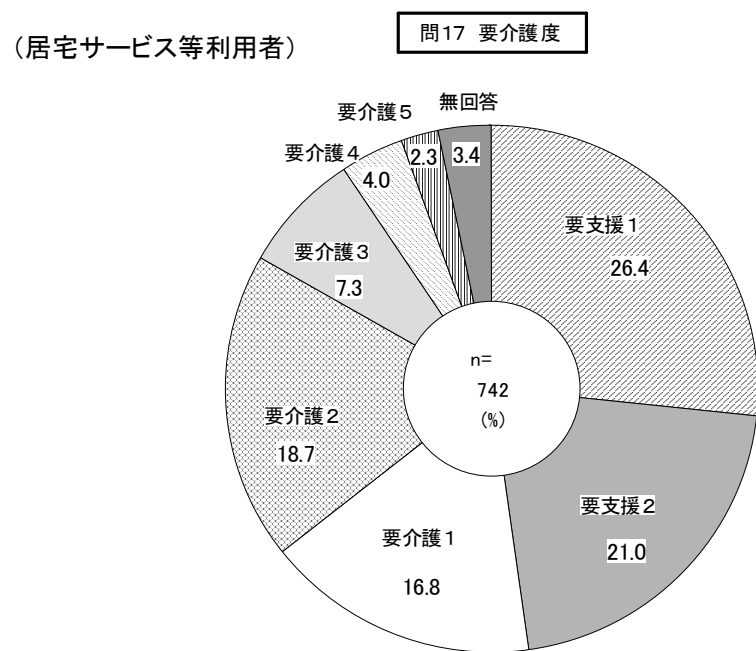


2 介護・医療

(1) 介護度分布

○ 介護度分布をみると、利用者では要支援（1・2）が47.4%、軽度者（要介護1・2）が35.5%、中・重度者（要介護3～5）が13.6%の構成となっている。

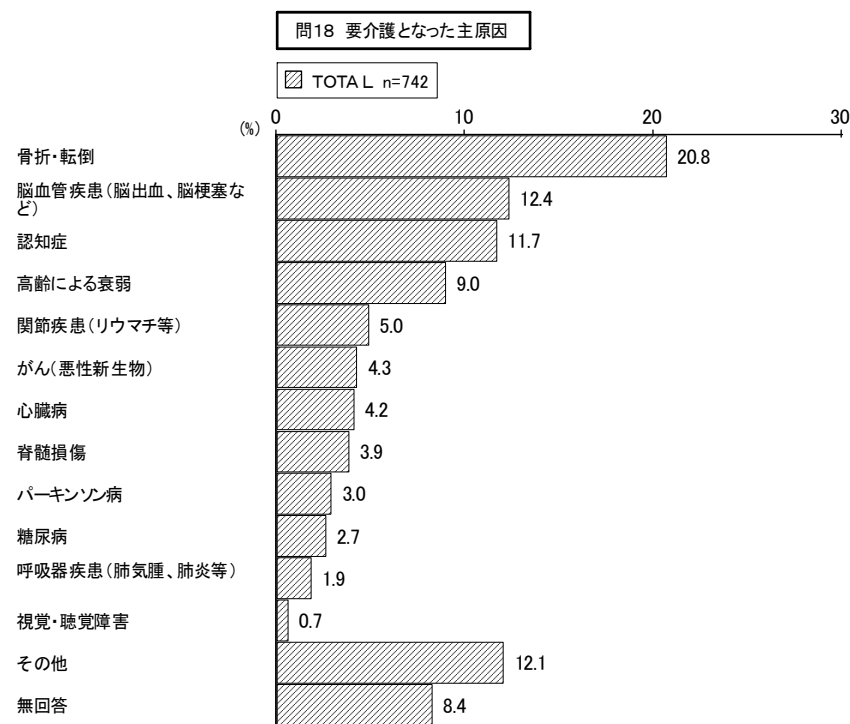
未利用者では、要支援（1・2）が58.9%、軽度者（要介護1・2）が25.1%、中・重度者（要介護3～5）が6.5%の構成となっている。



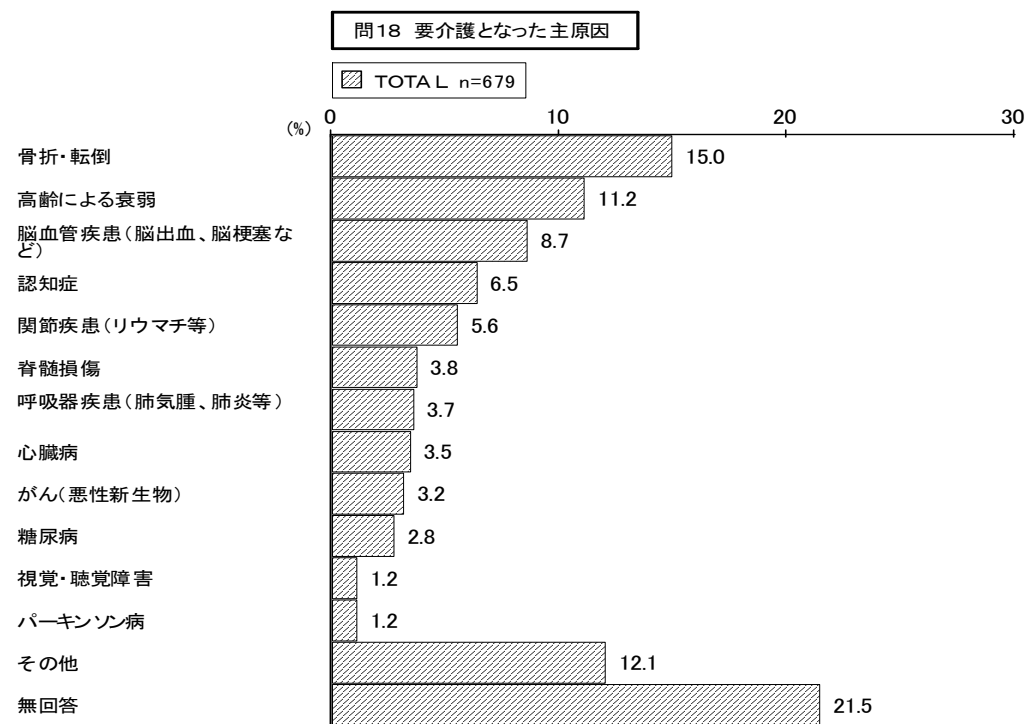
(2) 要介護となった主原因

- 要介護となった主原因の傷病をみると、利用者、未利用者とも「骨折・転倒」が最も多く、利用者20.8%、未利用者15.0%となっている。次いで利用者では「脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）」12.4%、「認知症」11.7%の順となっている。未利用者では、「高齢による衰弱」11.2%、「脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）」8.7%の順となっている。

(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)

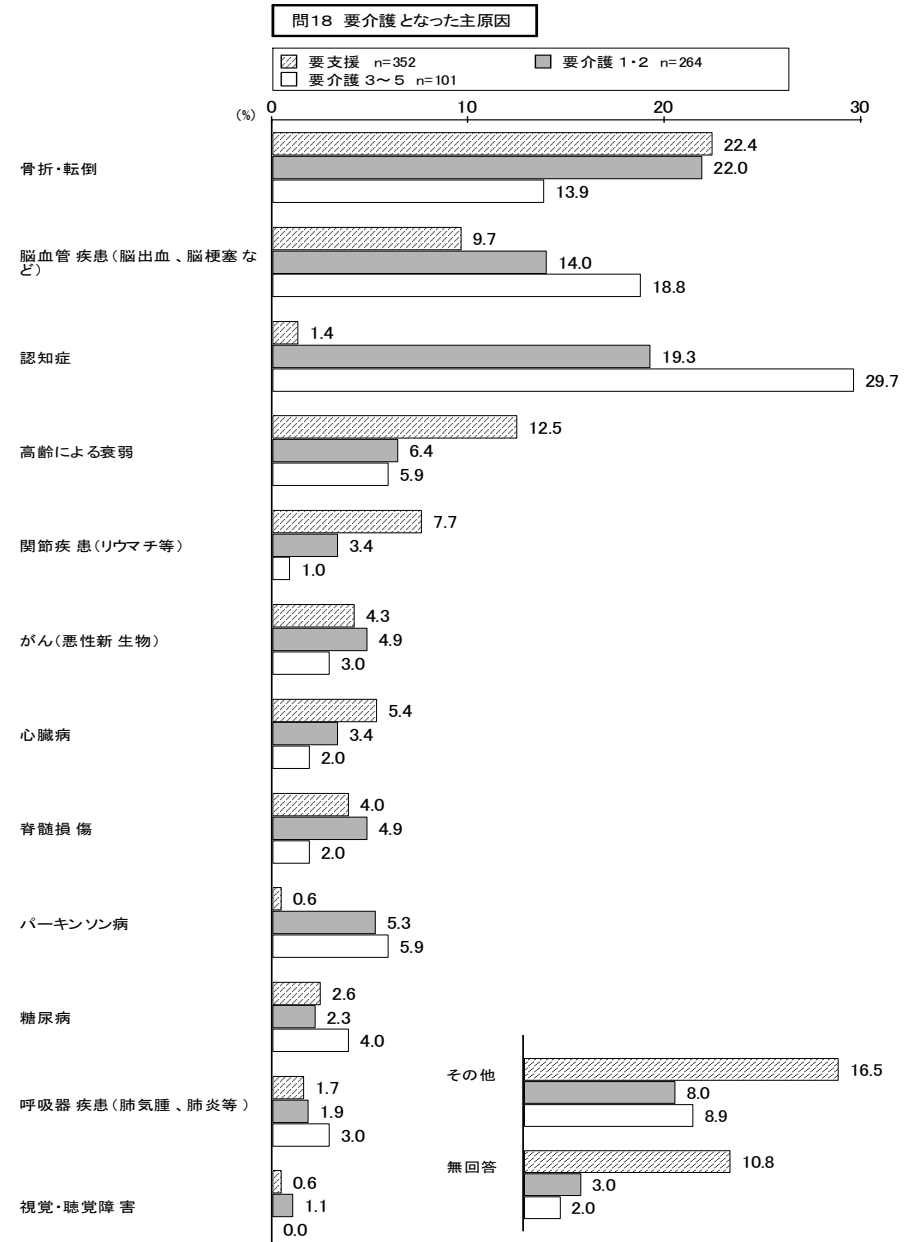


○ 要介護となった主原因の傷病について、介護度別にみると、利用者の場合「骨折・転倒」は要支援が22.4%、軽度者（要介護1・2）が22.0%となっている。

また「脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）」では、中・重度者（要介護3～5）の割合が18.8%と高く、要支援9.7%、軽度者（要介護1・2）14.0%を上回っている。

「認知症」については、中・重度者（要介護3～5）では29.7%となっており、要支援1.4%、軽度者（要介護1・2）19.3%を大きく上回っている。

（居宅サービス等利用者）



○ 要介護となった主原因の傷病について、介護度別にみると、未利用者の場合、「骨折・転倒」が要支援 16.5%、軽度者（要介護 1・2）17.1% とほぼ同じ割合である。

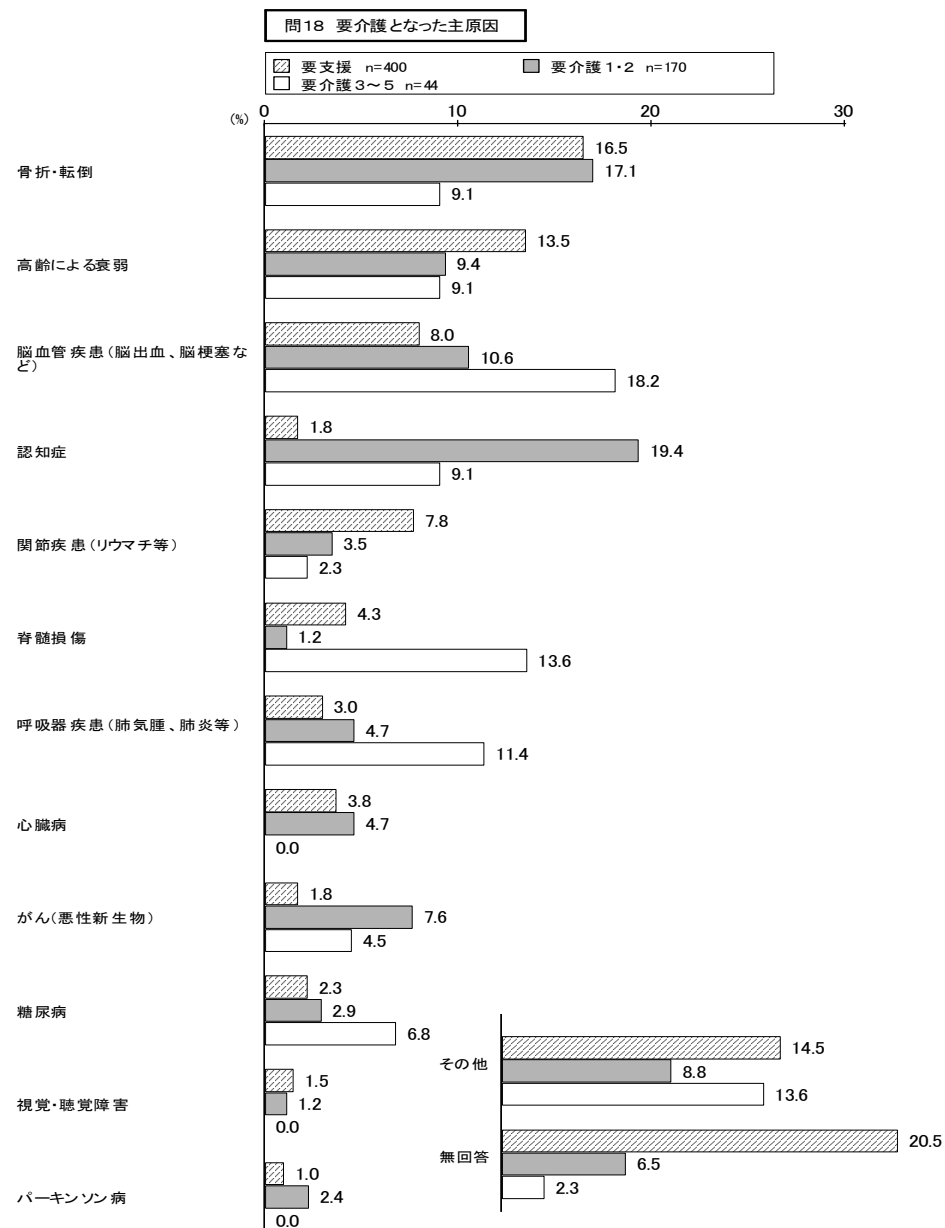
「高齢による衰弱」は、要支援 13.5%、軽度者（要介護 1・2）9.4%、中・重度者（要介護 3～5）9.1%となっている。

「脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）」では、中・重度者（要介護 3～5）が 18.2%となっており、要支援 8.0%、軽度者（要介護 1・2）10.6% を大きく上回っている。

「認知症」については、軽度者（要介護 1・2）が 19.4%みられ、要支援 1.8%、中・重度者（要介護 3～5）9.1%を大きく上回っている。

また中・重度者（要介護 3～5）では、「脊髄損傷」が 13.6%、「呼吸器疾患（肺気腫、肺炎等）」が 11.4%となっている。

（サービス未利用者）



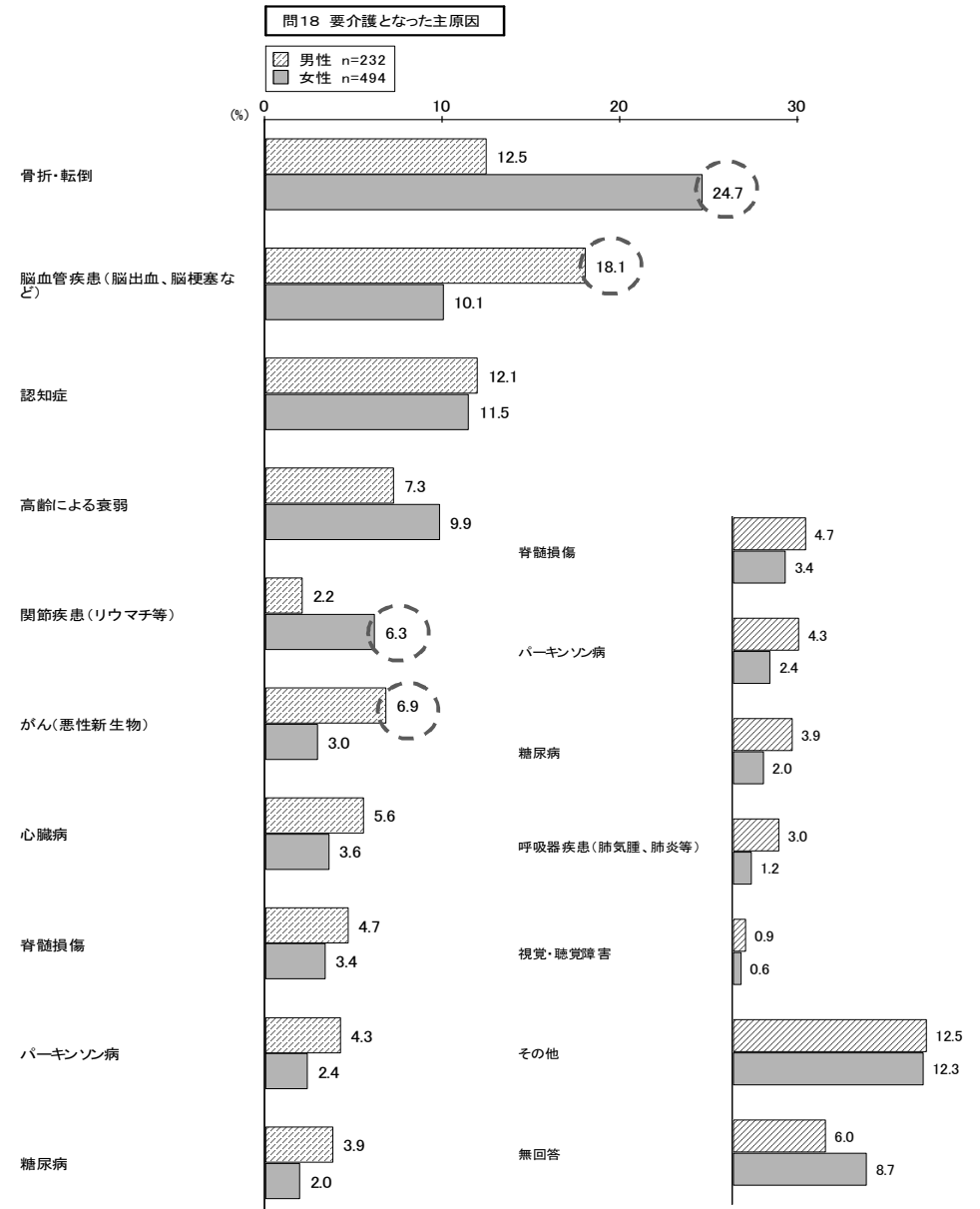
○ 要介護となった主原因の傷病について、性別にみると、「骨折・転倒」については利用者、未利用者とも、女性が男性を大きく上回り、利用者24.7%、未利用者19.0%となっている。

「脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）」は、利用者男性で18.1%、未利用者男性でも15.4%と女性の割合を大きく上回っている。

「関節疾患（リウマチ等）」は、利用者女性で6.3%、「がん（悪性新生物）」は利用者男性で6.9%と女性を大きく上回っている。

「呼吸器疾患（肺気腫、肺炎等）」は未利用者男性で6.1%となっている。

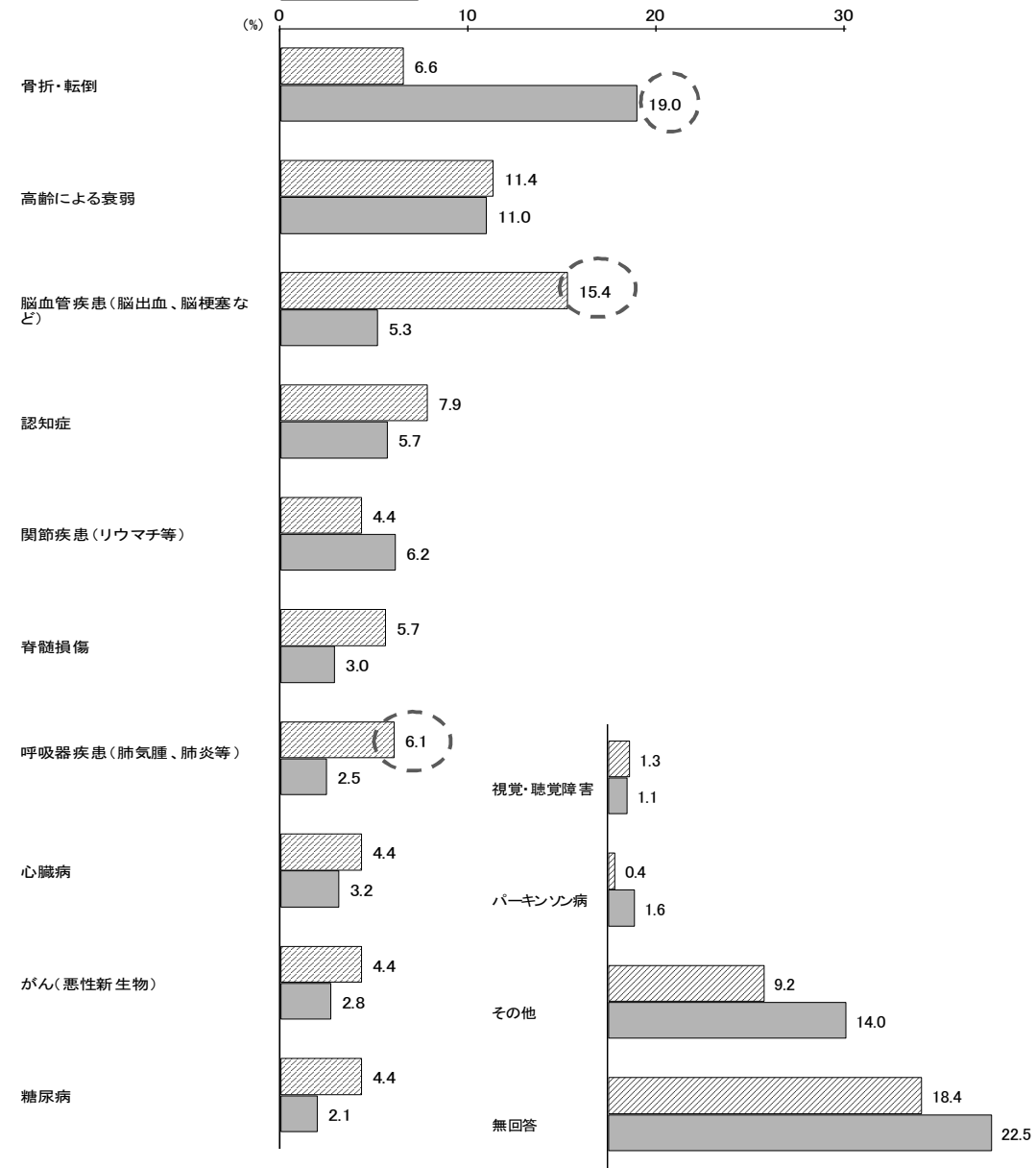
(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)

問18 要介護となった主要原因

男性 n=228
女性 n=436



(3) 治療中の病気・けが

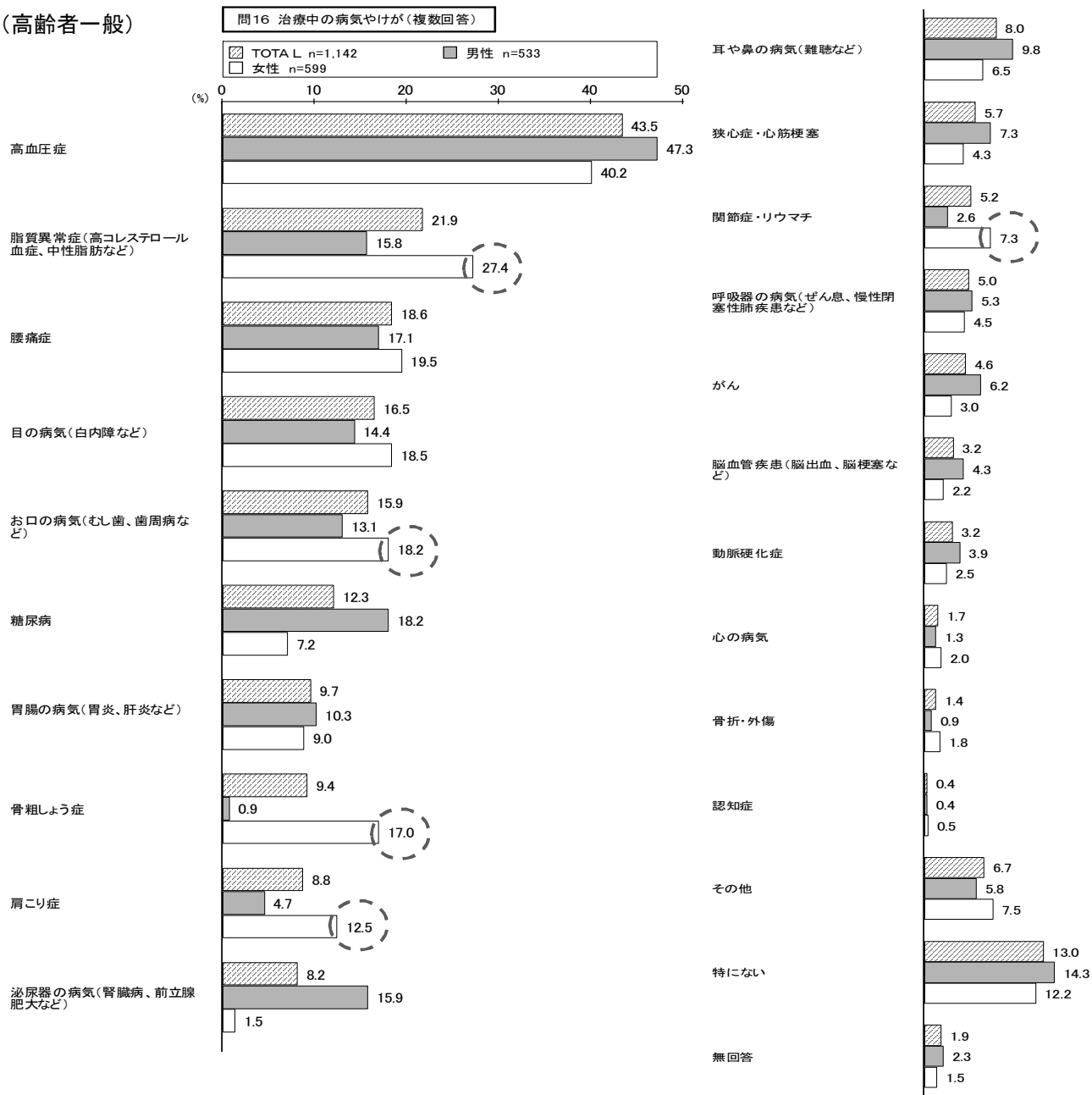
○ 高齢者一般の現在治療中の病気・けがについてみると、「高血圧症」は男性47.3%、女性40.2%となっている。

「脂質異常症（高コレステロール血症、中性脂肪など）」は、女性で27.4%と、男性15.8%を上回っている。

また「お口の病気」では女性が18.2%、「骨粗しょう症」では女性が17.0%といずれも男性を上回っている。

その他、女性の場合、「肩こり症」が12.5%、「関節症・リウマチ」が7.3%となっている。

(高齢者一般)

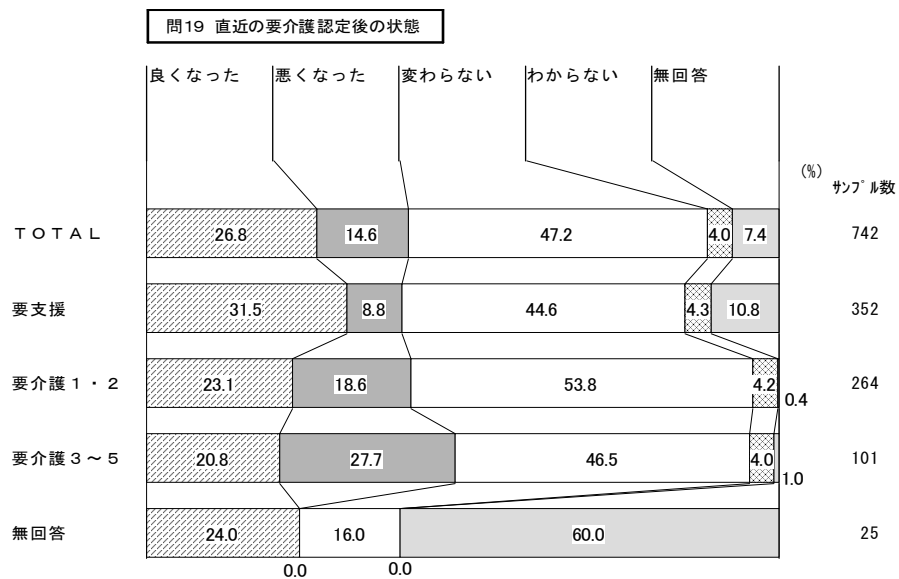


(4) 直近の要介護認定後の状態

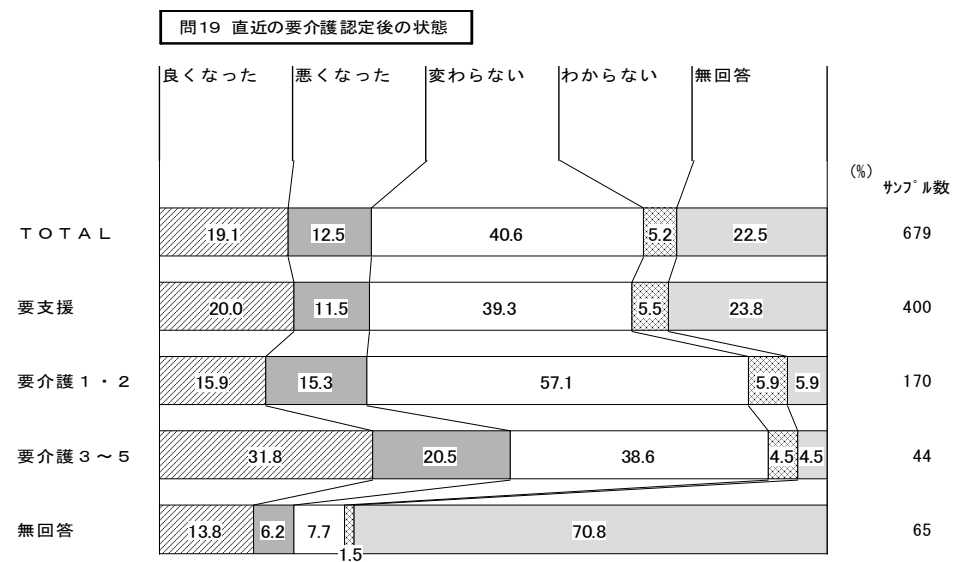
○ 直近の要介護認定後の状態についてみると、利用者では要支援の31.5%が「良くなった」としている一方、中・重度者（要介護3～5）では27.7%が「悪くなった」としている。

未利用者では、要支援、軽度者（要介護1・2）とも「良くなった」は要支援20.0%、軽度者（要介護1・2）15.9%であるのに対し、中・重度者（要介護3～5）では31.8%となっている。

(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)



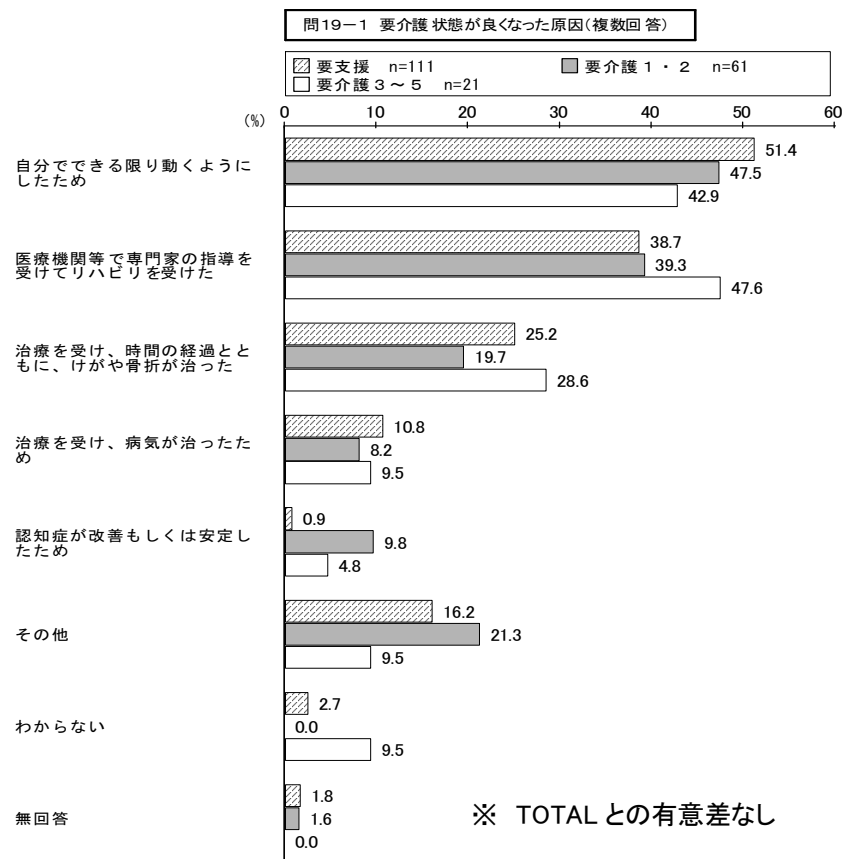
(5) 要介護状態が良くなった原因

○ 要介護状態が良くなった原因については、利用者、未利用者とも「自分でできる限り動くようにしたため」が最も多い。

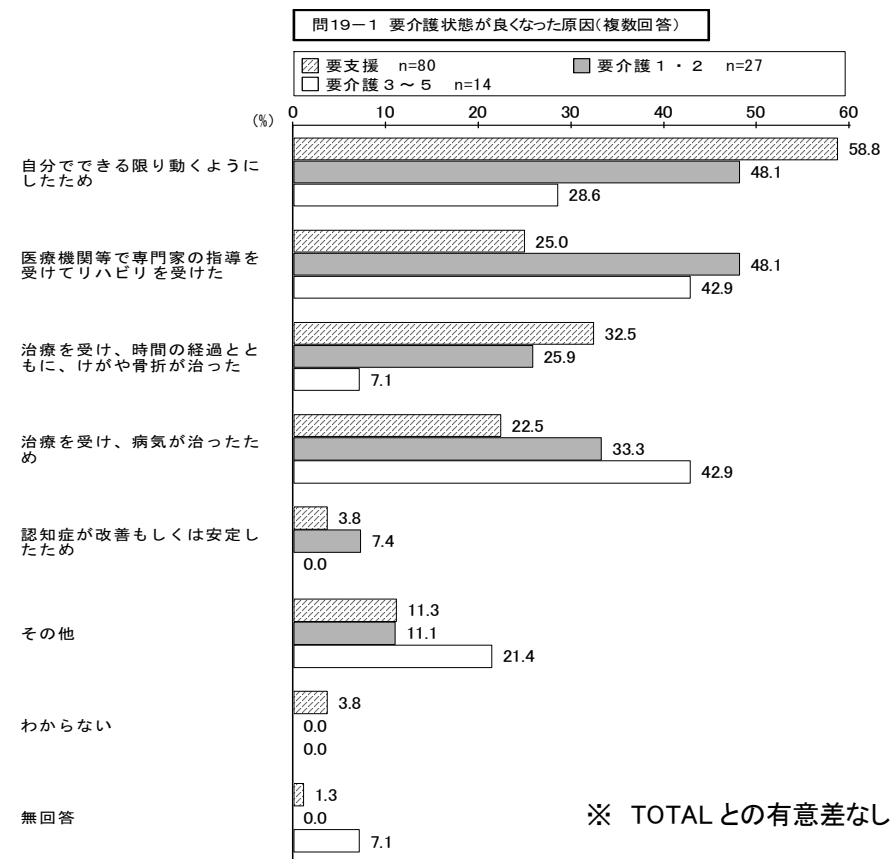
次いで「医療機関等で専門家の指導を受けてリハビリを受けたため」が利用者で要支援 38.7%、軽度者（要介護 1・2）39.3%、中・重度者（要介護 3～5）47.6%となっている。

未利用者では「医療機関等で専門家の指導を受けてリハビリを受けたため」が軽度者（要介護 1・2）48.1%、中・重度者（要介護 3～5）42.9%となっている。（未利用者の介護度別の数値は、サンプル数が少数のため参考値）

(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)

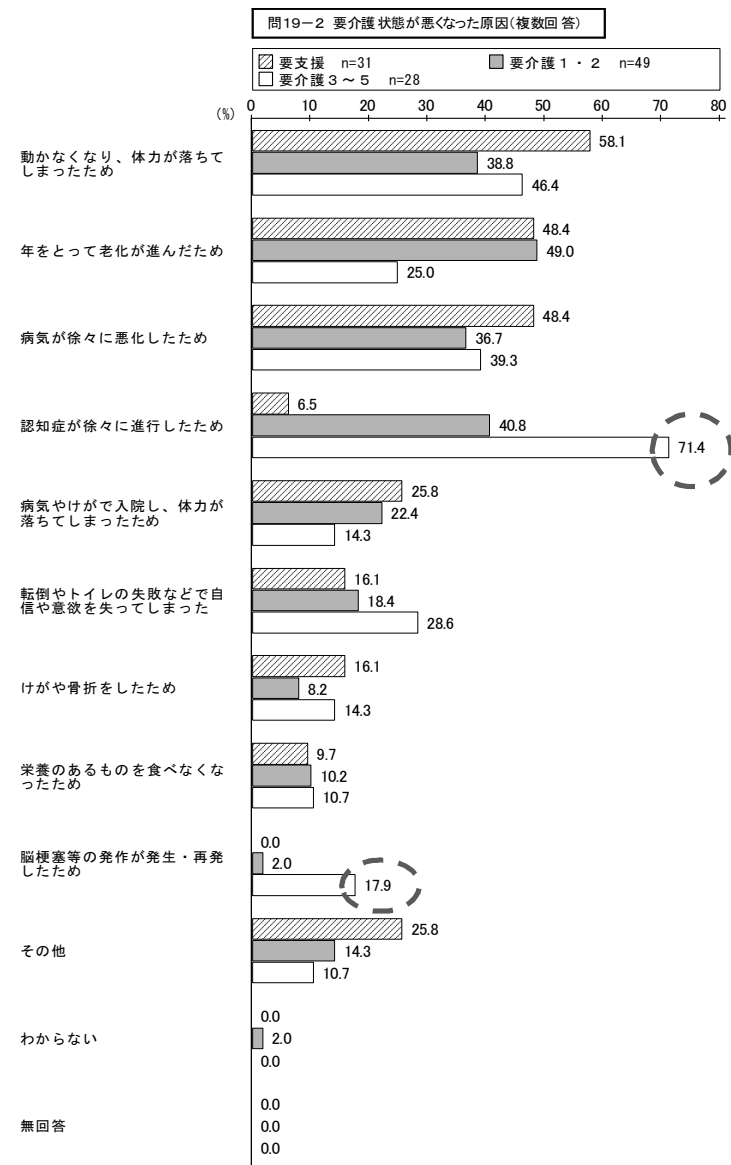


(6) 要介護状態が悪くなった原因

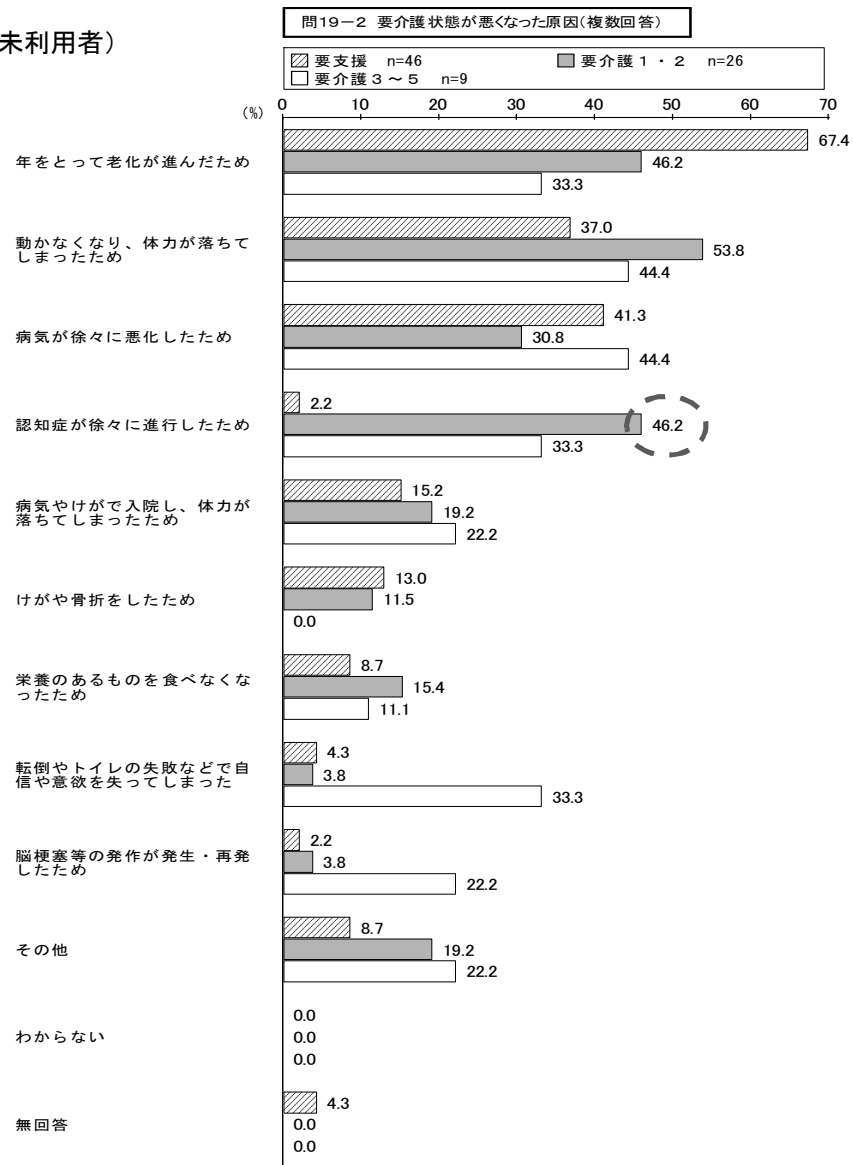
- 要介護状態が悪くなった原因については、利用者では中・重度者（要介護3～5）で「認知症が徐々に進行したため」が71.4%と他の介護度に比べて多くなっている。また、「脳梗塞等の発作が発生・再発したため」が17.9%と他の介護度に比べて多くなっている。

未利用者では、軽度者（要介護1・2）で「認知症が徐々に進行したため」が46.2%と他の介護度よりも多くなっている。

(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)



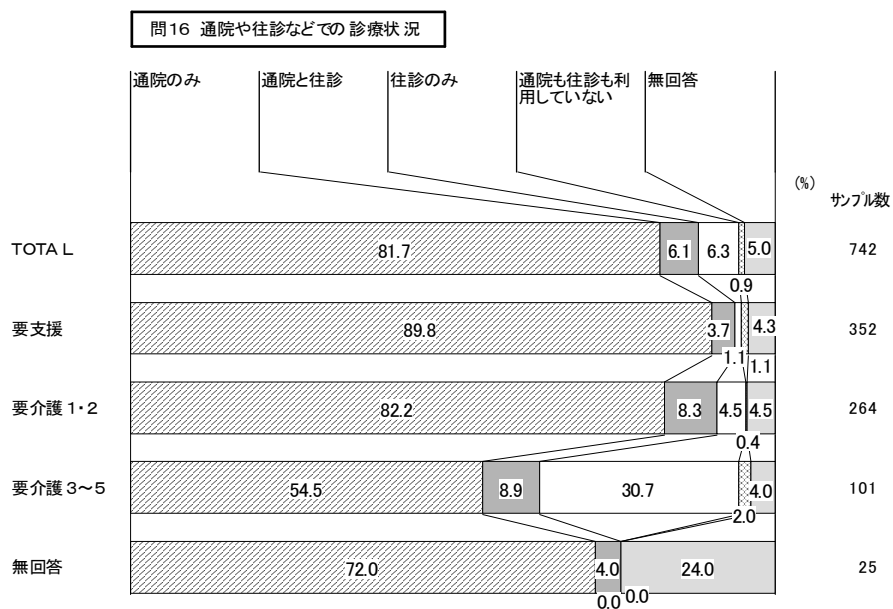
(7) 通院・往診の状況

① 受診状況

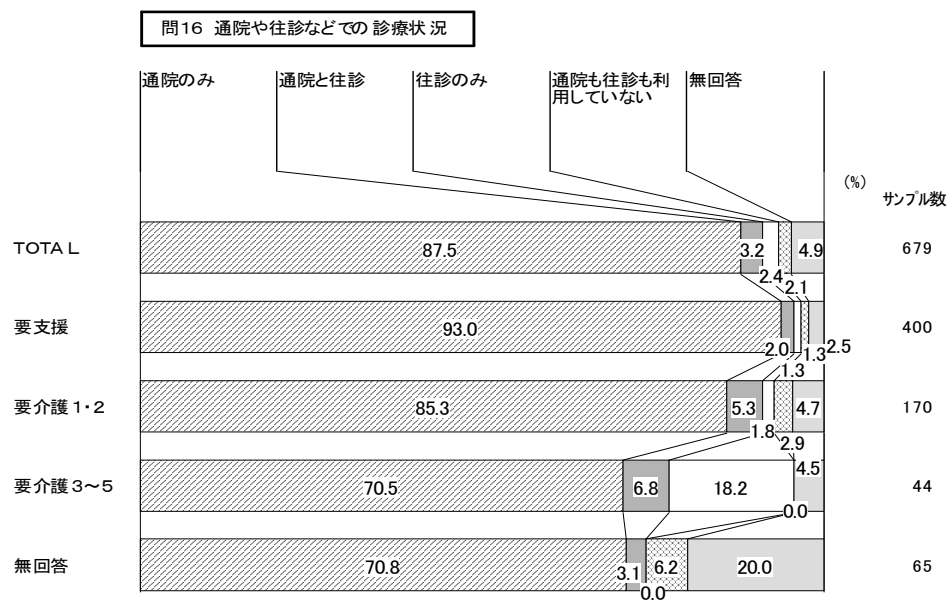
○ 通院・往診の状況については、利用者では、要支援 89.8%、軽度者（要介護 1・2）82.2%が「通院のみ」であるのに対し、中・重度者（要介護 3～5）は「通院のみ」は 54.5%、「往診のみ」が 30.7%となっている。

未利用者では、中・重度者（要介護 3～5）は「通院のみ」は 70.5%、「往診のみ」は 18.2%となっている。

(居宅サービス等利用者)



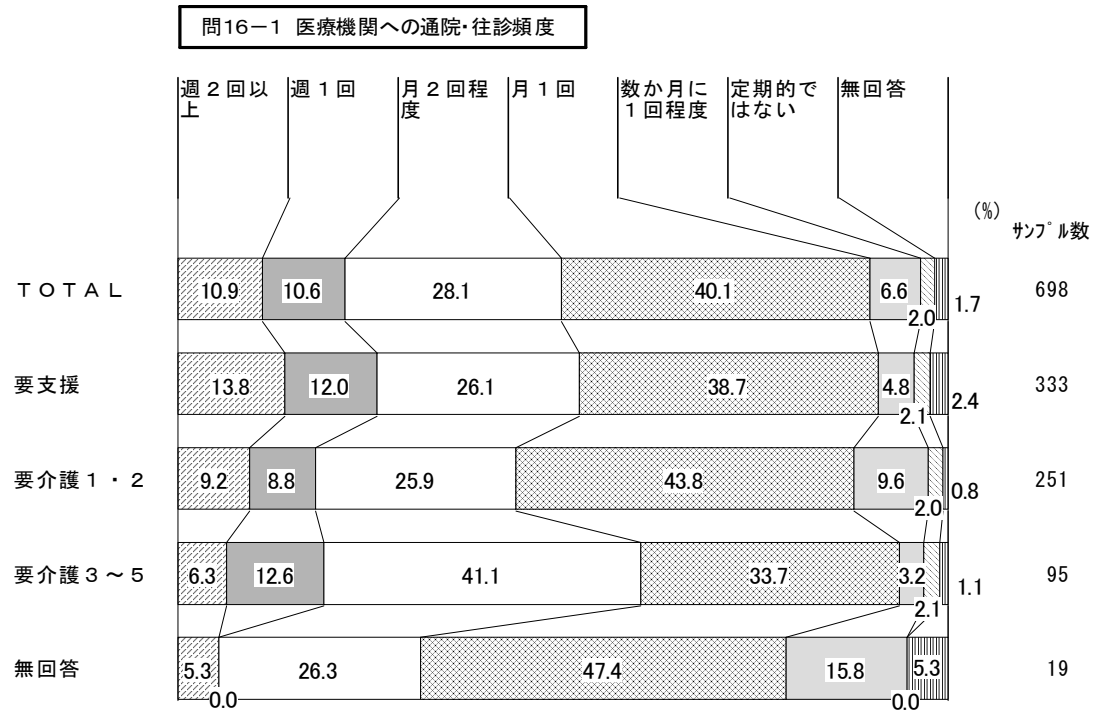
(サービス未利用者)



② 頻度、内容

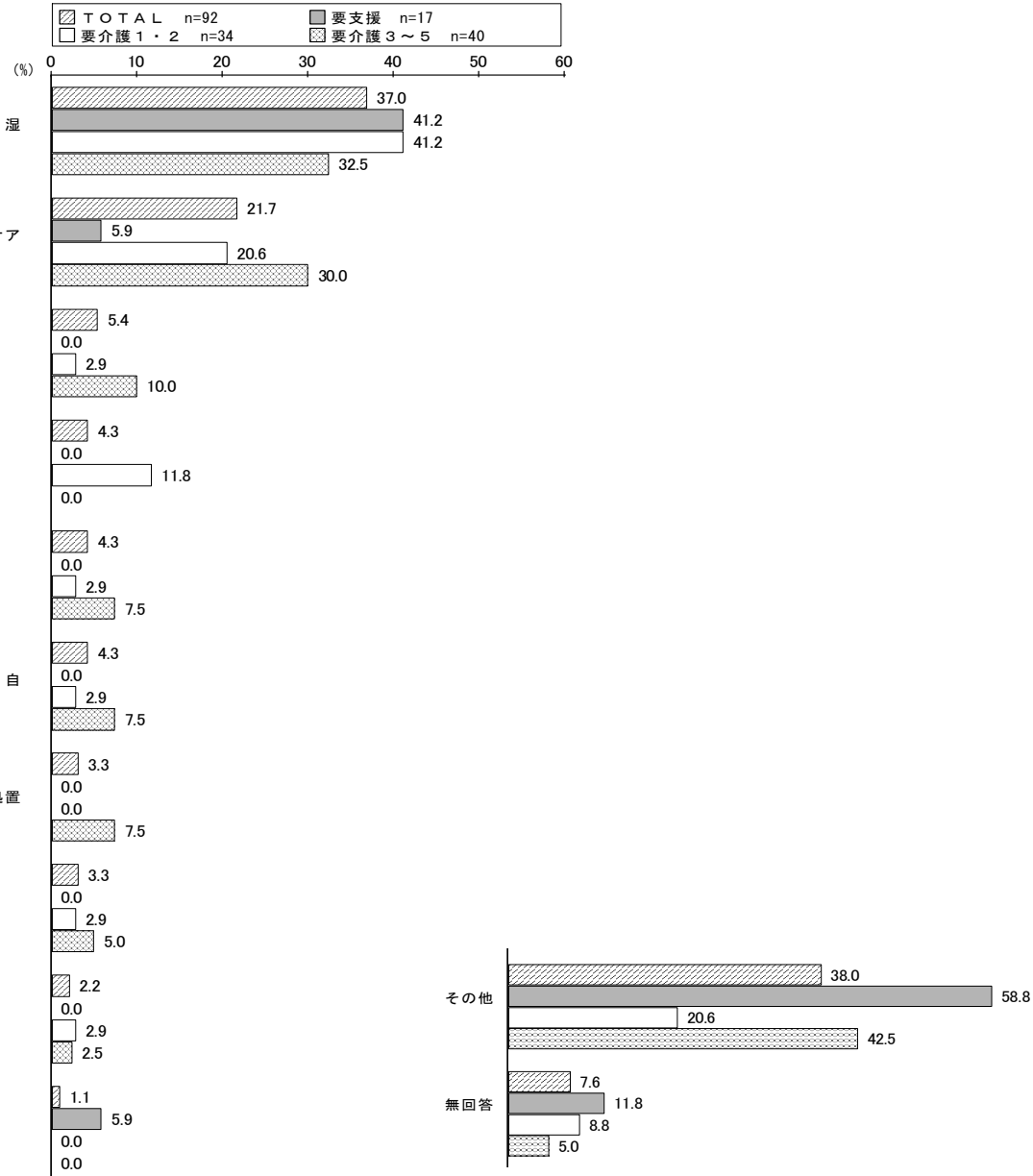
(居宅サービス等利用者)

- 利用者の通院・往診頻度については、中・重度者（要介護3～5）の41.1%は、「月2回程度」となっており、他の介護度に比べて多い。
- 利用者の往診内容については、「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」が37.0%で最も多い。
また「歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）」は中・重度者（要介護3～5）で30.0%となっている。
- 中・重度者（要介護3～5）では「酸素療法」が10.0%、「経管栄養（胃ろう等）」、「導尿の管理（カテーテル、自己）」、「じょくそう（床ずれ）の処置」などがいずれも7.5%となっている。
- その他の記入内容は、定期健診、全身を診てもらおう等の内容記入が大半である。



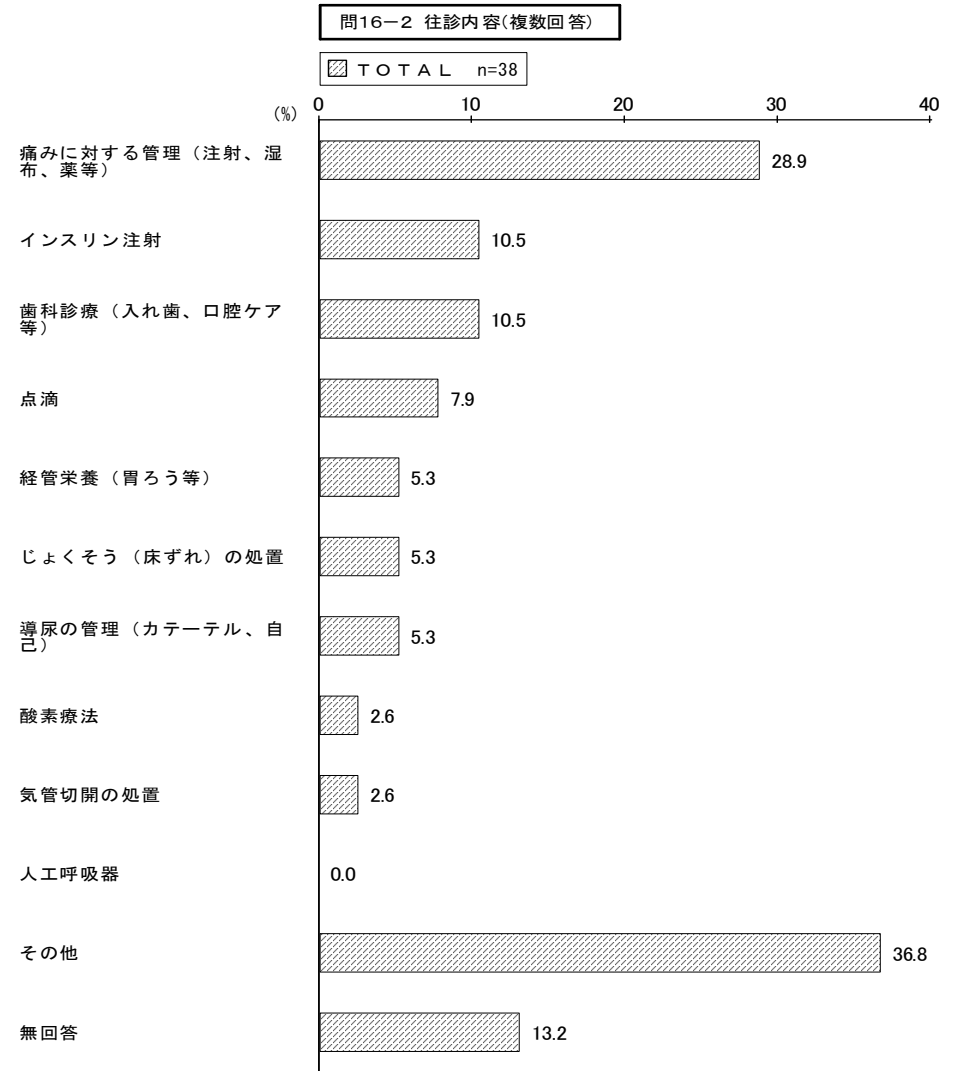
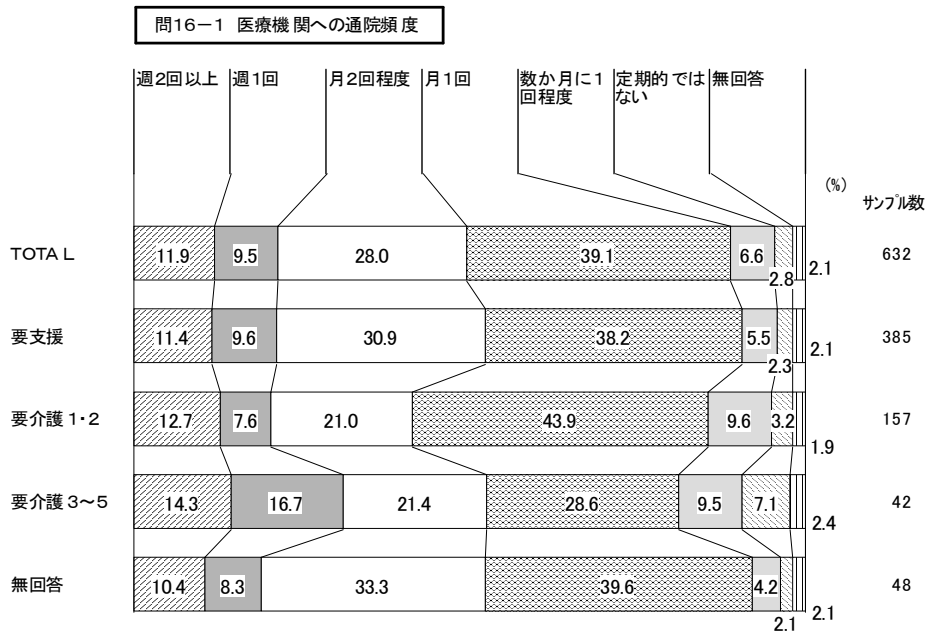
(居宅サービス等利用者)

問16-2 往診内容(複数回答)



(サービス未利用者)

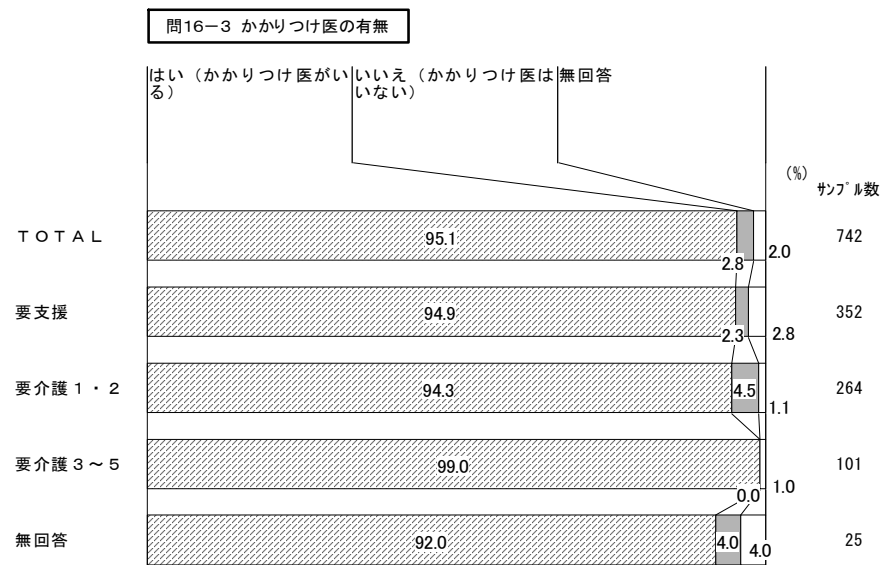
- 未利用者の通院・往診頻度については、中・重度者（要介護3～5）では「週1回」「週2回以上」が合わせて31.0%となっている。
- 往診内容については、「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」が28.9%で最も多く、次いで「インスリン注射」、「歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）」がともに10.5%となっている。



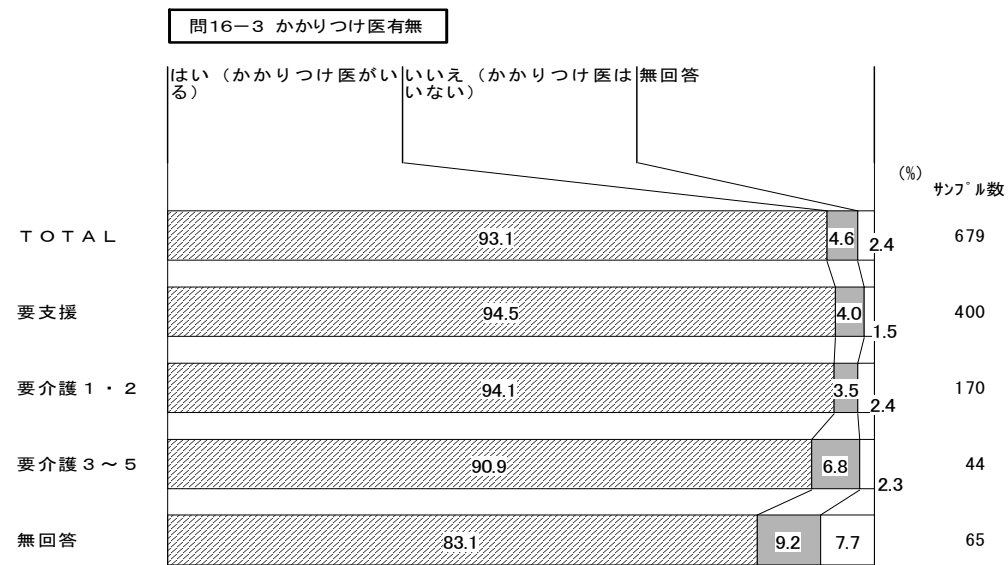
(8) かかりつけ医の有無

- かかりつけ医の有無については、利用者 95.1%、未利用者 93.1%が「かかりつけ医がいる」となっている。
一方、未利用者では中・重度者（要介護3～5）の6.8%は「かかりつけ医はいない」となっている。

(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)



(9) 在宅サービスの利用状況

(居宅サービス等利用者)

○ 在宅サービスの利用状況については、介護度が重度なほど利用割合の多いサービスとして、「訪問介護」、「訪問入浴介護」、「訪問看護」、「訪問リハビリテーション」、「短期入所生活介護」、「福祉用具貸与・購入」があげられる。

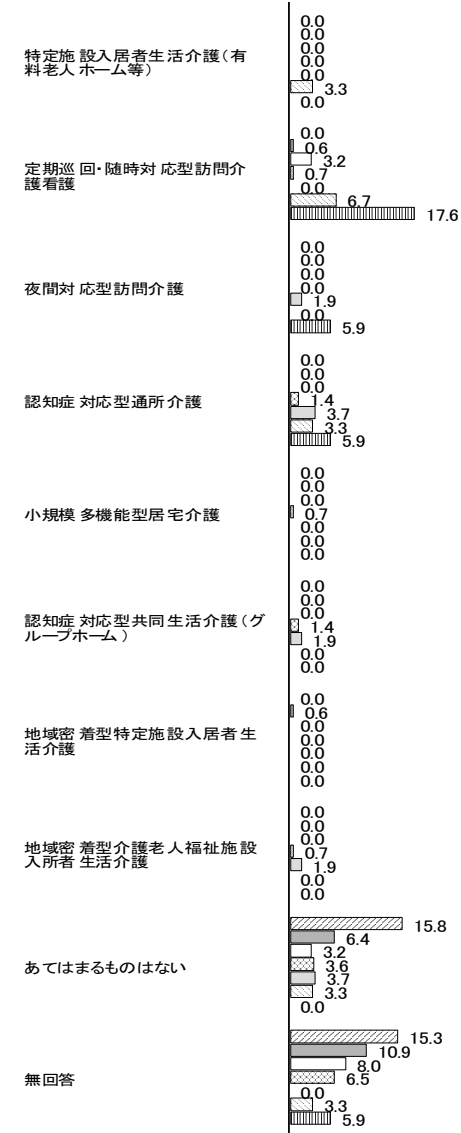
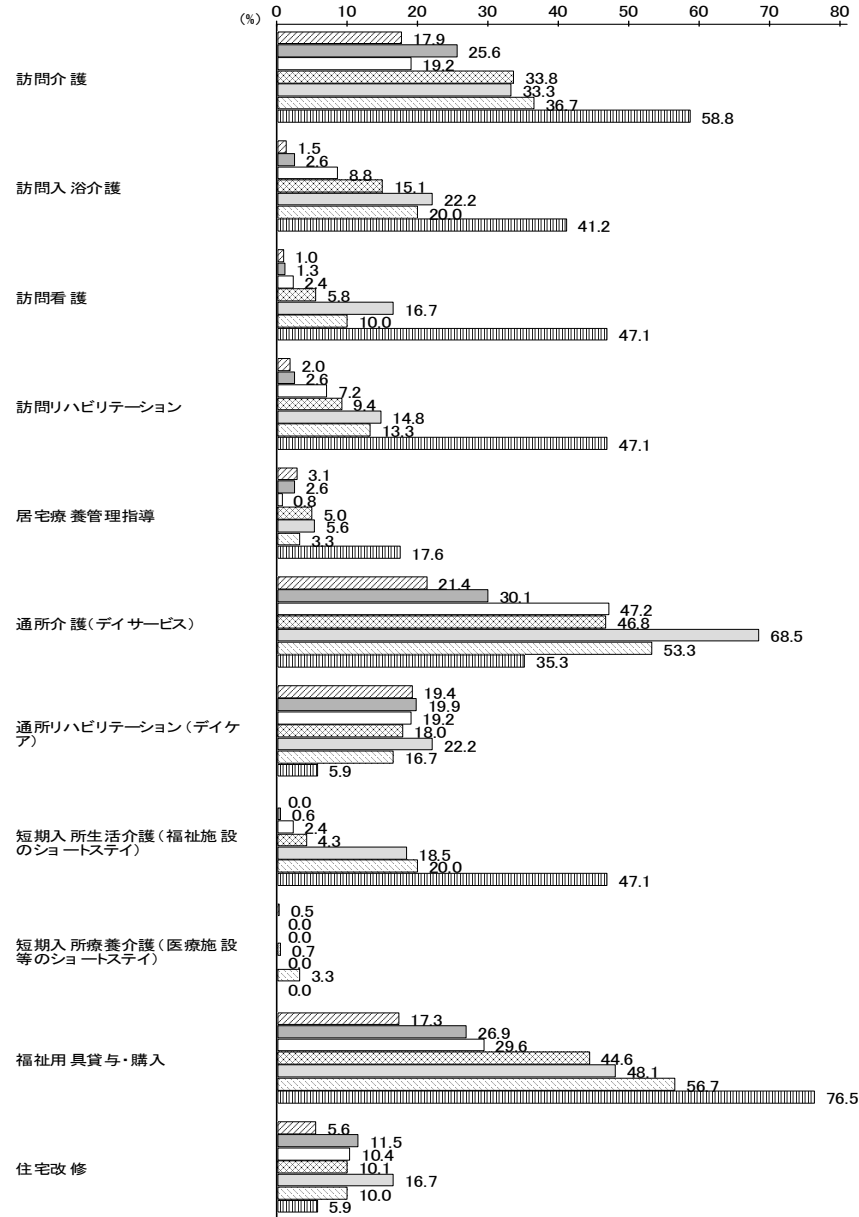
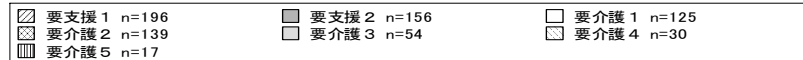
また「通所介護」は、要介護3における利用割合が68.5%と他の介護度に比べて最も多くなっている。

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」については、要介護5で17.6%となっている。

(次々ページでは、細かい介護度区分を要支援、軽度者(要介護1・2)、中・重度者(要介護3～5)の3区分にくくって図表化している。)

(居宅サービス等利用者)

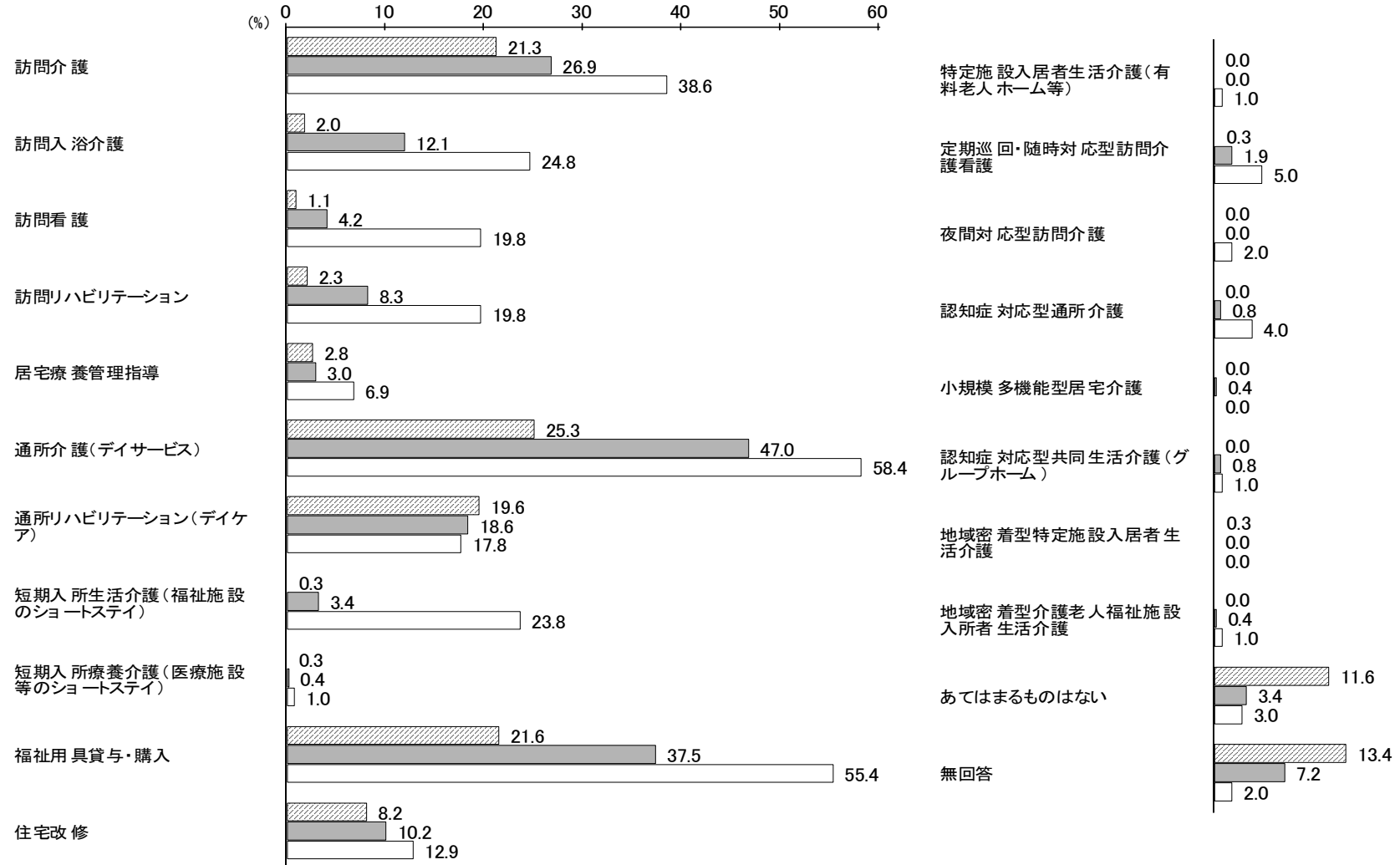
問29 介護保険在宅サービスの利用状況(複数回答)



(居宅サービス等利用者)

問29 介護保険在宅サービスの利用状況(複数回答)

要支援 n=352
 要介護1・2 n=264
 要介護3～5 n=101



○ 下表では、要支援の利用割合と比較して回答割合が高いものに○、低いものに△を付している。

「居宅療養管理指導」、「通所リハビリテーション」、「住宅改修」については、介護度による利用割合の差がみられない結果となっている。

問29 介護保険在宅サービスの利用状況（複数回答）

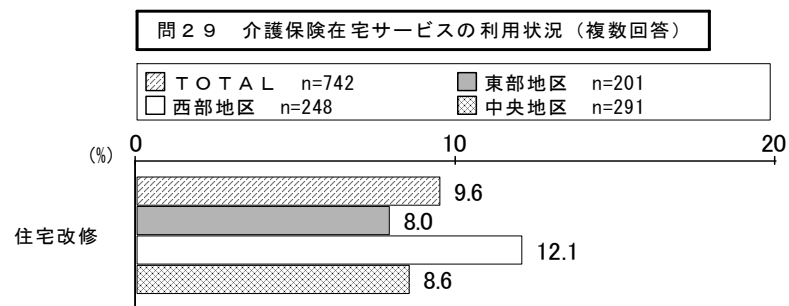
REPORT.NO:0096	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1 段目 度数		訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所生活介護（福祉施設ショートステイ）	短期入所療養介護（医療施設等ショートステイ）	福祉用具貸与・購入	住宅改修
2 段目 横%												
0003:*問17 介護度区分3												
LAYER1:*問5 3圏域別<0000>TOTAL												
0)TOTAL	742 100.0	189 25.5	65 8.8	36 4.9	39 5.3	25 3.4	28 3.7	142 19.1	3 0.4	3 0.4	28 3.7	71 9.6
1)要支援	352 100.0	75 21.3	7 2.0	4 1.1	8 2.3	10 2.8	89 25.3	69 19.6	1 0.3	1 0.3	76 21.6	29 8.2
2)要介護1・2	264 100.0	71 26.9	33 12.5	14 5.3	28 10.6	8 3.0	12 4.7	49 18.6	3 1.1	1 0.4	9 3.7	27 10.2
3)要介護3～5	101 100.0	38 38.0	28 24.8	28 19.8	28 19.8	7 6.9	8 5.8	18 17.8	2 2.3	1 1.0	8 5.5	13 12.9
4)無回答	25 100.0	4 16.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	9 36.0	6 24.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0	2 8.0

問29 介護保険在宅サービスの利用状況（複数回答）

REPORT.NO:0096	TOTAL	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 段目 度数		特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	あてはまるものはない	無回答
2 段目 横%											
0003:*問17 介護度区分3											
LAYER1:*問5 3圏域別<0000>TOTAL											
0)TOTAL	742 100.0	2 0.3	11 1.5	2 0.3	6 0.8	1 0.1	3 0.4	1 0.1	2 0.3	54 7.3	76 10.2
1)要支援	352 100.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	41 11.6	47 13.4
2)要介護1・2	264 100.0	0 0.0	5 1.9	0 0.0	2 0.8	1 0.4	2 0.8	0 0.0	1 0.4	9 3.4	19 7.2
3)要介護3～5	101 100.0	1 1.0	5 5.0	2 2.0	4 4.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	1 1.0	3 3.0	2 2.0
4)無回答	25 100.0	4 16.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	8 32.0

(10) 住宅改修について

(居宅サービス等利用者)



- 住宅改修の利用割合について、地区別に比較した結果が左図である。
回答割合では西部地区が 12.1%と最も多く、東部地区で 8.0%、中央地区で 8.6%となっている。
なお、検定結果によれば、回答割合の地区別の有意な差はみられない。

各回答どうしの比率の差の検定は、次のとおりである。(有意水準 0.05 両側検定)

(0001) 東部地区 8.0

(0002) 中央地区 8.6

0001 0002 u 値=0.248877 有意確率 0.803456

(0001) 東部地区 8.0

(0003) 西部地区 12.1

0001 0003 u 値=1.437330 有意確率 0.150624

(0002) 中央地区 8.6

(0003) 西部地区 12.1

0002 0003 u 値=1.340104 有意確率 0.180211

(11) 介護保険サービス利用について

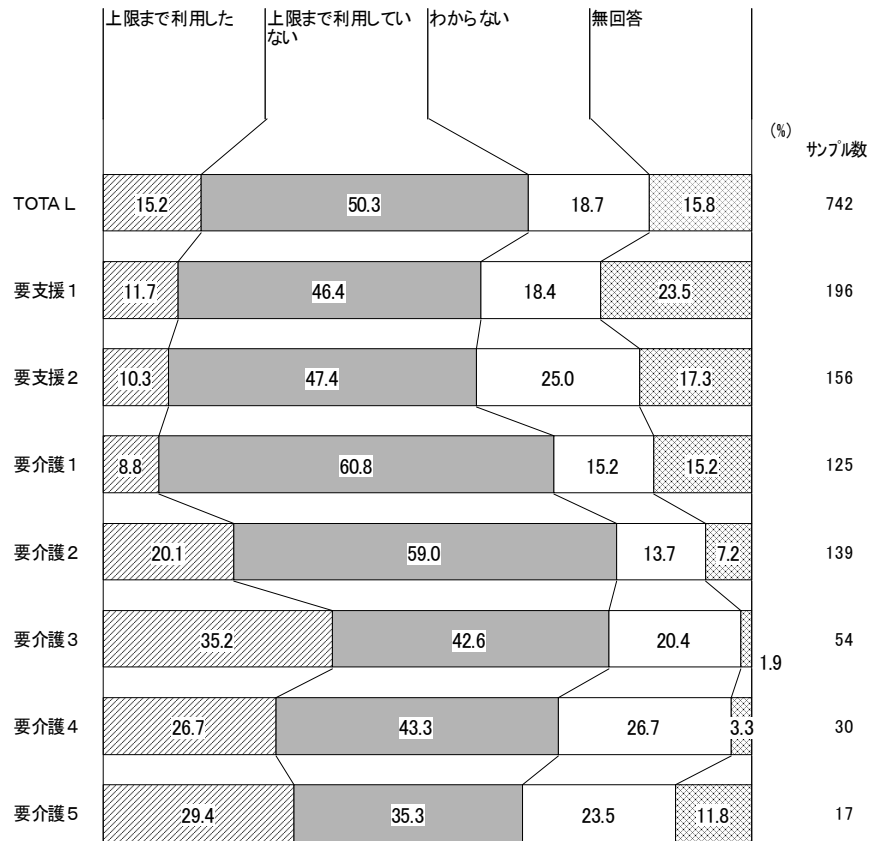
- 介護保険サービス利用について、各介護度の利用上限額まで利用したかをみると、上限まで利用したとする割合は、要支援1から要介護1まで、それぞれ 要支援1が11.7%、要支援2が10.3%、要介護1が8.8%であるが、中・重度者（要介護3～5）は3割前後となっている（要介護3：35.2%、要介護4：26.7%、要介護5：29.4%）。

- 介護サービス利用に伴う負担感については、「受けているサービスに対し、適切な料金である」とする割合は要支援1が44.4%、要支援2が46.2%、要介護1が48.8%となっている。
一方、要介護2及び中・重度者（要介護3～5）では、「負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない」とする割合は要介護2が36.7%、要介護3が37.0%、要介護4が33.3%、要介護5が64.7%となっている。

- 限度額上限まで利用していない理由については、要支援では「心身の状態からみて、今くらいのサービスで十分と考えるため」が65.5%で最も多くなっている。また軽度者（要介護1・2）は42.4%、中・重度者（要介護3～5）は35.7%となっている。
また軽度者（要介護1・2）、中・重度者（要介護3～5）の場合、「家族が介護しているので、それほど多く利用しなくても済んでいるため」が軽度者（要介護1・2）は36.7%、中・重度者（要介護3～5）は47.6%となっている。

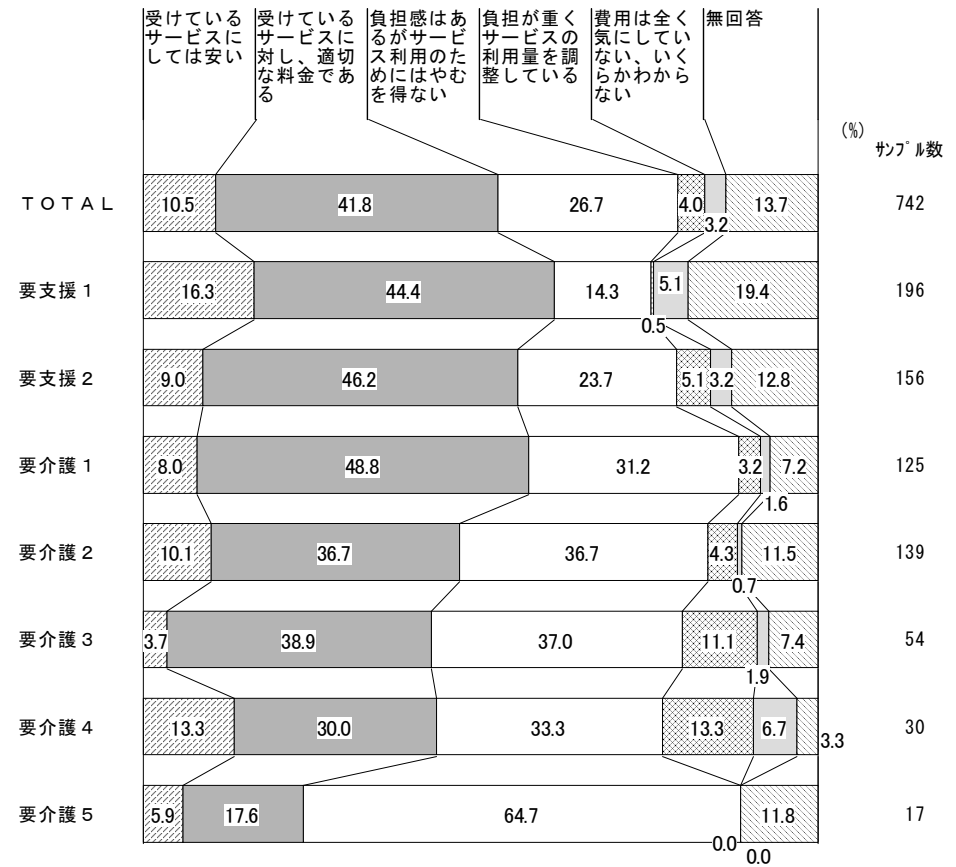
(居宅サービス等利用者)

問30 介護保険サービス利用金額の上限利用の有無



(介護度無回答 n=25 を除く)

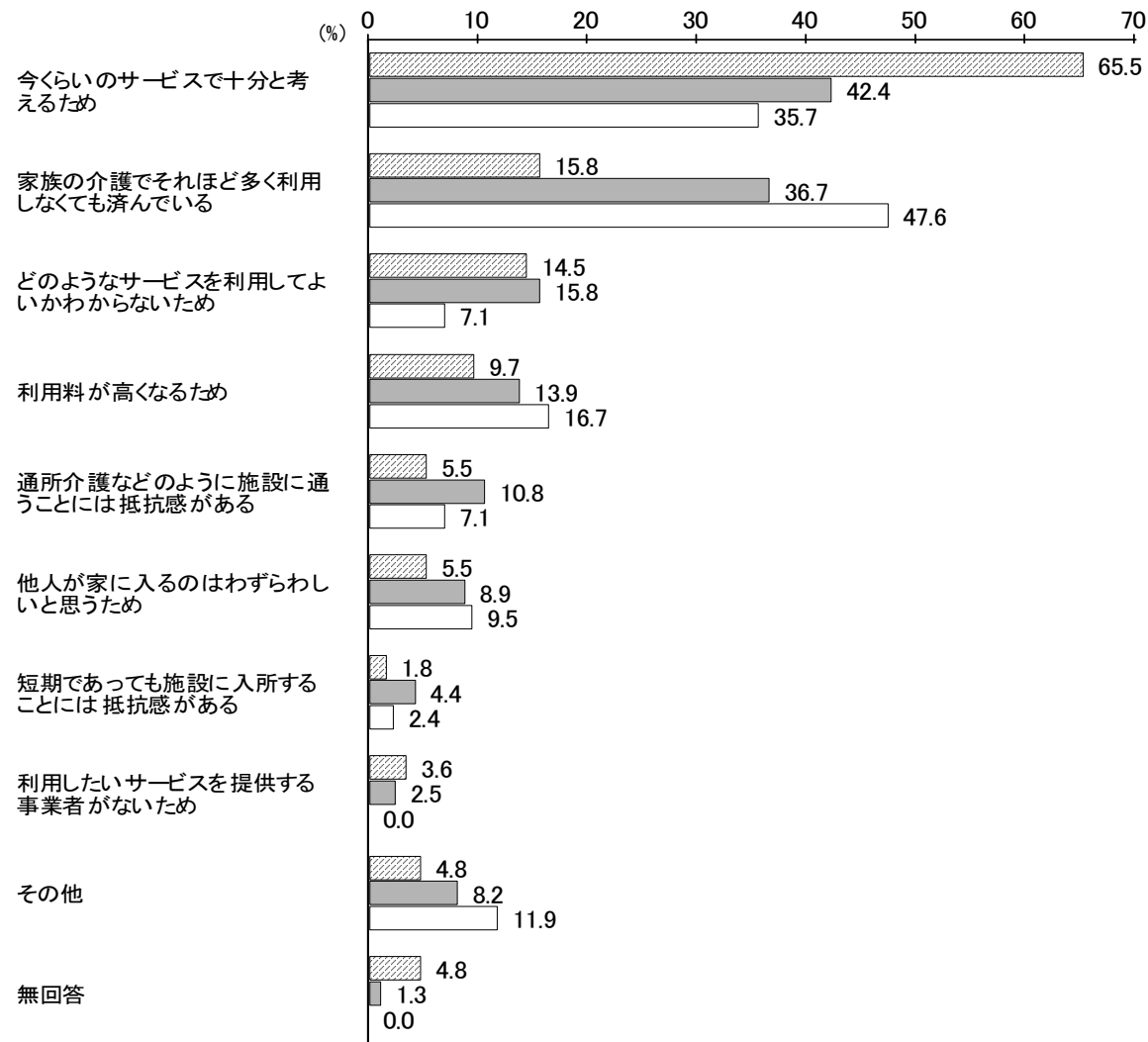
問31 サービス利用費の負担感



(介護度無回答 n=25 を除く)

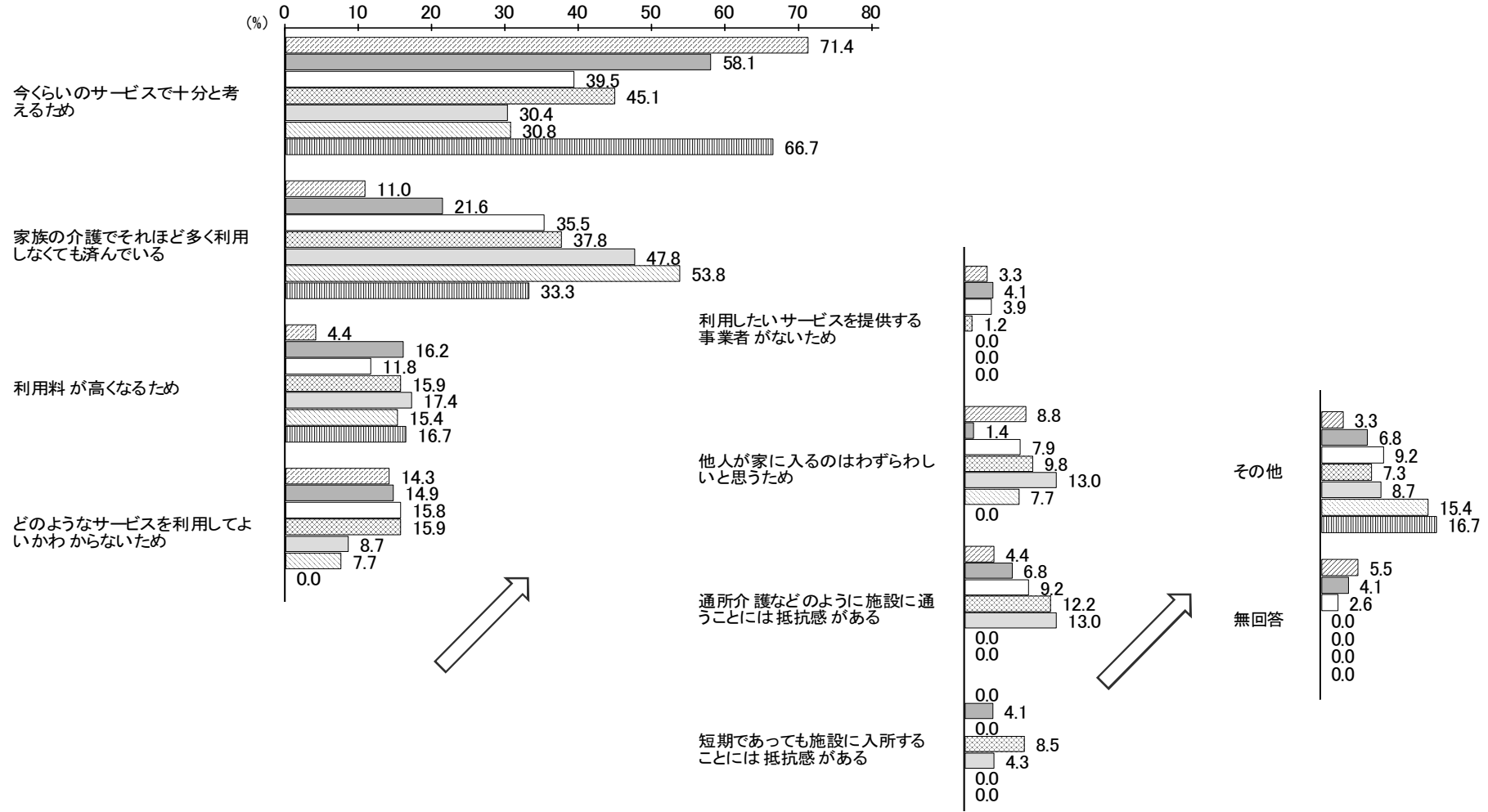
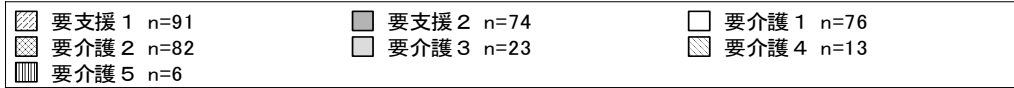
(居宅サービス等利用者)

問30-1 上限まで利用していない理由(○は2つまで)



(居宅サービス等利用者)

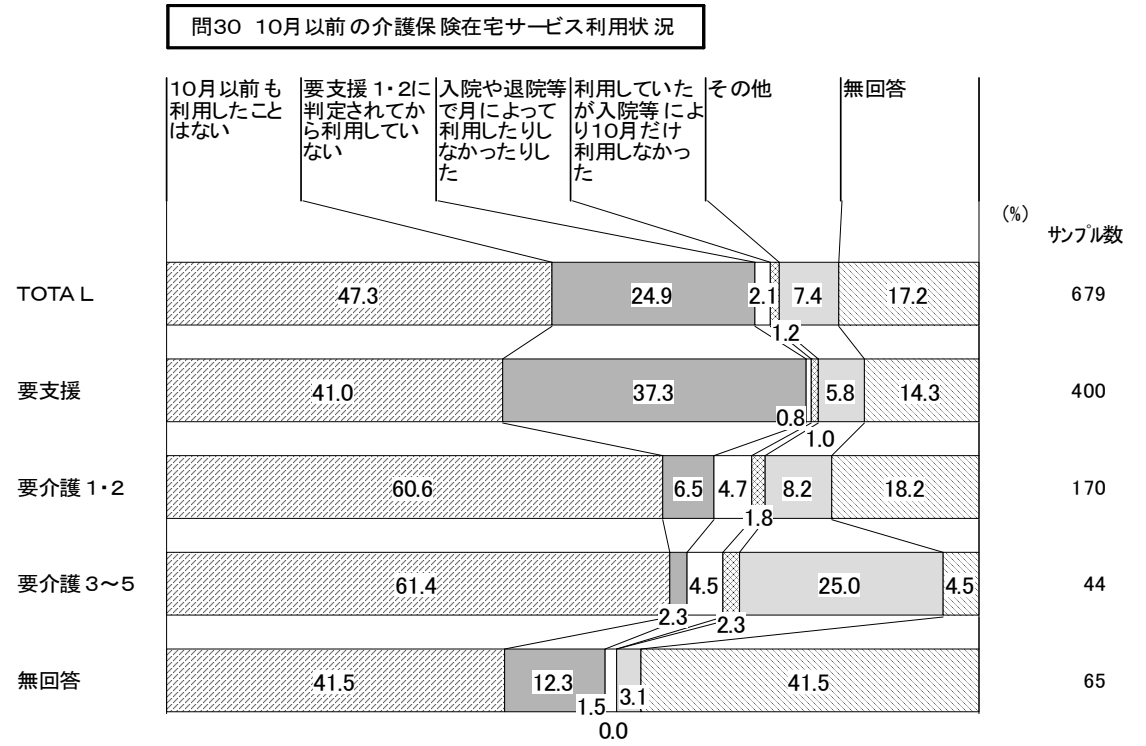
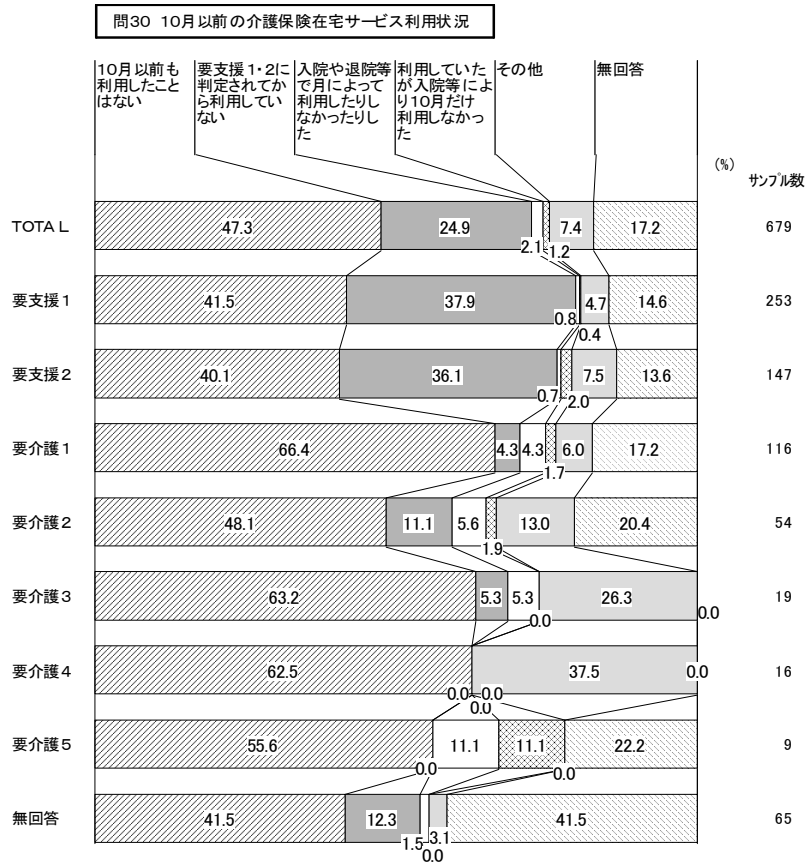
問30-1 上限まで利用していない理由(○は2つまで)



(12) 平成 25 年 10 月以前の在宅サービス利用状況、未利用の理由

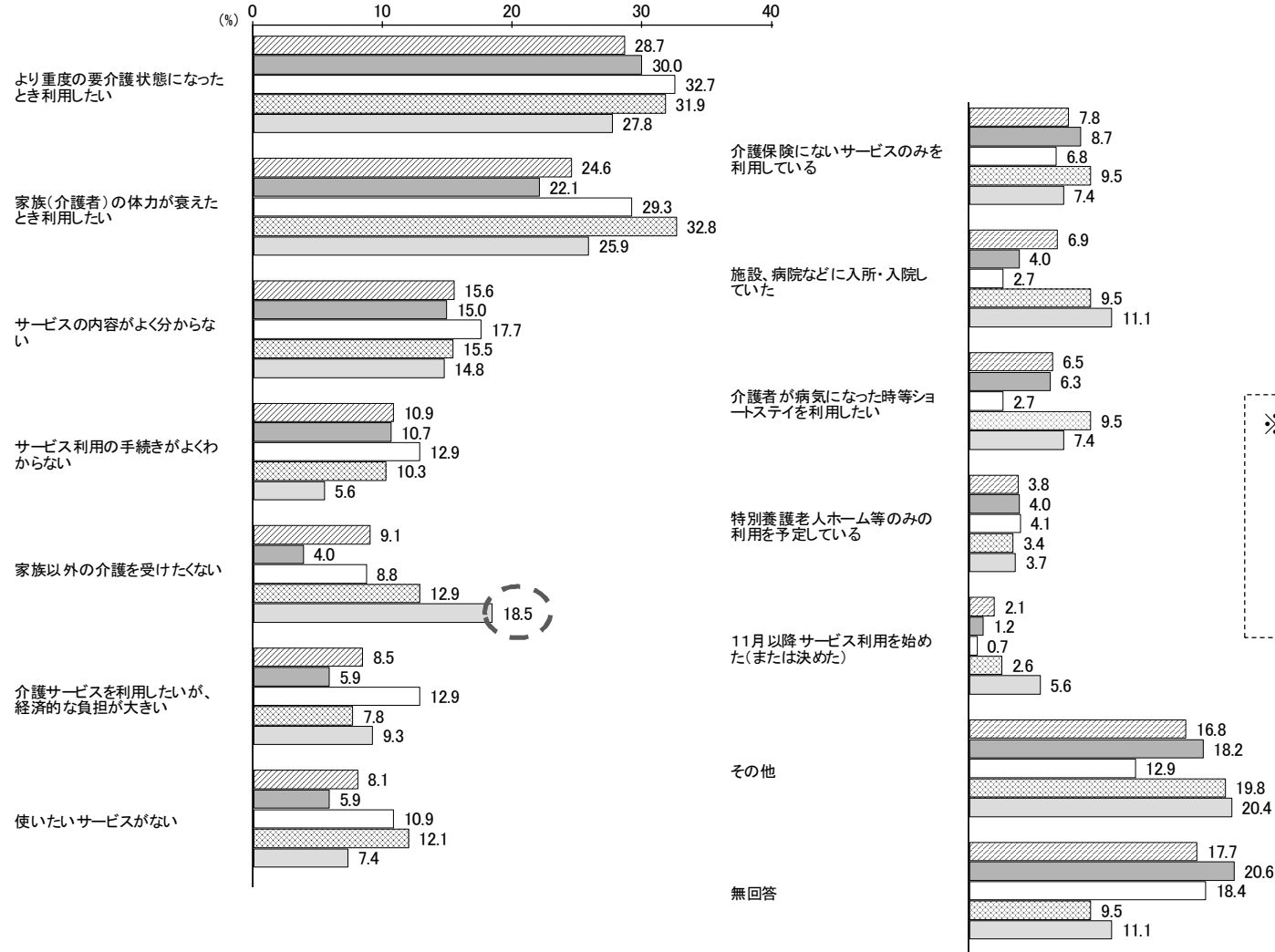
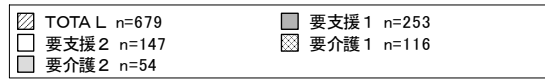
- 未利用者の平成 25 年 10 月以前の在宅サービス利用状況については、軽度者（要介護 1・2）の 60.6%、中・重度者（要介護 3～5）の 61.4%は「(平成 25 年) 10 月以前も利用したことはない」となっている。
要支援では、41.0%が「(平成 25 年) 10 月以前も利用したことはない」となっている。また 37.3%が「要支援 1・2 に判定されてから利用していない」となっている。
- 未利用の理由については、「より重度の要介護状態になったとき利用したい」が 28.7%、「家族（介護者）の体力が衰えたとき利用したい」が 24.6%となっている。
また「サービスの内容がよくわからない」が 15.6%、「サービス利用の手続きがよくわからない」が 10.9%となっており、サービス利用促進のための情報提供が必要な状況と思われる。
- 介護度別に未利用の理由をみると、「家族以外の介護を受けたくない」が、要介護 2 で 18.5%となっており、未利用者全体の回答割合を上回っている。
中・重度者（要介護 3～5）の回答割合をみると、「家族以外の介護を受けたくない」が 20.5%、「施設、病院などに入所・入院していた」が 34.1%となっており、要支援の回答割合を大きく上回っている。

(サービス未利用者)



(サービス未利用者)

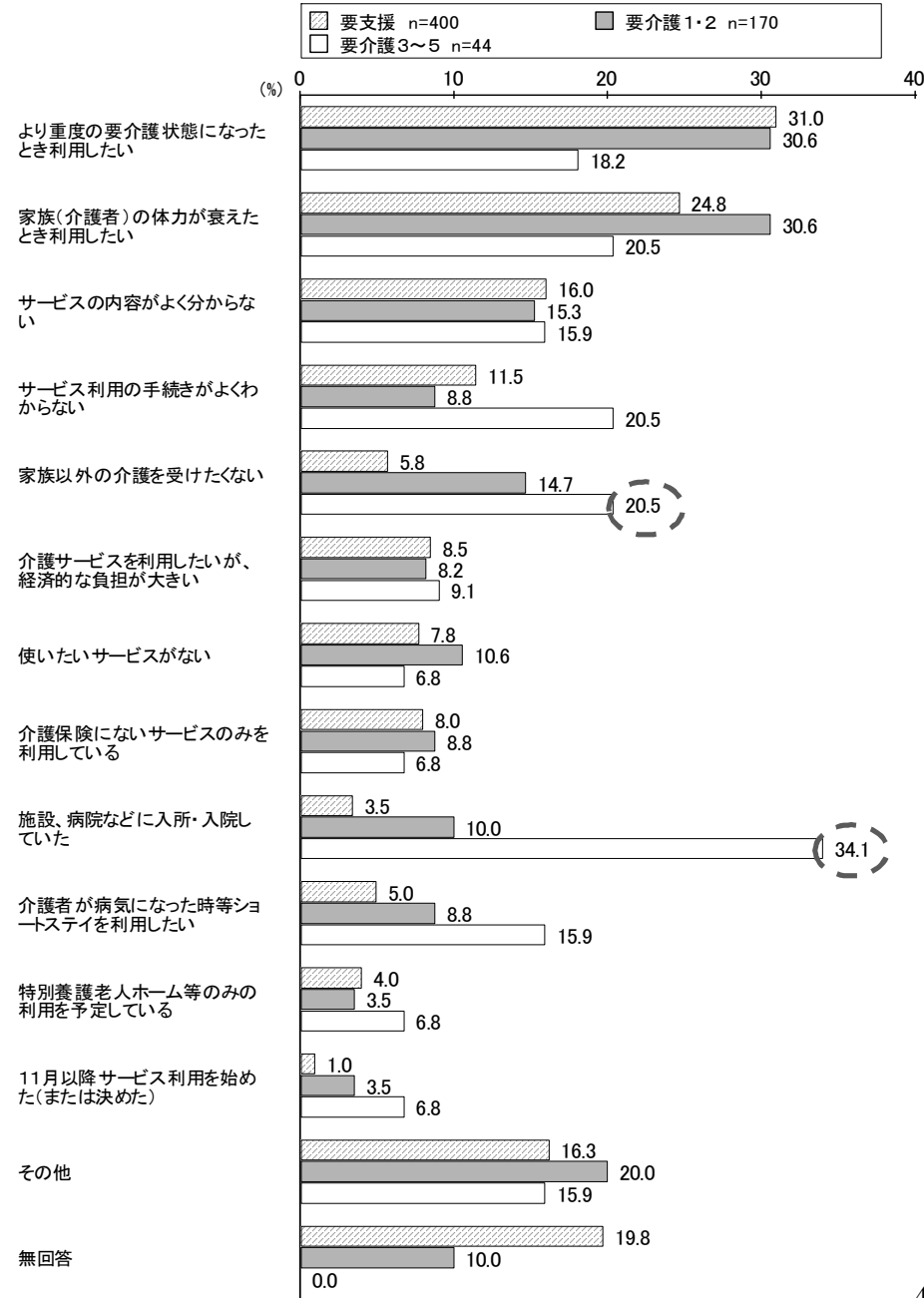
問3 1 介護保険サービスを利用しなかった理由
(複数回答)



※ 要介護3、要介護4、要介護5はそれぞれサンプル数が少数のため(「要介護3」n=19、「要介護4」n=16、「要介護5」n=9)、次ページ図にて「要介護3~5」のグループで表示

(サービス未利用者)

問31 介護保険サービスを利用しなかった理由(複数回答)

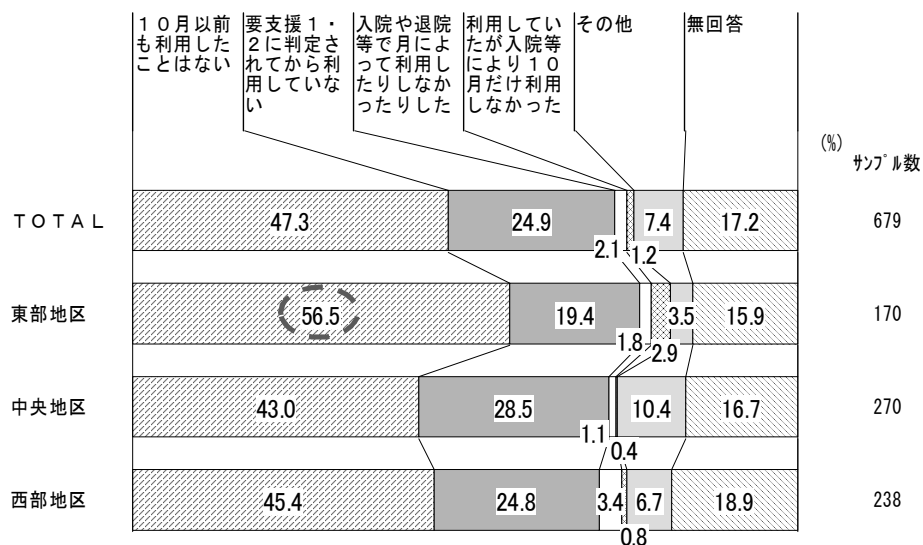


【地区別】

(サービス未利用者)

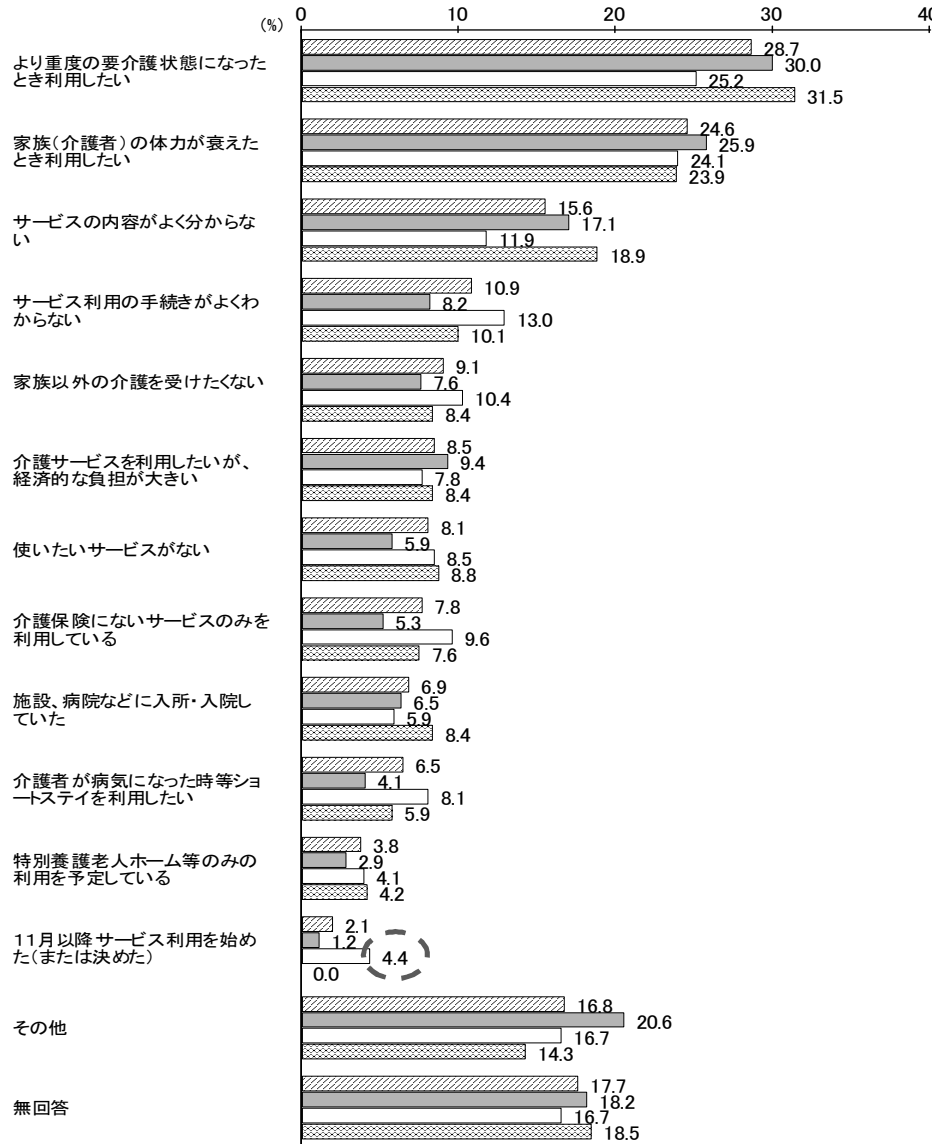
- 未利用者の状況について、地区別にみると、東部地区では56.5%が「(平成25年)10月以前も利用したことはない」となっている。
- 介護保険サービスの未利用の理由については、「(平成25年)11月以降サービス利用を始めた(または決めた)」は中央地区で4.4%とやや多くなっている以外は各地区とも回答者全体の割合との大きな違いはみられない。

問30 10月以前の介護保険在宅サービス利用状況



問31 介護保険サービスを利用しなかった理由(複数回答)

TOTAL n=679 東部地区 n=170
中央地区 n=270 西部地区 n=238



(13) 地域密着型サービス利用者について

○ 地域密着型各種サービスの利用状況については、下表のとおりである。

回答数の最も多いものは「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」で利用割合は1.5%（回答者総数742名に対する利用割合。p36表参照）となっている。
各サービス利用者の性・年齢別構成をみると、男女とも後期高齢者利用が主となっている。

（上段：回答者数、下段：構成比%）

	TOTAL	男性・後 期高齢者	女性・前 期高齢者	女性・後 期高齢者
特定施設入居者 生活介護(有料老 人ホーム等)	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
定期巡回・随時対 応型訪問介護看護	11 100.0	4 36.4	0 0.0	7 63.6
夜間対応型訪問 介護	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
認知症対応型通 所介護	6 100.0	2 33.3	1 16.7	3 50.0
小規模多機能型 居宅介護	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
認知症対応型共 同生活介護(グ ループホーム)	3 100.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7
地域密着型特定 施設入居者生活 介護	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
地域密着型介護 老人福祉施設入 所者生活介護	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

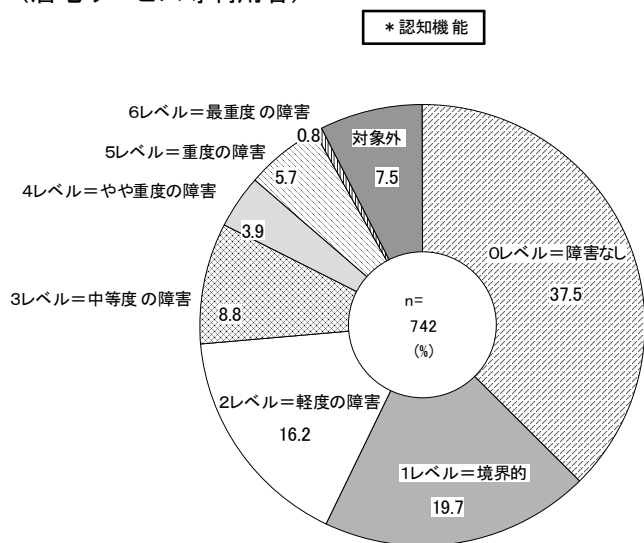
※ 本調査結果では男性前期高齢者の利用は、みられない。

(14) 認知症について

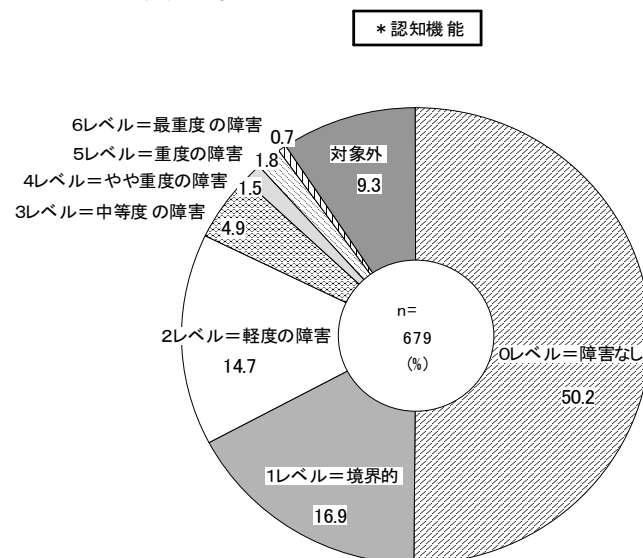
① 認知機能障害程度分布

- 認知機能障害程度分布については、利用者では中等度以上の障害を有する割合は19.2%、未利用者では8.9%となっている。高齢者一般では、中等度以上の障害を有する割合は0.8%と少数である。一方、「境界的」割合は7.9%となっている。いわゆる元気高齢者の約8%に認知機能障害のおそれのある高齢者が該当していることがわかる。

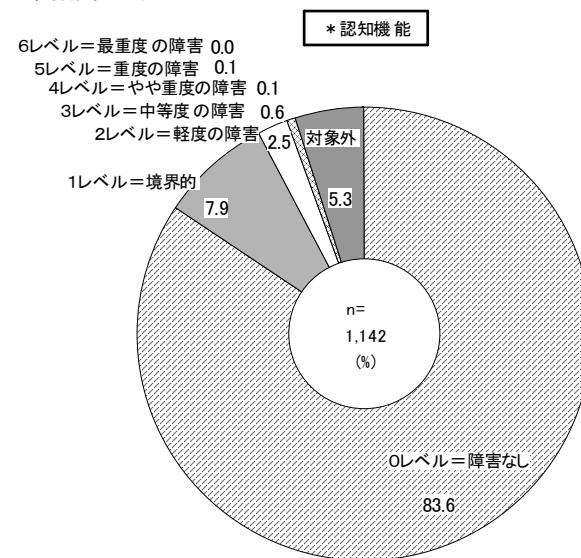
(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)



(高齢者一般)



※ 認知機能障害程度分布の集計プロセスは、次ページのとおりである。(問番号は高齢者一般)

○ 認知機能尺度 CPS (Cognitive Performance Scale)

認知機能障害について、「日常意志決定を行うための認知能力」、「自分を理解させることができる能力」、「短期記憶」、「食事の自己動作」に関する各回答パターンにより、「0＝障害なし」～「6＝最重度の障害」までの7段階で区分する。7段階算出のフローは次のとおりである。

問21 あなた（あて名ご本人）は、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか。（○はひとつ） ←「日常意志決定を行うための認知能力」

- 1. 困難なくできる
- 2. いくらか困難であるが、できる
- 3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要

4. ほとんど判断できない

問20 あなたは5分前のことが思い出せますか。（○はひとつ） ←「短期記憶」

- 2. 思い出せない

問21 あなた（あて名ご本人）は、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか。（○はひとつ）

- 2. いくらか困難であるが、できる
- 3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要

問22 あなた（あて名ご本人）は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。（○はひとつ） ←「自分を理解させることができる能力」

- 2. いくらか困難であるが、伝えられる
- 3. あまり伝えられない
- 4. ほとんど伝えられない

2項目以上該当

問21 あなた（あて名ご本人）は、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか。（○はひとつ）

- 3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要

問22 あなた（あて名ご本人）は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。（○はひとつ）

- 3. あまり伝えられない
- 4. ほとんど伝えられない

該当なし

1項目該当

2項目該当

問23 あなた（あて名ご本人）は、食事は自分で食べられますか。（○はひとつ） ←「食事の自己動作」

- 1. 自分で食べられる
- 2. おかずを切ってもらなど介助があればできる

- 3. 自分では食べられない

該当なし

1項目該当

0レベル
障害なし

1レベル
境界的

2レベル
軽度の
障害

3レベル
中等度の
障害

4レベル
やや重度
の障害

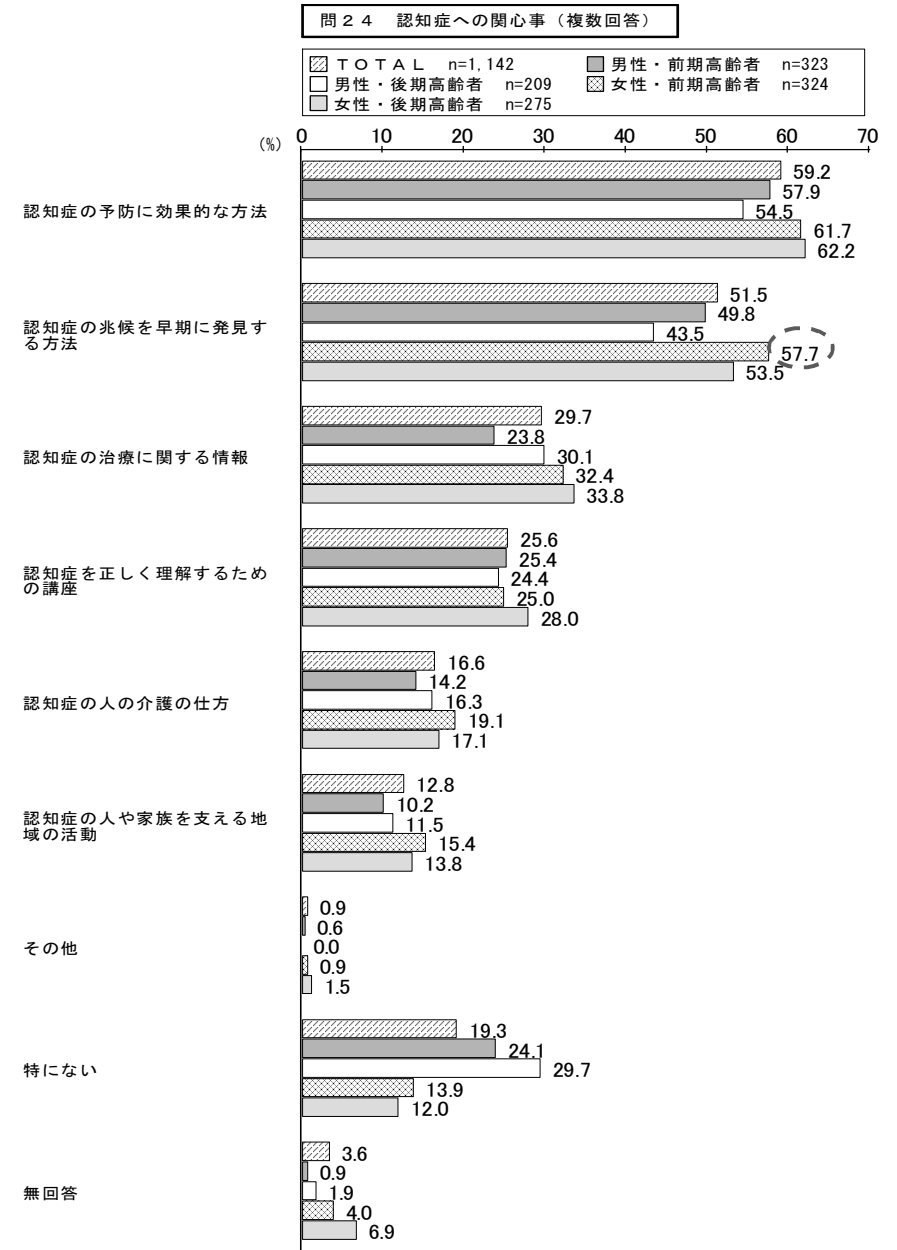
5レベル
重度の
障害

6レベル
最重度の
障害

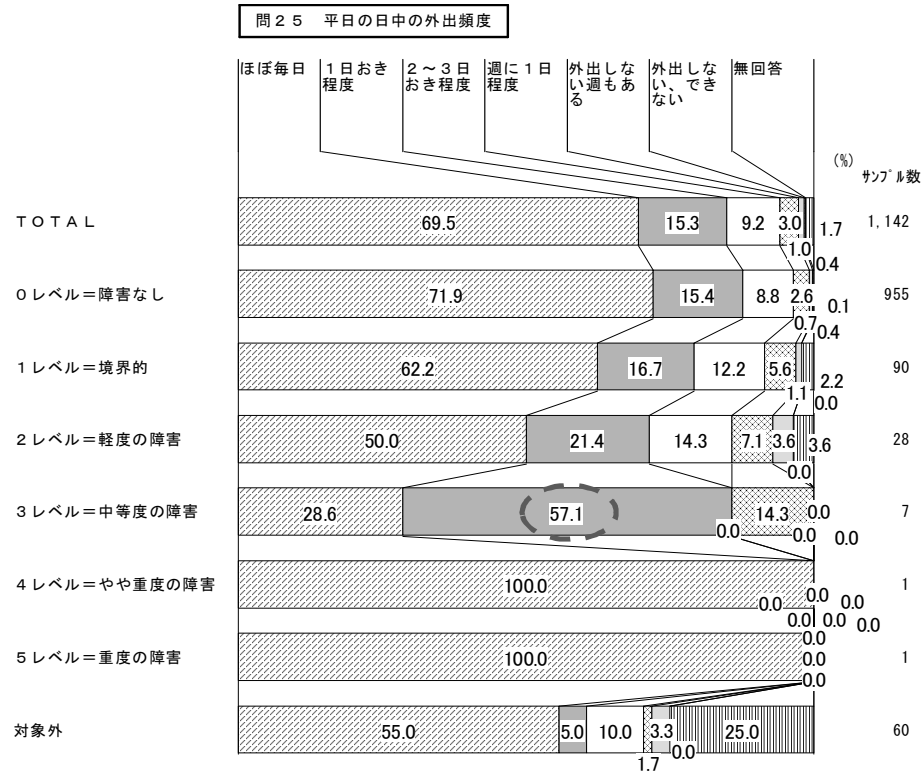
② 認知症への関心

(高齢者一般)

- 高齢者一般における認知症への関心事については、「認知症の予防に効果的な方法」が59.2%で最も多く、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が51.5%となっている。
- 性・年齢別にみると、「認知症の兆候を早期に発見する方法」について、女性前期高齢者は57.7%と、回答者全体に比べて高くなっている。



③ 日中の外出頻度（認知機能障害程度別）



(高齢者一般)

○ 高齢者一般の日中の外出頻度について、認知機能障害程度別にみると、重度（レベル高）ほど外出頻度が低下する傾向がみられる。

「0レベル=障害なし」層との比較では、「3レベル=中等度の障害」の57.1%が「1日おき程度」となっており、回答者全体の割合に比べて高い。

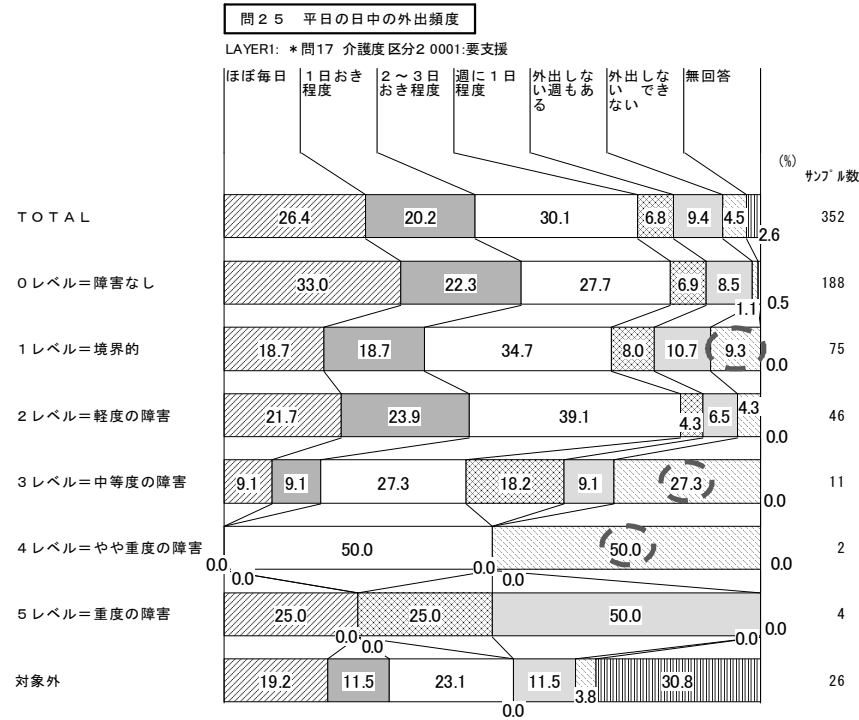
問25 平日の日中の外出頻度

REPORT. NO:0083	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7
1 段目 度数		ほぼ毎日	1日おき程度	2～3日おき程度	週に1日程度	外出しない週もある	外出しない、できない	無回答
2 段目 横%								
0001: *認知機能								
0) TOTAL	1,142	794	175	105	34	11	4	18
	100.0	69.5	15.3	9.2	3.0	1.0	0.4	1.7
1) 0レベル=障害なし	955	687	147	84	25	7	4	11
	100.0	71.9	15.4	8.8	2.6	0.7	0.4	1.1
2) 1レベル=境界的	90	56	15	11	5	1	0	3
	100.0	62.2	16.7	12.2	5.6	1.1	0.0	2.2
3) 2レベル=軽度の障害	28	14	6	4	2	1	0	3
	100.0	50.0	21.4	14.3	7.1	3.6	0.0	3.6
4) 3レベル=中等度の障害	7	2	5	0	1	0	0	0
	100.0	28.6	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
5) 4レベル=やや重度の障害	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6) 5レベル=重度の障害	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8) 対象外	60	33	3	6	1	3	0	15
	100.0	55.0	5.0	10.0	1.7	3.3	0.0	25.0

「0レベル=障害なし」との比較

:○は有意に高い △は有意に低い

(居宅サービス等利用者：要支援)



(居宅サービス等利用者：要支援)

○ 利用者、未利用中の要支援者における日中の外出頻度について、認知機能障害程度別にみると、重度（レベル高）ほど、利用者では「外出しない、できない」とする割合が、「0レベル=障害なし」層に比べて高くなっている。

未利用者では、「2～3日おき程度」の割合が「2レベル=軽度の障害」で37.0%と、「0レベル=障害なし」層に比べて高くなっている。

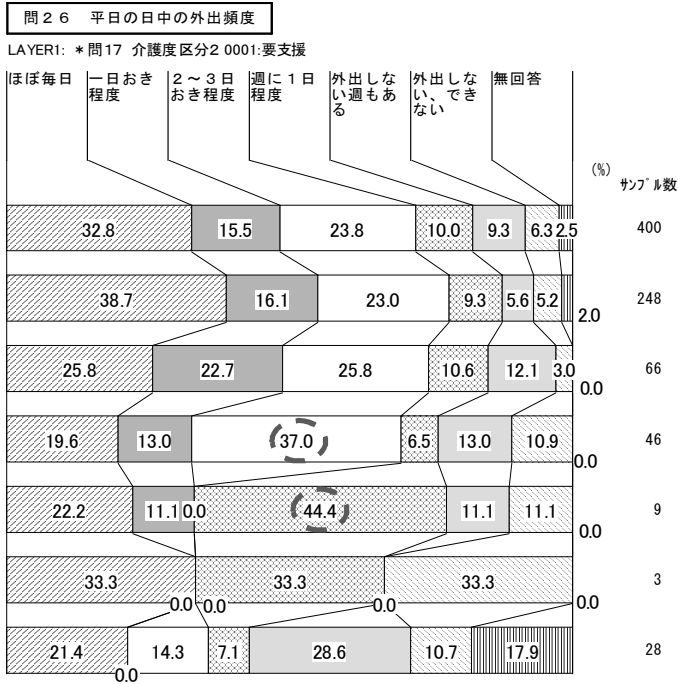
問25 平日の日中の外出頻度

REPORT. NO:0081	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7
1 段目 度数		ほぼ毎日	1日おき程度	2～3日おき程度	週に1日程度	外出しない週もある	外出しないできない	無回答
2 段目 横%								
0004: *認知機能								
LAYER1: *問17 介護度区分2 <0001> 要支援								
0) TOTAL	352	93	71	106	24	33	16	9
	100.0	26.4	20.2	30.1	6.8	9.4	4.5	2.6
1) 0レベル=障害なし	188	62	42	52	13	16	2	1
	100.0	33.0	22.3	27.7	6.9	8.5	1.1	0.5
2) 1レベル=境界的	75	14	14	26	6	8	5	0
	100.0	18.7	18.7	34.7	8.0	10.7	9.3	0.0
3) 2レベル=軽度の障害	46	10	11	18	2	3	2	0
	100.0	21.7	23.9	39.1	4.3	6.5	4.3	0.0
4) 3レベル=中等度の障害	11	1	1	3	2	1	3	0
	100.0	9.1	9.1	27.3	18.2	9.1	27.3	0.0
5) 4レベル=やや重度の障害	2	0	0	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
6) 5レベル=重度の障害	4	1	0	0	1	3	0	0
	100.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
8) 対象外	26	5	3	6	0	3	1	3
	100.0	19.2	11.5	23.1	0.0	11.5	3.8	30.8

「0レベル=障害なし」との比較

:○は有意に高い △は有意に低い

(サービス未利用者：要支援)



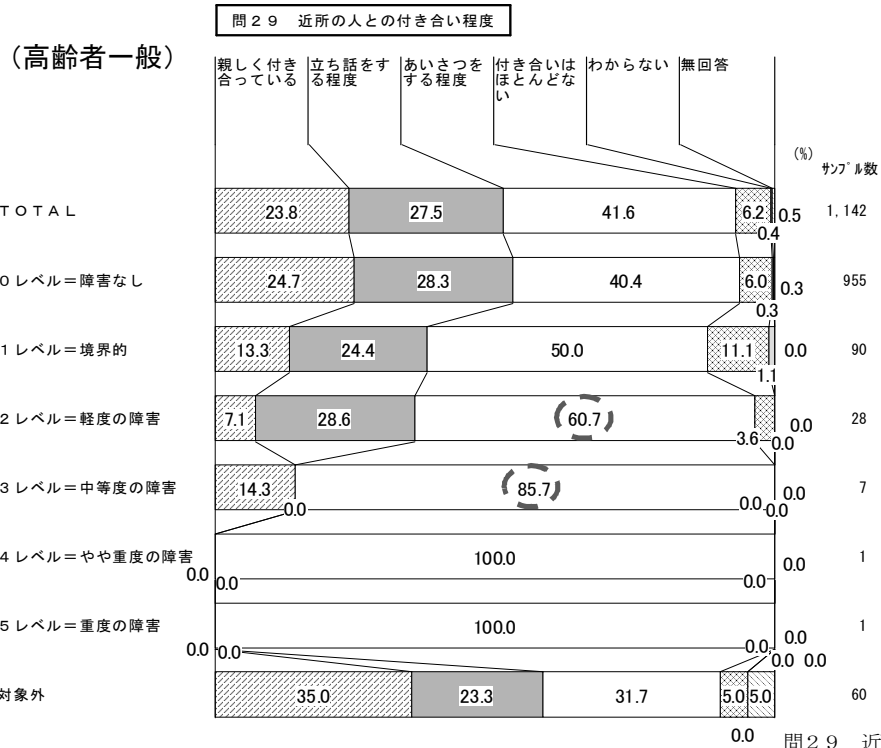
問26 平日の日中の外出頻度

REPORT. NO:0082	TOTAL	1 ほぼ毎日	2 1日おき程度	3 2~3日おき程度	4 週に1日程度	5 外出しない週もある	6 外出しない、できない	7 無回答
1 1 段目 度数								
2 2 段目 横%								
0002: *認知機能								
LAYER1: *問17 介護度区分2 <0001>要支援								
0) TOTAL	400 100.0	131 32.8	62 15.5	95 23.8	40 10.0	37 9.3	25 6.3	10 2.5
1) 0レベル=障害なし	248 100.0	96 38.7	40 16.1	57 23.0	23 9.3	14 5.6	13 5.2	5 2.0
2) 1レベル=境界的	66 100.0	17 25.8	15 22.7	17 25.8	7 10.6	8 12.1	2 3.0	0 0.0
3) 2レベル=軽度の障害	46 100.0	9 19.6	13.0 37.0	6 13.0	3 6.5	6 13.0	5 10.9	0 0.0
4) 3レベル=中等度の障害	9 100.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	4 44.4	1 11.1	1 11.1	0 0.0
6) 5レベル=重度の障害	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 33.3	0 0.0	0 33.3	0 0.0
8) 対象外	28 100.0	6 21.4	0 0.0	4 14.3	2 7.1	2 28.6	3 10.7	5 17.9

「0レベル=障害なし」との比較

:○は有意に高い △は有意に低い

④ 隣近所との付き合いの程度（認知機能障害程度別）



○ 高齢者一般の隣近所との付き合いの程度について、認知機能障害程度別にみると、重度（レベル高）ほど付き合いの程度が低くなる傾向がみられる。
「あいさつをする程度」については、「2レベル=軽度の障害」で60.7%となっており、「0レベル=障害なし」層に比べて高い。

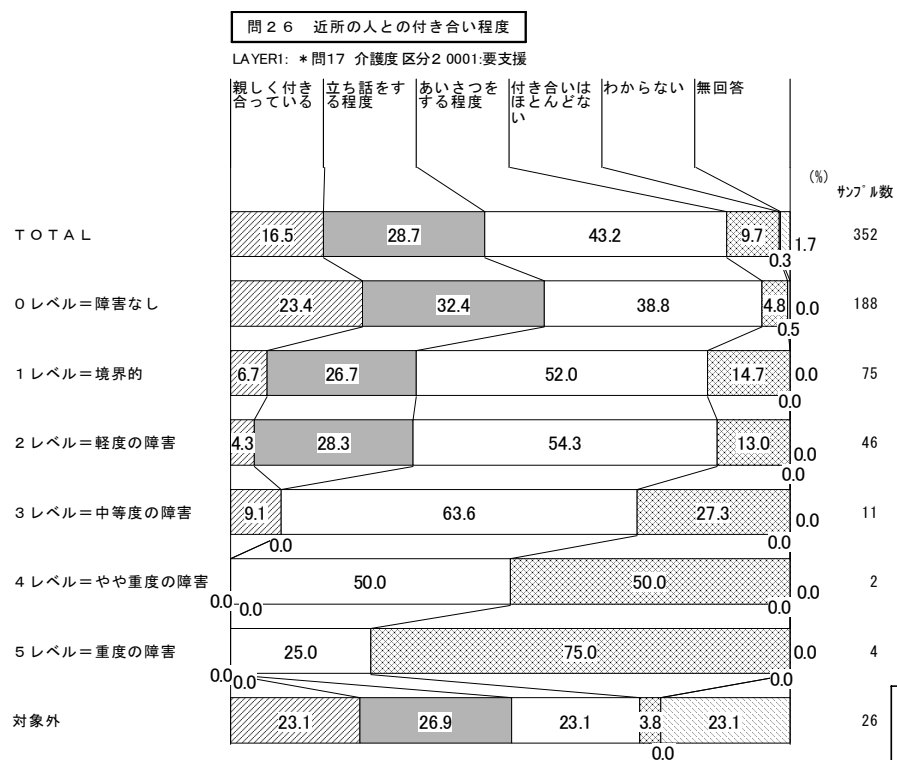
問 2 9 近所の人との付き合い程度

REPORT. NO:0090	TOTAL	1	2	3	4	5	6
1 段目 度数		親しく付き合っている	立ち話をする程度	あいさつをする程度	付き合いはほとんどない	わからない	無回答
2 段目 横%							
0001: * 認知機能							
0) TOTAL	1,142	272	314	475	71	4	6
	100.0	23.8	27.5	41.6	6.2	0.4	0.5
1) 0レベル=障害なし	955	236	270	386	57	3	3
	100.0	24.7	28.3	40.4	6.0	0.3	0.3
2) 1レベル=境界的	90	12	22	45	10	1	0
	100.0	13.3	24.4	50.0	11.1	1.1	0.0
3) 2レベル=軽度の障害	28	2	8	17	1	0	0
	100.0	7.1	28.6	60.7	3.6	0.0	0.0
4) 3レベル=中等度の障害	7	1	0	6	0	0	0
	100.0	14.3	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0
5) 4レベル=やや重度の障害	1	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
6) 5レベル=重度の障害	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
8) 対象外	60	21	14	19	3	0	5
	100.0	35.0	23.3	31.7	5.0	0.0	5.0

「0レベル=障害なし」との比較

:○は有意に高い △は有意に低い

(居宅サービス等利用者：要支援)



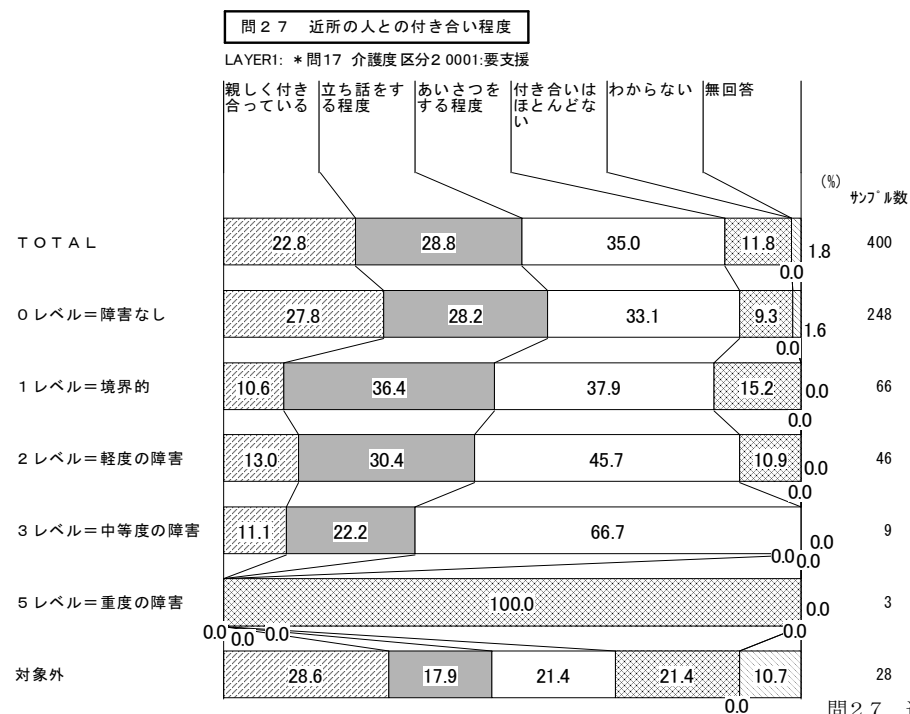
「0レベル=障害なし」との比較
 :○は有意に高い △は有意に低い

- 利用者、未利用者の要支援における隣近所との付き合いの程度について、認知機能障害程度別にみると、利用者については、「付き合いはほとんどない」とする割合が重度（レベル高）ほど増える傾向となっている。
 未利用者では、明確な傾向はみられない。

問 2 6 近所の人との付き合い程度

REPORT. NO:0084	TOTAL	1	2	3	4	5	6
1 段目 度数	2 段目 横%	親しく付き合っている	立ち話をする程度	あいさつをする程度	付き合いはほとんどない	わからない	無回答
0004: *認知機能							
LAYER1: *問17 介護度区分2 <0001> 要支援							
0) TOTAL	352 100.0	58 16.5	101 28.7	152 43.2	39 9.7	1 0.3	6 1.7
1) 0レベル=障害なし	188 100.0	44 23.4	61 32.4	73 38.8	9 4.8	1 0.5	0 0.0
2) 1レベル=境界的	75 100.0	△ 5 6.7	20 26.7	39 52.0	11 14.7	0 0.0	0 0.0
3) 2レベル=軽度の障害	46 100.0	△ 2 4.3	13 28.3	25 54.3	6 13.0	0 0.0	0 0.0
4) 3レベル=中等度の障害	11 100.0	1 9.1	△ 0 0.0	7 63.6	3 27.3	0 0.0	0 0.0
5) 4レベル=やや重度の障害	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
6) 5レベル=重度の障害	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
8) 対象外	26 100.0	6 23.1	7 26.9	6 23.1	1 3.8	0 0.0	6 23.1

(サービス未利用者：要支援)



問27 近所の人との付き合い程度

REPORT. NO:0085	TOTAL	1 親しく付き合っている	2 立ち話をする程度	3 あいさつをする程度	4 付き合いはほとんどない	5 わからない	6 無回答
1 段目 度数	400	91	115	140	47	0	7
2 段目 横%	100.0	22.8	28.8	35.0	11.8	0.0	1.8
0002: *認知機能							
LAYER1: *問17 介護度区分2 <0001>要支援							
0) TOTAL	400	91	115	140	47	0	7
1) 0レベル=障害なし	248	69	70	82	23	0	4
2) 1レベル=境界的	66	7	24	25	10	0	0
3) 2レベル=軽度の障害	46	6	14	21	5	0	0
4) 3レベル=中等度の障害	9	1	2	6	0	0	0
6) 5レベル=重度の障害	3	0	0	0	3	0	0
8) 対象外	28	8	5	6	5	0	4
	100.0	28.6	17.9	21.4	21.4	0.0	10.7

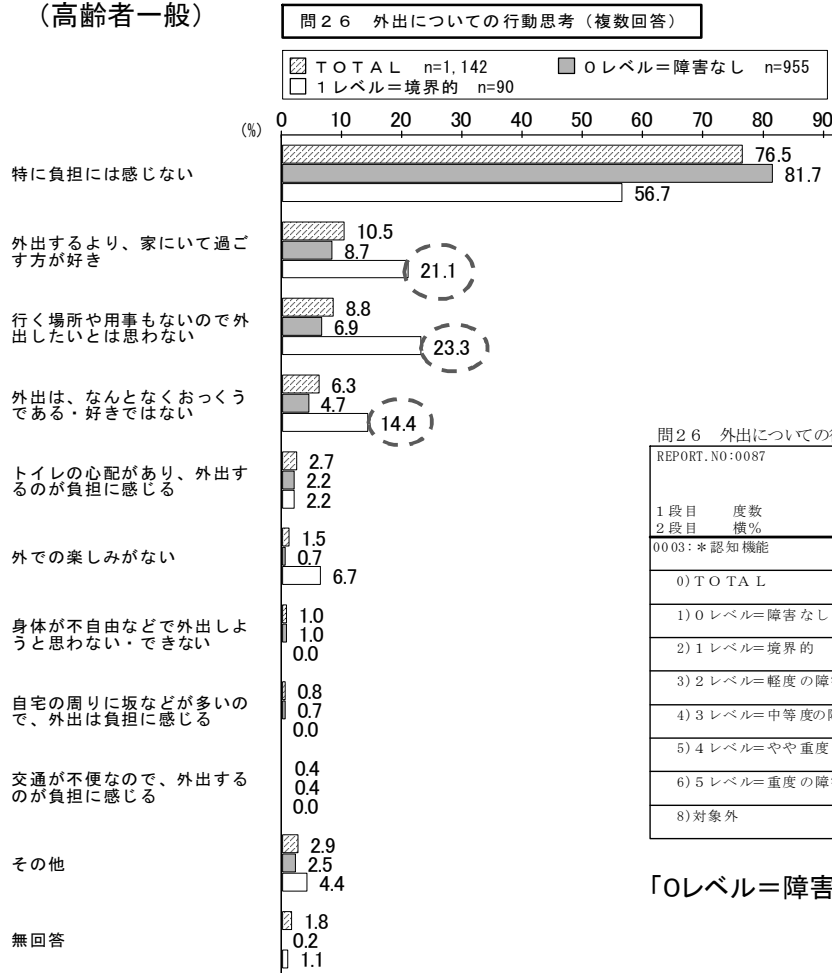
「0レベル=障害なし」との比較

:○は有意に高い △は有意に低い

⑤ 外出について（認知機能障害程度別）

○ 高齢者一般の外出の考え方について、認知機能障害程度別にみると、「1レベル=境界的」の高齢者では、「0レベル=障害なし」の高齢者に比べて、「外出するより、家にいて過ごす方が好き」、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」、「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」とする回答割合が高くなっている。

(高齢者一般)



問26 外出についての行動思考（複数回答）

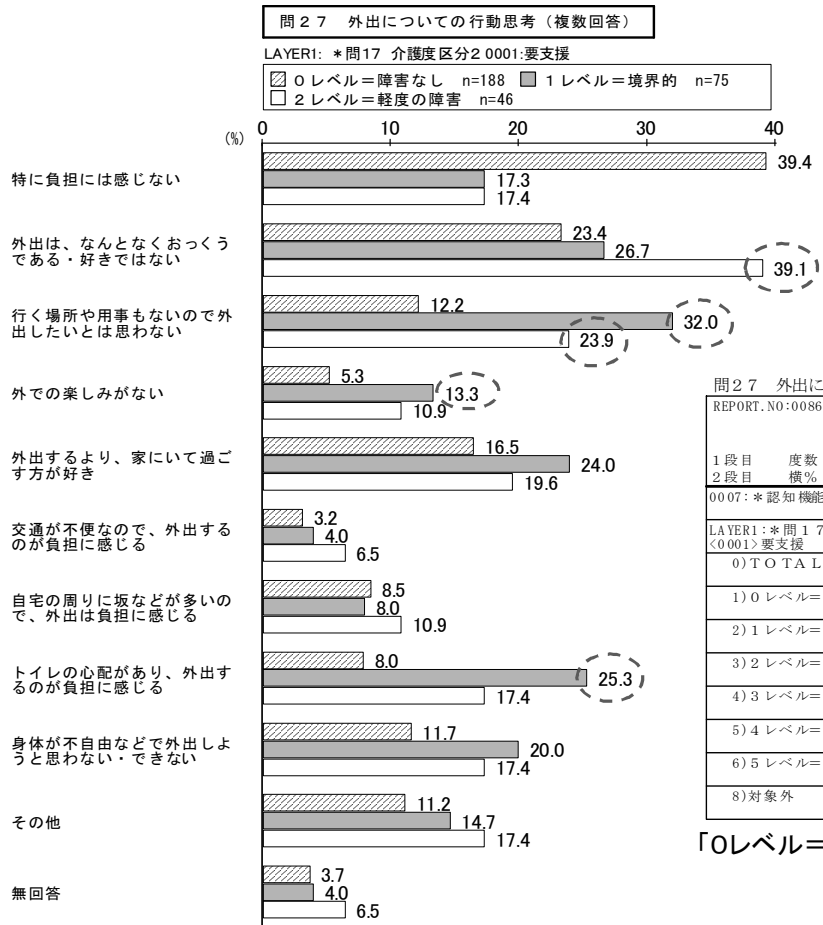
REPORT.NO:0087	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		特に負担には感じない	外出は、なんとなくおっくうである・好きではない	行く場所や用事もないので外出したいとは思わない	外での楽しみがない	外出するより、家にいて過ごす方が好き	交通が不便なので、外出するのが負担に感じる	自宅の周りに坂などが多いので、外出は負担に感じる	トイレの心配があり、外出するのが負担に感じる	身体が不自由などで外出しようと思わない・できない	その他	無回答
1 段目 度数												
2 段目 横%												
0003: *認知機能												
0) TOTAL	1,142	874	72	101	17	120	4	9	31	11	33	28
1) 0レベル=障害なし	955	780	45	66	7	83	4	7	21	10	24	2
2) 1レベル=境界的	90	51	15	25	2	21	0	0	2	0	4	1
3) 2レベル=軽度の障害	28	12	25	17	10	28	0	3.6	14	3.6	17	0
4) 3レベル=中等度の障害	7	3	28	28	14	28.6	0	14	0	0	0	0
5) 4レベル=やや重度の障害	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6) 5レベル=重度の障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8) 対象外	60	27	5	7	8	8	0	0	3	0	0	1

「0レベル=障害なし」との比較: ○は有意に高い △は有意に低い

○ 利用者のうち要支援者の外出の考え方について、認知機能障害程度別にみると、「1レベル=境界的」の高齢者では、「0レベル=障害なし」の高齢者に比べて、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」、「外での楽しみがない」、「トイレの心配（失禁など）があり、外出するのが負担に感じる」とする回答割合が高くなっている。

また「2レベル=軽度の障害」の高齢者では、「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」とする回答割合が高くなっている。

(居宅サービス等利用者：要支援)



問27 外出についての行動思考 (複数回答)

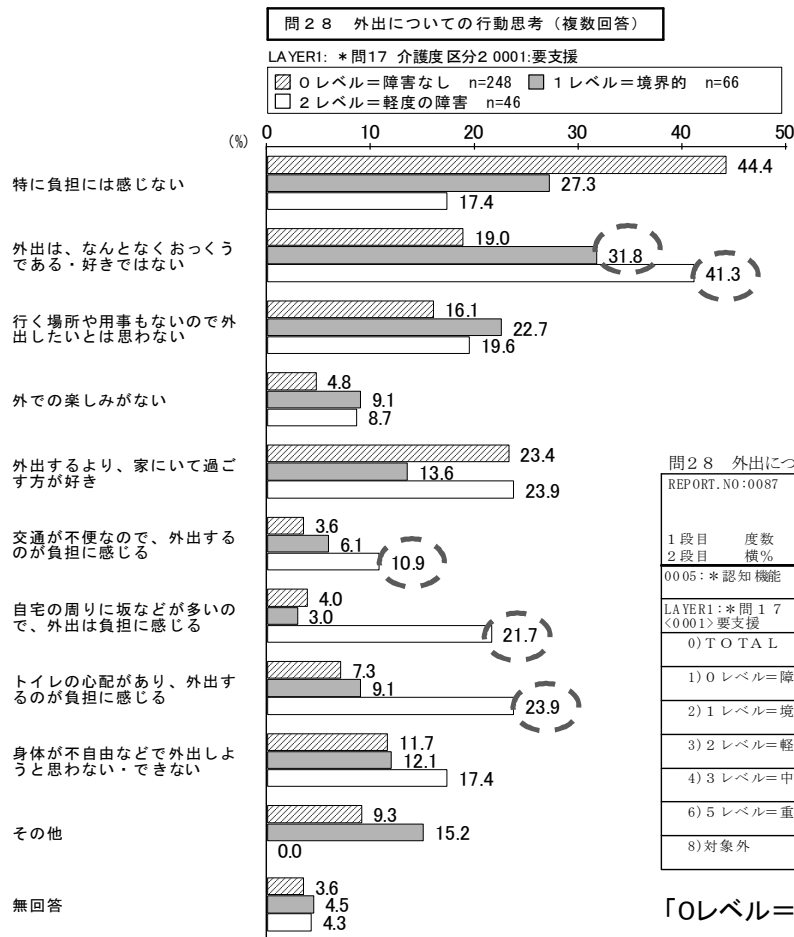
REPORT.NO:0086	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1 段目 度数		特に負担には感じない	外出は、なんとなくおっくうである・好きではない	行く場所や用事もないので外出したいとは思わない	外での楽しみがない	外出するより、家にいて過ごす方が好き	交通が不便なので、外出するのが負担に感じる	自宅の周りに坂などが多いので、外出は負担に感じる	トイレの心配があり、外出するのが負担に感じる	身体が不自由などで外出しようと思わない・できない	その他	無回答
2 段目 横%												
0007:*認知機能												
LAYER1:*問17 介護度区分2 <0001>要支援												
0)TOTAL	352	104	94	68	29	70	14	29	48	51	43	21
1)0レベル=障害なし	188	74	44	23	10	31	6	16	15	22	21	7
2)1レベル=境界的	75	13	20	2	18	3	3	6	18	15	11	3
3)2レベル=軽度の障害	46	8	18	1	5	9	3	5	8	8	8	3
4)3レベル=中等度の障害	11	1	4	4	10.9	19.6	6.5	10.9	17.4	17.4	9.1	6.5
5)4レベル=やや重度の障害	2	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0
6)5レベル=重度の障害	4	1	2	2	1	2	0	1	1	1	0	0
8)対象外	26	7	6	4	0	4	0	0	1	1	2	3

「0レベル=障害なし」との比較:○は有意に高い △は有意に低い

○ 未利用者のうち要支援者の外出の考え方について、認知機能障害程度別にみると、「1レベル=境界的」の高齢者では、「0レベル=障害なし」の高齢者に比べて、「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」とする回答割合が高くなっている。

また「2レベル=軽度の障害」の高齢者では、「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」、「交通が不便なので、外出するのが負担に感じる」、「自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる」、「トイレの心配（失禁など）があり、外出するのが負担に感じる」がそれぞれ高くなっている。

(サービス未利用者：要支援)



問28 外出についての行動思考 (複数回答)

REPORT.NO:0087	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		特に負担には感じない	外出は、なんとなくおっくうである・好きではない	行く場所や用事もないので外出したいとは思わない	外での楽しみがない	外出するより、家にいて過ごす方が好き	交通が不便なので、外出するのが負担に感じる	自宅の周りに坂などが多く、外出は負担に感じる	トイレの心配があり、外出するのが負担に感じる	身体が不自由などで外出しようと思わない・できない	その他	無回答
1 段目 度数												
2 段目 横%												
0005:*認知機能												
LAYER1:*問17 介護度区分2 <0001>要支援												
0)TOTAL	400	142	100	78	26	92	23	30	44	53	37	21
1)0レベル=障害なし	248	110	47	40	12	58	9	10	18	29	23	9
2)1レベル=境界的	66	18	27	15	6	9	4	2	6	8	10	3
3)2レベル=軽度の障害	46	8	18	9	4	11	10	19	23	8	0	2
4)3レベル=中等度の障害	100	17	41	19	8	23	10	21	23	17	0	4
5)4レベル=重度の障害	9	0	0	4	2	5	2	2	2	4	3	1
6)5レベル=重度の障害	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
8)対象外	28	5	7	3	2	8	3	5	5	4	1	0
	100.0	17.9	25.0	35.0	7.1	28.6	10.7	21.0	25.0	14.3	3.6	17.3

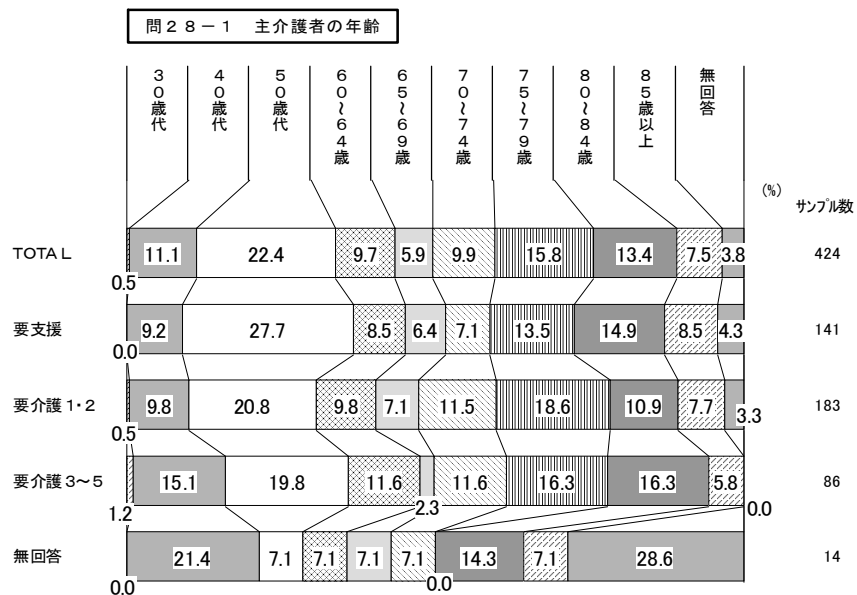
「0レベル=障害なし」との比較:○は有意に高い △は有意に低い

(15) 介護者について

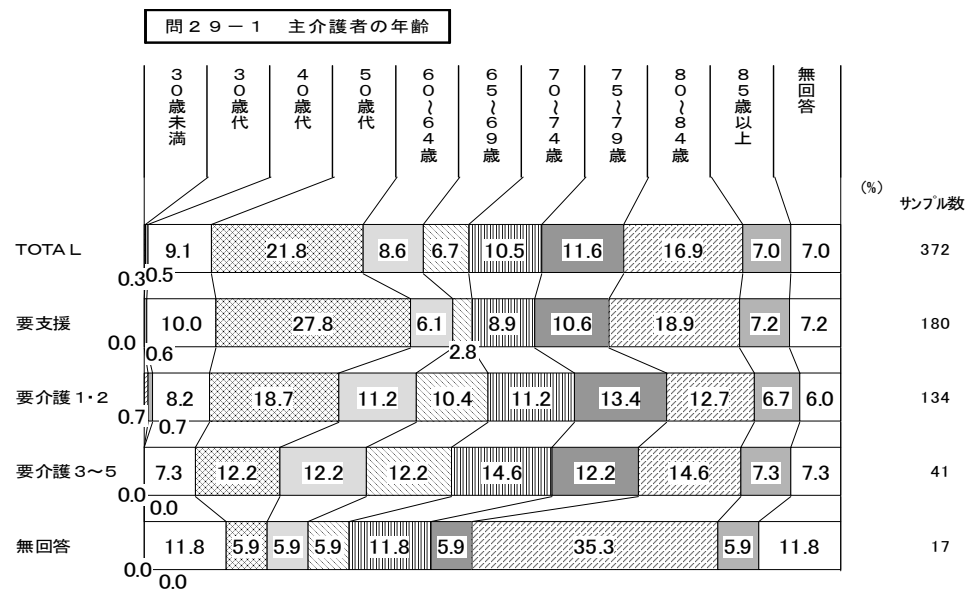
① 介護者年齢

- 介護者年齢分布をみると、利用者の介護者年齢は65歳未満が43.7%、前期高齢者が15.8%、後期高齢者が36.7%となっている。
未利用者の介護者年齢は、65歳未満が40.3%、前期高齢者が17.2%、後期高齢者が35.5%となっている。
- 介護度別にみると、利用者の要支援のうち45.4%は介護者が65歳未満である。また未利用者の要支援のうち44.5%の介護者は65歳未満である。
利用者の中・重度者（要介護3～5）のうち47.7%は介護者が65歳未満である。また未利用者の中・重度者（要介護3～5）のうち31.7%の介護者は65歳未満である。

(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)



② 年齢分布（要介護者年齢とのクロス）

○ 利用者の介護者のうち、「70～74歳」、「75～79歳」、「80～84歳」の介護者は、それぞれ7割以上が75歳以上の要介護高齢者を介護している。未利用者の介護者についても、ほぼ同様の傾向である。

このように、老々介護は、介護をする側、介護を受ける側ともに後期高齢者層を中心とした分布となっている。

		問4 年齢(居宅サービス等利用者) (上段:回答数、下段:構成比%)							
		TOTAL	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
問 2 8 1 主 介 護 者 の 年 齢	TOTAL	424	1	17	44	106	161	93	2
		100.0	0.2	4.0	10.4	25.0	38.0	21.9	0.5
	30歳代	2	0	0	0	1	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	40歳代	47	1	3	11	16	15	1	0
		100.0	2.1	6.4	23.4	34.0	31.9	2.1	0.0
	50歳代	95	0	0	4	15	47	29	0
		100.0	0.0	0.0	4.2	15.8	49.5	30.5	0.0
	60～64歳	41	0	3	1	0	8	28	1
		100.0	0.0	7.3	2.4	0.0	19.5	68.3	2.4
65～69歳	25	0	9	8	4	2	2	0	
	100.0	0.0	36.0	32.0	16.0	8.0	8.0	0.0	
70～74歳	42	0	1	10	20	10	1	0	
	100.0	0.0	2.4	23.8	47.6	23.8	2.4	0.0	
75～79歳	67	0	1	7	32	21	6	0	
	100.0	0.0	1.5	10.4	47.8	31.3	9.0	0.0	
80～84歳	57	0	0	2	11	33	10	1	
	100.0	0.0	0.0	3.5	19.3	57.9	17.5	1.8	
85歳以上	32	0	0	0	5	15	12	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	15.6	46.9	37.5	0.0	
無回答	16	0	0	1	2	9	4	0	
	100.0	0.0	0.0	6.3	12.5	56.3	25.0	0.0	

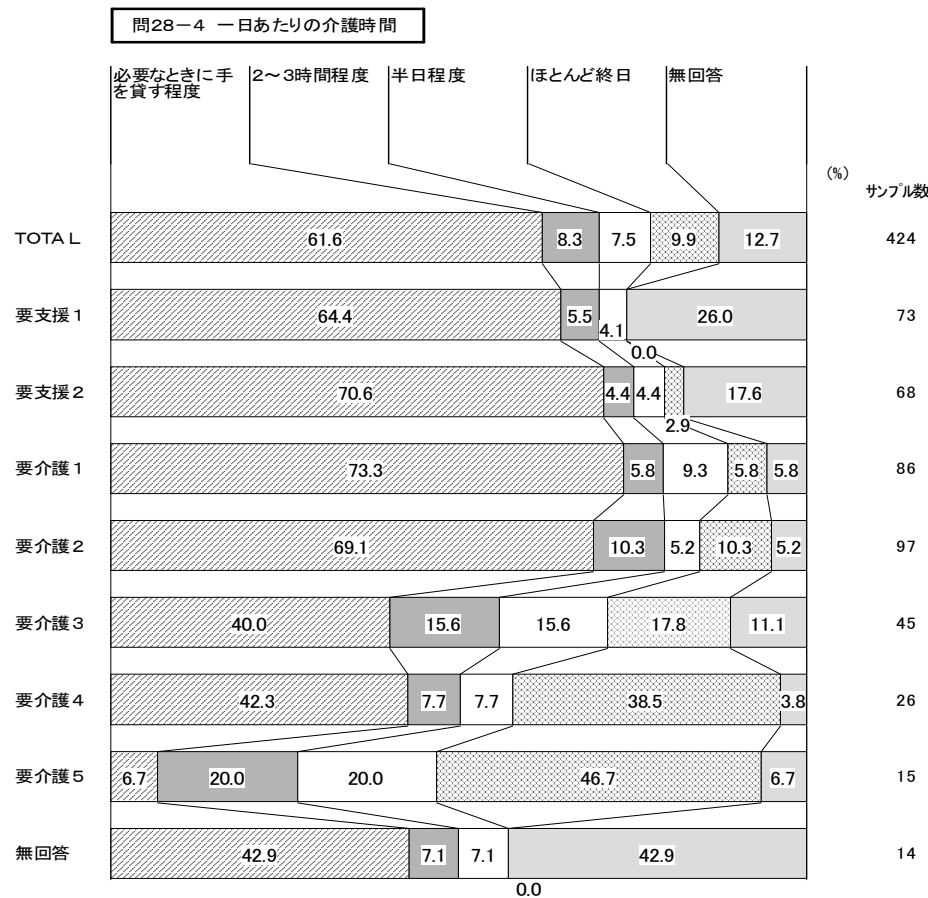
※ 介護者30歳未満は0人

		問4 年齢(サービス未利用者) (上段:回答数、下段:構成比%)						
		TOTAL	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
問 2 9 1 主 介 護 者 の 年 齢	TOTAL	372	11	25	74	122	138	2
		100.0	3.0	6.7	19.9	32.8	37.1	0.5
	30歳未満	1	0	0	0	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	30歳代	2	0	0	1	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	40歳代	34	1	3	12	11	7	0
		100.0	2.9	8.8	35.3	32.4	20.6	0.0
	50歳代	81	1	3	5	33	38	1
		100.0	1.2	3.7	6.2	40.7	46.9	1.2
60～64歳	32	2	0	1	3	26	0	
	100.0	6.3	0.0	3.1	9.4	81.3	0.0	
65～69歳	25	6	4	2	1	12	0	
	100.0	24.0	16.0	8.0	4.0	48.0	0.0	
70～74歳	39	1	8	17	8	5	0	
	100.0	2.6	20.5	43.6	20.5	12.8	0.0	
75～79歳	43	0	5	16	17	5	0	
	100.0	0.0	11.6	37.2	39.5	11.6	0.0	
80～84歳	63	0	1	14	30	18	0	
	100.0	0.0	1.6	22.2	47.6	28.6	0.0	
85歳以上	26	0	0	0	9	16	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	34.6	61.5	3.8	
無回答	26	0	1	6	9	10	0	
	100.0	0.0	3.8	23.1	34.6	38.5	0.0	

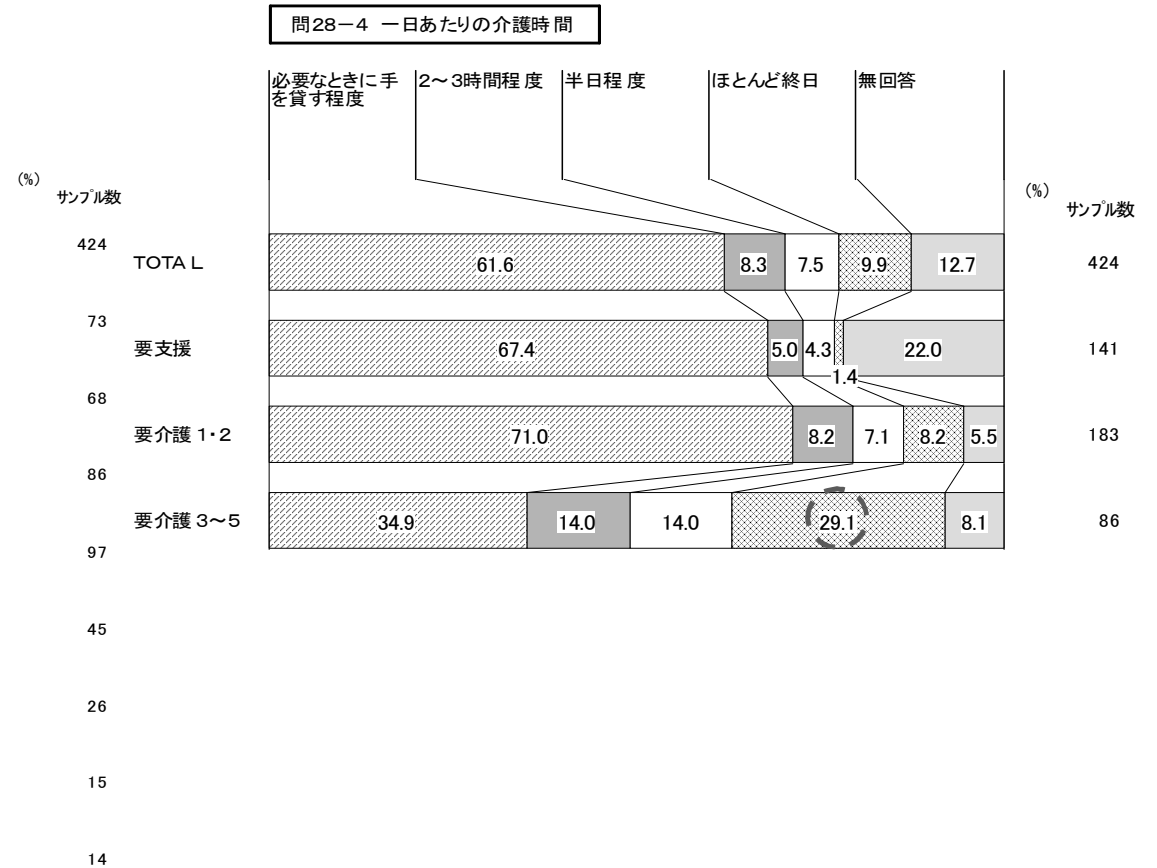
③ 介護時間

○ 一日の介護時間については、要支援～要介護2までは大きな違いはみられないが、要介護3以降では「2～3時間程度」「半日程度」「ほとんど終日」の割合が増えている。利用者では中・重度者（要介護3～5）の29.1%の介護者はほとんど終日の介護となっている。未利用者においても同様の傾向となっている。

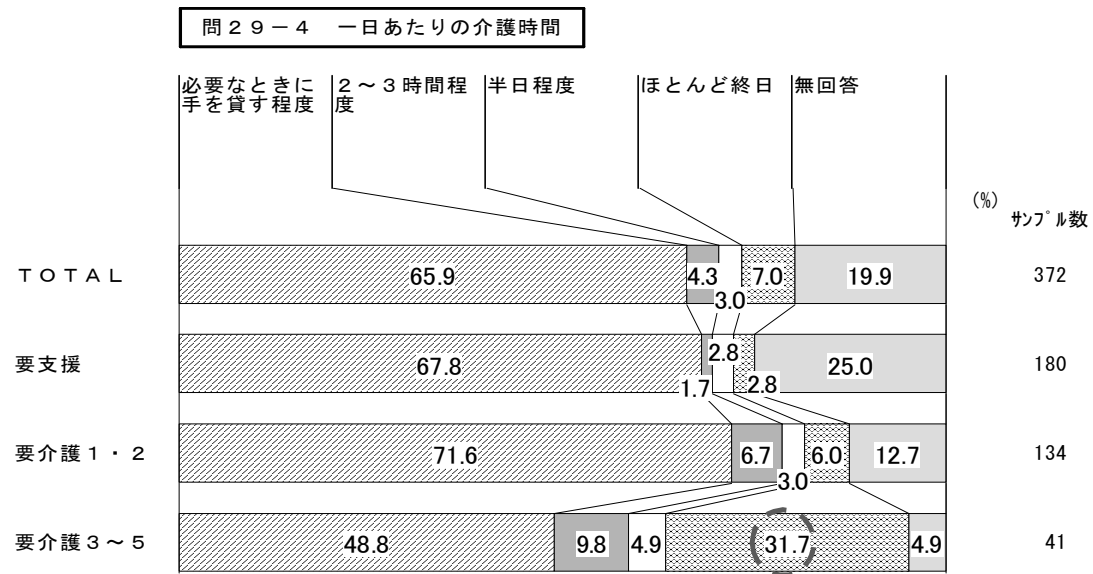
（居宅サービス等利用者）



（居宅サービス等利用者）



(サービス未利用者)



(16) 在宅介護の困難な点や負担となっていること

(居宅サービス等利用者)

○ 在宅での介護の困難な点や負担となっていることについては、介護度が高いほど、回答割合が多くなる傾向がみられる。「精神的なストレスがたまっている」、「日中、家を空けるのを不安に感じる」、「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」、「本人に現在の状況を理解してもらうのが難しい」、「自分の自由になる時間が持てない」、「本人の言動が理解できないことがある」など、介護者自身の心身の健康面への影響をはじめ、介護の仕方、意思疎通などについての回答割合が多くあげられている。

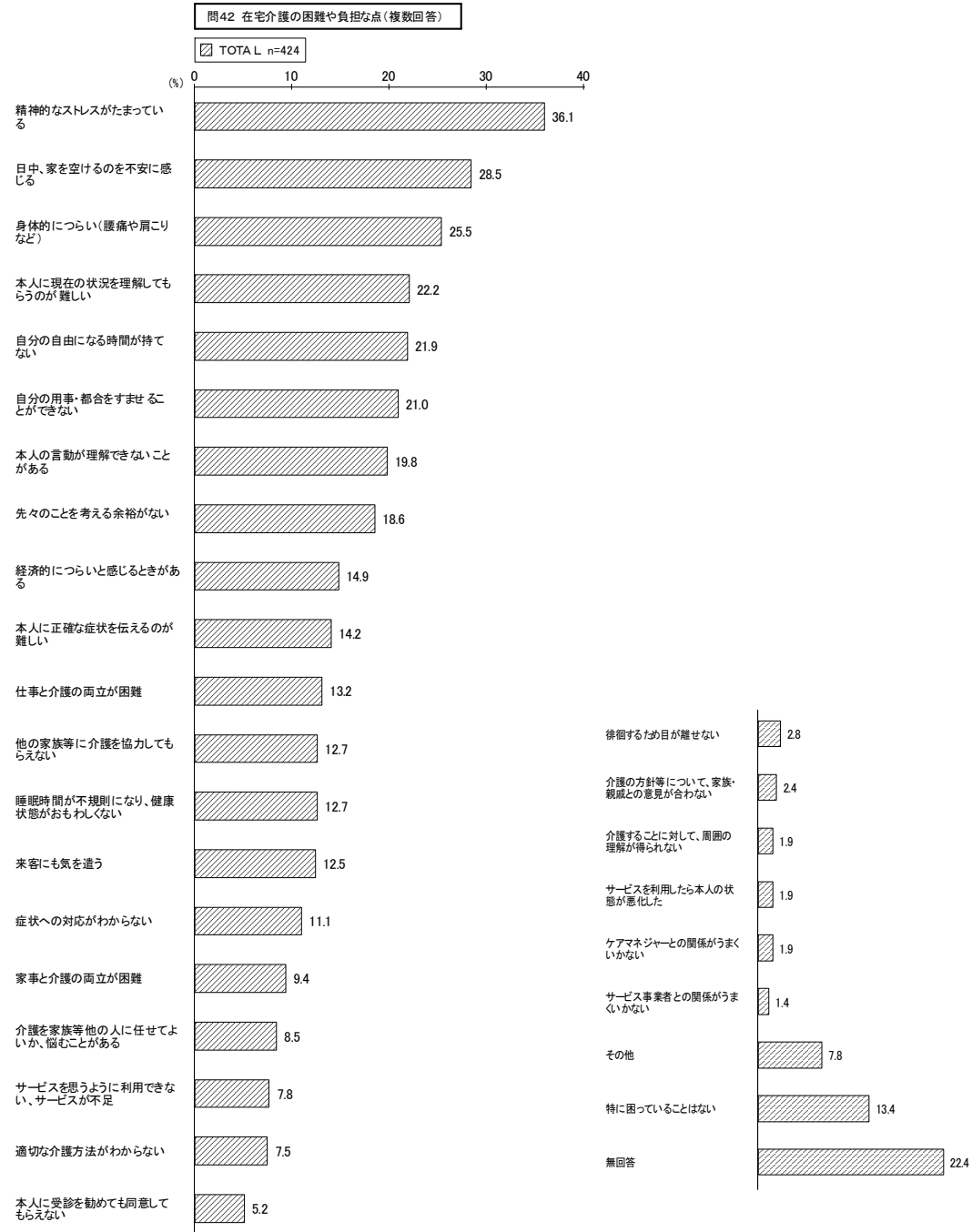
中・重度者（要介護3～5）では、以上の6項目について、「精神的なストレスがたまっている」（58.1%）、「日中、家を空けるのを不安に感じる」（51.2%）、「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」（41.9%）、「本人に現在の状況を理解してもらうのが難しい」（41.9%）、「自分の自由になる時間が持てない」（44.2%）、「本人の言動が理解できないことがある」（41.9%）となっている。

(サービス未利用者)

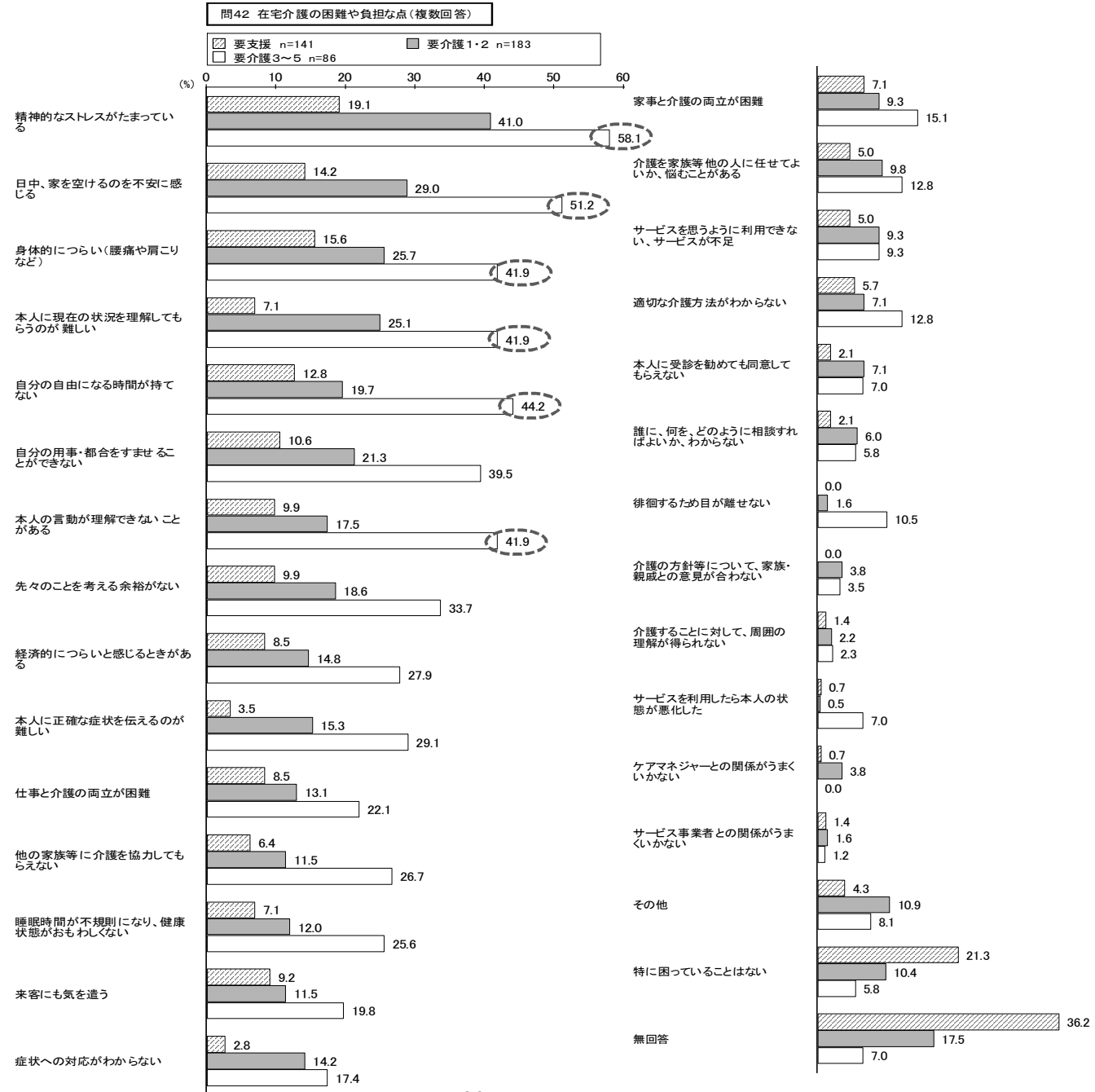
○ 在宅での介護の困難な点や負担となっていることについては、「日中、家を空けるのを不安に感じる」、「精神的なストレスがたまっている」、「本人に現在の状況を理解してもらうのが難しい」については、未利用者では軽度者（要介護1・2）の介護者の回答割合が中・重度者（要介護3～5）の介護者の回答割合を上回っている。（「日中、家を空けるのを不安に感じる」（35.8%）、「精神的なストレスがたまっている」（32.8%）、「本人に現在の状況を理解してもらうのが難しい」（27.6%））

一方、「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」、「自分の自由になる時間が持てない」については、中・重度者（要介護3～5）の回答割合が3割前後となっている。（「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」（29.3%）、「自分の自由になる時間が持てない」（31.7%））

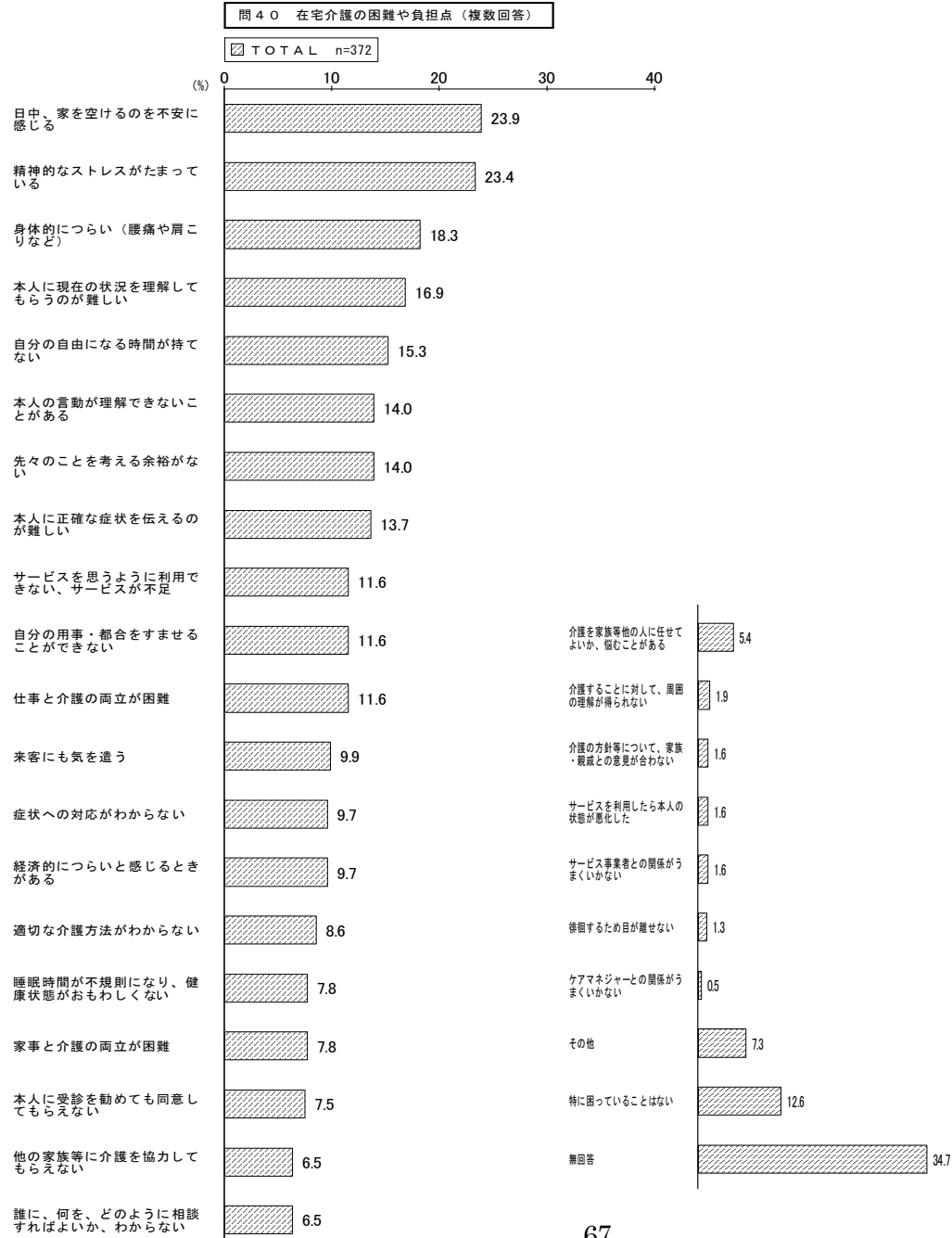
(居宅サービス等利用者)



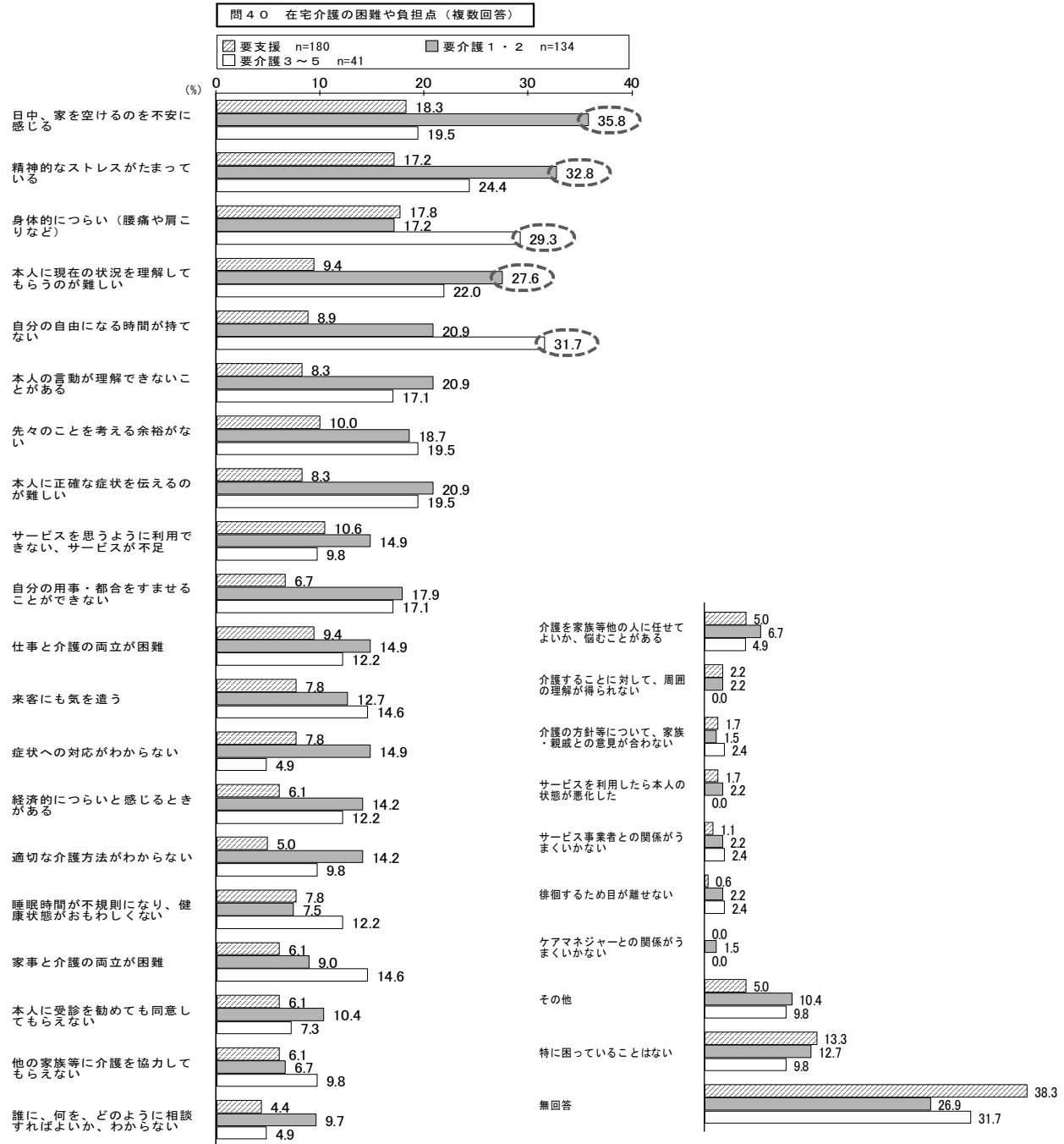
(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)



(サービス未利用者)



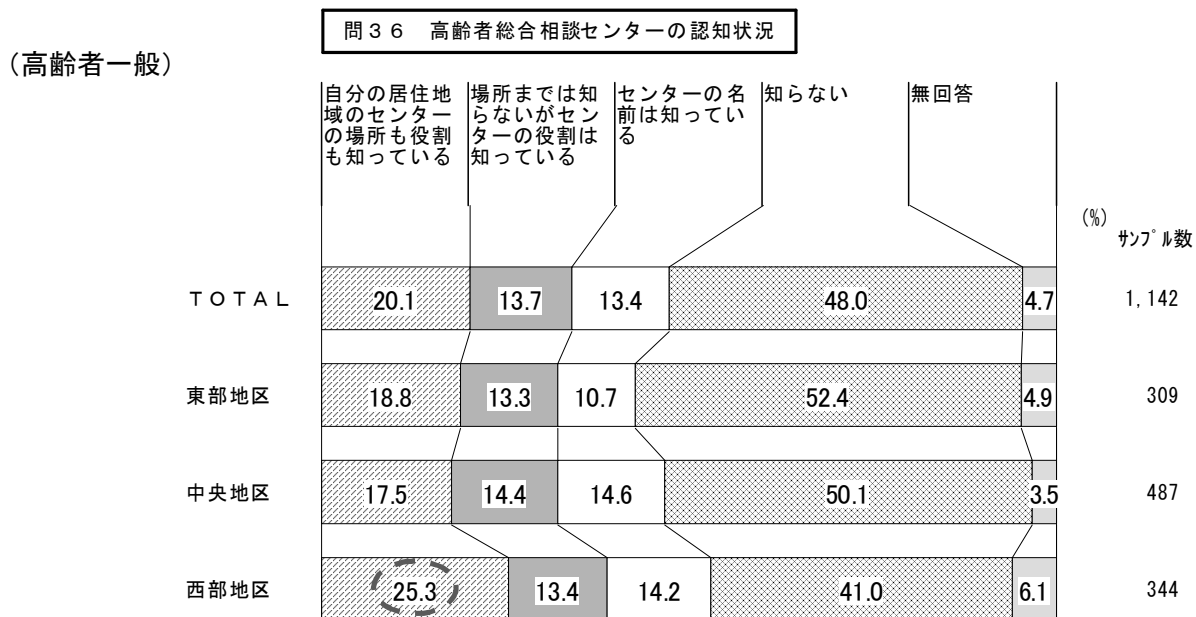
(17) 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）について

○ 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）については、高齢者一般では「センターの名前は知っている」までを含めた認知割合は47.2%となっている。

一方「知らない」は48.0%と、ほぼ同じ割合となっている。地区別では、西部地区で25.3%が「自分が住んでいる地域のセンターの場所もセンターの役割も知っている」となっており、他地区に比べて多くなっている。

○ 「自分が住んでいる地域のセンターの場所もセンターの役割も知っている」、「場所までは知らないがセンターの役割は知っている」、「センターの名前は知っている」のいずれかの回答者に、センターについての意見を求めたところ、「センターの広報が不十分」が35.7%と最も多い一方、20.7%が「歩いて行けるところにあり便利」、19.4%が「職員が丁寧に対応してくれる」と、肯定的評価の回答が続いている。

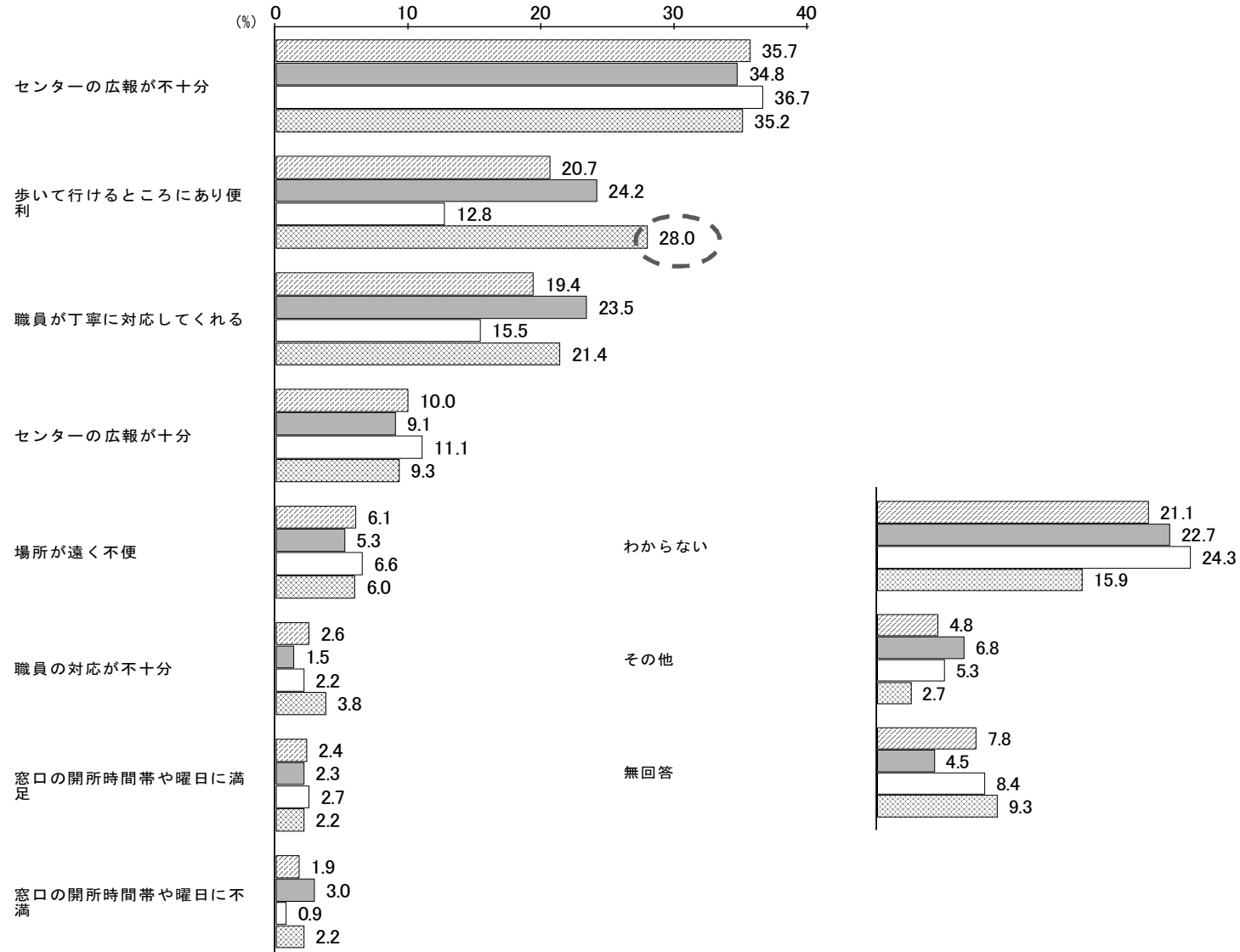
地区別にみると、「歩いて行けるところにあり便利」について西部地区で28.0%となっている。



(高齢者一般)

問36-1 高齢者総合相談センターについて(複数回答)

TOTAL	n=540	東部地区	n=132
中央地区	n=226	西部地区	n=182

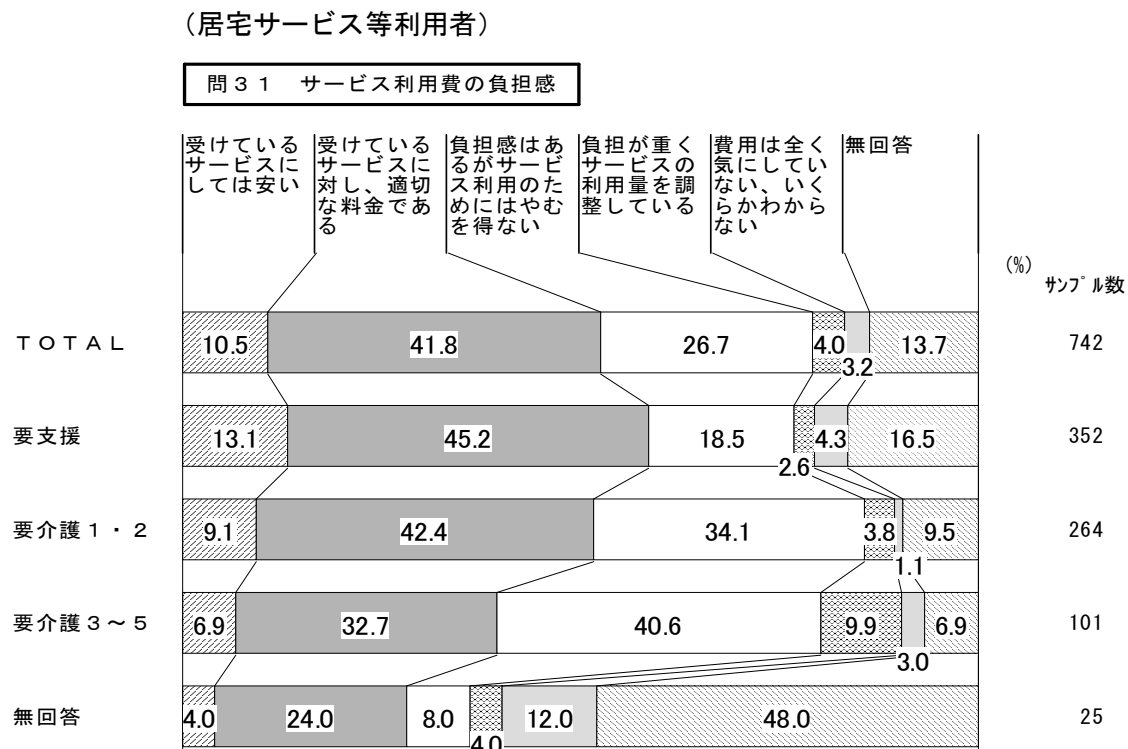


(18) サービス利用料負担感について

○ 介護保険サービスの利用料の負担感については、利用者の10.5%が「受けているサービスにしては安い」、41.8%が「受けているサービスに対し、適切な料金である」となっている。

介護度別にみると、「受けているサービスにしては安い」、「受けているサービスに対し、適切な料金である」については要支援では計58.3%、中・重度者（要介護3～5）では計39.6%となっている。

一方、「負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない」は中・重度者（要介護3～5）で40.6%となっている。また「負担が重く、費用が高くならないようにサービスの利用量を調整している」については、中・重度者（要介護3～5）で9.9%となっている。

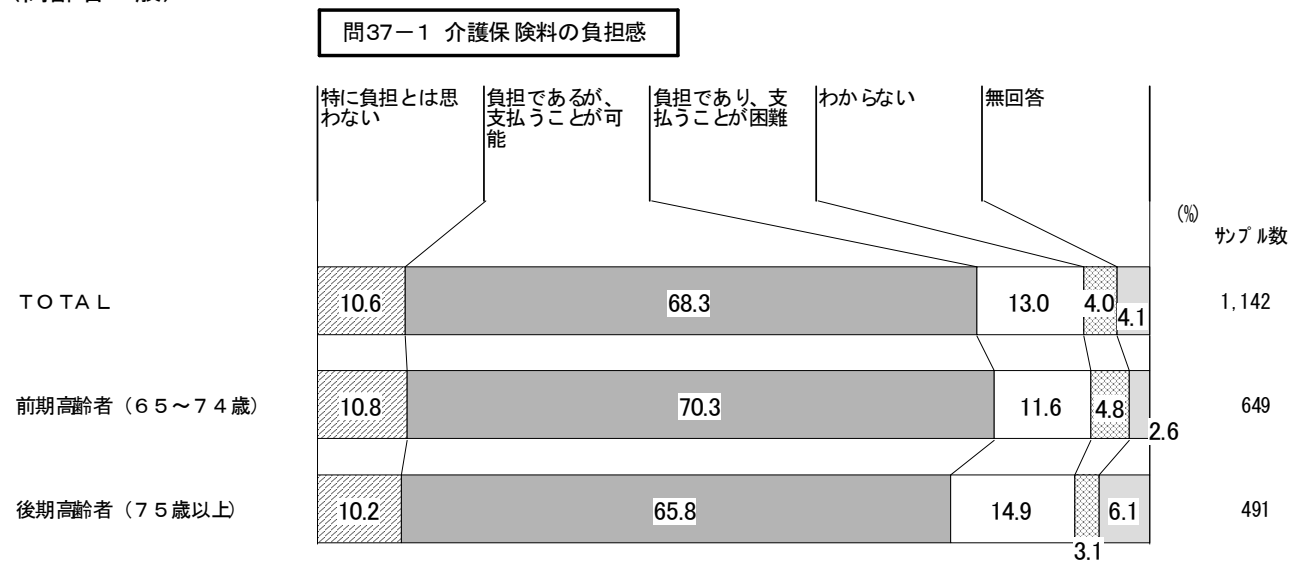


(19) 保険料について

① 負担感

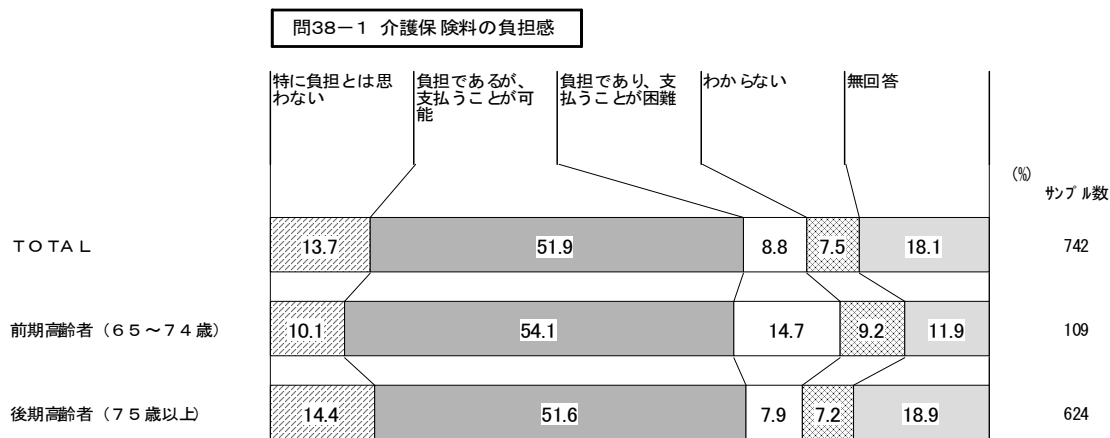
- 保険料負担感については、いずれの対象者でも「負担であるが、支払うことが可能」が半数以上となっている。一方、「負担であり、支払うことが困難」とする回答は、高齢者一般の後期高齢者（14.9%）、利用者の前期高齢者（14.7%）、未利用者の前期高齢者（15.2%）で15%前後となっている。

(高齢者一般)



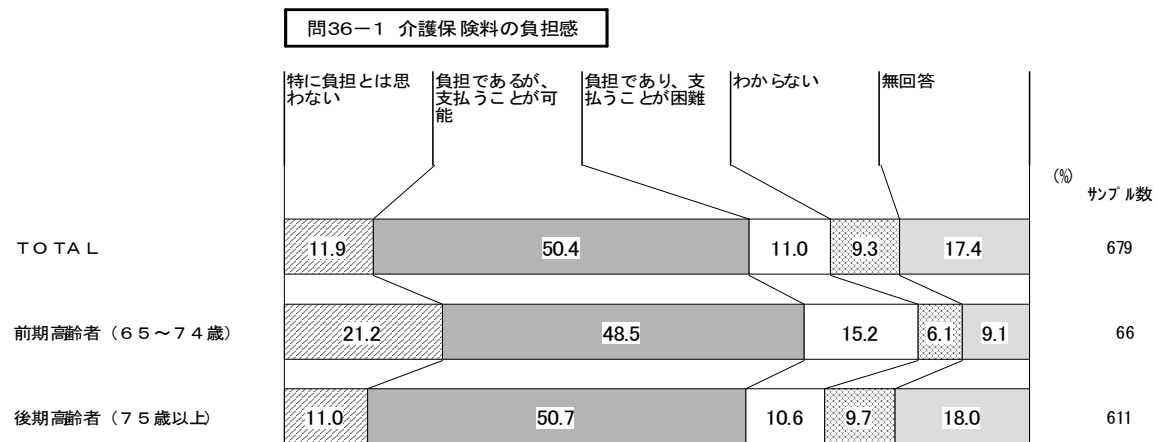
(年齢無回答 n=2 を除く)

(居宅サービス等利用者)



(65歳未満 n=1, 年齢無回答 n=8 を除く)

(サービス未利用者)



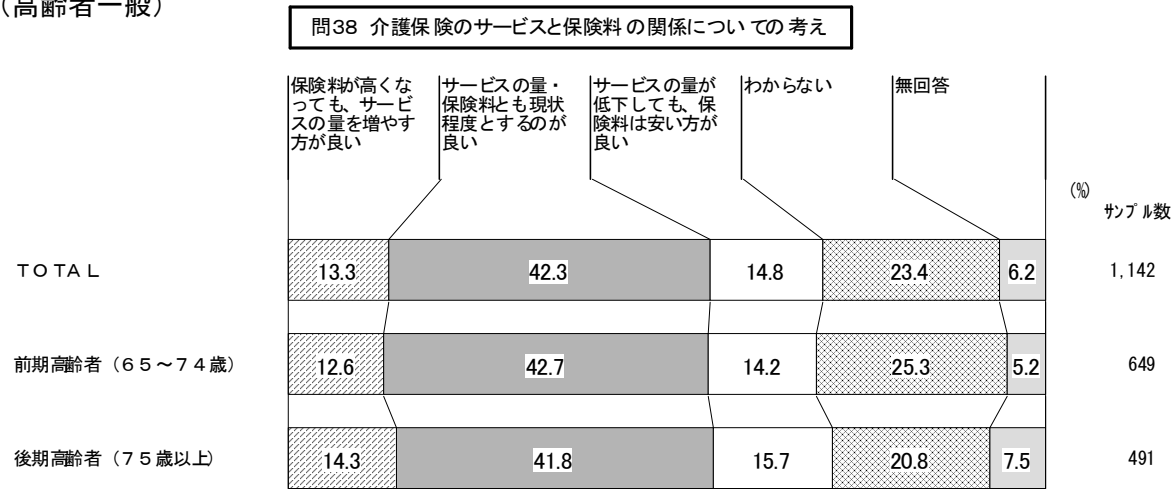
(年齢無回答 n=2 を除く)

② 介護保険サービスと保険料の関係について

○ 介護保険サービスと保険料の関係については、いずれの対象者でも「施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのが良い」が最も多く、高齢者一般 42.3%、利用者 40.6%、未利用者 32.5%となっている。

一方、「サービスの量が低下しても、保険料は安い方が良い」とする回答は、高齢者一般の後期高齢者で 15.7%、利用者の前期高齢者で 8.3%、未利用者の後期高齢者で 8.5%となっている。また、「わからない」とする回答は未利用者の前期高齢者で 34.8%となっている。

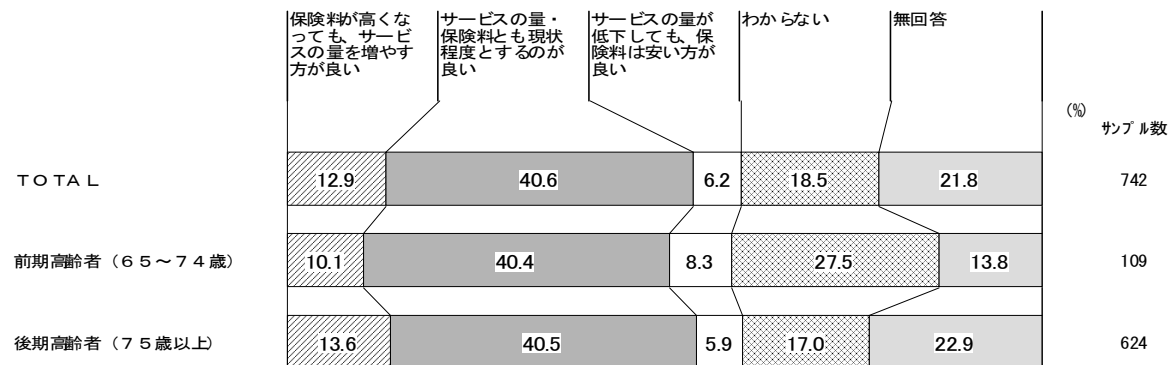
(高齢者一般)



(年齢無回答 n=2 を除く)

(居宅サービス等利用者)

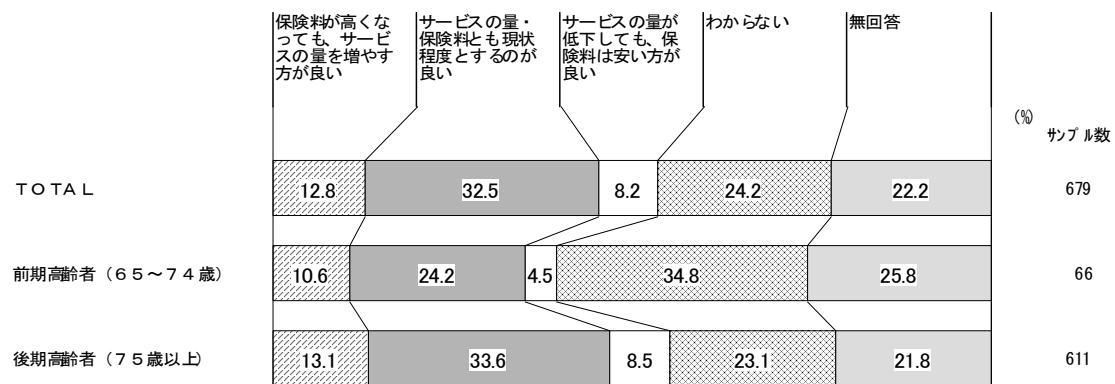
問39 介護保険のサービスと保険料の関係についての考え



(65歳未満 n=1, 年齢無回答 n=8 を除く)

(サービス未利用者)

問37 介護保険のサービスと保険料の関係についての考え

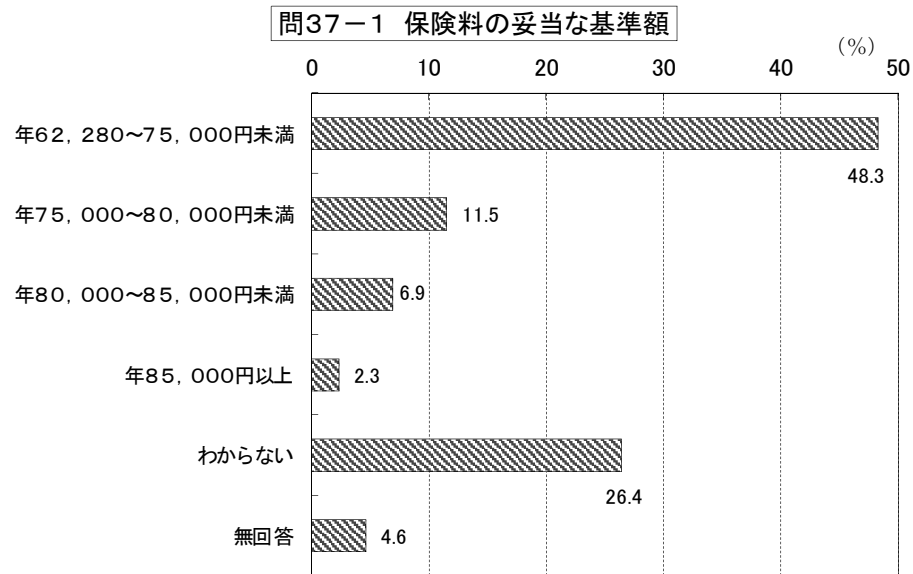


(年齢無回答 n=2 を除く)

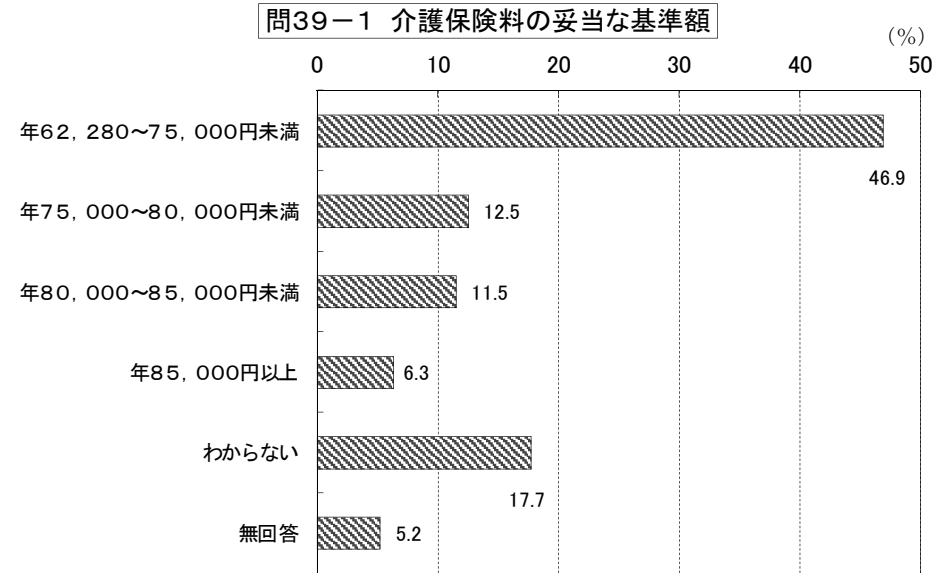
③ 介護保険料の妥当な基準額

○ 前問で「保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方が良い」と回答した方に、施設や在宅サービスの量が増える場合の、現在年62,280円となっている保険料の妥当な基準額を聞いたところ、いずれの対象者においても「年62,280～75,000円未満」の回答が最も多く、高齢者一般48.3%、利用者46.9%、未利用者36.8%となっている。

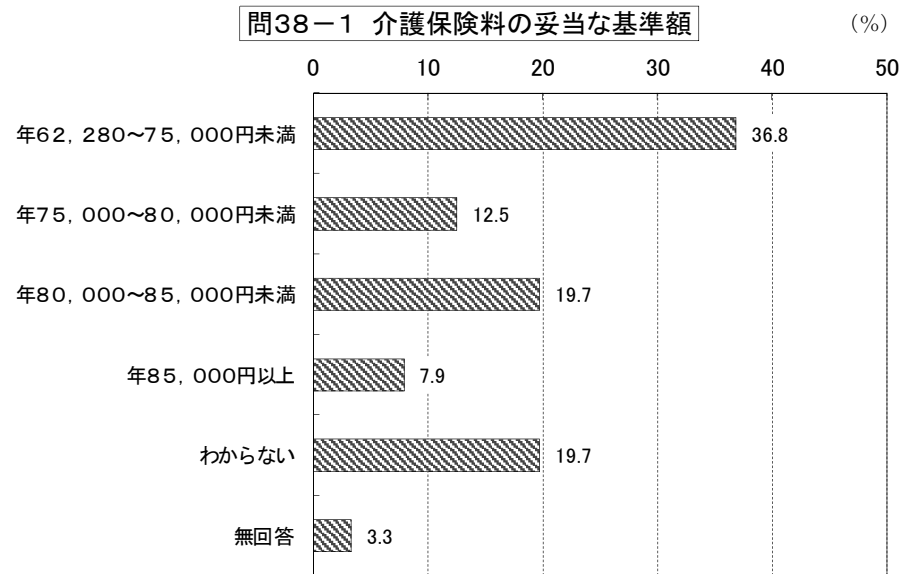
(高齢者一般) n=152



(居宅サービス等利用者) n=96



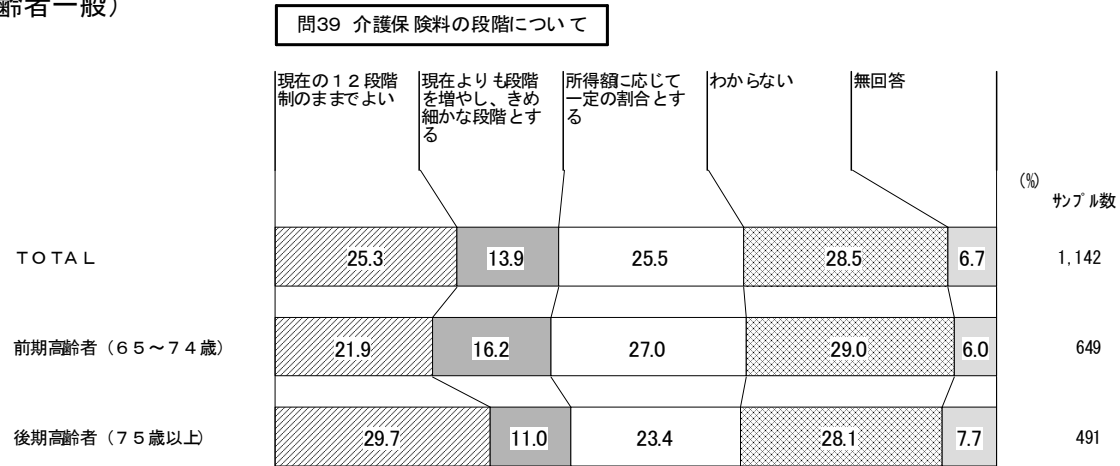
(サービス未利用者) n=87



④ 介護保険料段階について

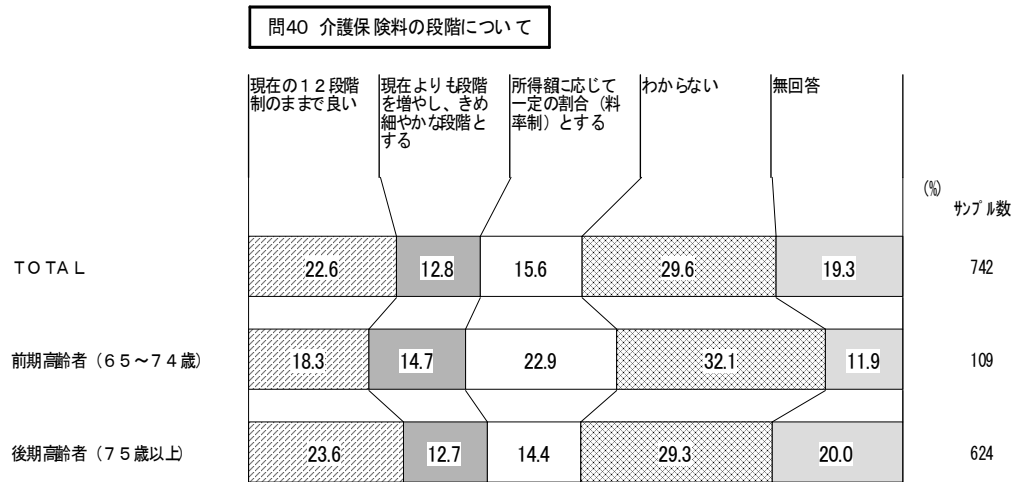
- 介護保険料段階については、いずれの対象者においても「現在の12段階制のままで良い」は2割前後（高齢者一般25.3%、利用者22.6%、未利用者22.1%）、
「現在よりも段階を増やし、きめ細やかな段階とする」は1割（高齢者一般13.9%、利用者12.8%、未利用者10.3%）となっている。
また、「わからない」とする回答はいずれの対象者においても3割前後（高齢者一般28.5%、利用者29.6%、未利用者33.7%）となっている。

（高齢者一般）



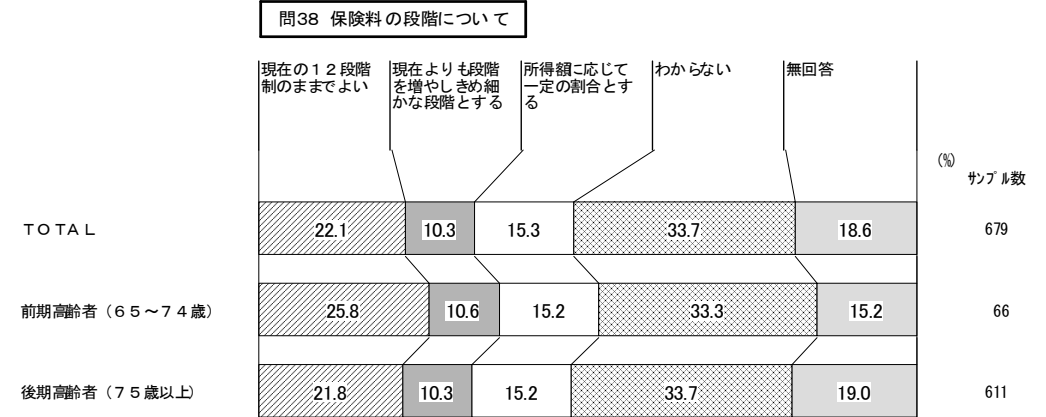
（年齢無回答 n=2 を除く）

(居宅サービス等利用者)



(65歳未満 n=1, 年齢無回答 n=8 を除く)

(サービス未利用者)



(年齢無回答 n=2 を除く)

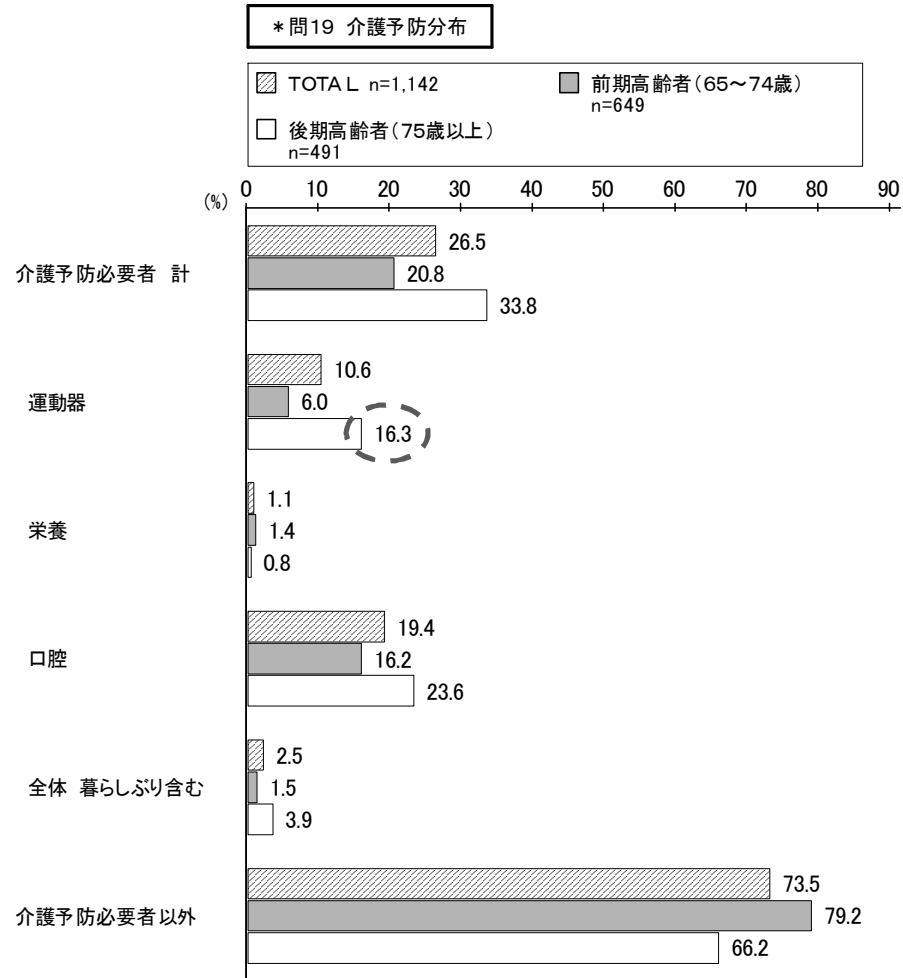
3 予防

(1) 介護予防分布

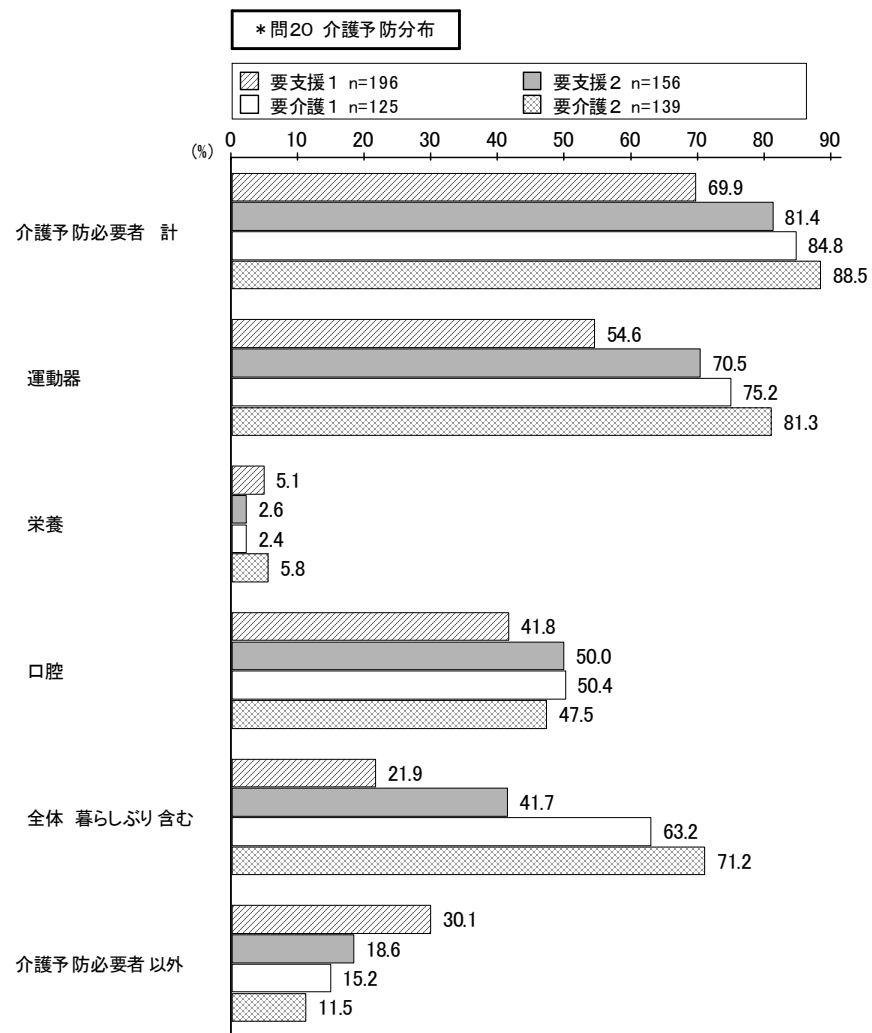
※ 「介護予防必要者」の分布は、各調査における「ふだんの生活をチェックする設問」の回答を、運動器関係・栄養関係・口腔関係・全体の暮らしぶりなどの基準に照らして点数化し、介護予防必要者と介護予防必要者以外に分類し、集計している。

- 介護予防の必要な方の分布（以下、「介護予防分布」という。）をみると、高齢者一般の 26.5%が何らかの介護予防を必要としている。年齢区分では、前期高齢者が 20.8%であるのに対し、後期高齢者では 33.8%と多くなっている。
特に運動器では前期高齢者が 6.0%に対し、後期高齢者では 16.3%となっている。
予防の種別では、運動器が 10.6%、栄養が 1.1%、口腔が 19.4%、全体（暮らしぶり含む）が 2.5%となっている。
- 利用者のうち、要支援～要介護 2 における介護予防分布をみると、介護度が高いほど介護予防の必要割合が多くなっており、要支援 1 で 69.9%、要介護 2 で 88.5%となっている。予防の種別では、運動器、全体（暮らしぶり含む）については、介護度が高いほど介護予防の必要割合も多くなっている。
- 未利用者のうち、要支援～要介護 2 における介護予防分布をみると、要支援で 70.8%、要介護 2 で 85.2%が介護予防を必要としている。
予防の種別では、利用者と同様、運動器、全体（暮らしぶり含む）については、介護度が高いほど介護予防の必要割合も多くなる傾向がみられ、運動器については、要支援 2 で 71.4%、要介護 2 で 74.1%となっている。
一方口腔については要支援 2 で 54.4%と、要介護 2 の 50.0%とほぼ同様の割合となっている。

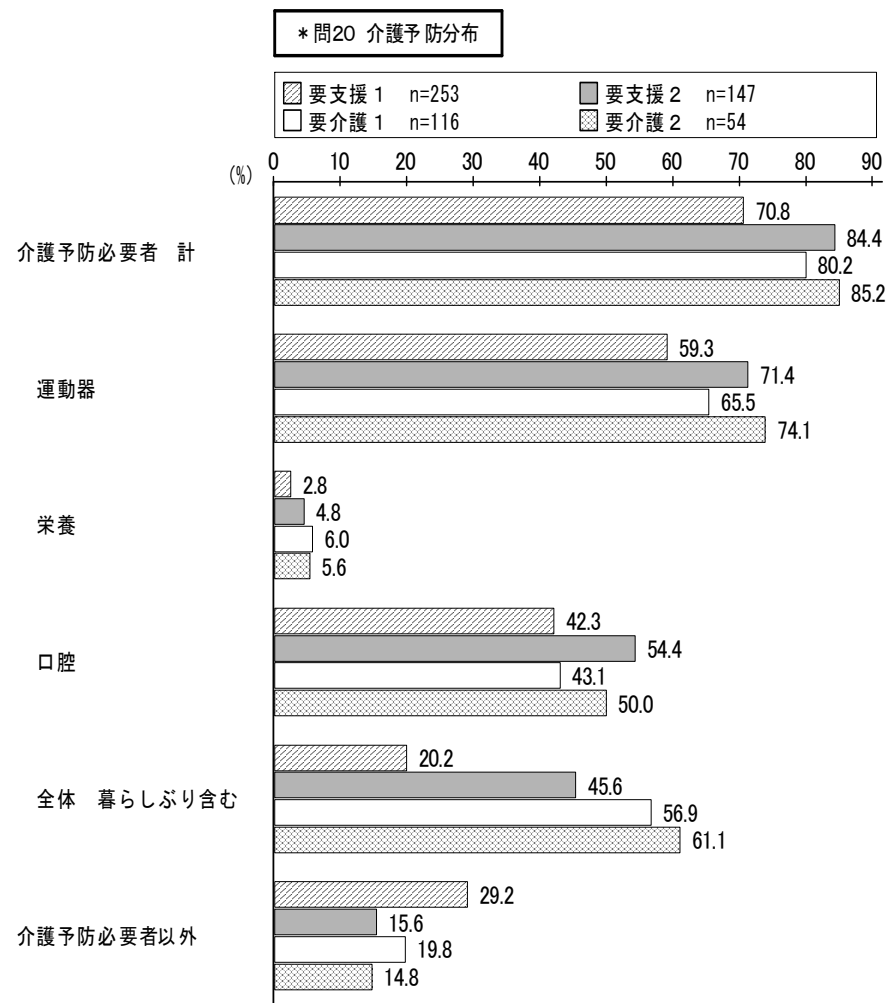
(高齢者一般)



(居宅サービス等利用者：要支援～要介護2)



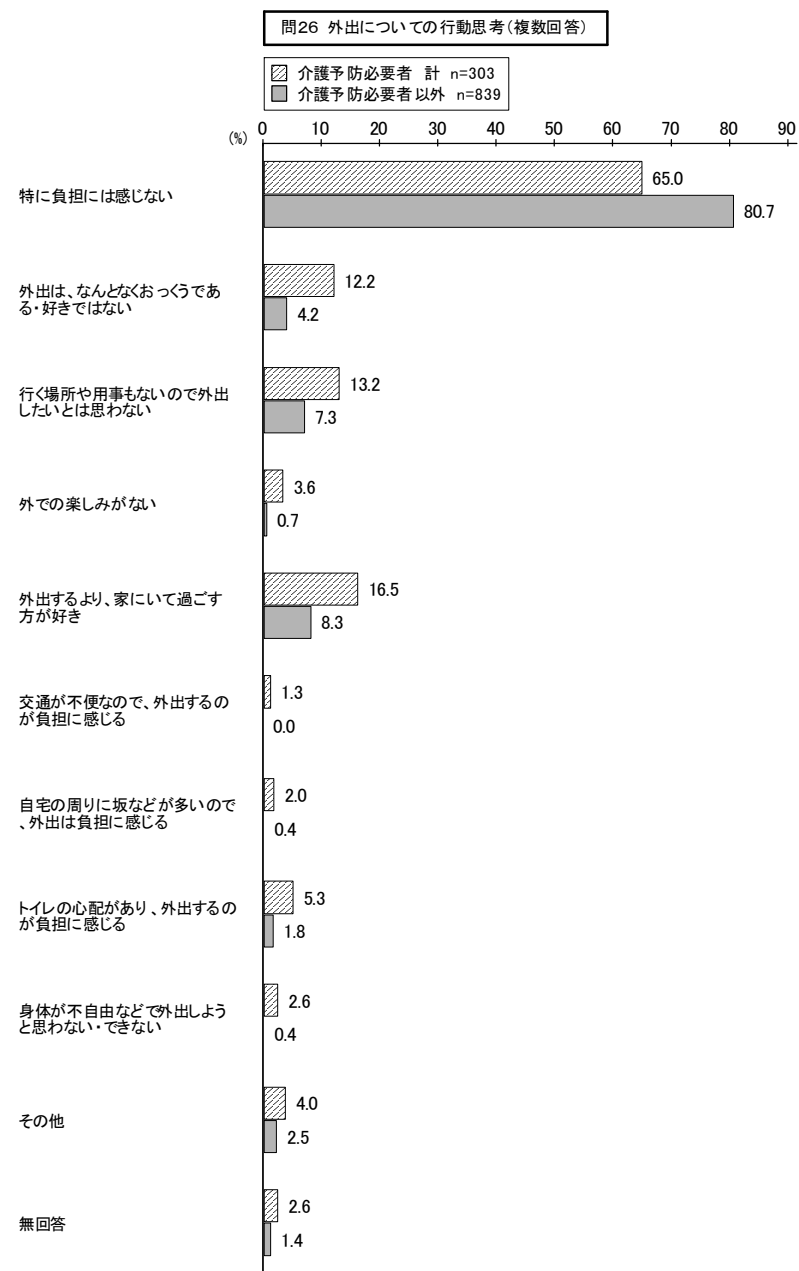
(サービス未利用者：要支援～要介護2)



(2) 外出について

(高齢者一般)

- 外出についての考え方をみると、介護予防必要者では「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」(12.2%)、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」(13.2%)、「外出するより、家にいて過ごす方が好き」(16.5%)の回答がそれぞれ1割以上みられ、介護予防必要者以外の回答割合を上回っている。



(居宅サービス利用者：要支援1、2)

- 外出についての考え方をみると、要支援1、2とも、高齢者一般に比べて「(外出は)特に負担には感じない」が、介護予防必要者では2割まで減少している(要支援1：27.7%、要支援2：21.3%)。

また、介護予防必要者では「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」がそれぞれ2～3割となっている。

(「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」要支援1：29.2%、要支援2：31.5%)

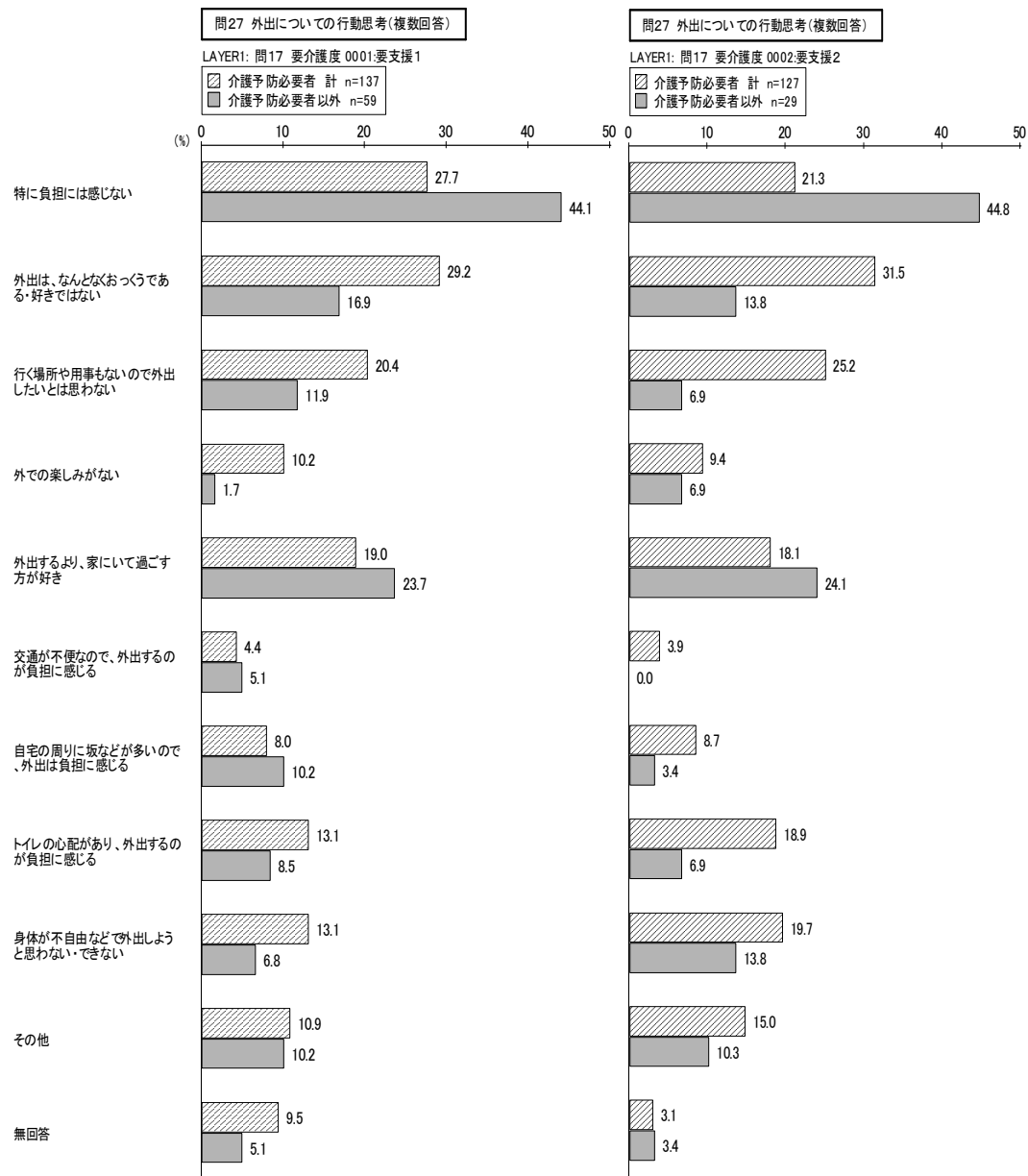
(「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」要支援1：20.4%、要支援2：25.2%)

一方、「トイレの心配(失禁など)があり、外出するのが負担に感じる」、「身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない」は要支援1、2ともに1割を超えており、介護予防必要者以外の回答割合を上回っている。

(「トイレの心配(失禁など)があり、外出するのが負担に感じる」要支援1：13.1%、要支援2：18.9%)

(「身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない」要支援1：13.1%、要支援2：19.7%)

(居宅サービス利用者：要支援1、2)



(サービス未利用者：要支援1、2)

- 外出についての考え方をみると、サービス未利用者の要支援1、2の介護予防必要者計では「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」、「外出するより、家にいて過ごす方が好き」がそれぞれ2割となっている。

(「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」要支援1：29.6%、要支援2：26.6%)

(「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」要支援1：20.1%、要支援2：26.6%)

(「外出するより、家にいて過ごす方が好き」要支援1：22.3%、要支援2：29.0%)

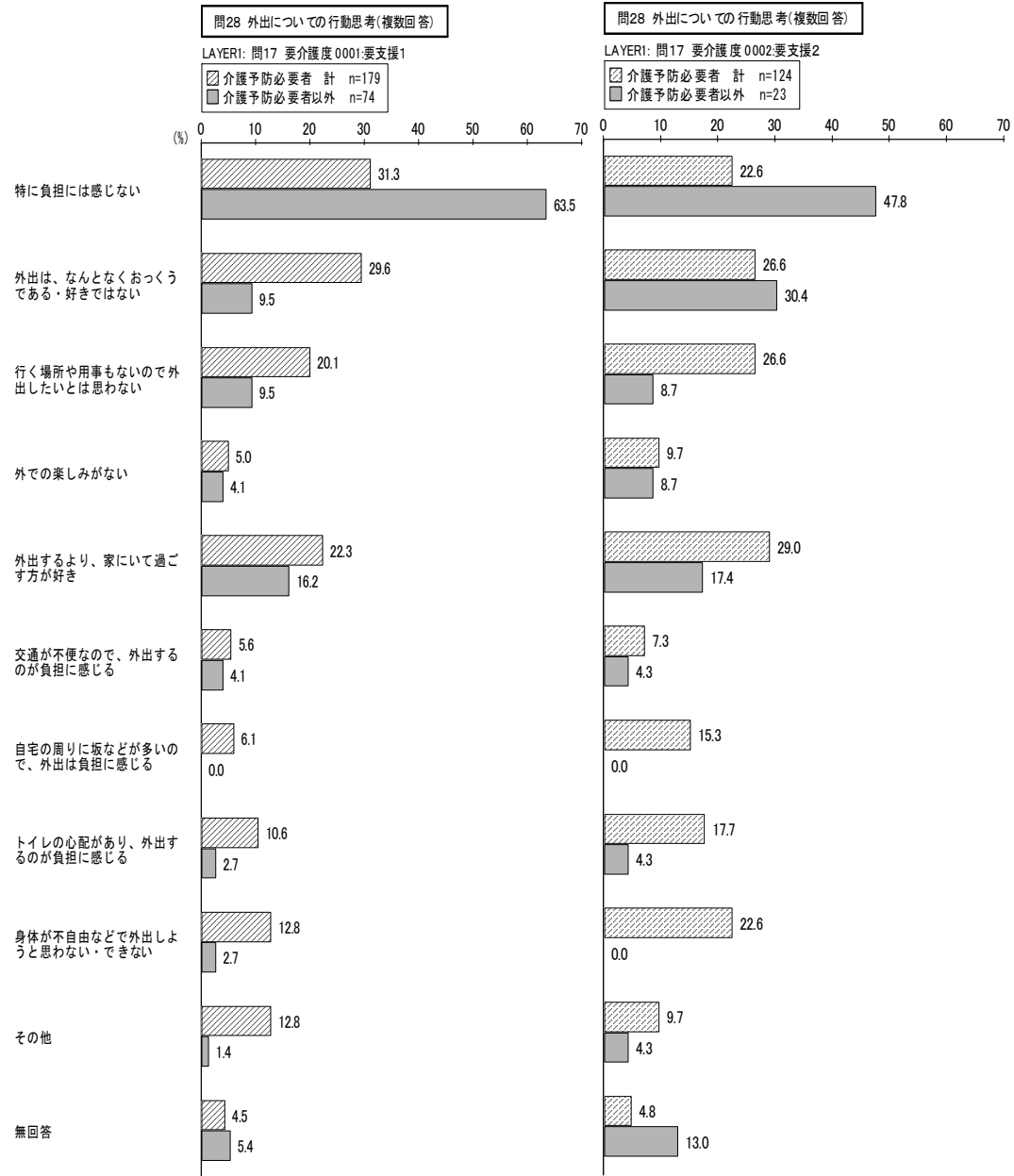
一方、「自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる」、「トイレの心配(失禁など)があり、外出するのが負担に感じる」、「身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない」は介護予防必要者の要支援1、2ともに1～2割となっている。

(「自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる」要支援1：6.1%、要支援2：15.3%)

(「トイレの心配(失禁など)があり、外出するのが負担に感じる」要支援1：10.6%、要支援2：17.7%)

(「身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない」要支援1：12.8%、要支援2：22.6%)

(サービス未利用者：要支援1、2)



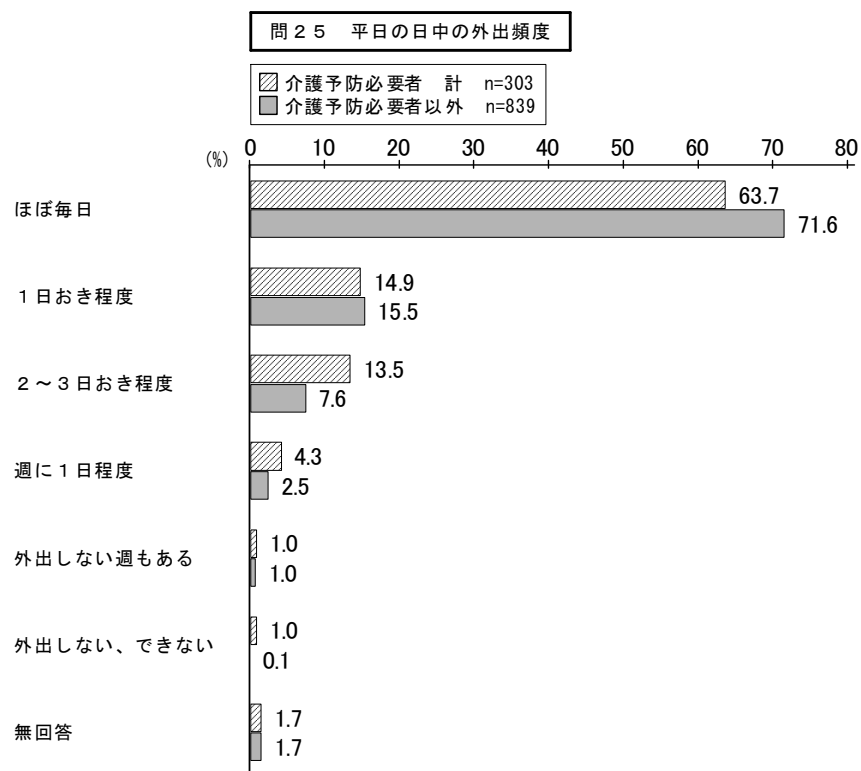
(3) 外出頻度

○ 外出頻度をみると、介護予防必要者が「ほぼ毎日」外出する割合は、高齢者一般で63.7%、利用者の要支援1が21.9%、要支援2が22.8%、未利用者の要支援1が31.8%、要支援2が23.4%となっている。

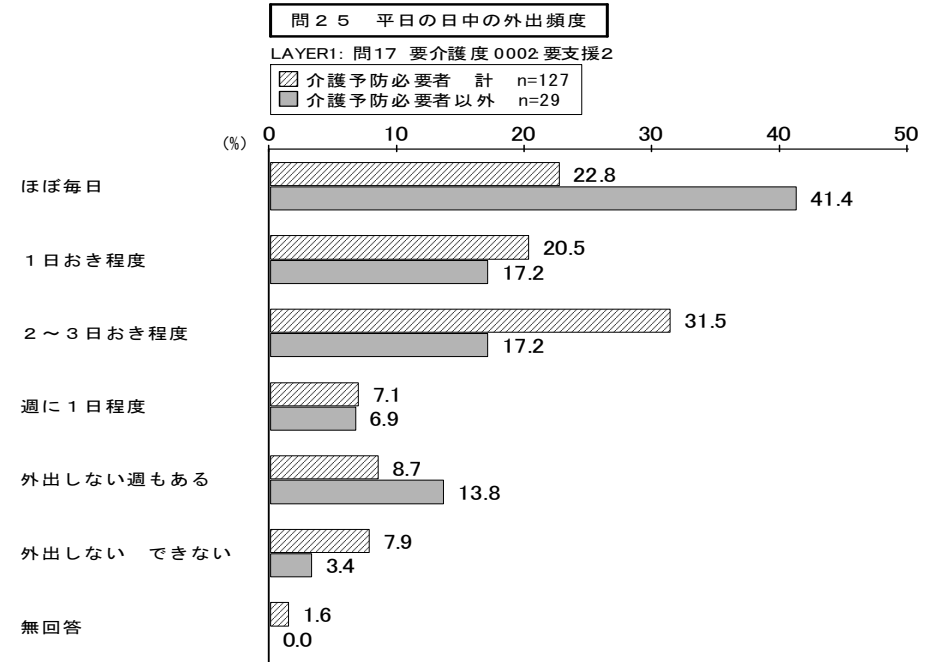
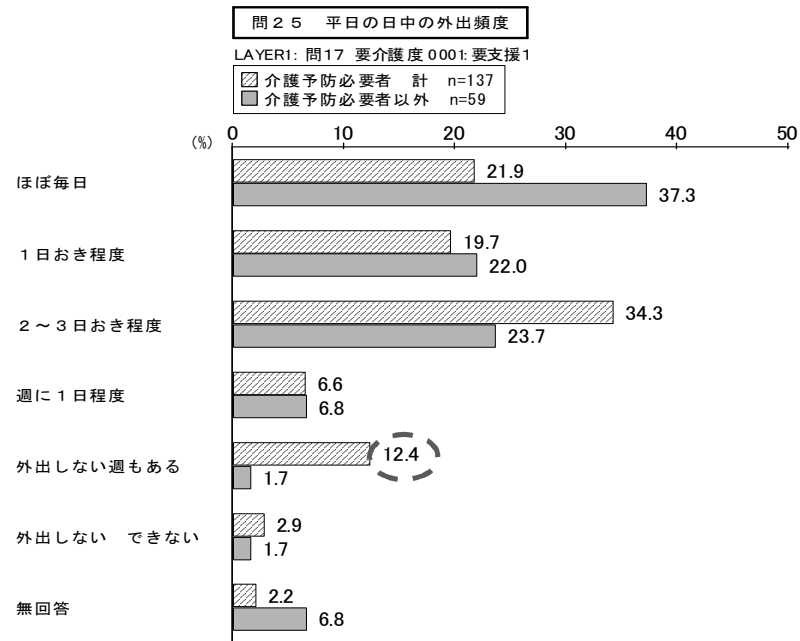
また、「外出しない週もある」は、利用者の要支援1の介護予防必要者で12.4%、未利用者の要支援2の介護予防必要者で12.9%となっている。

「外出しない、できない」は未利用者の要支援2の介護予防必要者で13.7%となっている。

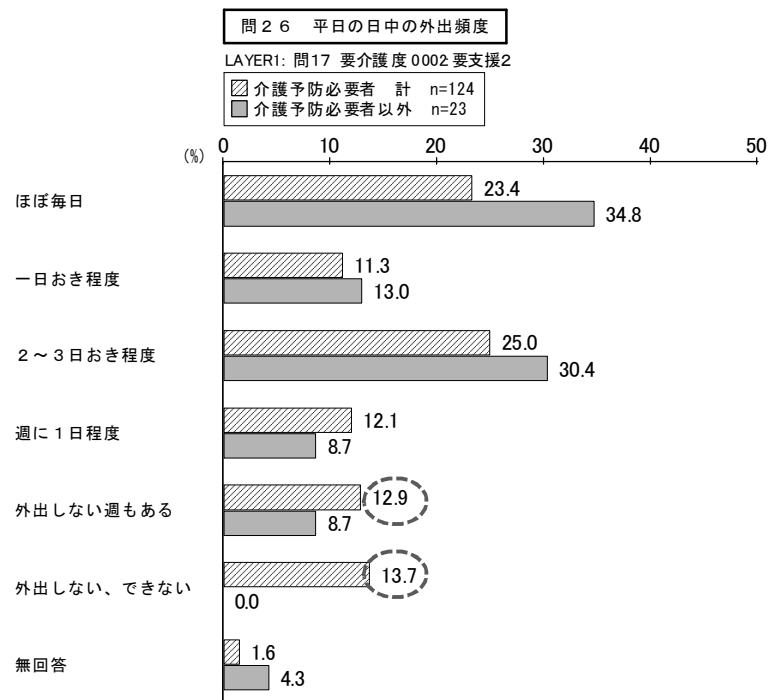
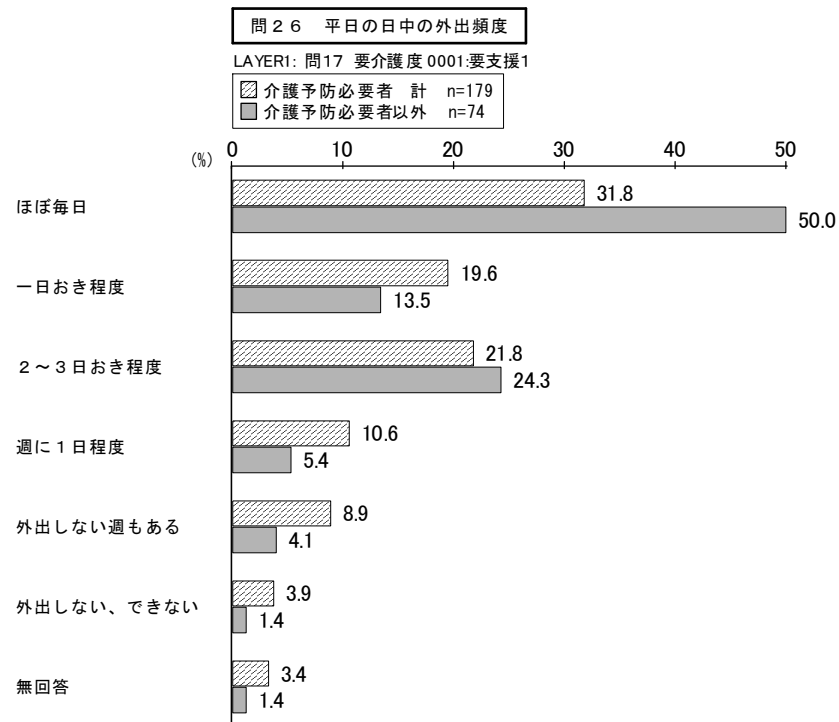
(高齢者一般)



(居宅サービス等利用者：要支援1、要支援2)



(サービス未利用者：要支援1、要支援2)



(4) 外出目的

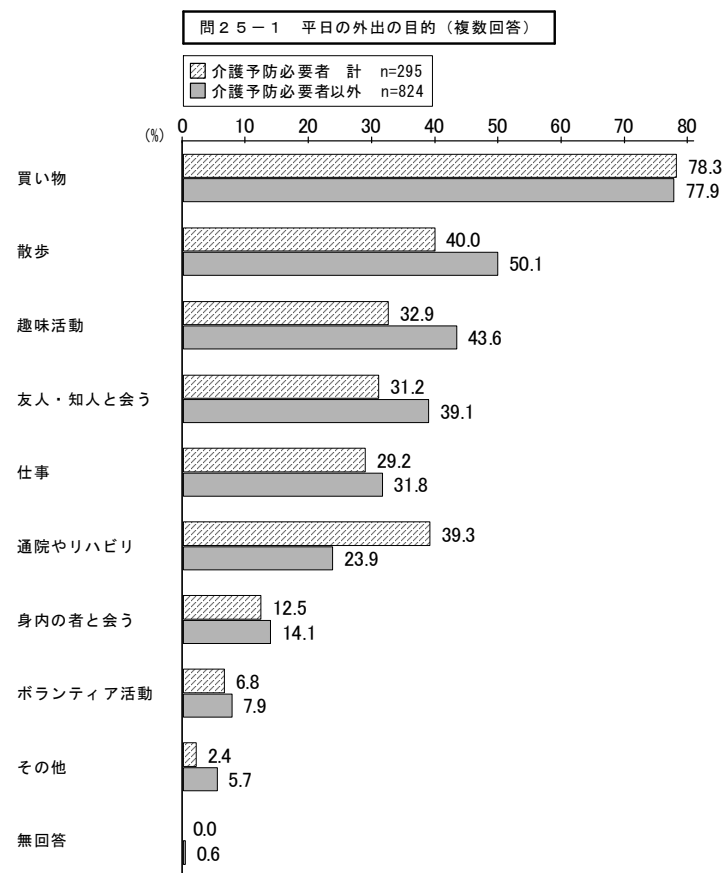
- 平日の外出目的をみると、高齢者一般では、介護予防必要者の78.3%が「買い物」となっているほか、39.3%が「通院やリハビリ」となっている。

利用者の要支援1では、介護予防必要者以外で50.0%が「散歩」となっているのに対し、介護予防必要者では31.5%と回答割合が低い。また利用者の要支援2では、介護予防必要者以外で35.7%が「友人・知人と会う」となっているのに対し、介護予防必要者では10.4%と回答割合が低い。

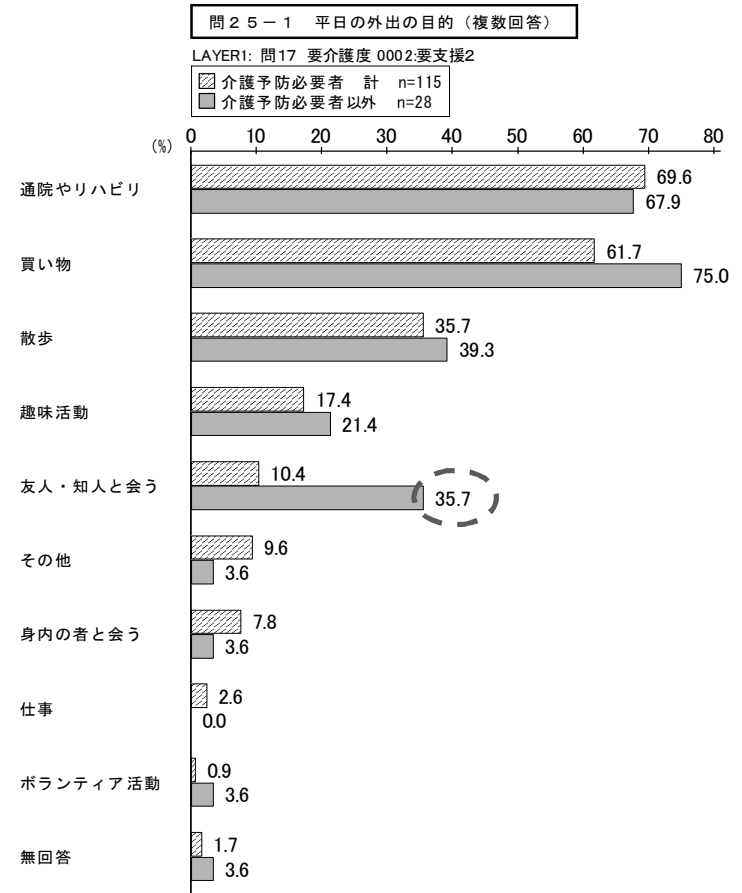
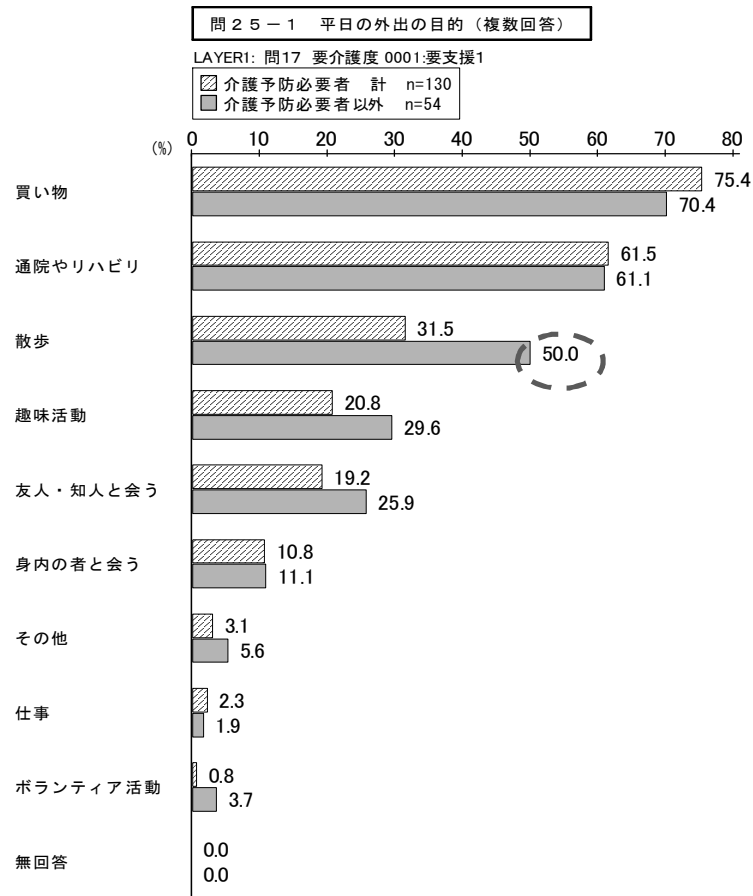
未利用者の要支援では、要支援1、2とも介護予防必要者で「通院やリハビリ」が5～6割となっている。

(「通院やリハビリ」要支援1：54.2%、要支援2：61.9%)

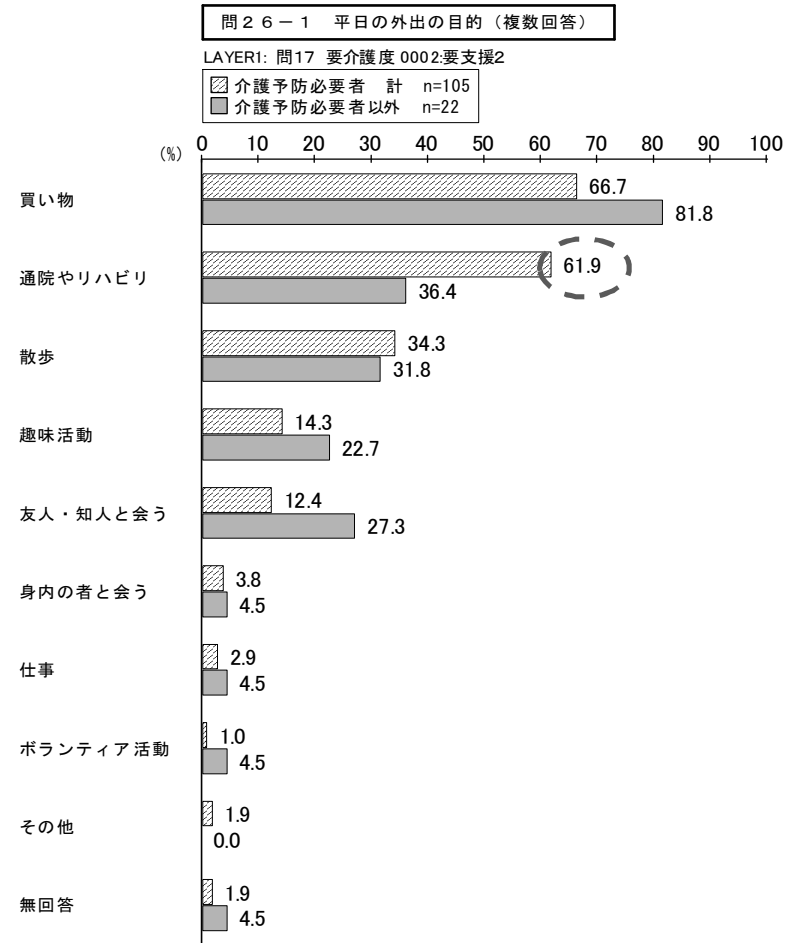
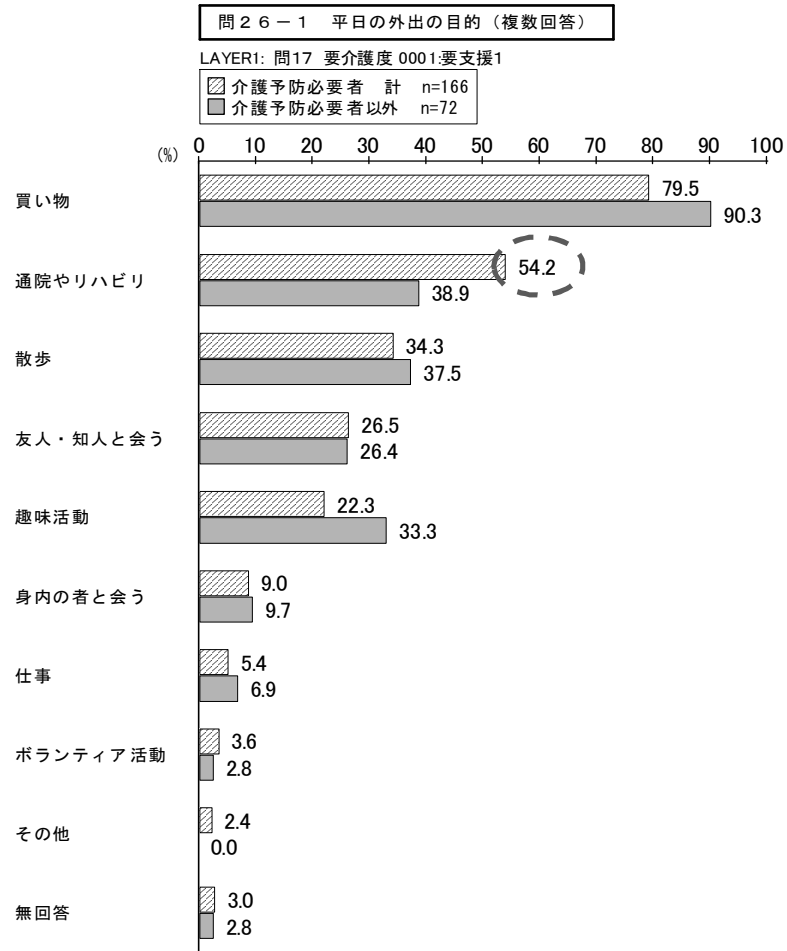
(高齢者一般)



(居宅サービス等利用者：要支援1、要支援2)



(サービス未利用者：要支援1、要支援2)



(5) ふだんの近所との付き合い

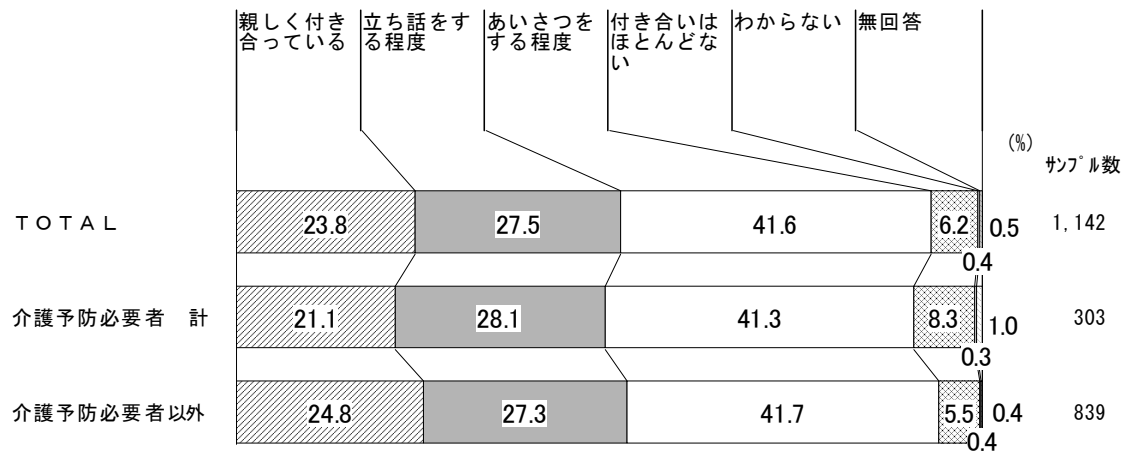
○ ふだんの近所との付き合いについては、「親しく付き合っている」割合は、高齢者一般では介護予防必要者で21.1%、介護予防必要者以外で24.8%となっている。

利用者では、「親しく付き合っている」割合は、要支援1の介護予防必要者で16.1%、要支援2の介護予防必要者で13.4%となっている。(要支援2の介護予防必要者以外では24.1%となっているが、介護予防必要者との差はみられない。)

未利用者では、「付き合いはほとんどない」とする割合が要支援2の介護予防必要者で16.9%、介護予防必要者以外で17.4%となっている。

(高齢者一般)

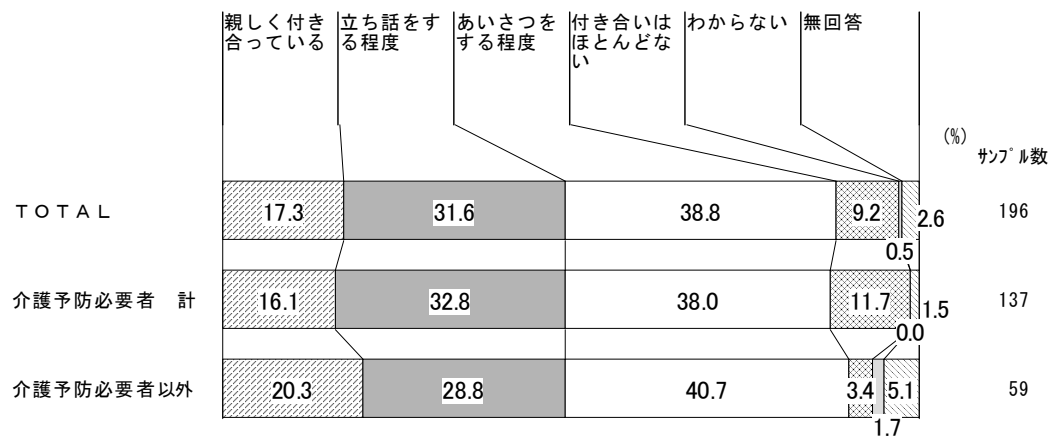
問29 近所の人との付き合い程度



(居宅サービス等利用者：要支援1、要支援2)

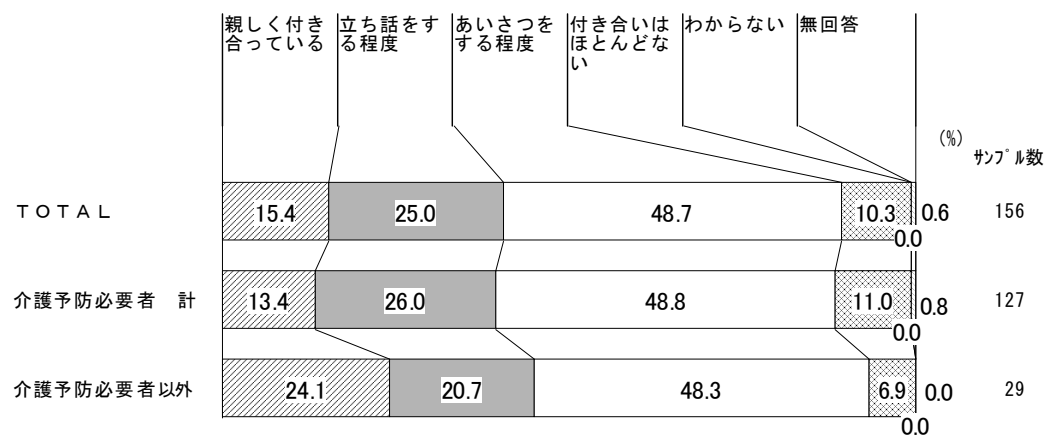
問26 近所の人との付き合い程度

LAYER1: 問17 要介護度 0001:要支援1



問26 近所の人との付き合い程度

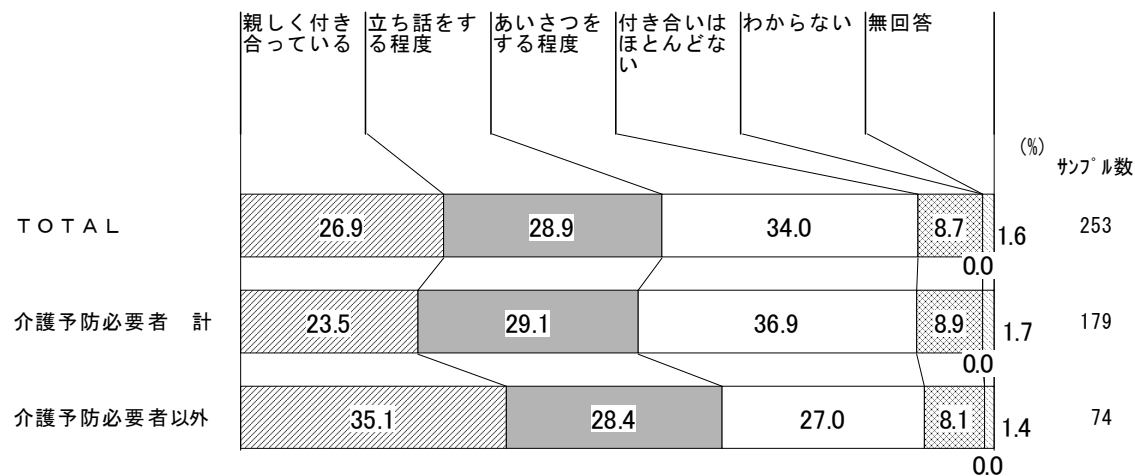
LAYER1: 問17 要介護度 0002:要支援2



(サービス未利用者：要支援1、要支援2)

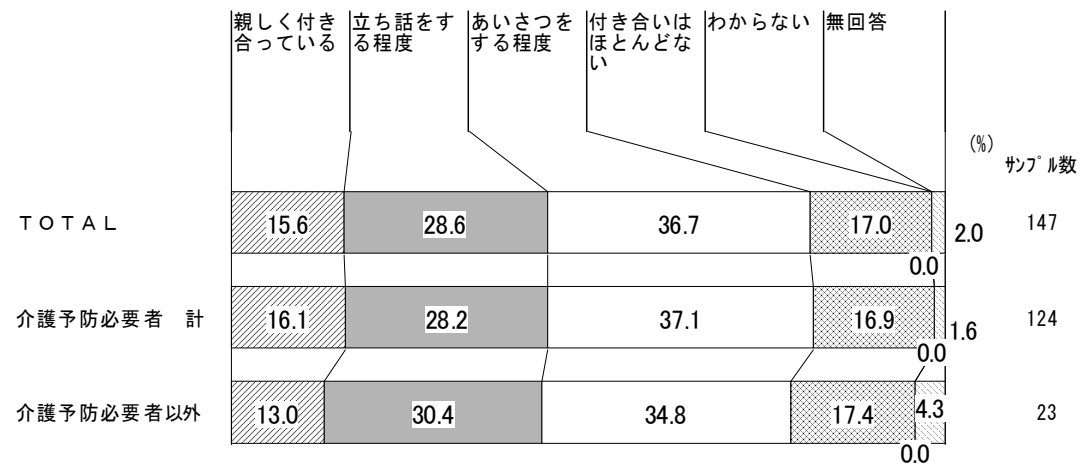
問27 近所の人との付き合い程度

LAYER1: 問17 要介護度 0001:要支援1



問27 近所の人との付き合い程度

LAYER1: 問17 要介護度 0002:要支援2



(6) 健康維持のためのサービス利用状況

(高齢者一般)

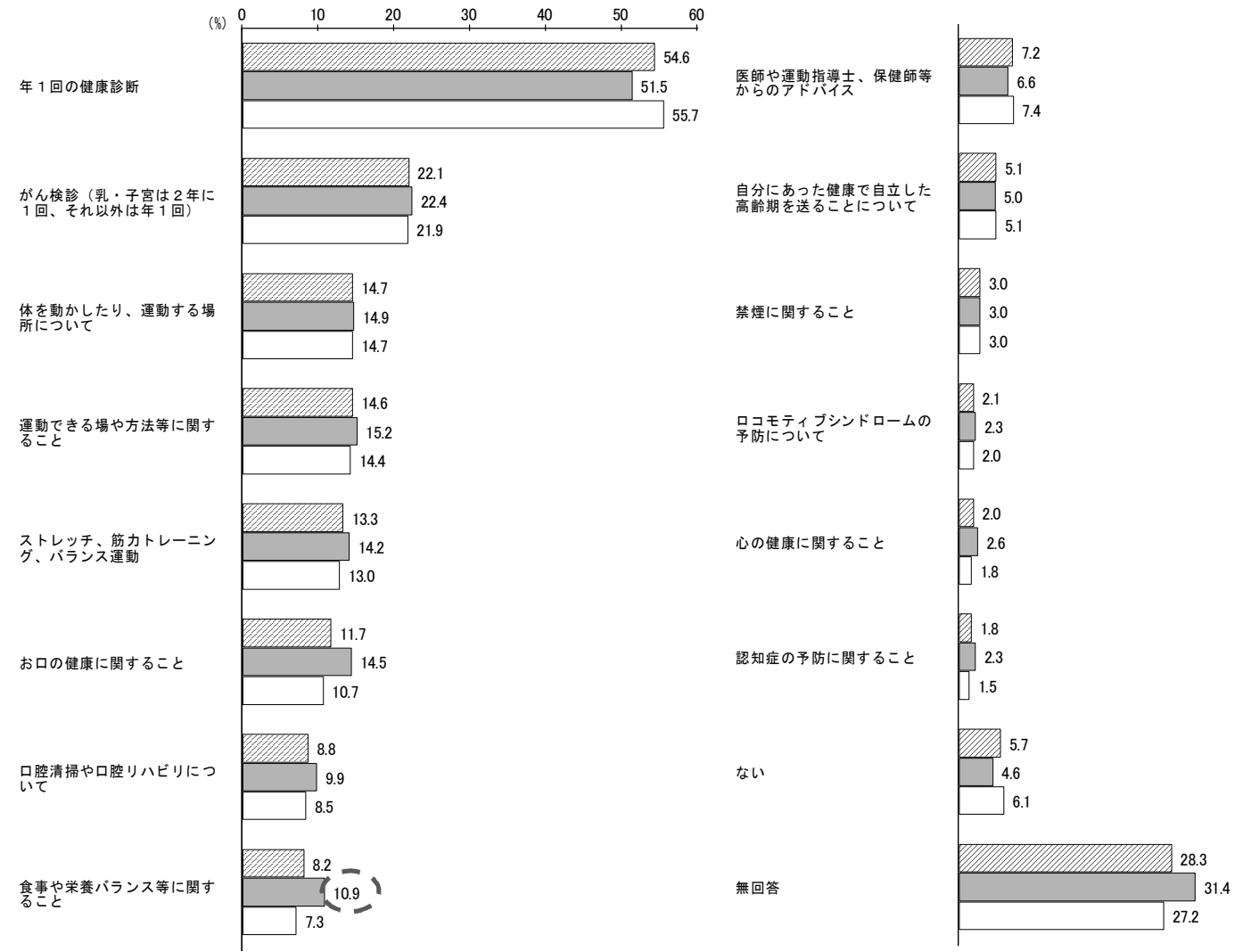
- 高齢者一般の健康維持のためのサービス利用状況については、介護予防必要者と介護予防必要者以外との大きな差はみられず、「年1回の健康診断」は介護予防必要者 51.5%、介護予防必要者以外 55.7%となっている。「がん検診」は介護予防必要者 22.4%、介護予防必要者以外 21.9%となっている。

また、介護予防必要者では「食事や栄養バランス等に関すること」が 10.9%みられ、介護予防必要者以外に比べて高くなっている。

(高齢者一般)

問17 健康維持サービスの利用・利用意向(複数回答)
利用している

TOTAL n=1,142
 介護予防必要者 計 n=303
 介護予防必要者以外 n=839



(7) 健康維持のためのサービス利用意向

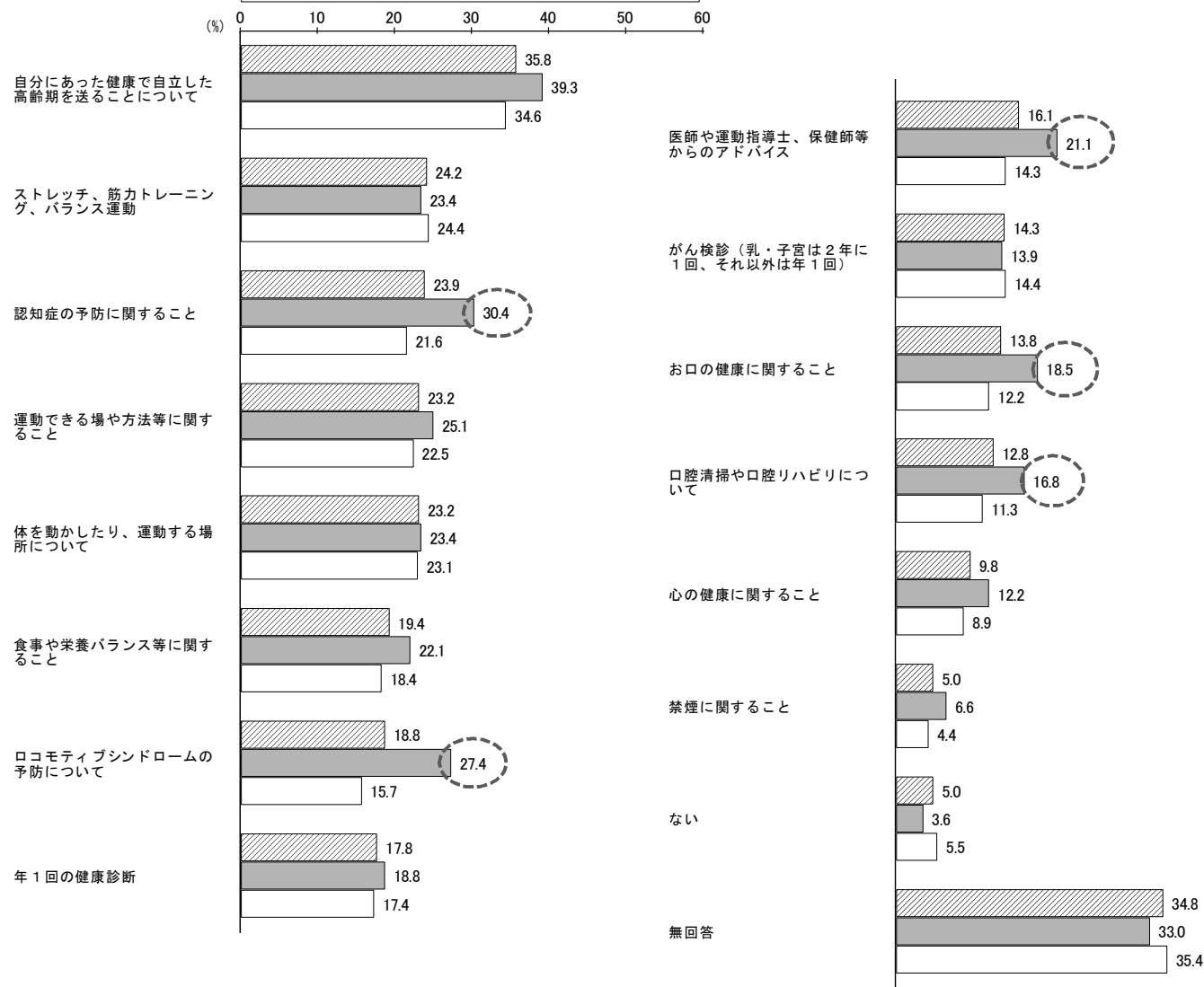
(高齢者一般)

- 高齢者一般の健康維持のための今後のサービス利用意向については、介護予防必要者の利用意向の多いものが目立ち、「認知症の予防に関すること」(30.4%)、「ロコモティブシンドロームの予防について」(27.4%)、「医師や運動指導士、保健師等からのアドバイス」(21.1%)、「お口の健康に関すること」(18.5%)、「口腔清掃や口腔リハビリについて」(16.8%)は介護予防必要者以外に比べて介護予防必要者の回答割合が高い。

(高齢者一般)

問17 健康維持サービスの利用・利用意向(複数回答)
今後利用したい

TOTAL n=1,142
 介護予防必要者 計 n=303
 介護予防必要者以外 n=839



(8) 健康・介護予防で取り組んでいること

(サービス未利用者：要支援1・2、要介護1・2)

- 健康・介護予防で取り組んでいることについては、未利用者のうちの要支援1・2、要介護1・2では「かかりつけの医師（主治医）に定期的に診てもらっている」が7割台で最も多く、次いで「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」も要支援1・2で7割となっている。

（「かかりつけの医師（主治医）に定期的に診てもらっている」要支援1：75.9%、要支援2：79.6%、要介護1：71.6%、要介護2：74.1%）

（「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」要支援1：78.3%、要支援2：75.5%、要介護1：66.4%、要介護2：55.6%）

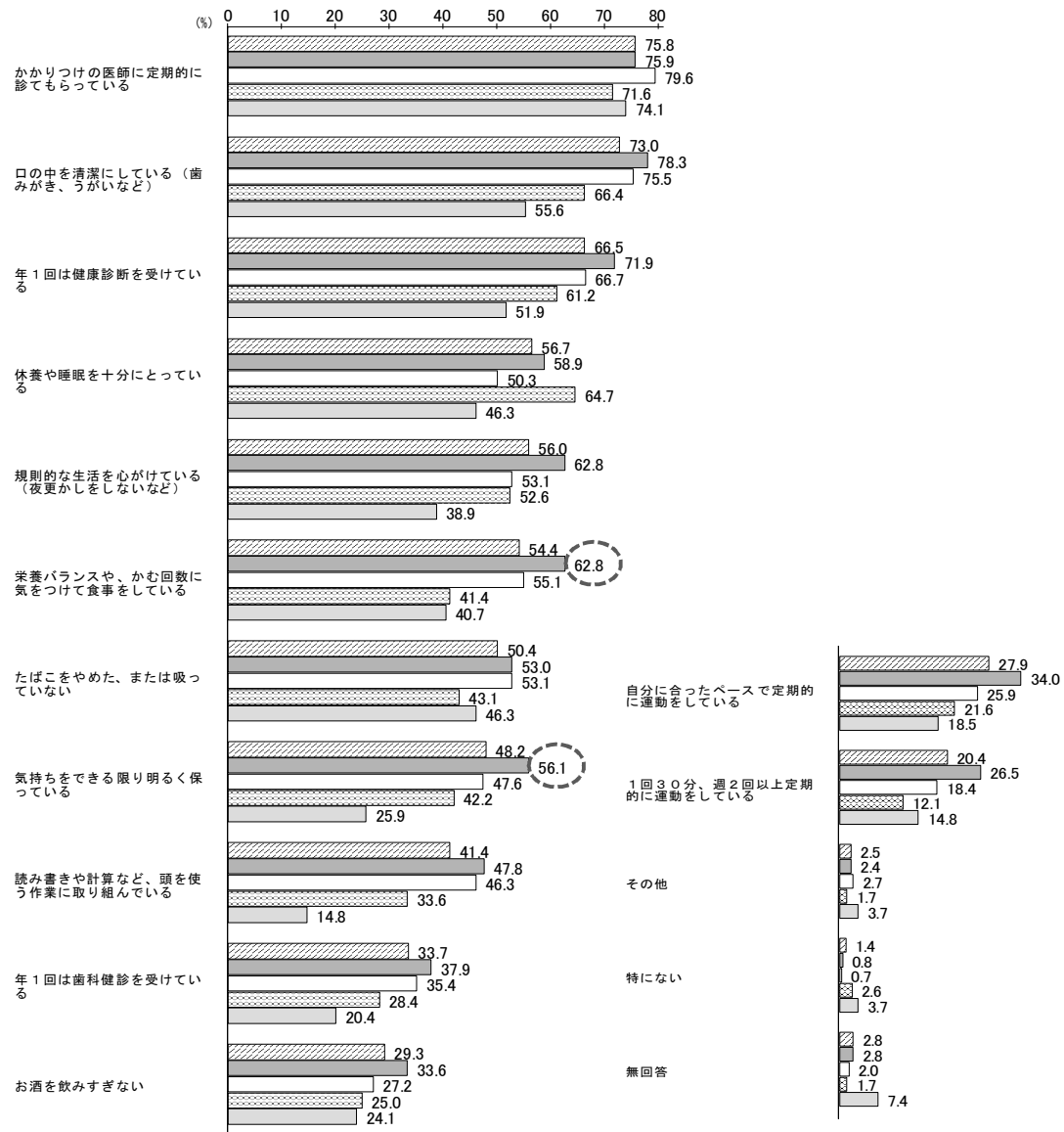
また、「栄養バランスや、かむ回数に気をつけて食事をしている」については、要支援1で62.8%と、回答者全体の割合（54.4%）に比べて高い。

同様に、「気持ちをできる限り明るく保っている」については、要支援1で56.1%と、回答者全体の割合（48.2%）に比べて高い。

(サービス未利用者：要支援1・2、要介護1・2)

問2 1 健康や介護予防のための取り組み内容 (複数回答)

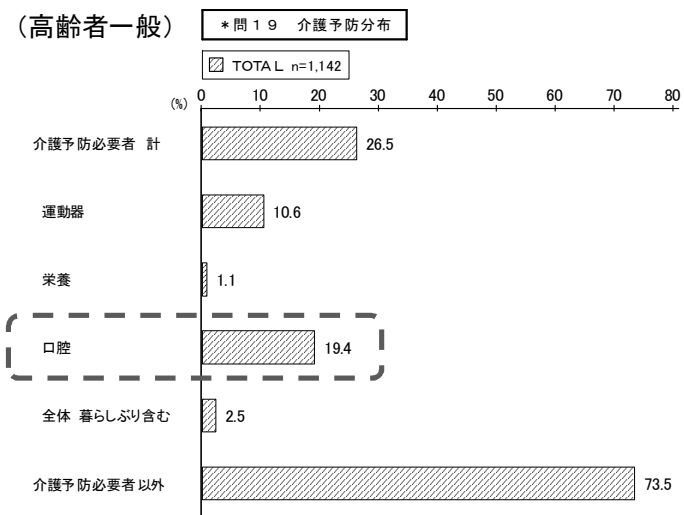
TOTAL n=570 要支援1 n=253
 要支援2 n=147 要介護1 n=116
 要介護2 n=54



(9) 口腔ケアについて

① 性・年齢

- 介護予防必要者のうちで、19.4%と該当者の割合の多かった口腔の予防必要者（下図参照）について、属性等をクロス集計により示した。



高齢者一般における口腔の予防必要者の性・年齢構成については、介護予防必要者計の男性割合 42.6%に比べて、47.5%とやや多くなっている。年齢別では、65～69歳の割合が 14.9%となっている。

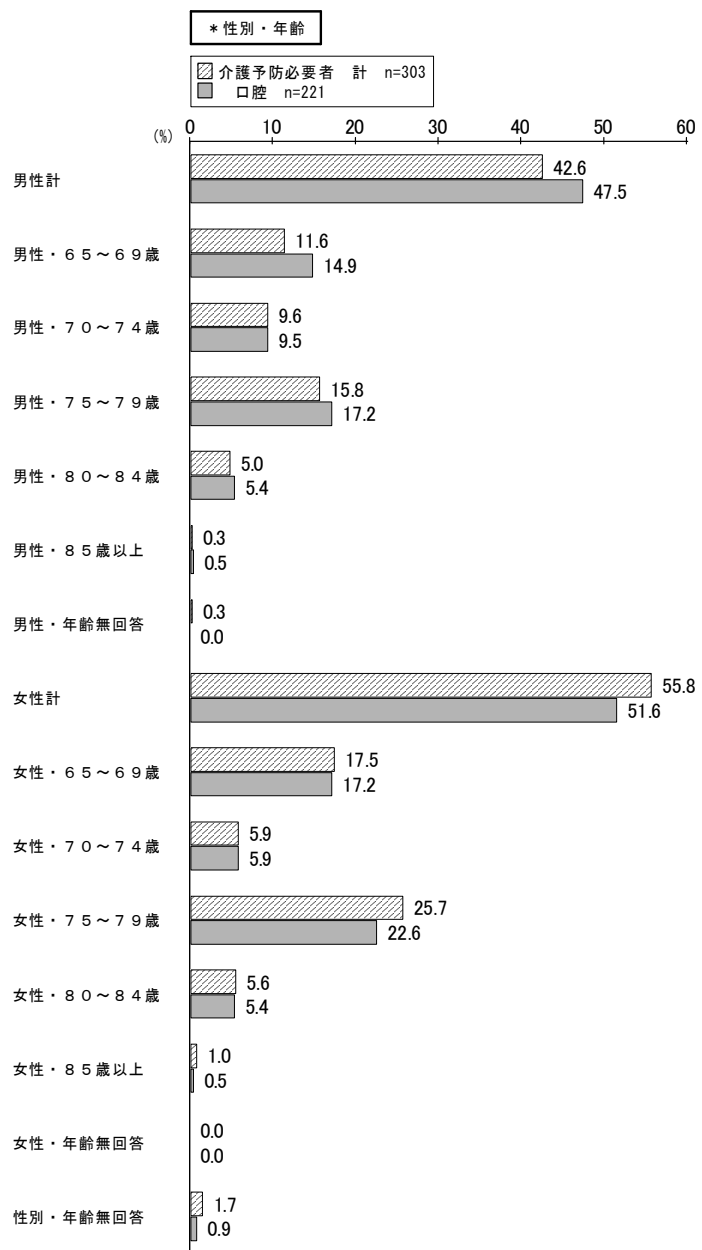
- 利用者、未利用者の要支援における口腔の予防必要者の性・年齢別構成については、利用者に比べて未利用者の男性割合がやや高く、3割となっている。(介護予防必要者 30.0%、口腔該当者 32.6%)

また、利用者要支援の口腔予防必要者のうち、女性 75～79歳の構成比が 20.0%と、介護予防必要者計の 16.3%に比べてやや高くなっている。

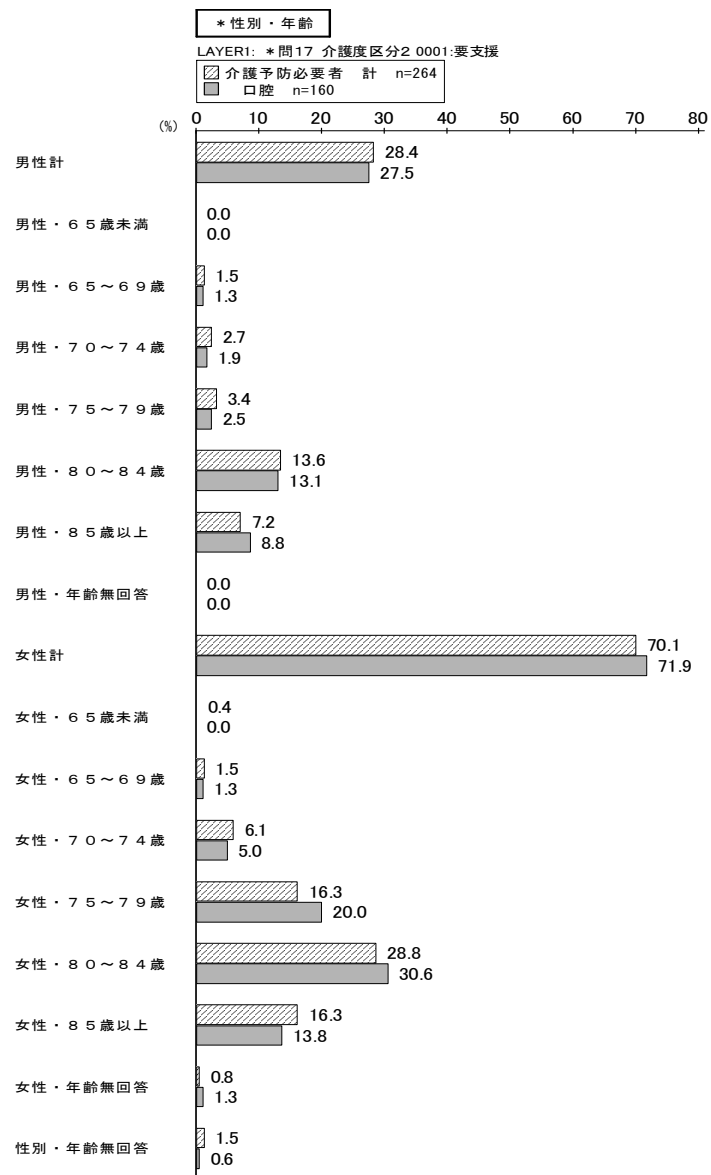
一方、未利用者要支援の口腔予防必要者のうち、男性 80～84歳の構成比が 15.5%と、介護予防必要者計の 10.9%に比べてやや高くなっている。

(高齢者一般)

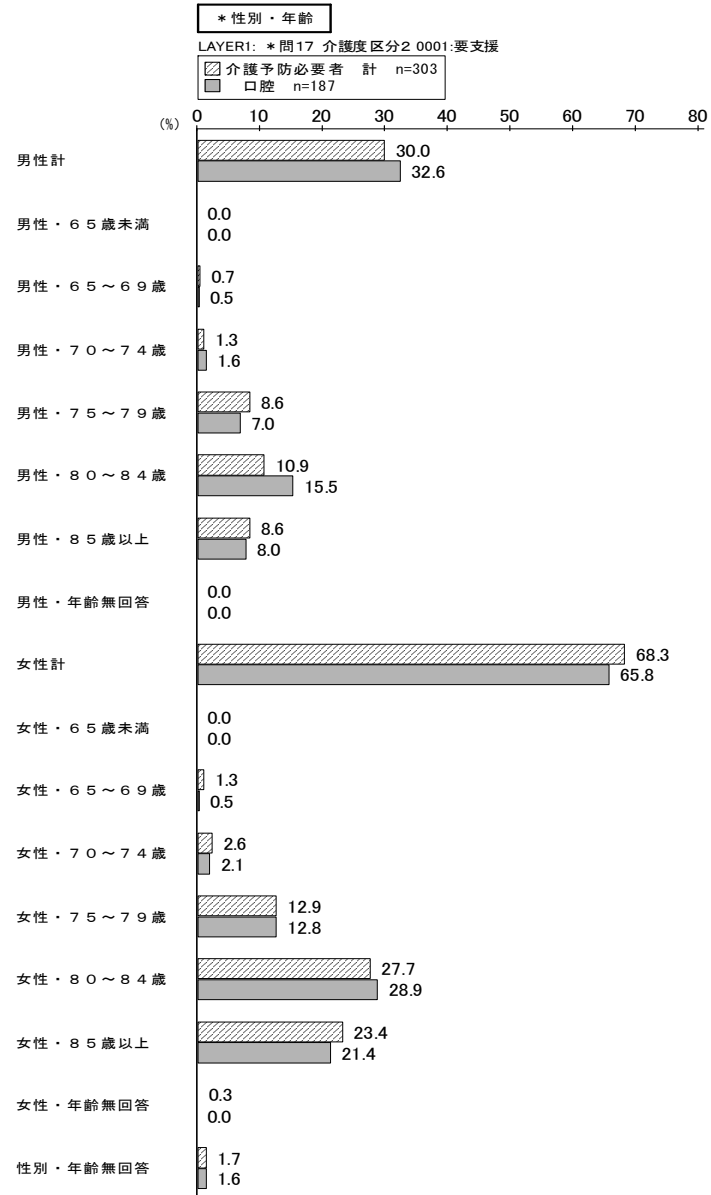
(介護予防必要者、口腔の予防必要者)



(居宅等サービス利用者：要支援)



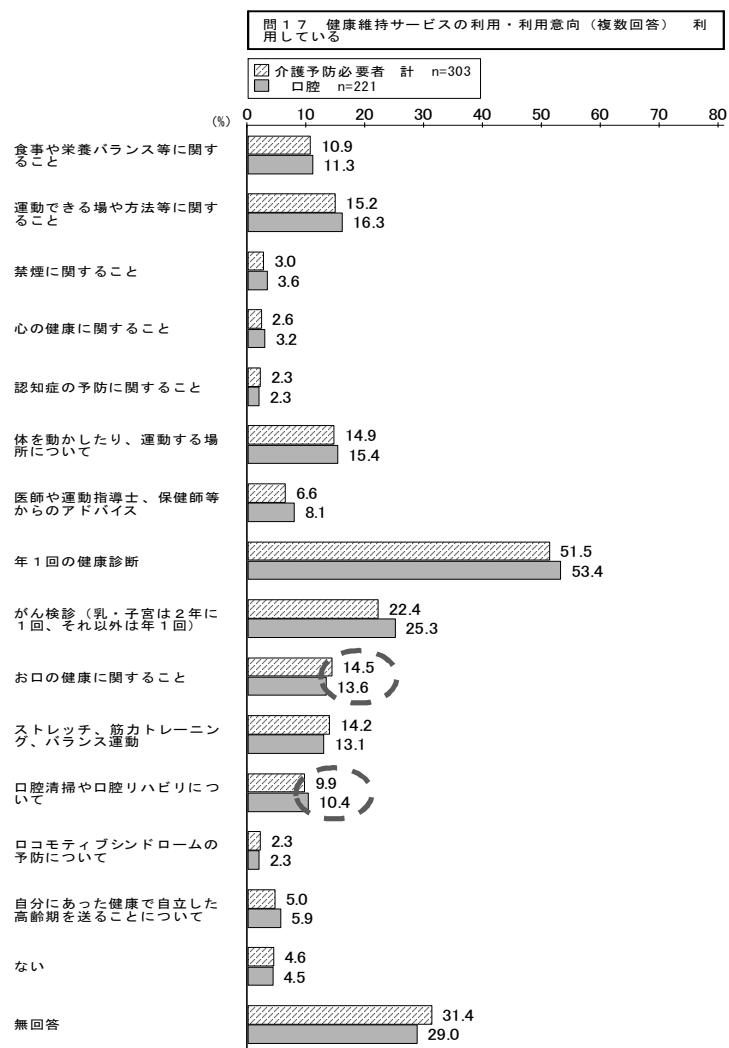
(サービス未利用者：要支援)



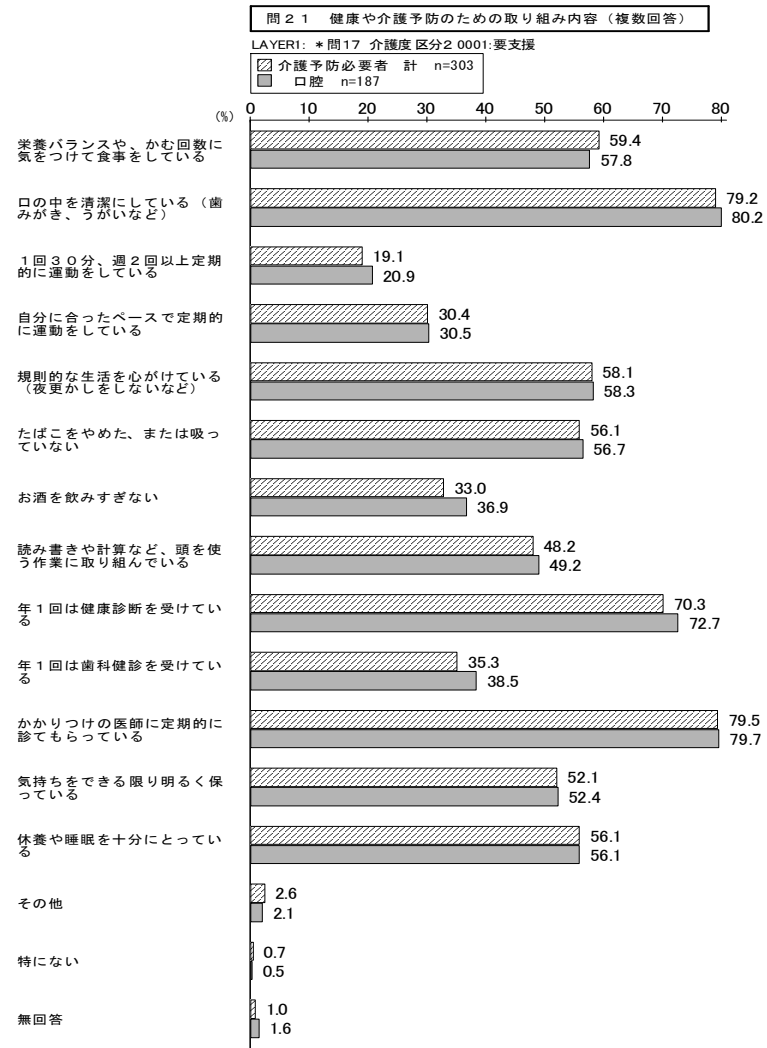
② 健康・介護予防への取り組み状況

- 口腔の予防必要者について、健康・介護予防への取り組み状況については、高齢者一般、未利用者要支援とも、介護予防必要者計の回答割合との差はみられず、高齢者一般の「お口の健康に関すること」、「口腔清掃や口腔リハビリについて」についても介護予防必要者計とほぼ同様の割合である。
(「お口の健康に関すること」13.6%、「口腔清掃や口腔リハビリについて」10.4%)
未利用者要支援の「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」は介護予防必要者計と同様、約8割である。(80.2%)

(高齢者一般)



(サービス未利用者：要支援)



③ 健康・介護予防の利用意向

- 健康・介護予防の利用意向について、高齢者一般の介護予防必要者計と口腔予防必要者の回答割合の差はみられず、「自分にあった健康で自立した高齢期を送ることについて」、「認知症の予防について」がともに3割台で最も多くなっている。

（「自分にあった健康で自立した高齢期を送ることについて」介護予防必要者計 39.3%、口腔予防必要者 37.1%、「認知症の予防について」介護予防必要者計 30.4%、口腔予防必要者 31.7%）

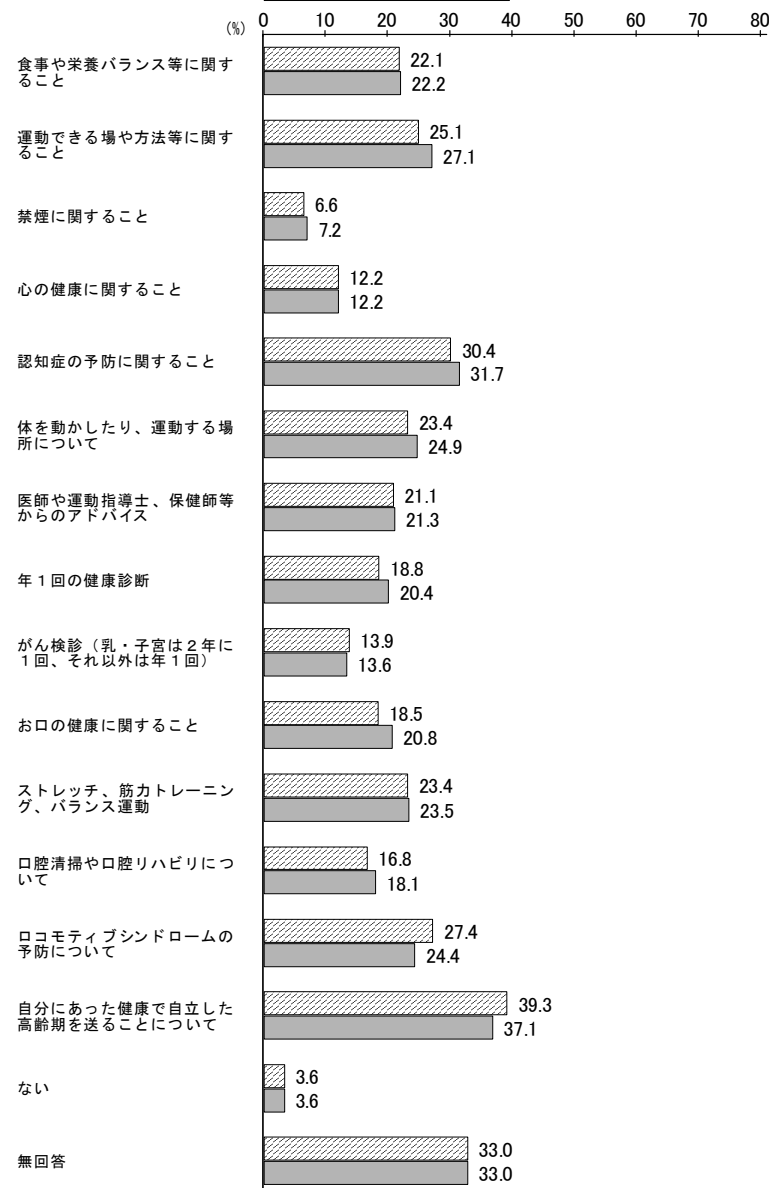
また、「お口の健康に関すること」についても、介護予防必要者計と口腔予防必要者の割合は2割前後となっている。

（「お口の健康に関すること」介護予防必要者計 18.5%、口腔予防必要者 20.8%）

(高齢者一般)

問17 健康維持サービスの利用・利用意向（複数回答） 今
後利用したい

介護予防必要者 計 n=303
口腔 n=221

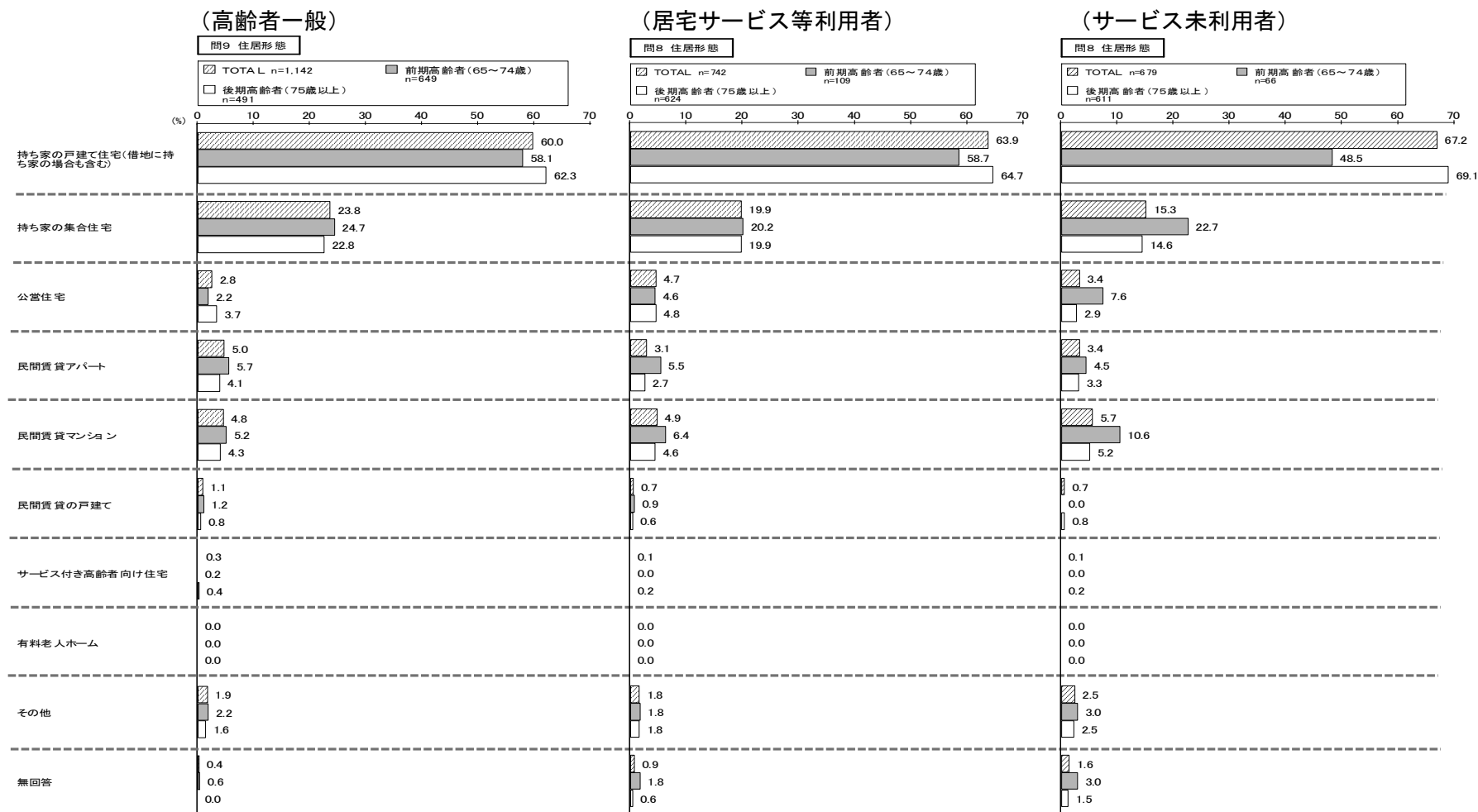


4 住まい

(1) 住居形態

- 住居形態をみると、いずれの対象者でも「持ち家戸建て住宅」の居住割合が6割台である（高齢者一般 60.0%、利用者 63.9%、未利用者 67.2%）。未利用者の場合、前期高齢者の「持ち家戸建て住宅」の居住割合が 48.5%とやや低いが、公営住宅割合が 7.6%と他の対象者（前期高齢者）に比べてやや多い。

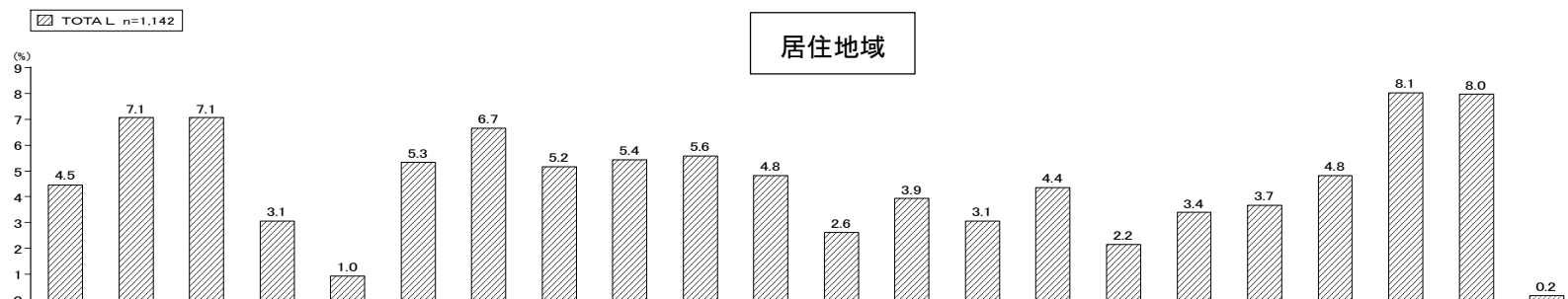
また、「民間賃貸マンション」の居住割合についても、未利用者の前期高齢者では 10.6%と、他の対象者（前期高齢者）に比べてやや多い。



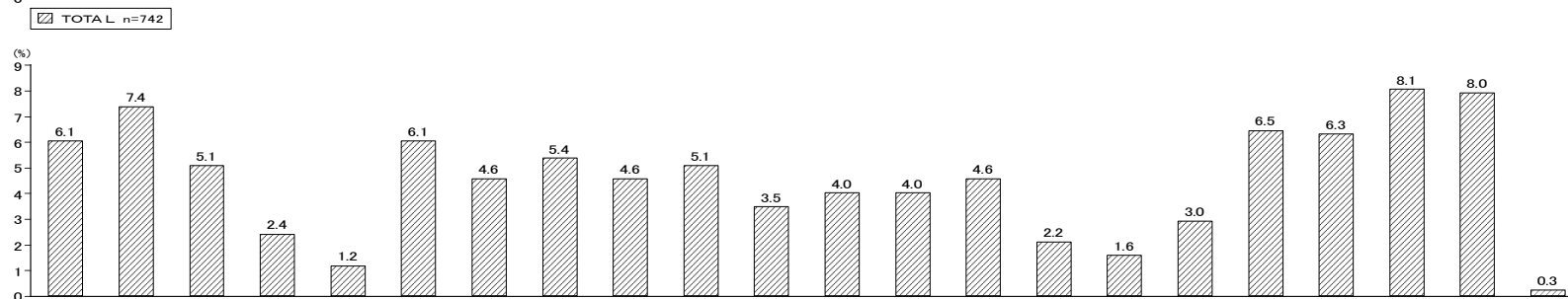
(2) 居住地域

- 今回の調査に回答した対象者の居住地域をみると、いずれの対象者でも「長崎」、「南長崎」の居住割合が8%前後みられる。高齢者一般では「駒込」、「高田」の割合が他に比べてやや多く、利用者では「西巣鴨」、「南池袋」、「雑司が谷」、「要町」の割合が他よりやや多くなっている。また未利用者では「目白」の居住割合が他よりやや多くなっている。

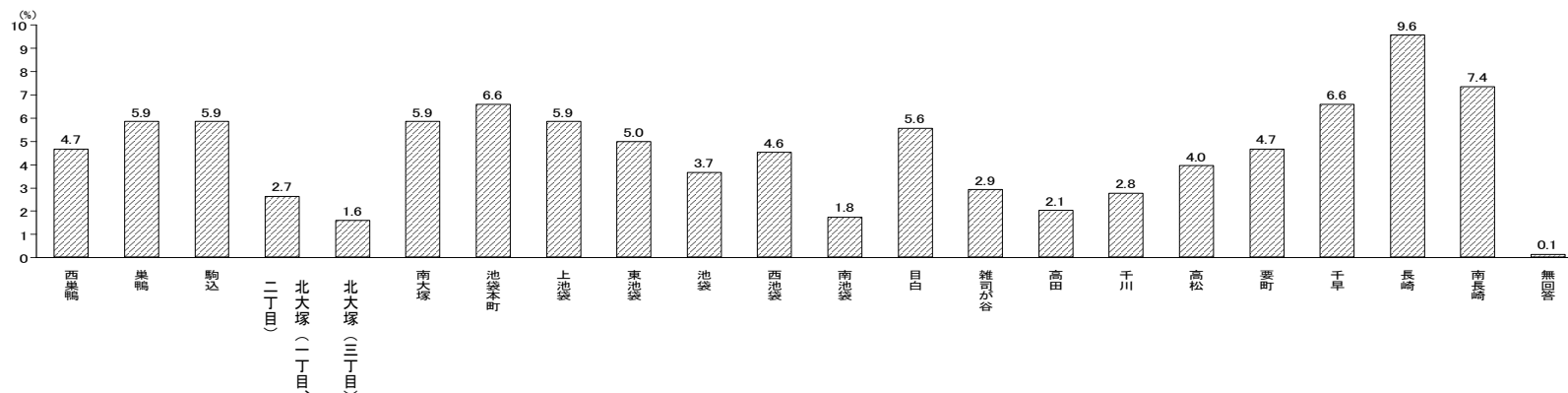
(高齢者一般)



(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)



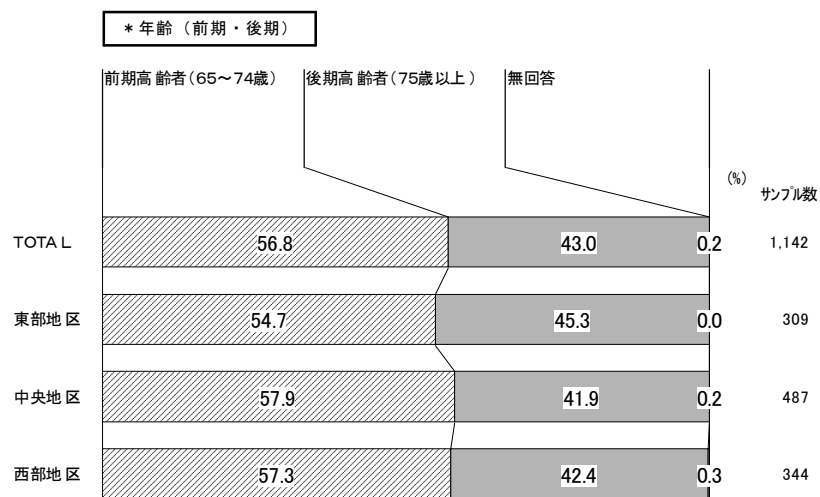
(3) 圏域別構成 (年齢・介護度)

○ 圏域ごとの対象者の年齢割合、介護度割合については、高齢者一般では前期高齢者 56.8%、後期高齢者 43.0%となっており、地区別の割合もほぼ同様となっている。

○ 利用者、未利用者については、利用者の要支援割合が全体では 47.4% に対し、西部地区では 50.0%となっている。一方西部地区では中・重度者(要介護 3～5)割合が全体の 13.6%に比べて 10.9%とやや少なくなっている。

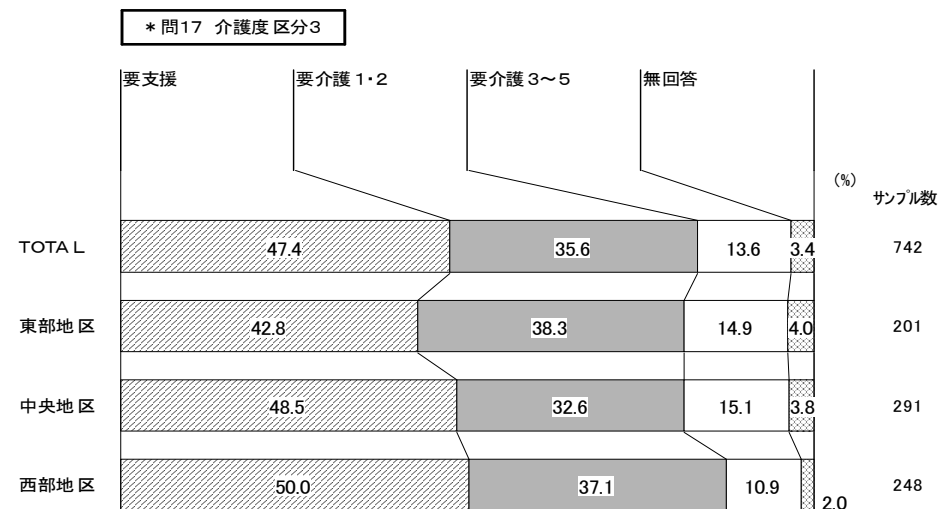
未利用者では、利用者と同様、要支援割合について、西部地区において全体の 58.9%に対し、62.2%とやや多くなっている。

(高齢者一般)



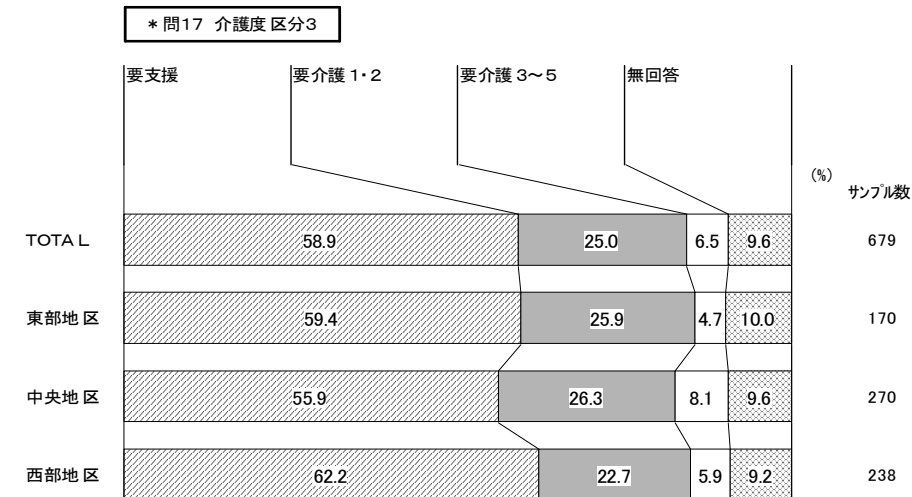
(居住地区無回答 n=2 を除く)

(居宅サービス等利用者)



(居住地区無回答 n=2 を除く)

(サービス未利用者)



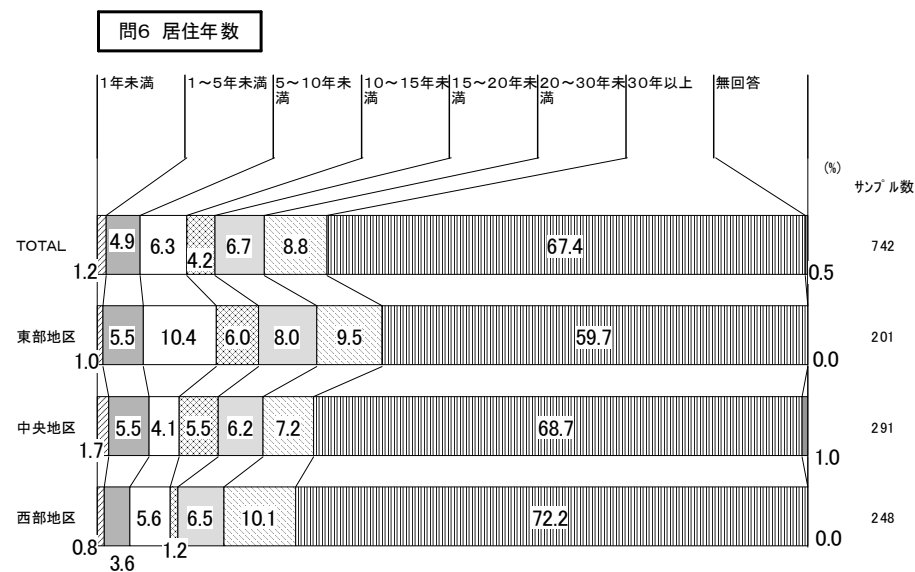
(居住地区無回答 n=1 を除く)

(4) 居住年数

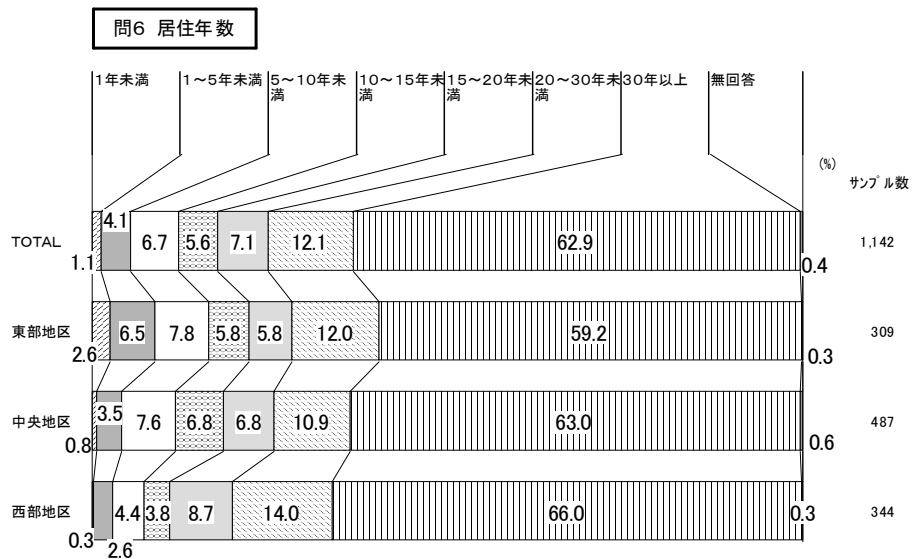
- 居住年数をみると、いずれの対象者でも「30年以上」の割合が最も多く、6～7割となっている。(高齢者一般：62.9%、利用者：67.4%、未利用者72.8%)

特に未利用者では西部地区の「30年以上」の居住割合が77.7%となっている。

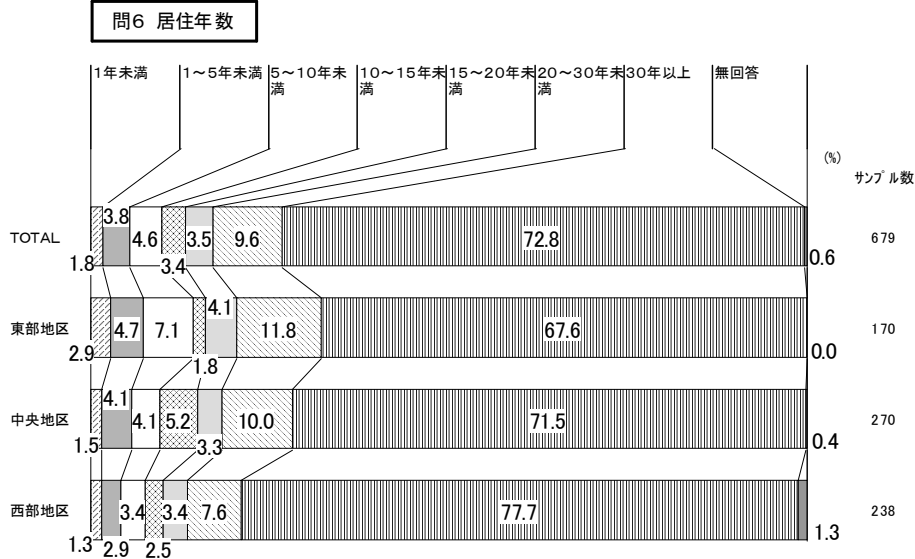
(居宅サービス等利用者)



(高齢者一般)

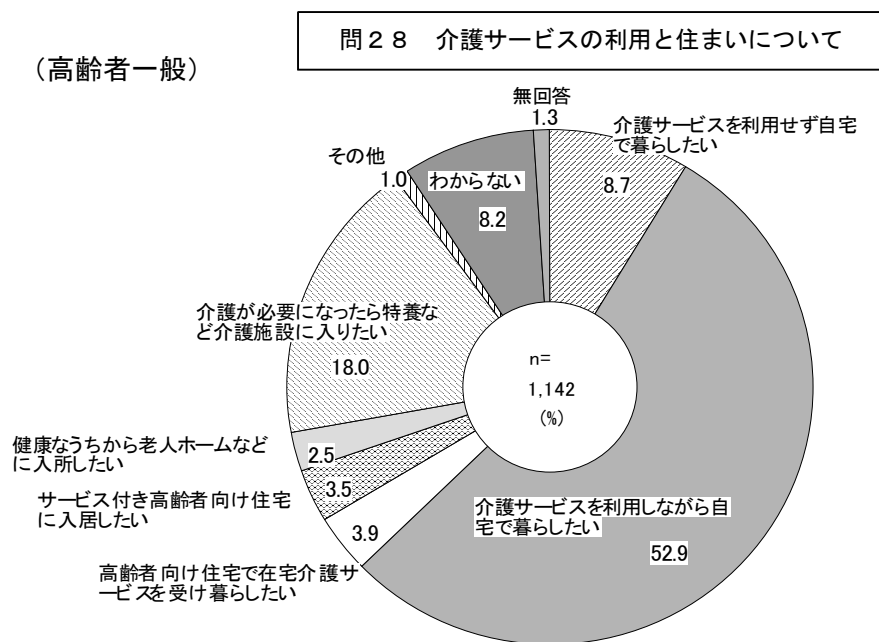


(サービス未利用者)



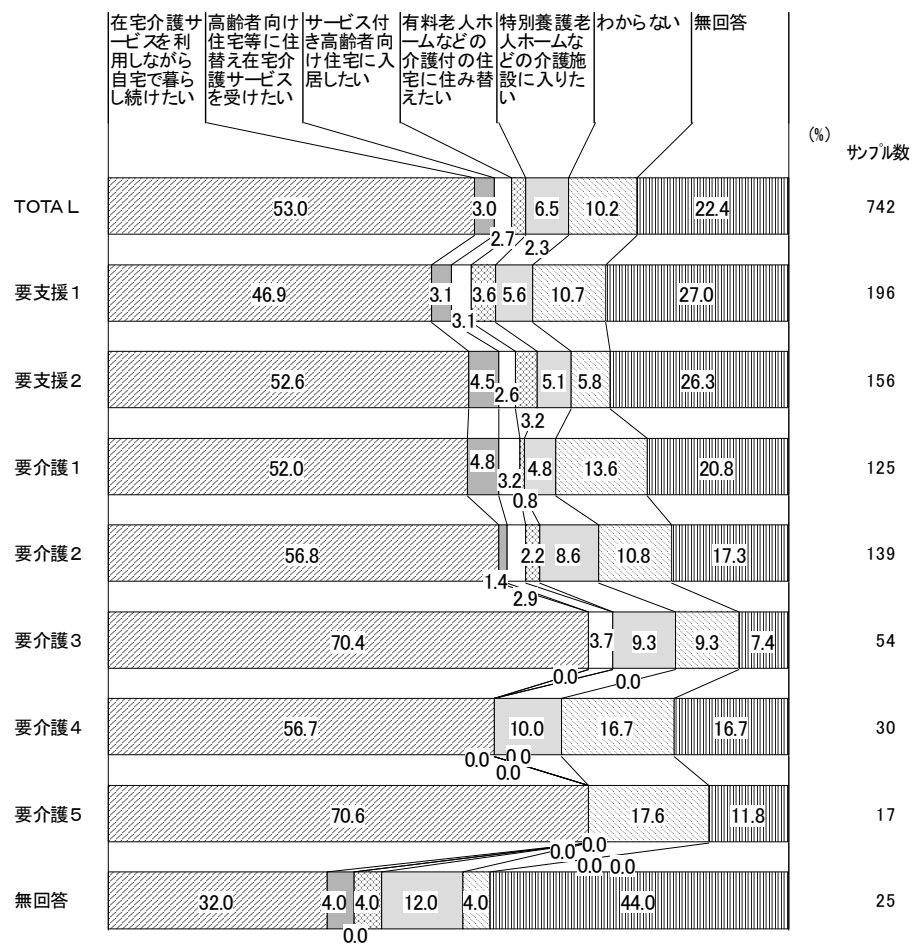
(5) 介護サービス利用と住まいについて

- 介護サービス利用と住まいについての考え方をみると、高齢者一般では 52.9%が「介護が必要になったら、介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で暮らしたい」となっている。次いで 18.0%が「できる限り自宅で暮らしたいが、介護が必要になったら特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」となっている。
- 利用者では、53.0%が「在宅介護サービスを利用しながら、自宅で暮らし続けたい」となっている。
介護度別にみると、要介護3の70.4%が「在宅介護サービスを利用しながら、自宅で暮らし続けたい」となっている。
未利用者では、48.9%が「在宅介護サービスを利用しながら、自宅で暮らし続けたい」となっている。次いで、18.7%が「介護サービスを利用せずに、家族などに介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」となっている。



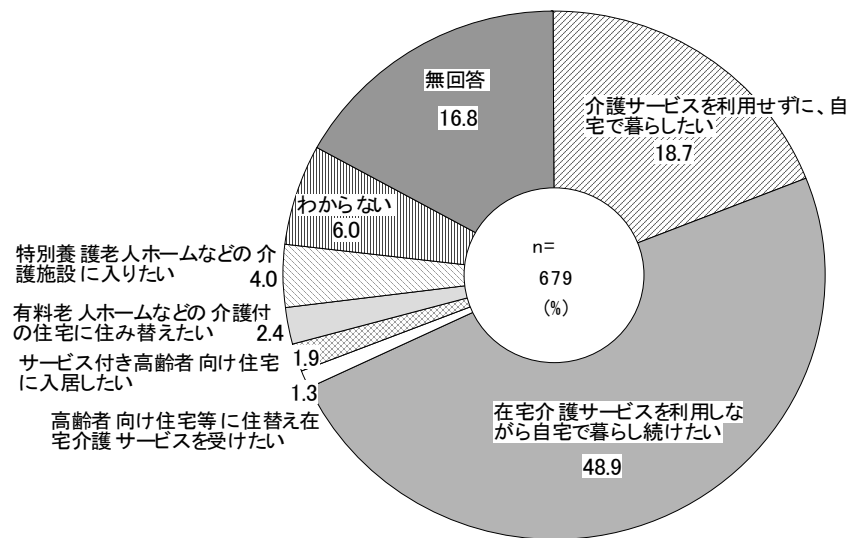
(居宅サービス等利用者)

問36 在宅介護の継続希望



(サービス未利用者)

問34 在宅介護の継続希望

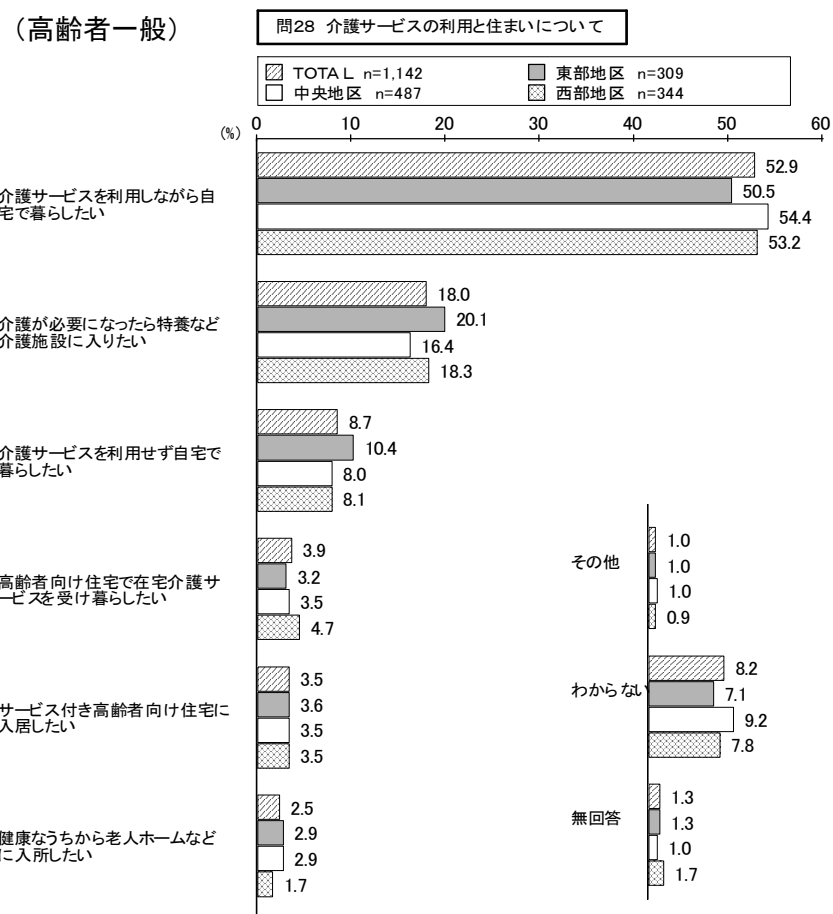


【圏域別クロス】

(高齢者一般)

○ 高齢者一般について、介護サービス利用と住まいについての考え方を圏域別にみると、いずれの地区においても「介護が必要になったら、介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で暮らしたい」が最も多く、5割台となっている。

「できる限り自宅で暮らしたいが、介護が必要になったら特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」については、東部地区で20.1%となっている。

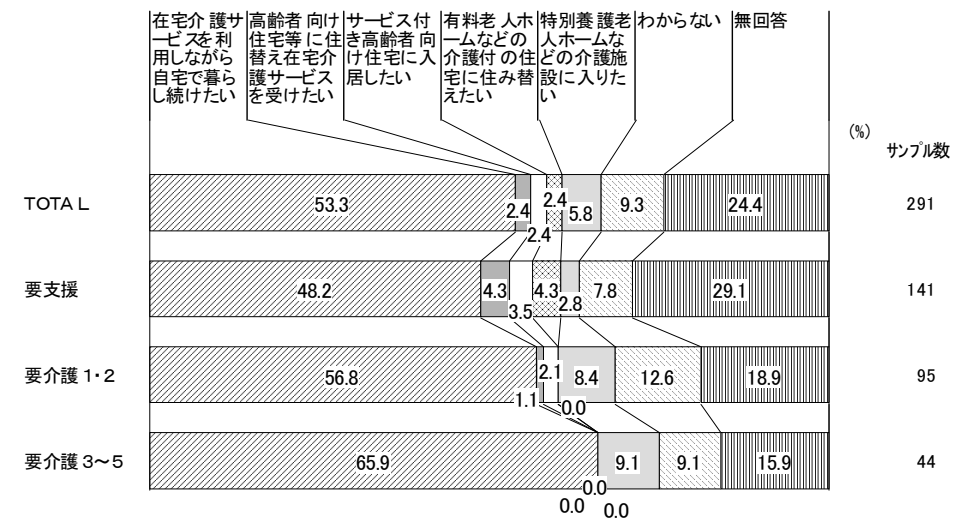


(居宅サービス等利用者)

- 利用者について、介護サービス利用と住まいについての考え方を圏域別にみると、西部地区の軽度者（要介護1・2）では47.8%が「在宅介護サービスを利用しながら、自宅で暮らし続けたい」となっている一方、9.8%が「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」となっており、他地区の軽度者（要介護1・2）の回答割合よりもやや多い。

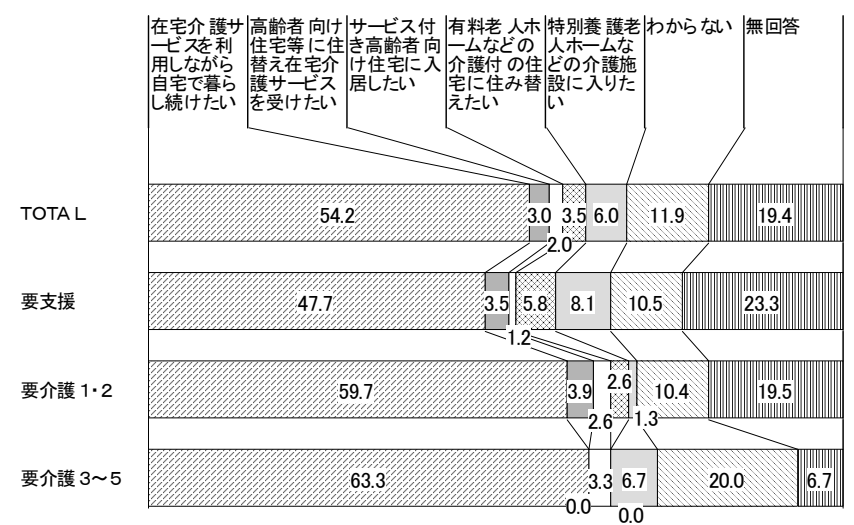
問36 在宅介護の継続希望

LAYER1: *問5 3圏域別 0002:中央地区



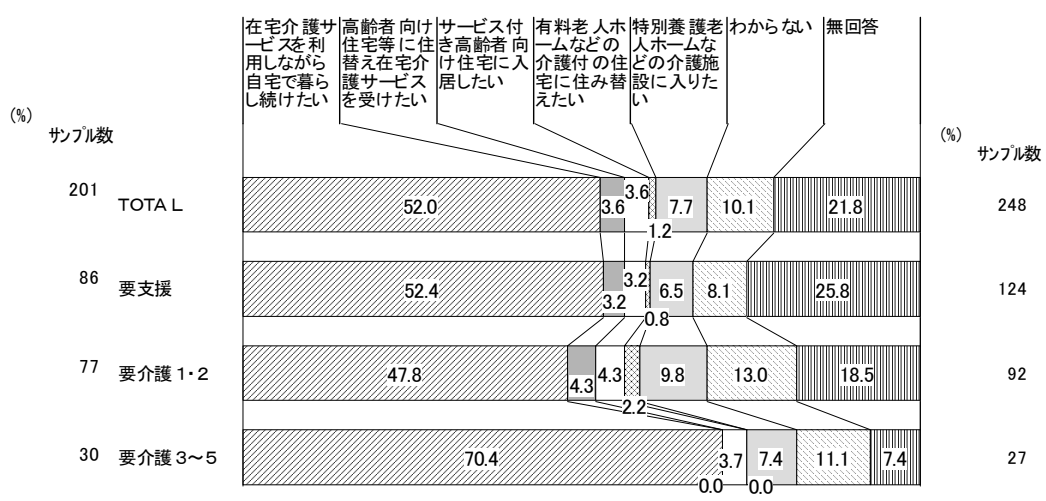
問36 在宅介護の継続希望

LAYER1: *問5 3圏域別 0001:東部地区



問36 在宅介護の継続希望

LAYER1: *問5 3圏域別 0003:西部地区

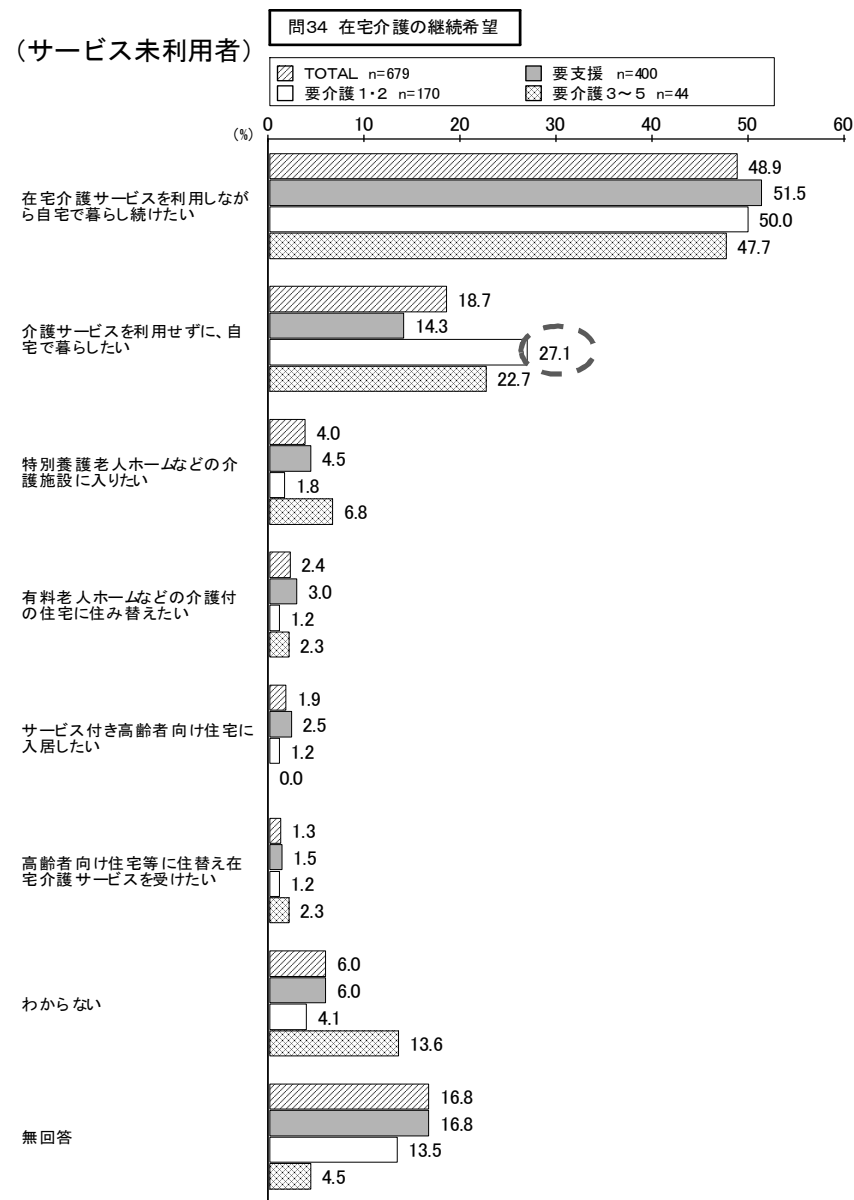


【介護度別】

(サービス未利用者)

- 未利用者について、介護サービス利用と住まいについての考え方について介護度別にみると、軽度者（要介護1・2）の27.1%が「介護サービスを利用せずに、家族などに介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」となっており、他の介護度の回答割合よりも若干多い。

また、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」は、中・重度者（要介護3～5）で6.8%と、他の介護度の回答割合よりも若干多い。



【本人年収別】

- 介護サービス利用と住まいについての考え方を本人年収別にみると、高齢者一般では年収 250 万円未満までの層では「できる限り自宅で暮らしたいが、介護が必要になったら特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」とする回答が 2 割前後となっており、「150～200 万円未満」では 26.0%となっている。
- 利用者では、「300～350 万円未満」で 12.2%が「できる限り自宅で暮らしたいが、介護が必要になったら特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」となっている。
- 未利用者では、顕著な傾向はみられない。

(高齢者一般) (介護サービス利用と住まいについて)

	介護サービスを利用せず自宅で暮らしたい	介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい	高齢者向け住宅で在宅介護サービスを受け暮らしたい	サービス付き高齢者向け住宅に入居したい	健康なうちから老人ホームなどに入所したい	介護が必要になったら特養など介護施設に入りたい	その他	わからない	無回答
TOTAL(n=1142)	8.7	52.9	3.9	3.5	2.5	18.0	1.0	8.2	1.3
50万円未満(n=66)	12.1	45.5	1.5	1.5	1.5	25.8	0.0	10.6	1.5
50～80万円未満(n=129)	7.8	51.2	3.9	1.6	0.8	20.2	0.0	13.2	1.6
80～100万円未満(n=94)	10.6	56.4	3.2	2.1	1.1	16.0	1.1	7.4	2.1
100～150万円未満(n=127)	4.7	56.7	3.9	1.6	4.7	15.7	1.6	7.9	3.1
150～200万円未満(n=127)	7.9	41.7	7.9	3.1	1.6	26.0	1.6	8.7	1.6
200～250万円未満(n=113)	8.8	54.0	2.7	0.9	3.5	22.1	0.0	7.1	0.9
250～300万円未満(n=89)	5.6	59.6	2.2	4.5	1.1	16.9	1.1	7.9	1.1
300～350万円未満(n=79)	7.6	60.8	3.8	7.6	0.0	12.7	1.3	5.1	1.3
350～400万円未満(n=63)	11.1	46.0	6.3	4.8	6.3	15.9	0.0	9.5	0.0
400～500万円未満(n=72)	15.3	58.3	1.4	2.8	1.4	13.9	1.4	5.6	0.0
500～600万円未満(n=49)	6.1	53.1	6.1	4.1	6.1	18.4	0.0	6.1	0.0
600～700万円未満(n=24)	16.7	50.0	8.3	8.3	0.0	4.2	8.3	4.2	0.0
700～800万円未満(n=22)	4.5	59.1	4.5	9.1	4.5	13.6	0.0	4.5	0.0
800～900万円未満(n=8)	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0
900～1,000万円未満(n=9)	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0
1,000～1,100万円未満(n=19)	15.8	57.9	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0	10.5	0.0
1,100～1,200万円未満(n=4)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1,200～1,300万円未満(n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1,300～1,400万円未満(n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1,400～1,500万円未満(n=3)	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
1,500万円以上(n=21)	0.0	52.4	0.0	23.8	4.8	9.5	0.0	9.5	0.0
無回答(n=20)	15.0	40.0	0.0	0.0	10.0	15.0	0.0	15.0	5.0

(居宅サービス等利用者) (在宅介護の継続希望)

	在宅介護サービスを利用しながら自宅で暮らし続けたい	高齢者向け住宅等に住み替え在宅介護サービスを受けたい	サービス付き高齢者向け住宅に入居したい	有料老人ホームなどの介護付の住宅に住み替えたい	特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい	わからない	無回答
TOTAL(n=742)	53.0	3.0	2.7	2.3	6.5	10.2	22.4
50万円未満(n=75)	52.0	2.7	1.3	1.3	8.0	9.3	25.3
50~80万円未満(n=85)	55.3	3.5	2.4	1.2	9.4	10.6	17.6
80~100万円未満(n=77)	53.2	5.2	5.2	1.3	3.9	13.0	18.2
100~150万円未満(n=76)	43.4	1.3	2.6	0.0	7.9	10.5	34.2
150~200万円未満(n=93)	51.6	2.2	5.4	3.2	5.4	8.6	23.7
200~250万円未満(n=70)	60.0	1.4	0.0	2.9	8.6	11.4	15.7
250~300万円未満(n=67)	55.2	6.0	1.5	4.5	6.0	9.0	17.9
300~350万円未満(n=49)	51.0	2.0	4.1	4.1	12.2	12.2	14.3
350~400万円未満(n=30)	56.7	3.3	3.3	3.3	6.7	6.7	20.0
400~500万円未満(n=18)	66.7	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	22.2
500~600万円未満(n=12)	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
600~700万円未満(n=4)	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
700~800万円未満(n=5)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
800~900万円未満(n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
900~1,000万円未満(n=5)	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
1,000~1,100万円未満(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1,100~1,200万円未満(n=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
1,200~1,300万円未満(n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
1,500万円以上(n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答(n=65)	35.4	1.5	3.1	1.5	3.1	15.4	40.0

(サービス未利用者) (在宅介護の継続希望)

	介護サービスを利用せずに、自宅で暮らしたい	在宅介護サービスを利用しながら自宅で暮らし続けたい	高齢者向け住宅等に住み替え在宅介護サービスを受けたい	サービス付き高齢者向け住宅に住居したい	有料老人ホームなどの介護付の住宅に住み替えたい	特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい	わからない	無回答
TOTAL(n=679)	18.7	48.9	1.3	1.9	2.4	4.0	6.0	16.8
50万円未満(n=72)	25.0	37.5	4.2	1.4	0.0	6.9	6.9	18.1
50～80万円未満(n=97)	18.6	48.5	2.1	3.1	2.1	7.2	7.2	11.3
80～100万円未満(n=46)	17.4	45.7	0.0	0.0	0.0	4.3	10.9	21.7
100～150万円未満(n=76)	21.1	40.8	1.3	2.6	2.6	2.6	6.6	22.4
150～200万円未満(n=82)	17.1	56.1	0.0	2.4	1.2	3.7	3.7	15.9
200～250万円未満(n=80)	11.3	58.8	0.0	1.3	2.5	2.5	7.5	16.3
250～300万円未満(n=54)	22.2	50.0	0.0	5.6	3.7	5.6	1.9	11.1
300～350万円未満(n=38)	23.7	42.1	2.6	2.6	2.6	2.6	10.5	13.2
350～400万円未満(n=19)	21.1	63.2	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	5.3
400～500万円未満(n=22)	22.7	50.0	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	18.2
500～600万円未満(n=10)	20.0	50.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0
600～700万円未満(n=7)	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
700～800万円未満(n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
800～900万円未満(n=5)	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
900～1,000万円未満(n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
1,100～1,200万円未満(n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1,400～1,500万円未満(n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1,500万円以上(n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
無回答(n=60)	11.7	50.0	1.7	0.0	1.7	3.3	6.7	25.0

5 生活支援・福祉サービス

(1) 心配ごと・悩みごと

- 心配ごとや悩みごとについては、高齢者一般では「自分の健康のこと」が51.9%で最も多く、次いで「親族の健康のこと」が32.0%となっている。
世帯状況別にみると、夫婦二人暮らし（二人とも65歳以上）で39.3%が「親族の健康のこと」となっている。ひとり暮らしでは、32.2%が「病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと」となっている。ひとり暮らしではこのほか、17.6%が「ひとり暮らしや孤独になること」、7.9%が「安心して住める場所がないこと」となっており、他の世帯とは異なる回答傾向がみられる。

利用者では、79.2%が「自分の健康のこと」が最も多く、次いで51.1%が「外出先・自宅内での転倒・事故」となっている。

世帯状況別にみると、ひとり暮らしで52.7%が「地震等災害時の避難のこと」、34.5%が「ひとり暮らしや孤独になること」、34.1%が「病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと」となっている。また夫婦二人暮らし（二人とも65歳以上）で46.7%が「親族の健康のこと」となっている。

未利用者では、利用者と同様の傾向がみられ、80.6%が「自分の健康のこと」が最も多く、次いで43.0%が「外出先・自宅内での転倒・事故」となっている。

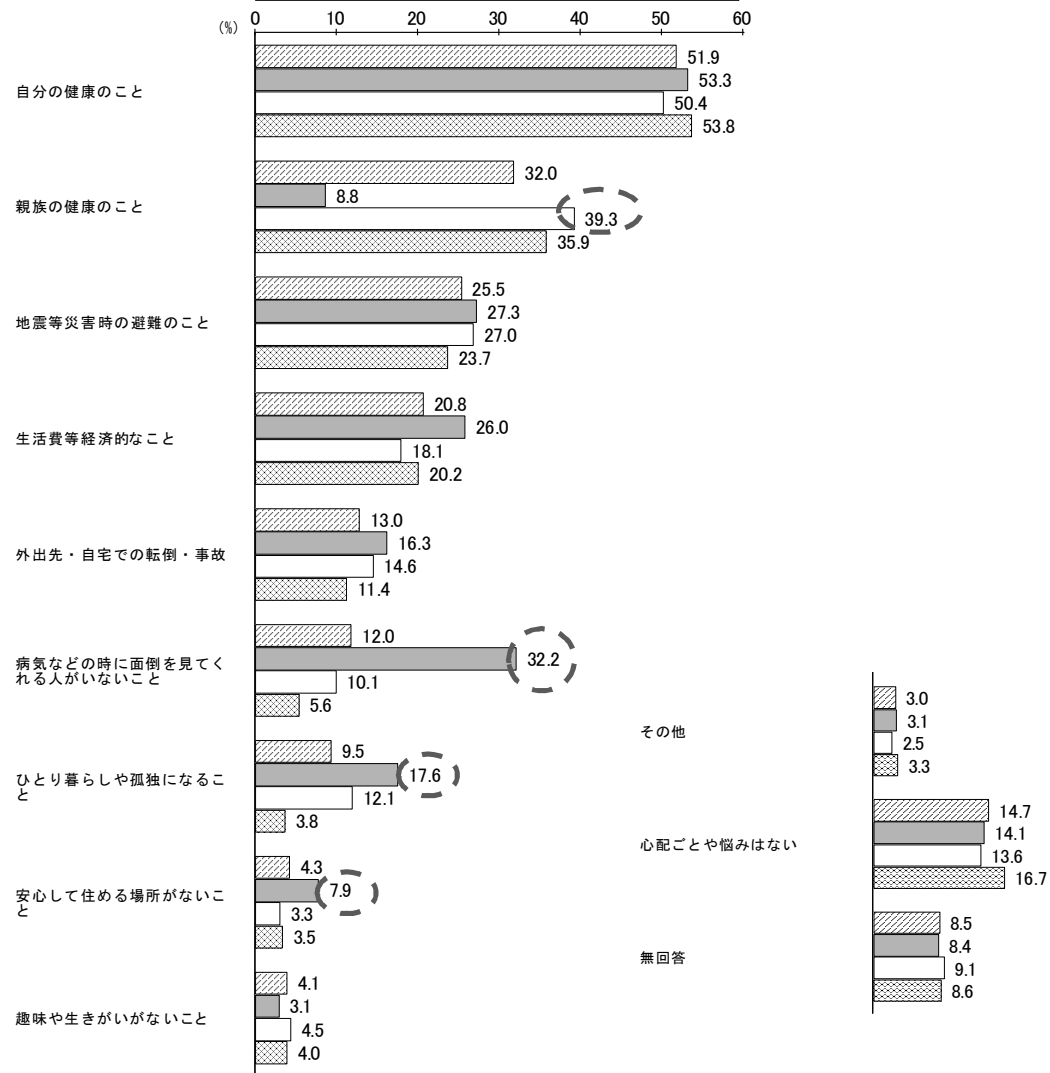
世帯状況別にみると、ひとり暮らしで37.2%が「病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと」、31.1%が「ひとり暮らしや孤独になること」となっている。

また夫婦二人暮らし（二人とも65歳以上）で43.2%が「親族の健康のこと」となっている。

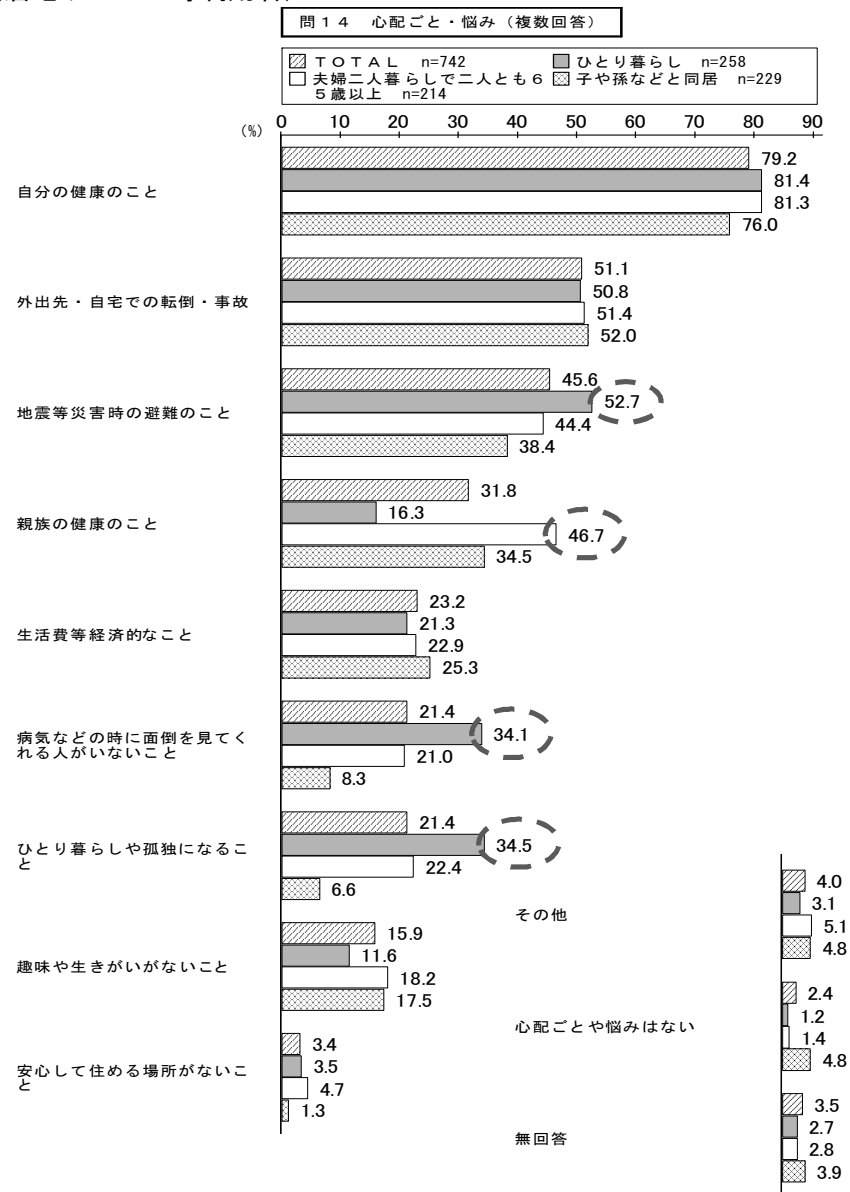
(高齢者一般)

問18 心配ごと・悩み(複数回答)

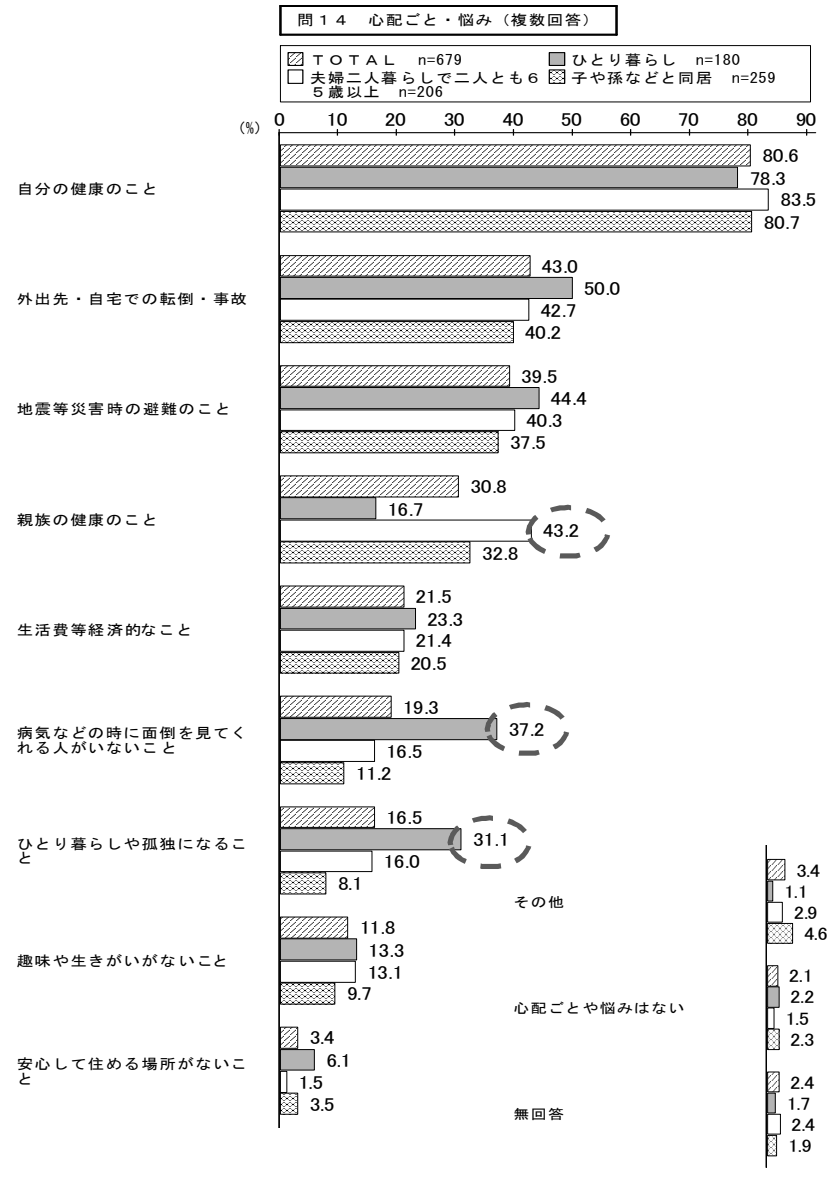
TOTAL n=1,142 ひとり暮らし n=227
 夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上 n=397 子や孫などと同居 n=396



(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)



(2) 心配ごとや悩みの相談先

(高齢者一般)

- 心配ごとや悩みの相談先については、高齢者一般では49.0%が「配偶者」が最も多く、次いで44.5%が「子ども」、30.7%が「かかりつけ医」の順となっている。

世帯状況別にみると、夫婦二人暮らし（二人とも65歳以上）で70.7%が「配偶者」となっている。また子や孫など同居では、52.0%が「子ども」となっている。ひとり暮らしでは38.6%が「友人・知人」、27.3%が「その他の家族・親族」となっている。

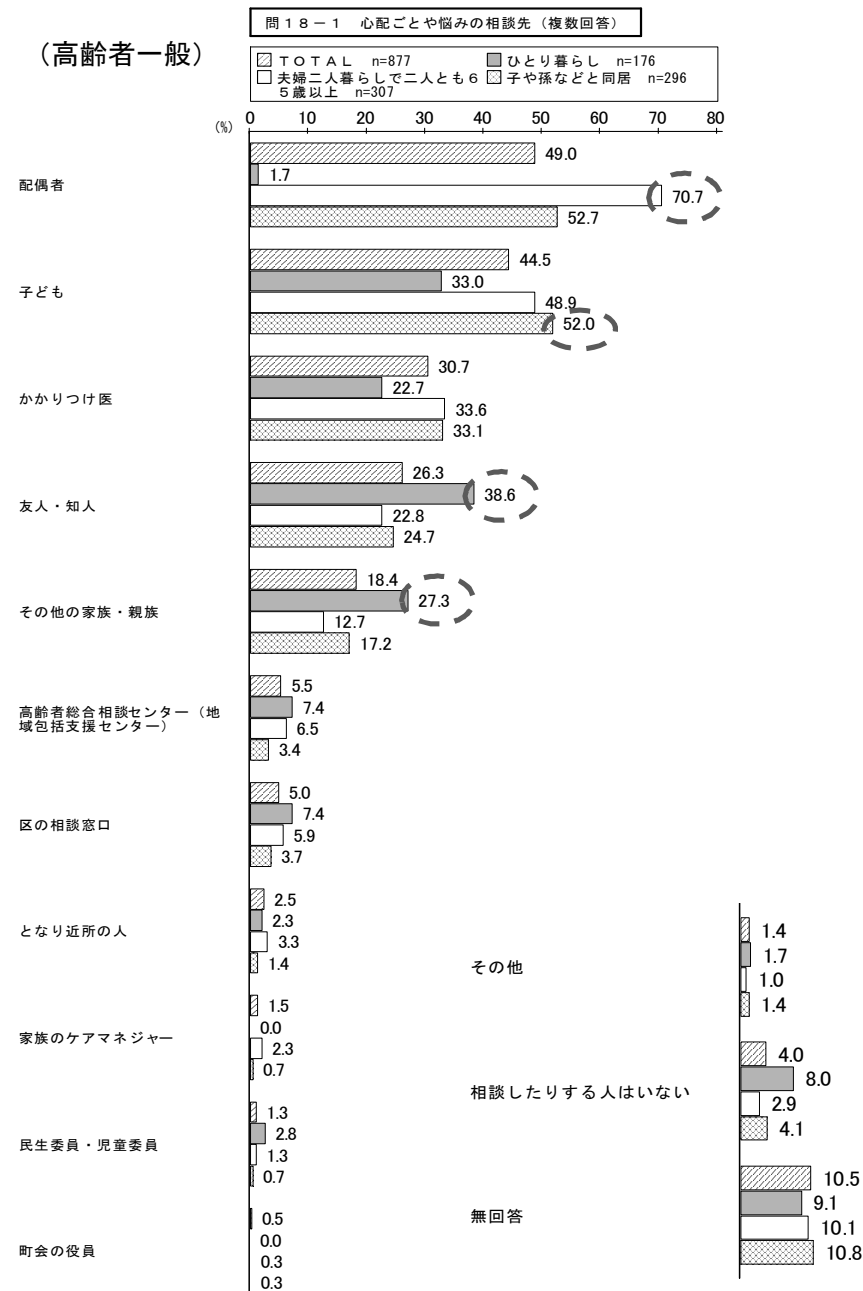
利用者では、56.6%が「子ども」、33.0%が「配偶者」となっている。

子や孫など同居では、73.2%が「子ども」となっている。夫婦二人暮らし（二人とも65歳以上）では78.0%が「配偶者」、ひとり暮らしでは37.9%が「ホームヘルパー・ケアマネジャー」、20.6%が「友人・知人」となっている。

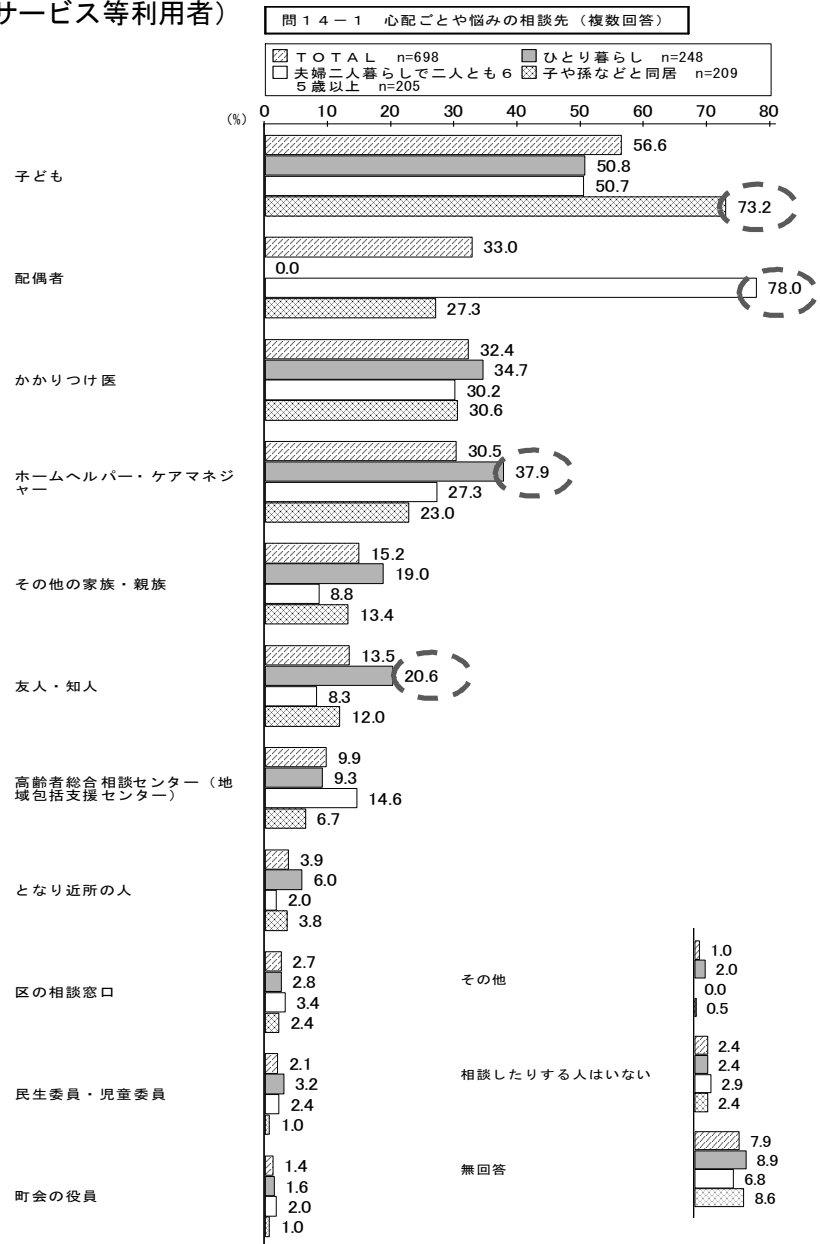
未利用者では、利用者と同様の傾向がみられ、59.8%が「子ども」、32.0%が「配偶者」となっている。

世帯状況別にみると、子や孫など同居では、71.8%が「子ども」、夫婦二人暮らし（二人とも65歳以上）では70.2%が「配偶者」、ひとり暮らしでは24.9%が「友人・知人」となっている。

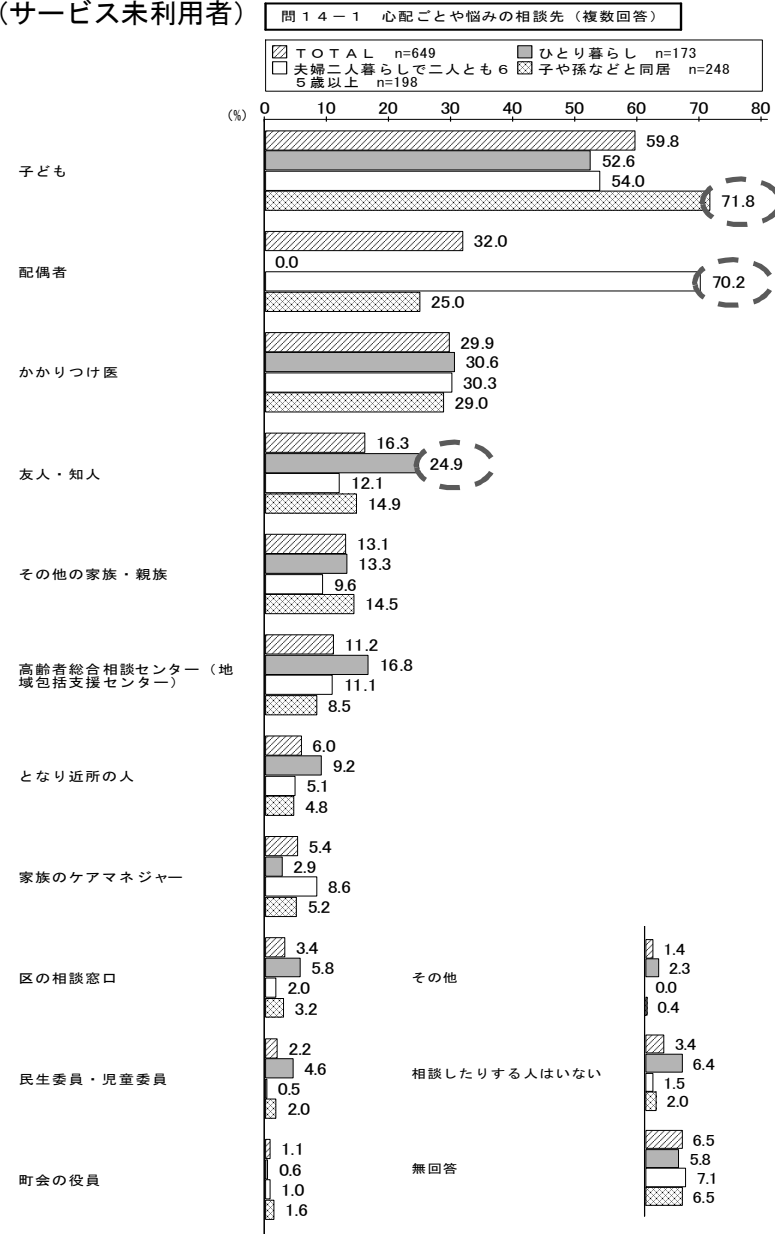
(高齢者一般)



(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)

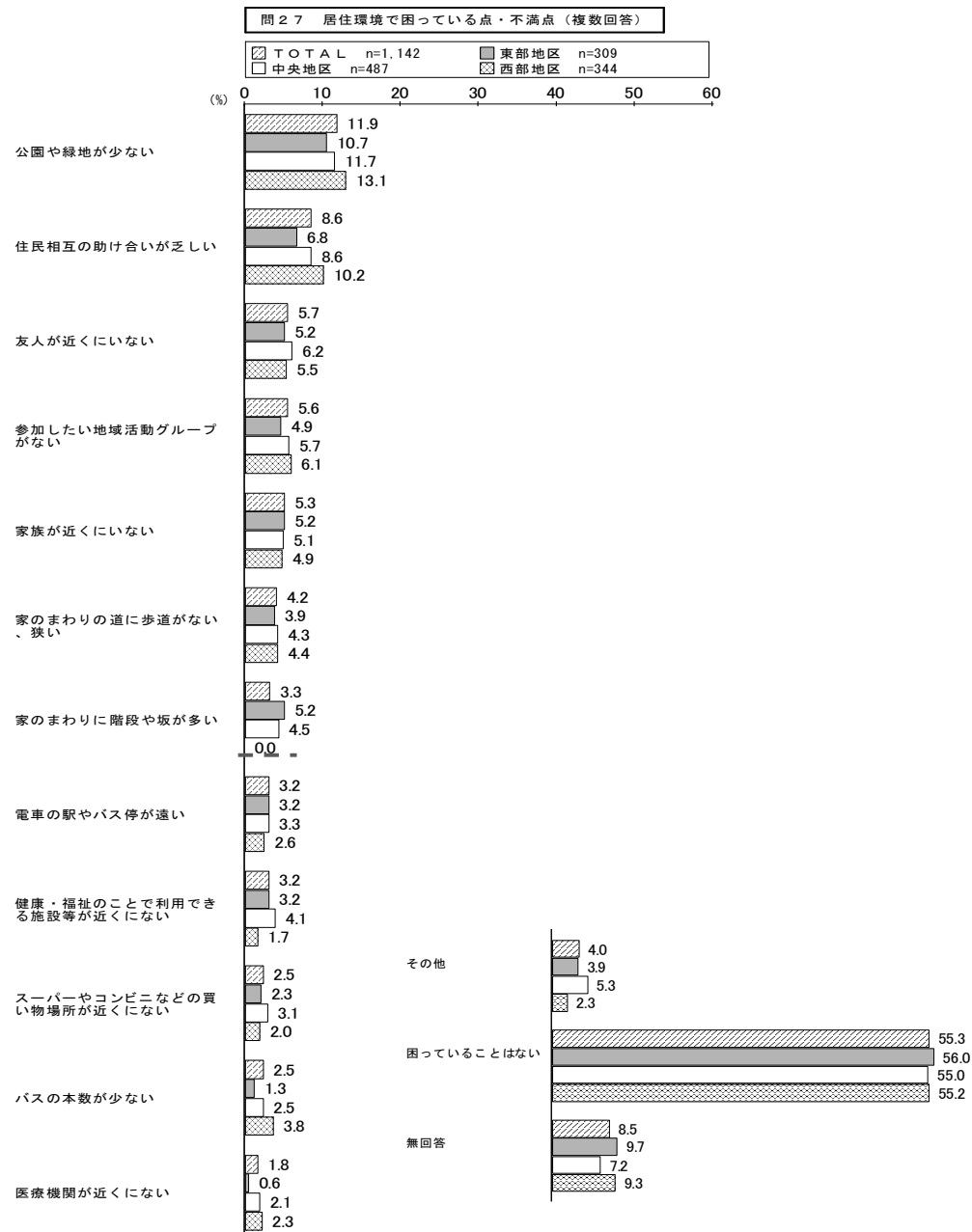


(3) 住みやすさ・生活環境

○ 現在の住まいの住みやすさ・生活環境についてみると、高齢者一般では36.2%（「困っていることはない」「無回答」の合計から除いた割合）が、何らかの困っている、不満な点等を有している。

そのうち、11.9%が「公園や緑地が少ない」で最も多く、次いで8.6%が「住民相互の助け合いが乏しい」、5.7%が「友人が近くにいない」の順となっている。

圏域別の差はみられず、「公園や緑地が少ない」は各圏域で最も多くなっている。



(4) 介護保険以外の保健福祉サービス利用状況・利用意向

- 介護保険以外の保健福祉サービスの利用意向については、高齢者一般では32.0%が「緊急通報システム（65歳以上の高齢者のみ世帯やひとり暮らしの方に、緊急時に救急車の出動を要請できる機器の貸出し）」で最も多く、次いで29.6%が「配食サービス（65歳以上の高齢者のみ世帯やひとり暮らしで食事の準備が困難な方に食事を配達）」、19.2%が「在宅医療相談窓口（豊島区医師会館で行う在宅医療を希望する方の相談）」の順となっている。

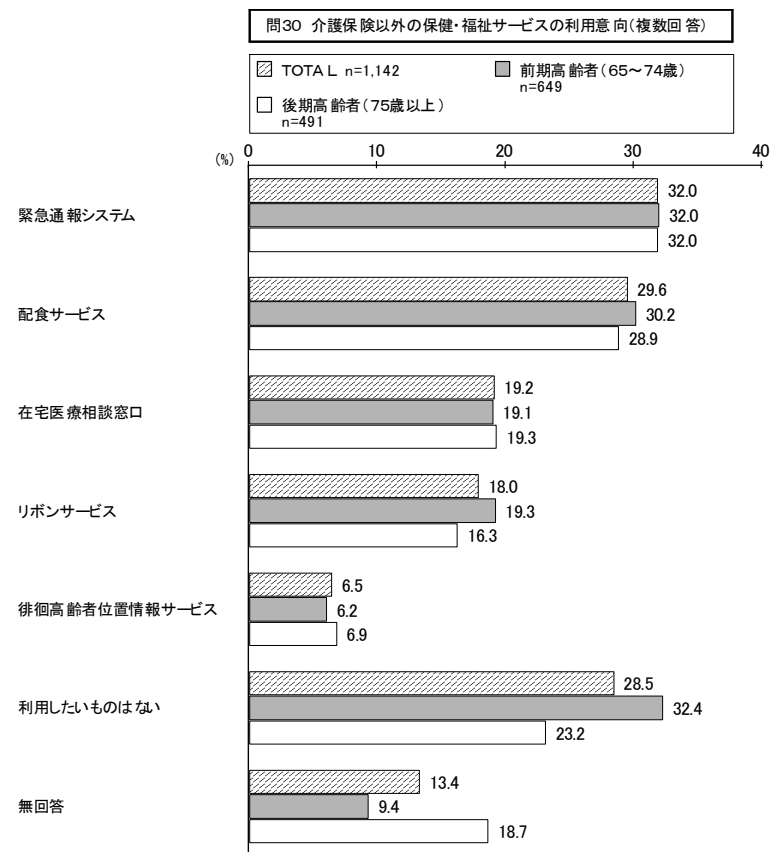
利用者では、利用状況については、8.0%が「配食サービス」、7.8%が「火災安全システム（火災報知器などの住宅防災機器の設置給付）」、4.4%が「寝具の洗濯・乾燥サービス（使用中の寝具を月1回乾燥または洗濯する）」の順となっている。

未利用者では、利用状況については、6.3%が「火災安全システム（火災報知器などの住宅防災機器の設置給付）」、次いで4.7%が「配食サービス」の順となっている。

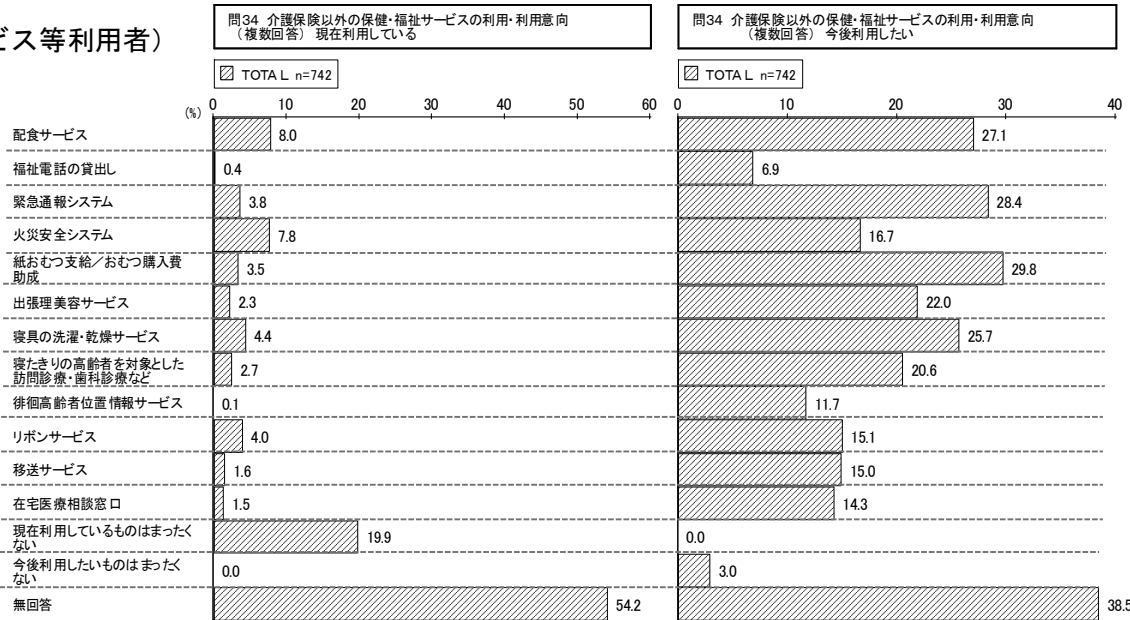
今後の利用意向については、利用者では29.8%が「紙おむつ支給（在宅の場合）／おむつ購入費助成（医療機関へ入院の場合）」、28.4%が「緊急通報システム」、次いで27.1%が「配食サービス」の順となっている。

未利用者では、26.8%が「配食サービス」、25.9%が「緊急通報システム」と「紙おむつ支給」の順となっている。

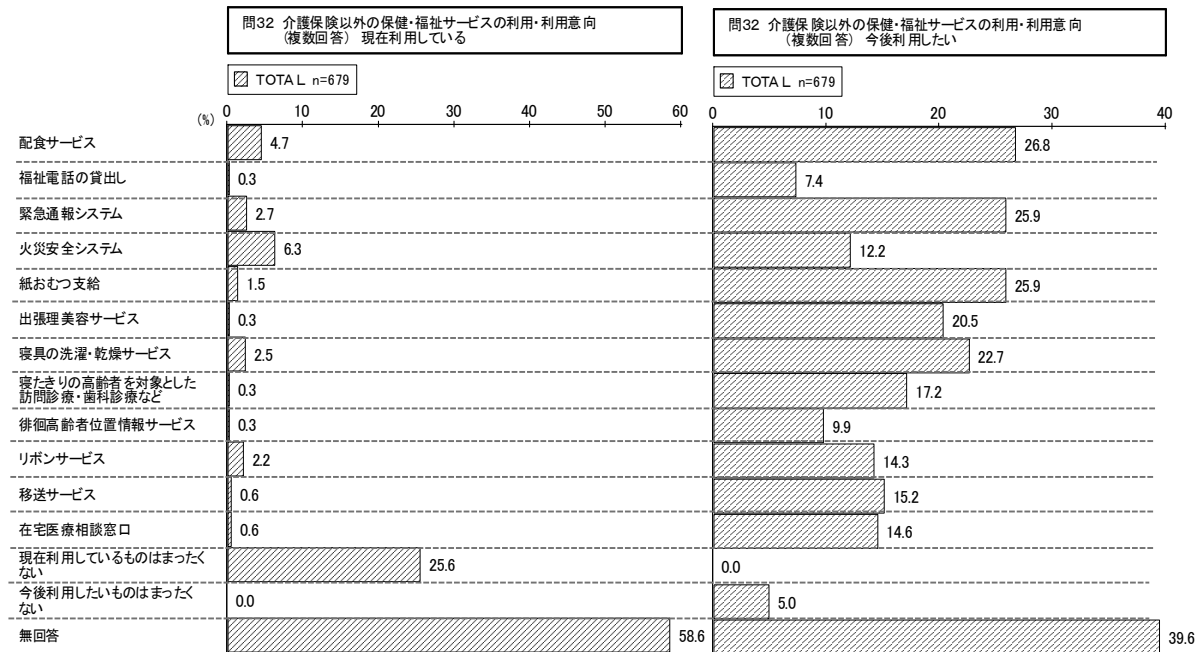
(高齢者一般)



(居宅サービス等利用者)



(サービス未利用者)



【認知機能障害程度別のサービス利用状況】

(居宅サービス等利用者)

- 利用者の認知機能障害程度別のサービス利用状況について、「0レベル＝障害なし」と比較すると、「3レベル＝中等度の障害」では、「配食サービス」(15.4%)、「福祉電話の貸出し(電話のないひとり暮らし高齢者の方へ電話の貸出し)」(1.5%)の割合が高い。

また、「4レベル＝やや重度の障害」では、「移送サービス(車椅子のまま乗り降りできるリフト付き自動車の運行)」(6.9%)、「福祉電話の貸出し」(3.4%)の割合が高い。

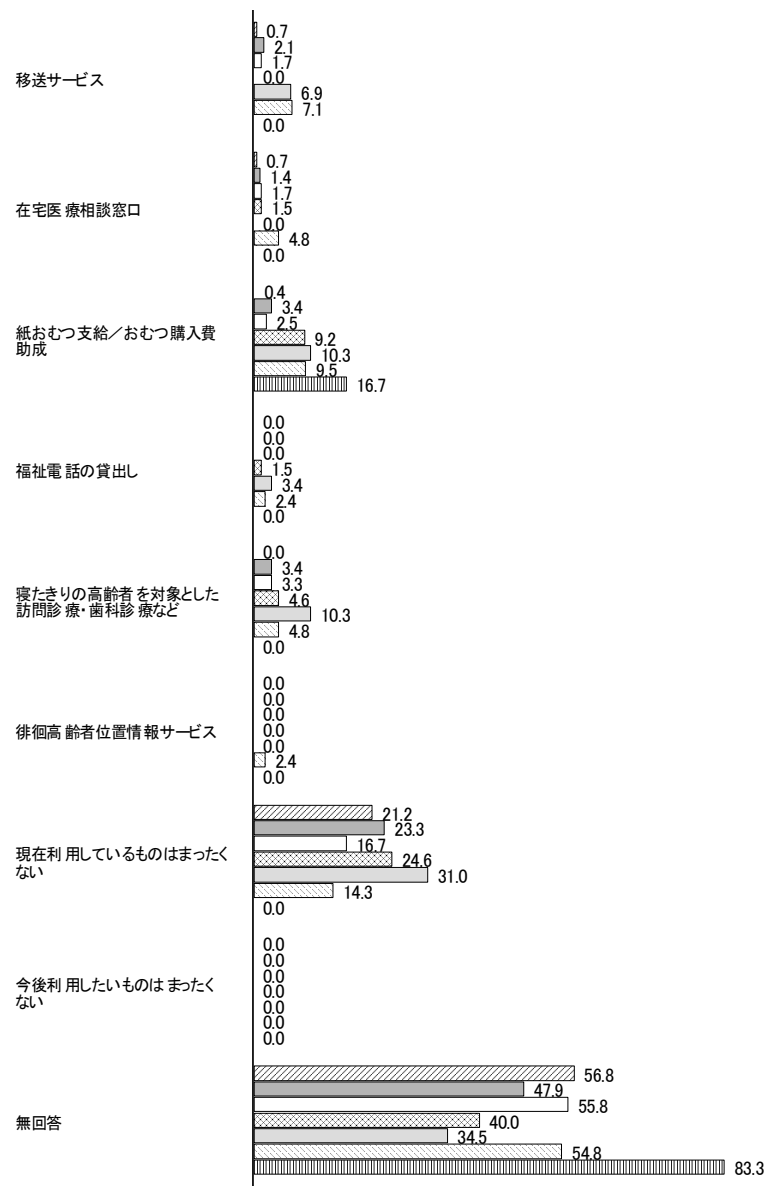
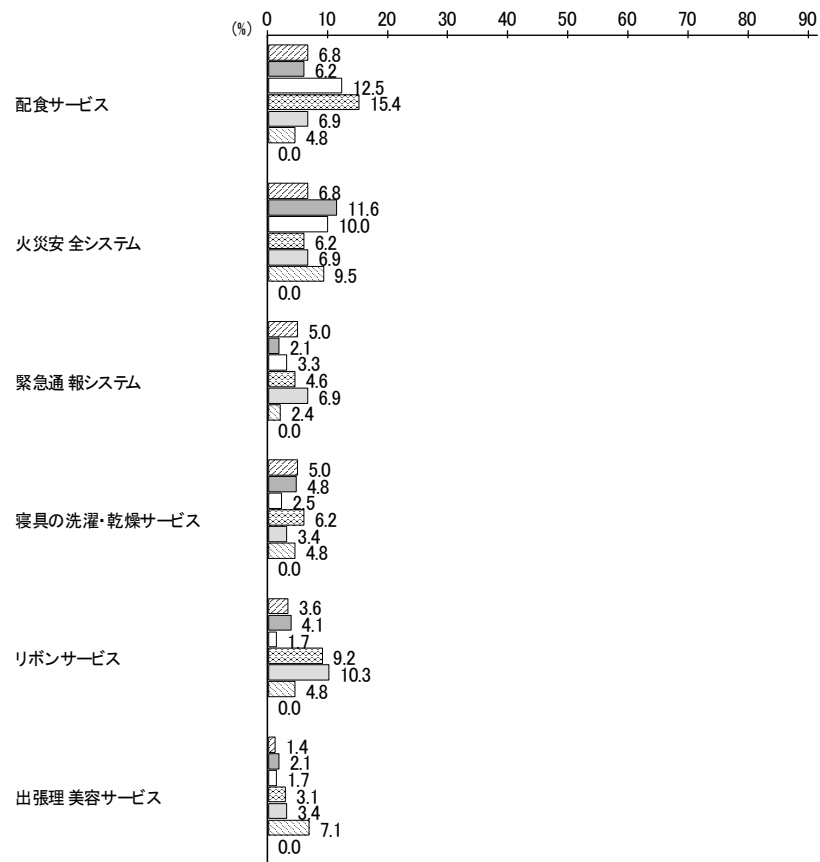
「5レベル＝重度の障害」では、「出張理美容サービス(外出できない寝たきりの高齢者の方に、自宅へ出張しての散髪)」、「移送サービス」(ともに7.1%)、「在宅医療相談窓口(豊島区医師会館で行う在宅医療を希望する方の相談)」(4.8%)、「福祉電話の貸出し」(2.4%)、「徘徊高齢者位置情報サービス(位置情報サービスの利用料金助成)」(2.4%)の割合が高い。

なお、「紙おむつ支給(在宅の場合)／おむつ購入費助成(医療機関へ入院の場合)」、「寝たきりの高齢者の方を対象とした訪問診療・歯科診療など」については、「1レベル＝境界的」以降の各レベルで「0レベル＝障害なし」に比べて高い傾向がみられる。

(居宅サービス等利用者)

問34 介護保険以外の保健・福祉サービスの利用・利用意向(複数回答) 現在利用している

0レベル=障害なし n=278 1レベル=境界的 n=146 2レベル=軽度の障害 n=120
 3レベル=中等度の障害 n=65 4レベル=やや重度の障害 n=29 5レベル=重度の障害 n=42
 6レベル=最重度の障害 n=6



(居宅サービス等利用者)

問3 4 介護保険以外の保健・福祉サービスの利用・利用意向 (複数回答) 現在利用している

REPORT NO:0101	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15
1 段目 度数		配食サービス	福祉電話の貸出し	緊急通報システム	火災安全システム	紙おむつ支給/おむつ購入費助成	出張美容サービス	寝具の洗濯・乾燥サービス	寝たきりの高齢者に対する訪問診療・歯科診療など	徘徊高齢者位置情報サービス	リボンサービス	移送サービス	在宅医療相談窓口	現在利用しているものはない	無回答
2 段目 横%															
0007:*認知機能															
LAYER1:*問17 介護度区分2 <0000>TOTAL															
1) 0レベル=障害なし	278 100.0	19 6.8	0 0.0	14 5.0	19 6.8	1 0.4	4 1.4	14 5.0	0 0.0	0 0.0	10 3.6	2 0.7	2 0.7	59 21.2	158 56.8
2) 1レベル=境界的	146 100.0	9 6.2	0 0.0	3 2.1	17 11.6	5 3.4	3 2.1	7 4.8	5 3.4	0 0.0	6 4.1	3 2.1	2 1.4	34 23.3	70 47.9
3) 2レベル=軽度の障害	120 100.0	15 12.5	0 0.0	4 3.3	12 10.0	3 2.5	2 1.7	3 2.5	3 3.3	0 0.0	2 1.7	2 1.7	2 1.7	20 16.7	67 55.8
4) 3レベル=中等度の障害	65 100.0	19 15.4	1 1.5	3 4.6	4 6.2	8 9.2	2 3.1	4 6.2	5 4.6	0 0.0	6 9.2	0 0.0	1 1.5	16 24.6	26 40.0
5) 4レベル=やや重度の障害	29 100.0	2 6.9	1 3.4	2 6.9	2 6.9	10 10.3	1 3.4	1 3.4	3 10.3	0 0.0	3 10.3	2 6.9	0 0.0	9 31.0	10 34.5
6) 5レベル=重度の障害	42 100.0	2 4.8	2 2.4	1 2.4	4 9.5	9 9.3	7 7.1	2 4.8	2 4.8	2 2.4	4 4.8	7 7.1	4 4.8	6 14.3	23 54.8
7) 6レベル=最重度の障害	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3

※ 「0レベル=障害なし」との比率の差の検定 (○は高い、△は低い)

【認知機能障害程度別のサービス利用意向】

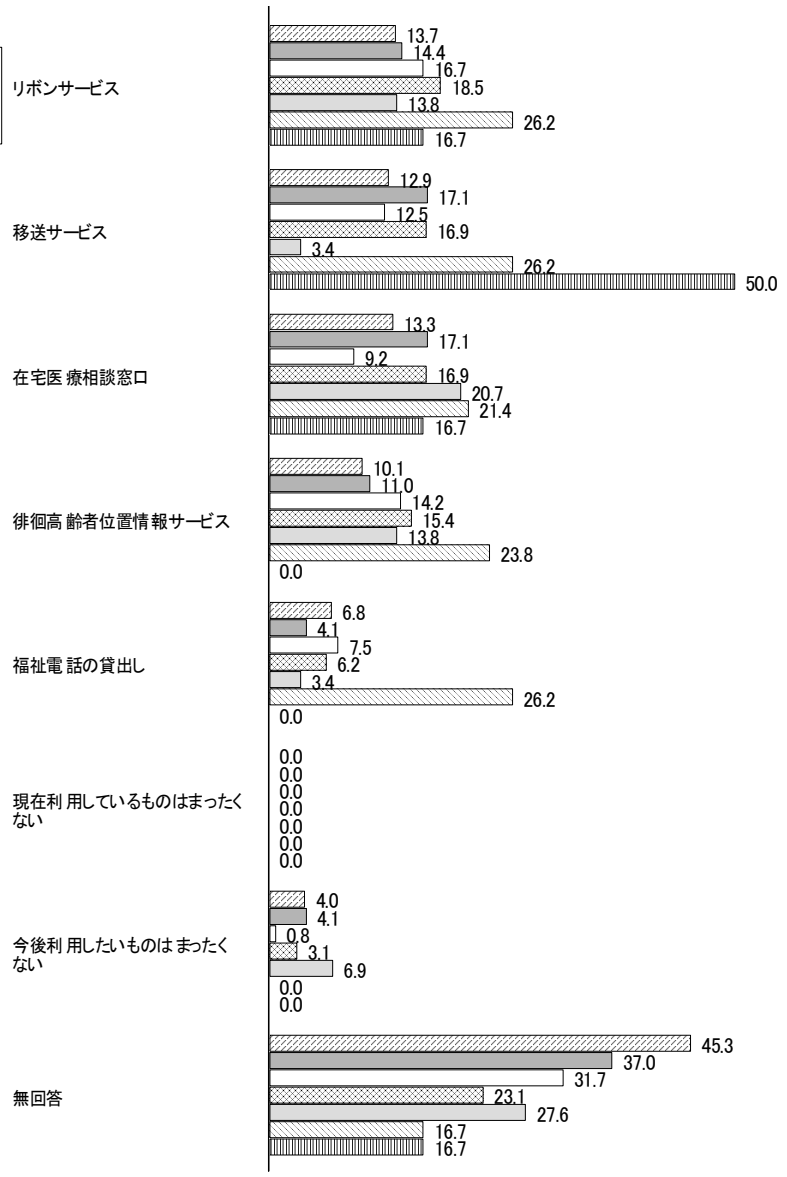
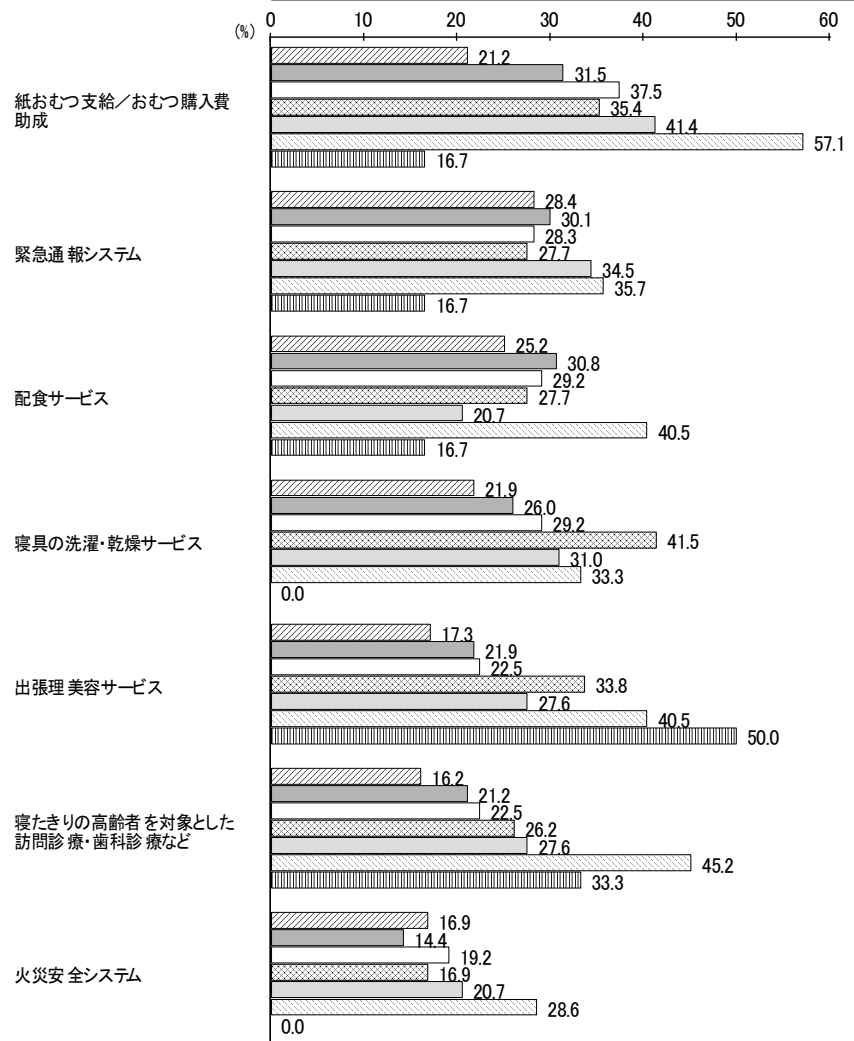
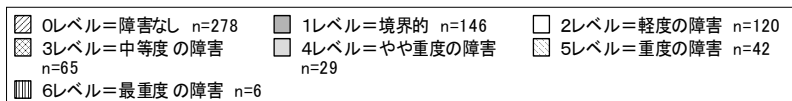
- 利用者の認知機能障害程度別のサービス利用意向について、「0レベル＝障害なし」と比較すると、「3レベル＝中等度の障害」では、「寝具の洗濯・乾燥サービス（使用中の寝具を月1回乾燥または洗濯する）」（41.5%）、「出張理美容サービス（外出できない寝たきりの高齢者の方に、自宅へ出張しての散髪）」（33.8%）の割合が高い。

また、「5レベル＝重度の障害」では、「配食サービス（65歳以上の高齢者のみ世帯やひとり暮らしで食事の準備が困難な方に食事を配達）」（40.5%）、「出張理美容サービス」（40.5%）、「寝たきりの高齢者の方を対象とした訪問診療・歯科診療など」（45.2%）、「リボンサービス（社会福祉協議会で行う登録制の有償ヘルパー派遣）」（26.2%）、「移送サービス」（26.2%）、「徘徊高齢者位置情報サービス」（23.8%）、「福祉電話の貸出し」（26.2%）の割合が高い。

なお、「紙おむつ支給／おむつ購入費助成」については、「1レベル＝境界的」～「5レベル＝重度の障害」の各レベルで「0レベル＝障害なし」に比べて高く、「5レベル＝重度の障害」では57.1%となっている。

(居宅サービス等利用者)

問34 介護保険以外の保健・福祉サービスの利用・利用意向(複数回答) 今後利用したい



(居宅サービス等利用者)

問34 介護保険以外の保健・福祉サービスの利用・利用意向 (複数回答) 今後利用したい

REPORT. NO:0102	TOTAL	5 紙おむつ支 給/おむつ 購入費助成	3 緊急通報シ ステム	1 配食サービ ス	7 寝具の洗濯 ・乾燥サー ビス	6 出張美容 サービス	8 寝たきりの 高齢者を対 象とした訪 問診療・歯 科診療など	4 火災安全シ ステム	10 リボンサー ビス	11 移送サービ ス	12 在宅医療相 談窓口	9 徘徊高齢者 位置情報サ ービス	2 福祉電話の 貸出し	14 今後利用し たいものは まったくな い	15 無回答
1 段目 度数															
2 段目 横%															
0002: * 認知機能															
1) 0レベル=障害なし	278 100.0	59 21.2	79 28.4	70 25.2	61 21.9	48 17.3	45 16.2	47 16.9	38 13.7	36 12.9	37 13.3	28 10.1	19 6.8	11 4.0	126 45.3
2) 1レベル=境界的	146 100.0	46 31.5	44 30.1	45 30.8	38 26.0	32 21.9	31 21.2	21 14.4	21 14.4	25 17.1	25 17.1	16 11.0	6 4.1	6 4.1	54 37.0
3) 2レベル=軽度の障害	120 100.0	45 37.5	34 28.3	35 29.2	35 29.2	27 22.5	27 22.5	23 19.2	20 16.7	15 12.5	11 9.2	17 14.2	9 7.5	1 0.8	38 31.7
4) 3レベル=中等度の障害	65 100.0	28 35.4	18 27.7	18 27.7	23 41.5	23 33.8	17 26.2	11 16.9	12 18.5	11 16.9	11 16.9	10 15.4	4 6.2	2 3.1	15 23.1
5) 4レベル=やや重度の障害	29 100.0	18 41.4	10 34.5	6 20.7	9 31.0	8 27.6	8 27.6	6 20.7	4 13.8	1 3.4	6 20.7	4 13.8	1 3.4	2 6.9	8 27.6
6) 5レベル=重度の障害	42 100.0	28 57.1	15 35.7	15 40.5	14 33.3	15 40.5	15 45.2	12 28.6	15 26.2	15 26.2	9 21.4	15 23.8	15 26.2	1 0.0	7 16.7
7) 6レベル=最重度の障害	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7

※ 「0レベル=障害なし」との比率の差の検定 (○は高い、△は低い)

(5) 近所との付き合いの程度

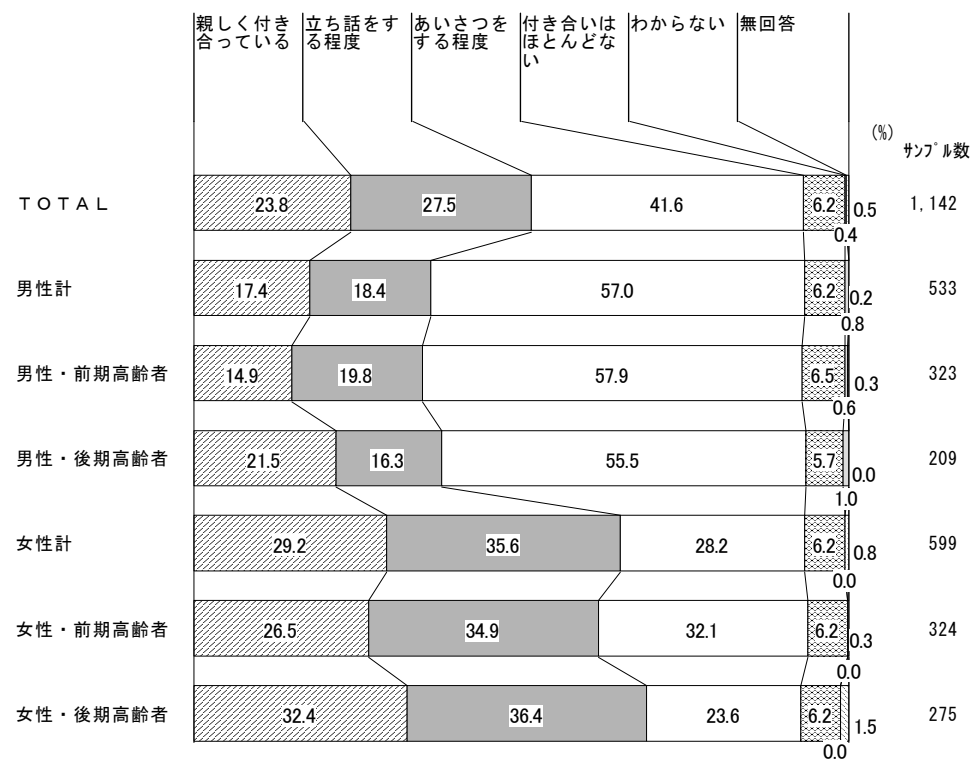
○ 近所との付き合いの程度については、高齢者一般では男性に比べて女性の方が「親しく付き合っている」、「立ち話をする程度」の割合がともに多く、前期、後期の年齢層で比較しても女性のほうが割合が多い。

特に女性の後期高齢者では、32.4%が「親しく付き合っている」となっている。

利用者、未利用者では要支援の2割前後が「親しく付き合っている」となっている（利用者16.5%、未利用者22.8%）。一方「付き合いはほとんどない」は、利用者、未利用者とも中・重度者（要介護3～5）で4割前後となっている（利用者42.6%、未利用者38.6%）。

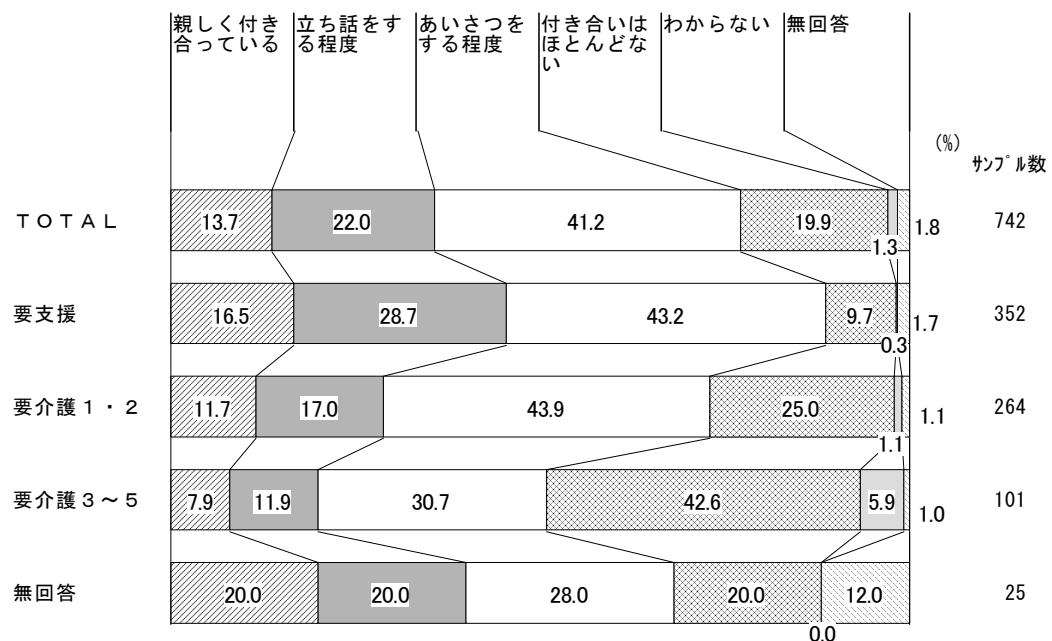
(高齢者一般)

問29 近所の人との付き合い程度



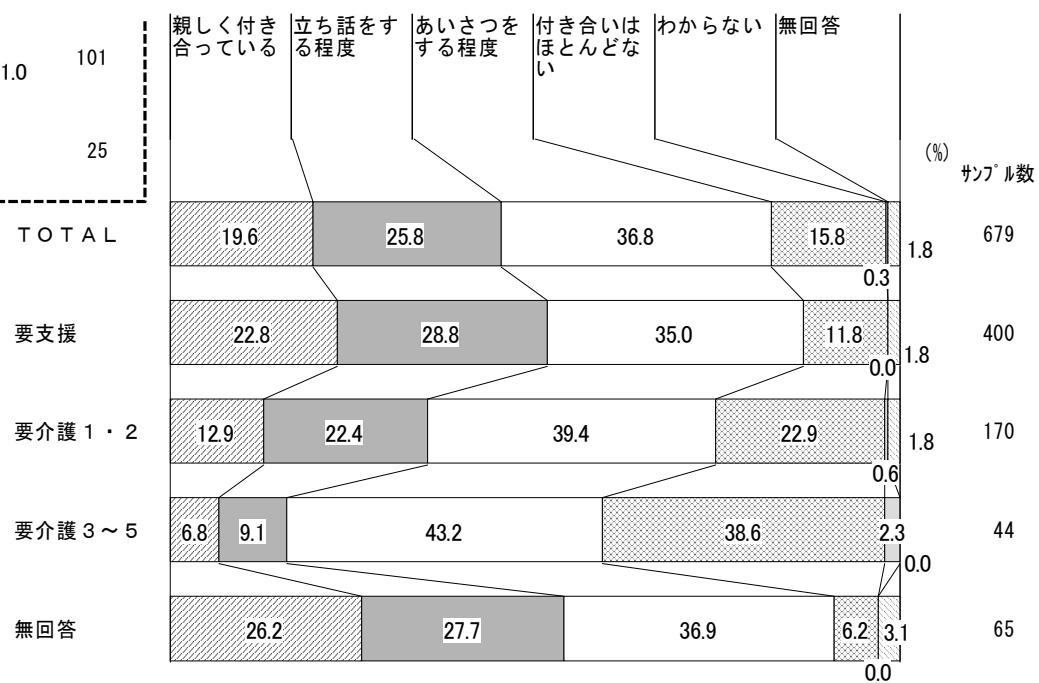
(居宅サービス等利用者)

問26 近所の人との付き合い程度



(サービス未利用者)

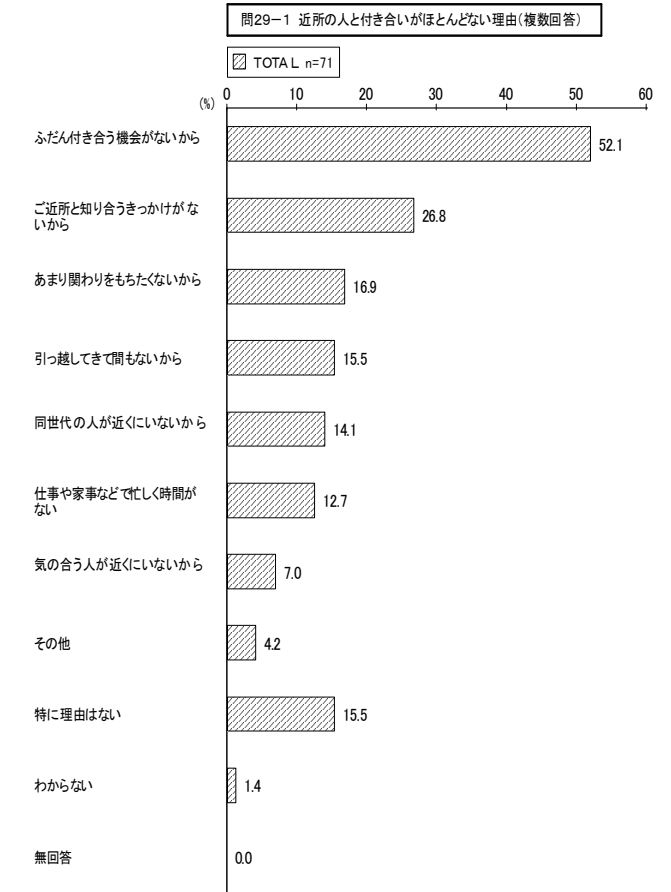
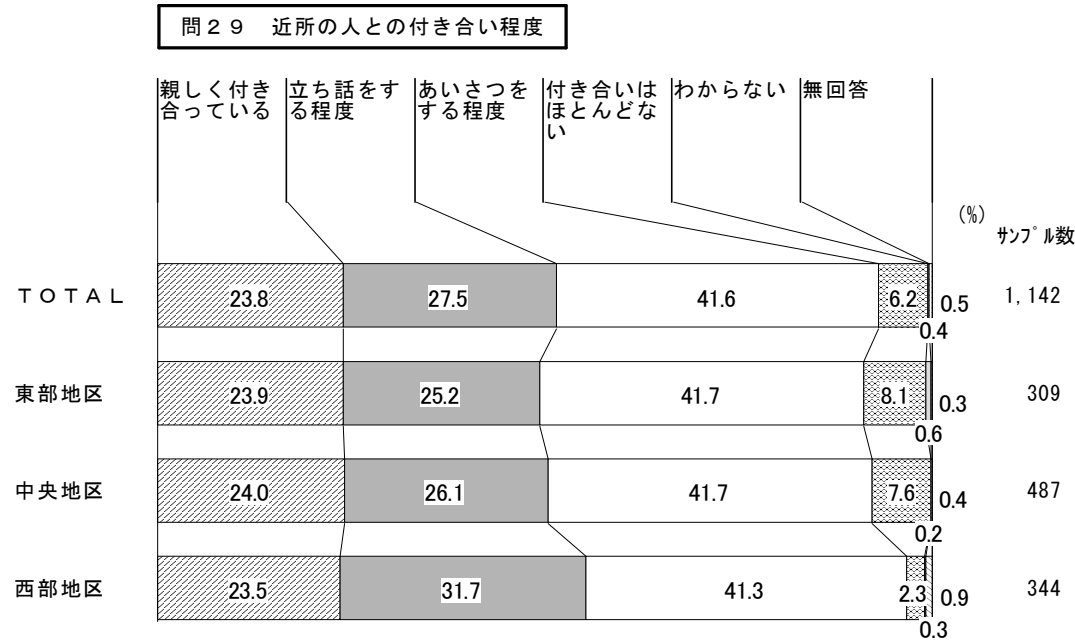
問27 近所の人との付き合い程度



【圏域別の比較】

○ 近所との付き合いの程度について、圏域別にみると高齢者一般、利用者、未利用者とも大きな差はみられず、高齢者一般では「親しく付き合っている」は2割となっている（東部地区 23.9%、中部地区 24.0%、西部地区 23.5%）。また「付き合いはほとんどない」とする割合は、西部地区では2.3%と他地区に比べて低く、「立ち話をする程度」が31.7%と他地区に比べてやや多くなっている。

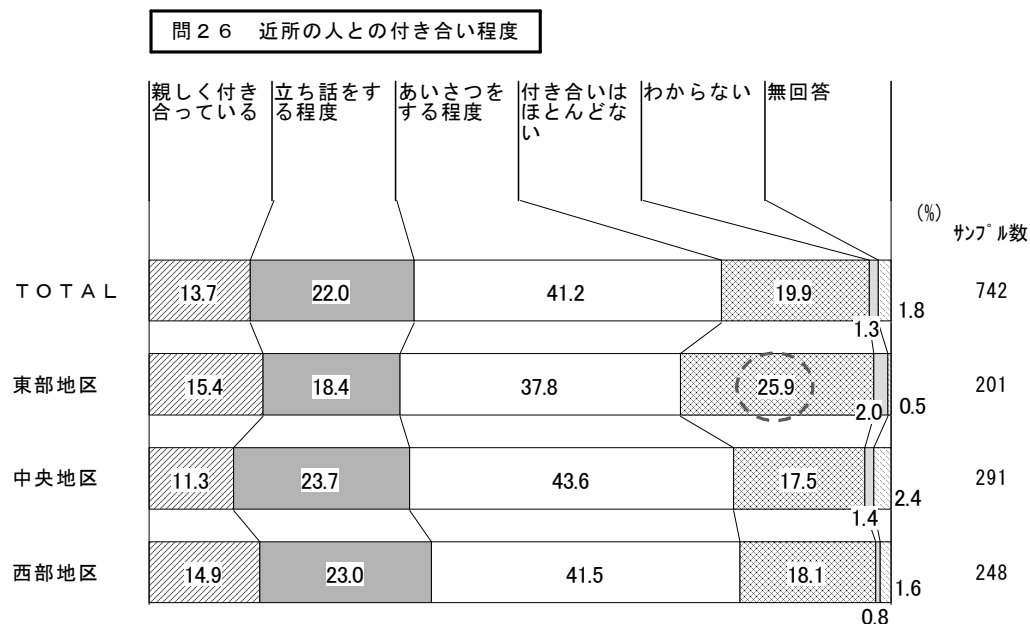
（高齢者一般）



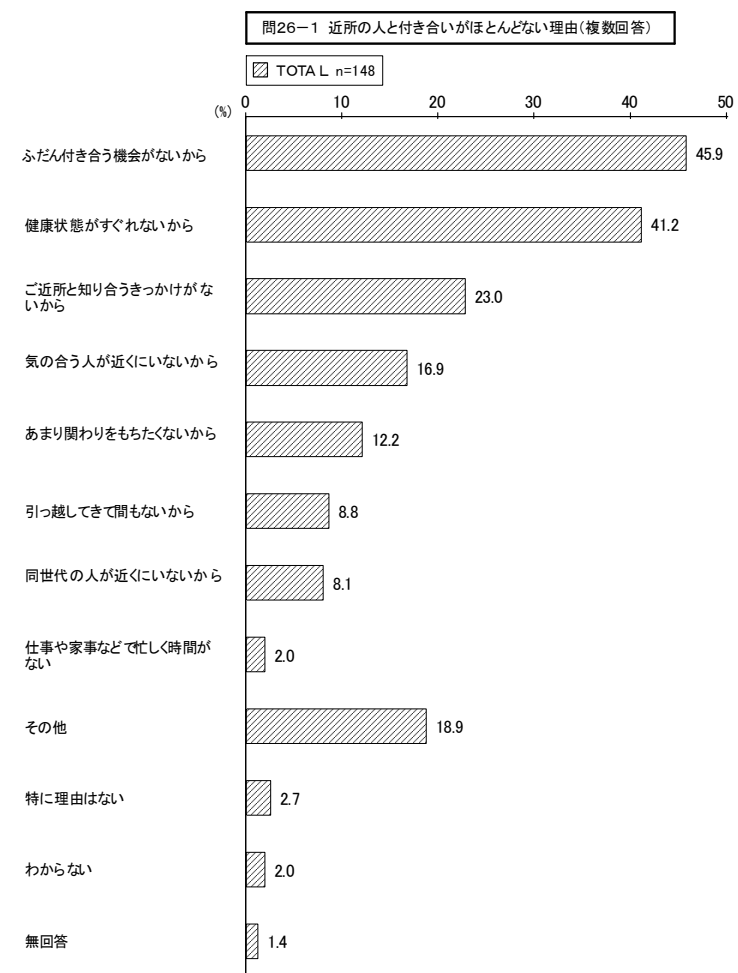
○ 利用者では、東部地区で「付き合いはほとんどない」が25.9%と他地区よりやや多くなっている。

各対象者ごとに近所の人との付き合いがほとんどない理由をみると、高齢者一般、利用者、未利用者とも「ふだん付き合う機会がないから」が最も多く、高齢者一般 52.1%、利用者 45.9%、未利用者 43.0%となっている。高齢者一般では、次いで「ご近所と知り合うきっかけがないから」が26.8%、利用者、未利用者では「健康状態がすぐれないから」がそれぞれ41.2%、27.1%となっている。

(居宅サービス等利用者)

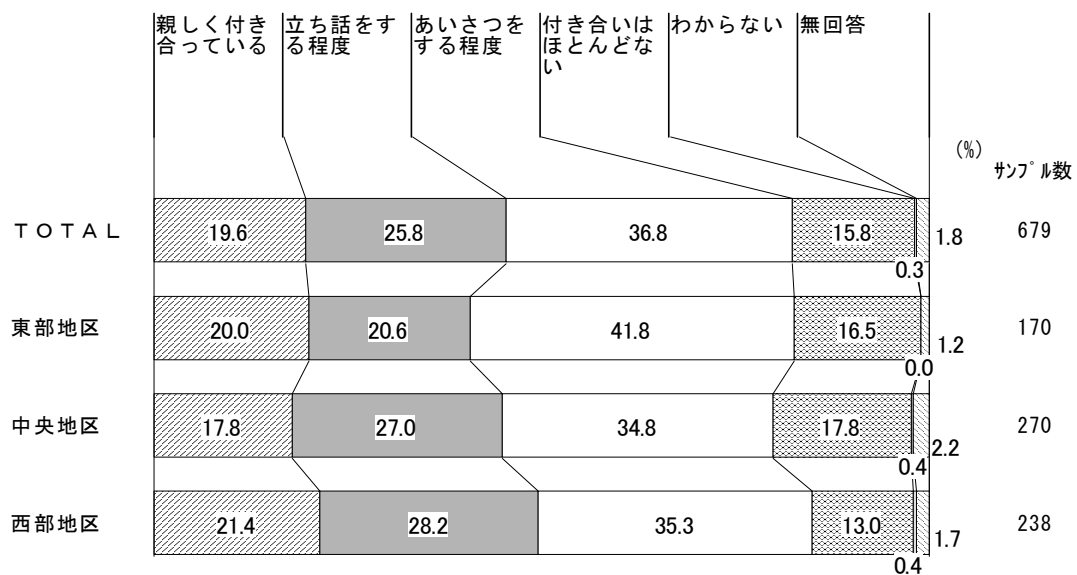


※ 圏域ごとの回答割合に差はみられない

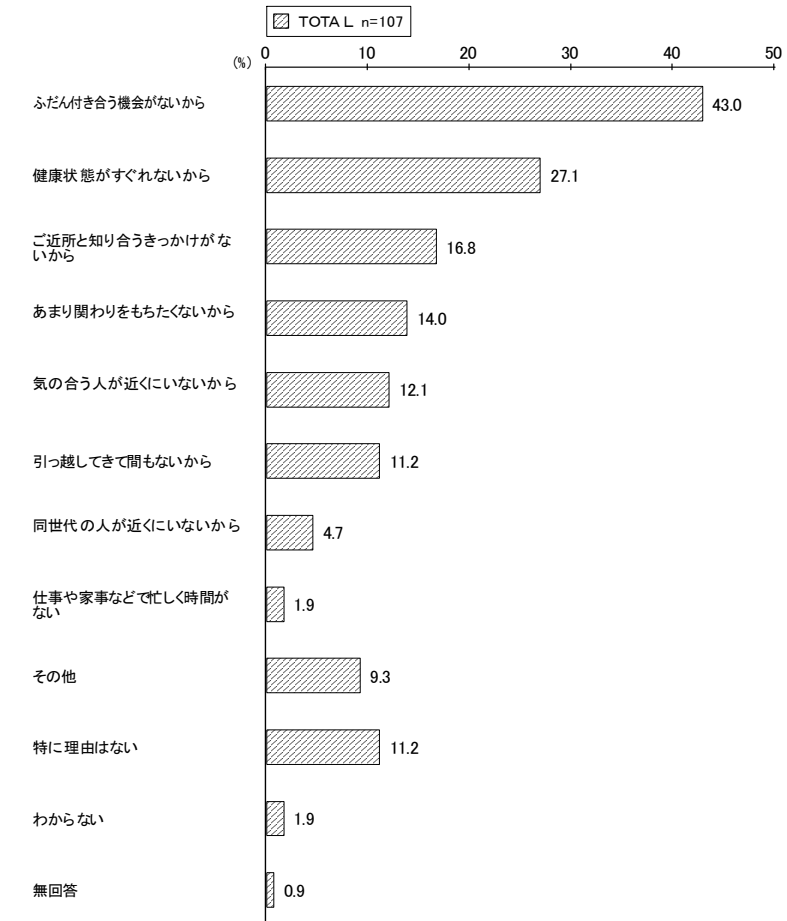


(サービス未利用者)

問27 近所の人との付き合い程度



問27-1 近所の人と付き合いがほとんどない理由(複数回答)



※ 圏域ごとの回答割合に差はみられない

(6) 地域活動について

(高齢者一般)

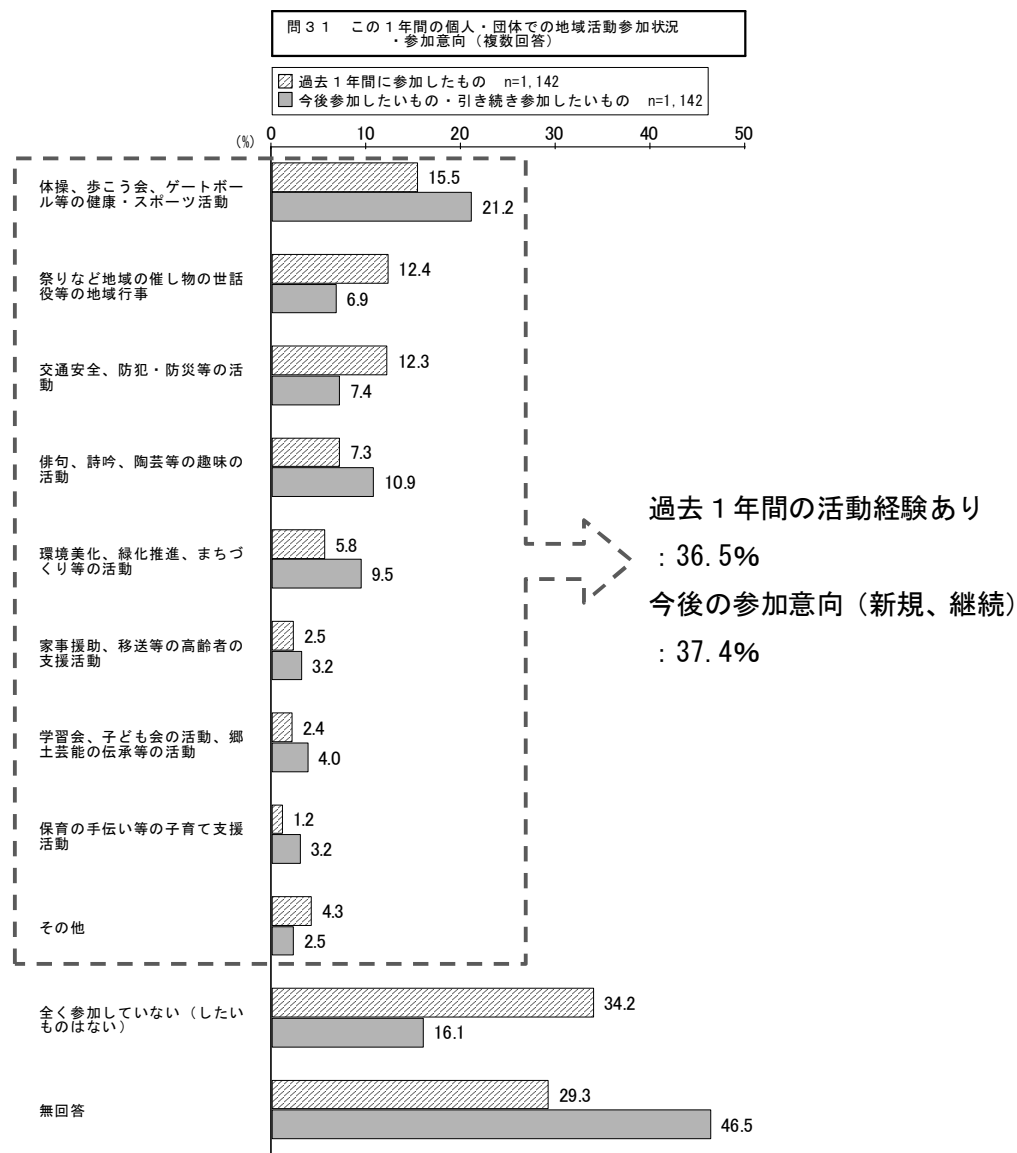
- 高齢者の地域活動について、過去1年間の参加状況、今後の参加意向をみると、過去1年間に36.5%が何らかの活動に参加している。

このうち、15.5%が「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」で、次いで12.4%が「祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事」、12.3%が「交通安全、防犯・防災等の活動」の順となっている。

今後の参加意向については、継続・新規合わせて37.4%が参加意向を示している。このうち、21.2%が「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」で最も多く、次いで10.9%が「俳句、詩吟、陶芸等の趣味の活動」、9.5%が「環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動」となっている。

- 過去1年間の活動参加状況を性・年齢別にみると、男性前期高齢者の16.7%が「祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事」に参加経験がある、となっており、他の性・年代よりも高い。

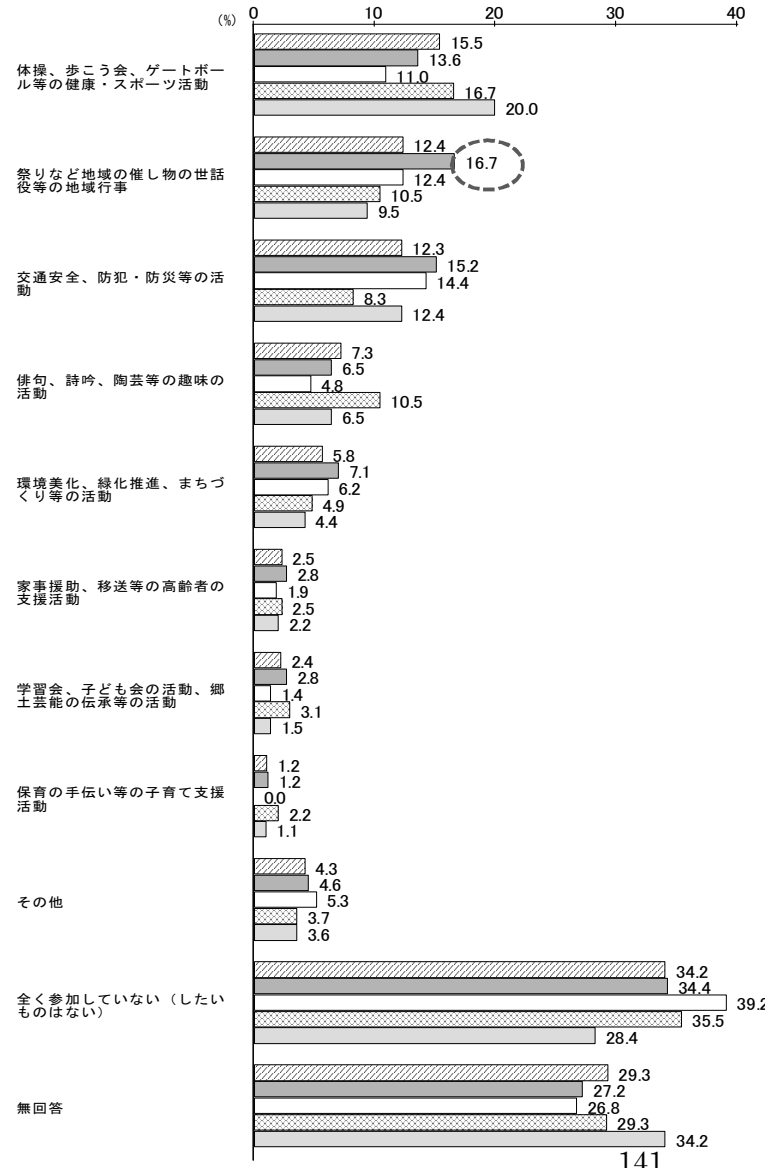
今後の参加意向について性・年齢別にみると、男性前期高齢者の13.6%が「環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動」、12.4%が「祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事」となっており、他の性・年代よりも高い。また、女性前期高齢者では、6.8%が「保育の手伝い等の子育て支援活動」をあげ、他の性・年代よりも高い。



(高齢者一般)

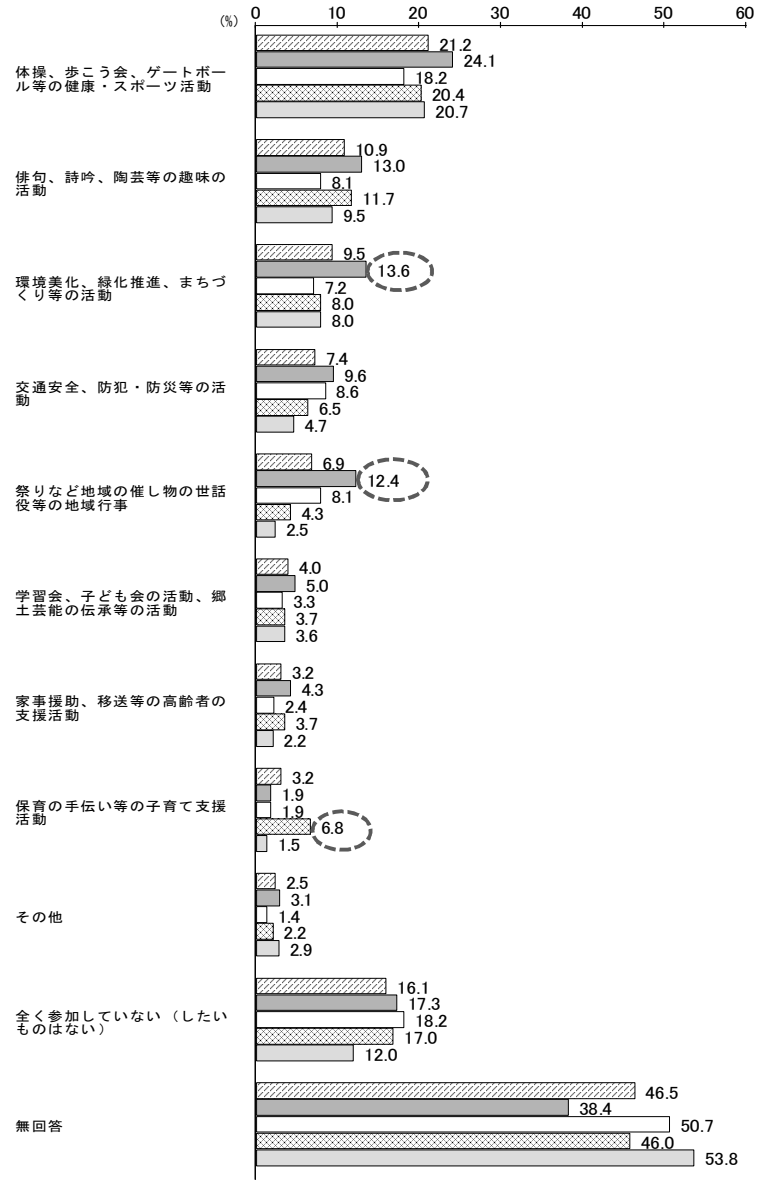
問3-1 この1年間の個人・団体での地域活動参加状況・参加意向(複数回答) 過去1年間に参加したもの

TOTAL n=1,142
 男性・前期高齢者 n=323
 男性・後期高齢者 n=209
 女性・前期高齢者 n=324
 女性・後期高齢者 n=275



問3-1 この1年間の個人・団体での地域活動参加状況・参加意向(複数回答) 今後参加したいもの・引き続き参加したいもの

TOTAL n=1,142
 男性・前期高齢者 n=323
 男性・後期高齢者 n=209
 女性・前期高齢者 n=324
 女性・後期高齢者 n=275



(7) 高齢者クラブについて

(高齢者一般)

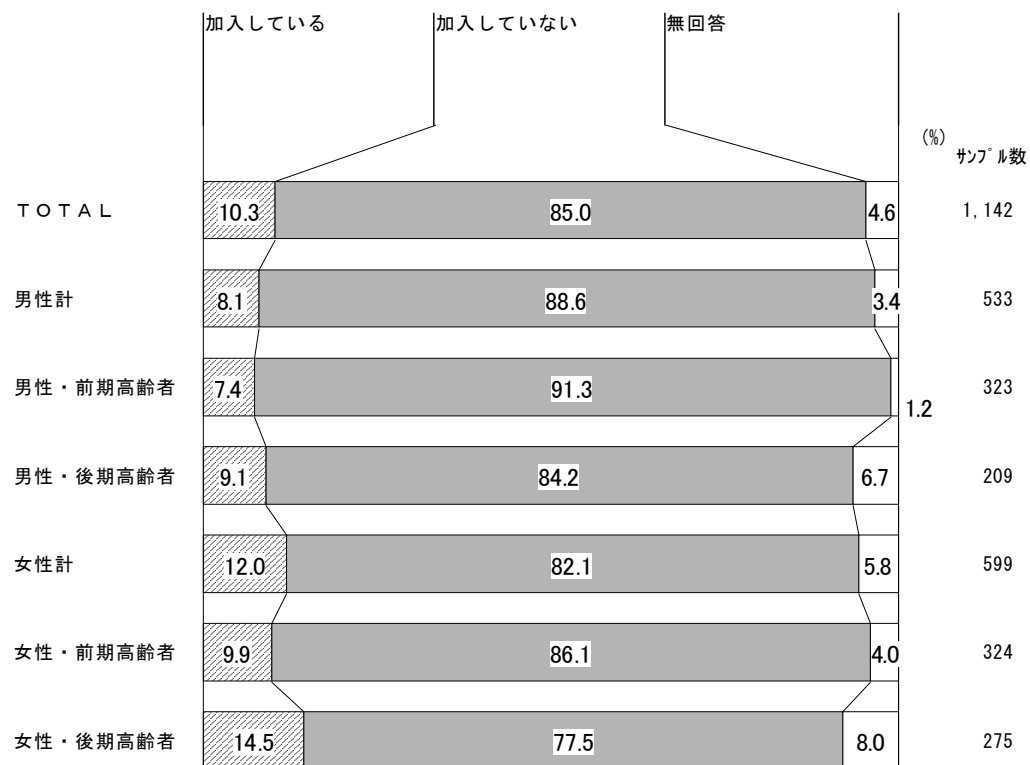
- 高齢者クラブへの加入状況を見ると、高齢者一般では10.3%が「加入している」となっている。性・年代別に加入状況を見ると、男性8.1%、女性12.0%と女性がやや多く、女性後期高齢者では14.5%が「加入している」となっている。

高齢者クラブに加入していない理由をみると、36.6%が「「高齢者クラブ」を知らないから」となっており、最も多い。次いで27.1%が「仕事等で忙しいから」となっている。

性・年代別に加入していない理由をみると、すべての性・年代で「「高齢者クラブ」を知らないから」が最も多くなっている。

また、男性前期高齢者の33.9%が「仕事等で忙しいから」となっており、他の性・年代の回答に比べて高い。

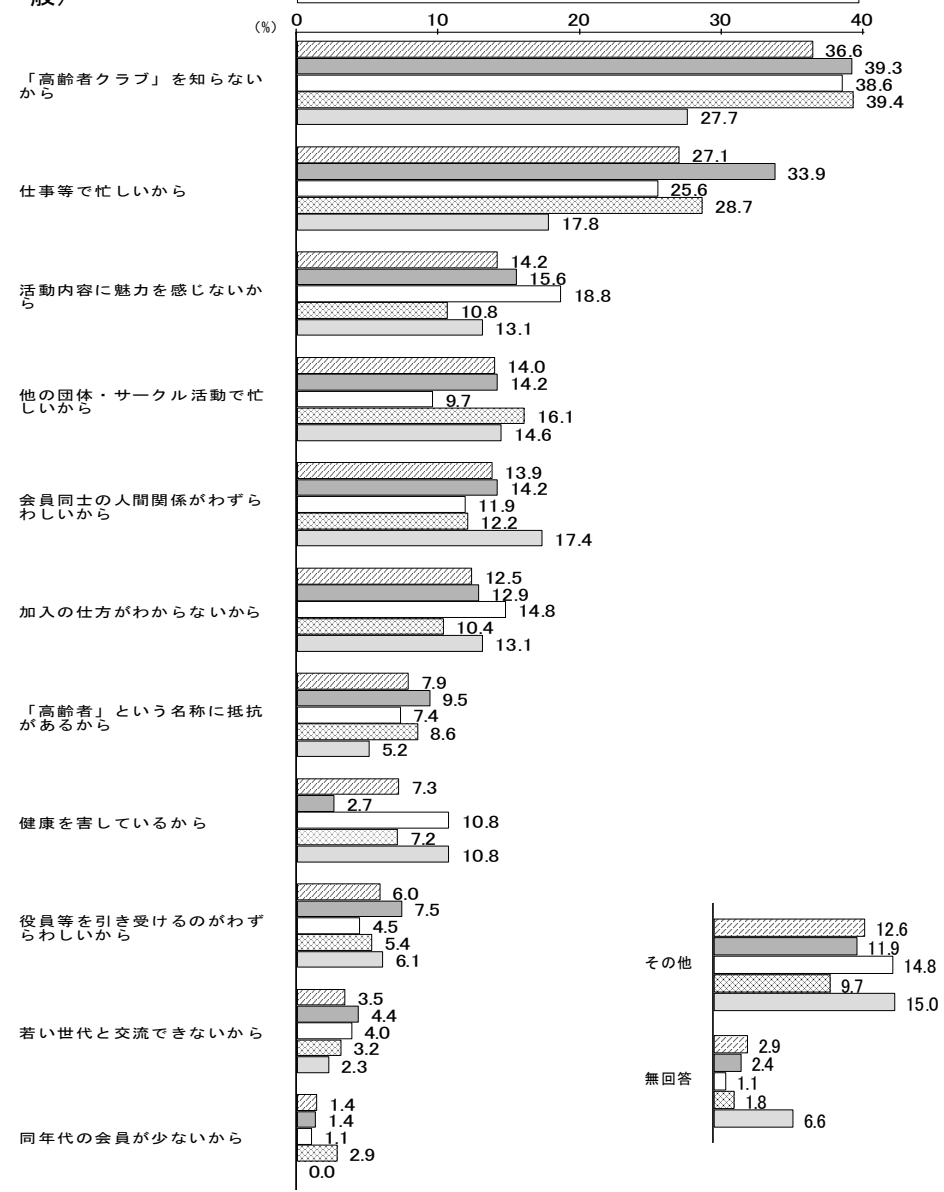
問32 高齢者クラブ加入有無



(高齢者一般)

問32-1 高齢者クラブに加入していない理由
(複数回答)

TOTAL n=971
 男性・後期高齢者 n=176
 女性・後期高齢者 n=213
 男性・前期高齢者 n=295
 女性・前期高齢者 n=279



(8) 災害時の町会等への個人情報の提供について

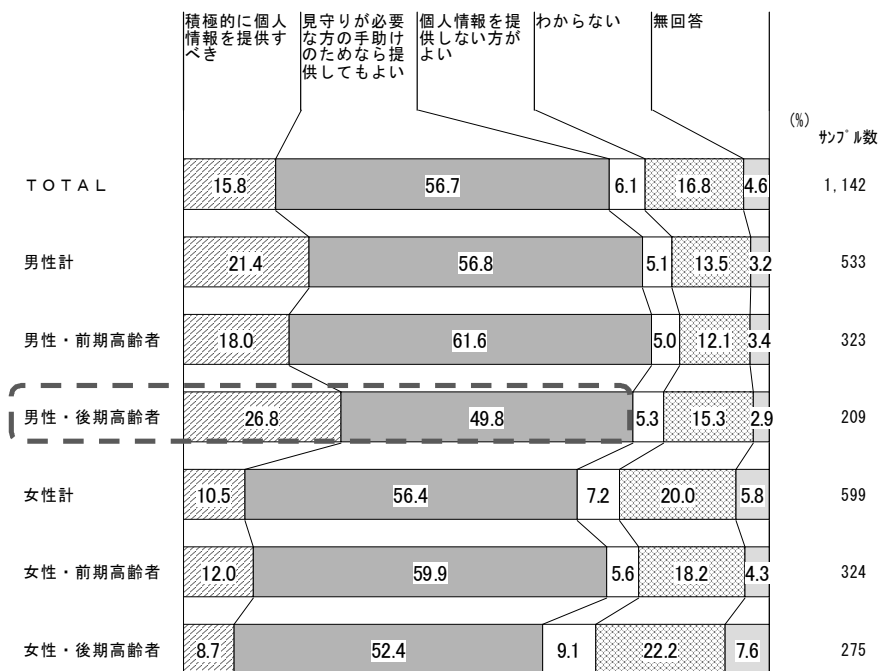
- 災害時のみならず、平常時から手助けする必要がある人の存在を把握しておくために、行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報（氏名や住所等）を、町会等に対して提供することについての考え方を聞いたところ、15.8%は「積極的に個人情報を提供すべき」となっている。また56.7%は「災害時への備えや、ひとり暮らしなど見守りが必要な方を手助けするためであれば個人情報を提供してもよい」となっており、総じて高齢者一般の7割（72.5%）は、個人情報の提供に肯定的な意見を有しているといえる。

個人情報の提供についての考え方を性・年代別、世帯状況別にみると、「積極的に個人情報を提供すべき」、「災害時への備えや、ひとり暮らしなど見守りが必要な方を手助けするためであれば個人情報を提供してもよい」とする肯定的な意見は、男性後期高齢者で76.6%、夫婦二人暮らし（一人だけが65歳以上）で86.2%となっている。

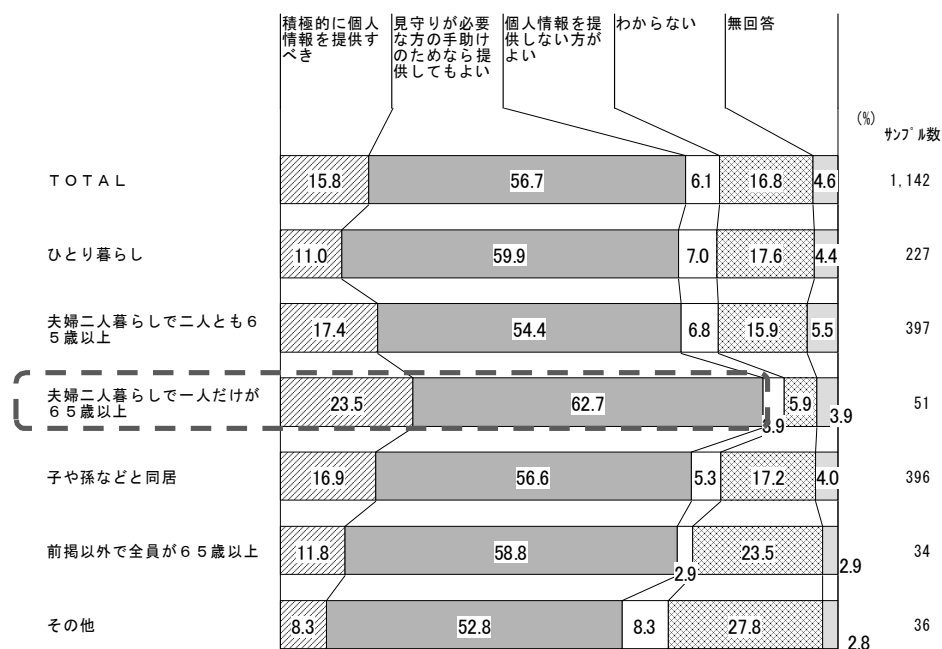
利用者介護度別、未利用者介護度別にみると、利用者、未利用者とも中・重度者（要介護3～5）で「積極的に個人情報を提供すべき」、「災害時への備えや、ひとり暮らしなど見守りが必要な方を手助けするためであれば個人情報を提供してもよい」とする肯定的な意見は、利用者で64.4%、未利用者で68.1%となっている。

(高齢者一般)

問33 行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報の町会等への提供について

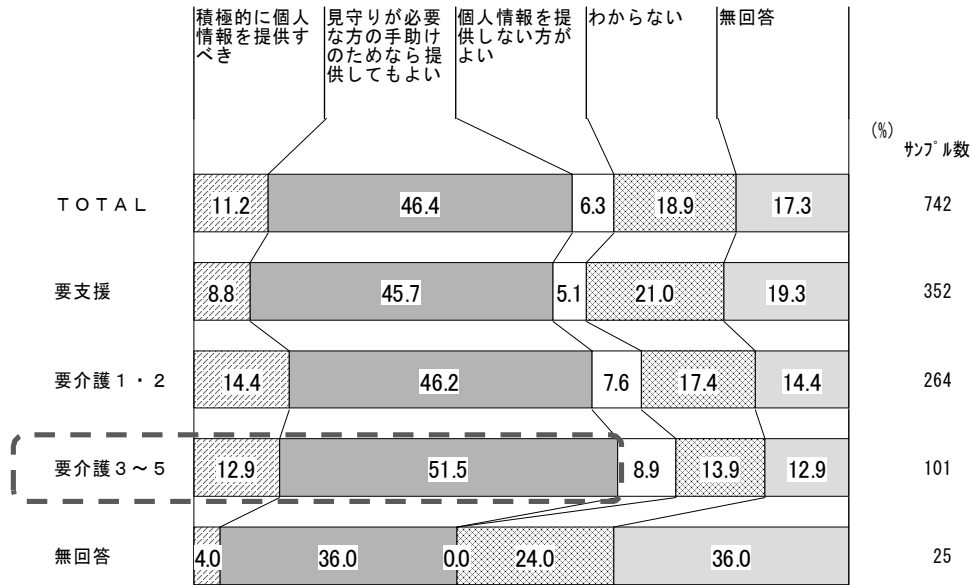


問33 行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報の町会等への提供について



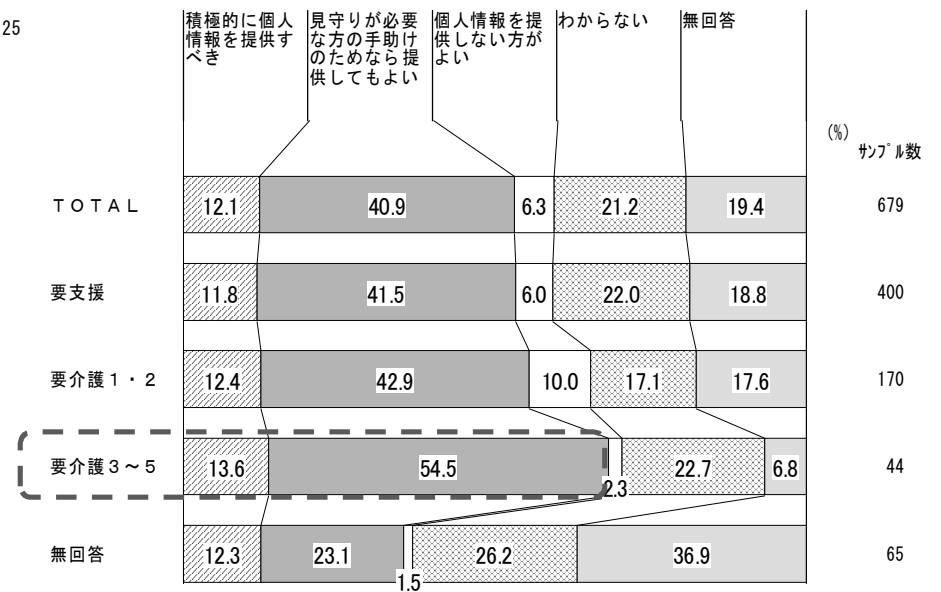
(居宅サービス等利用者)

問35 行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報の町会等への提供について



(サービス未利用者)

問33 行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報の自治体等への提供について

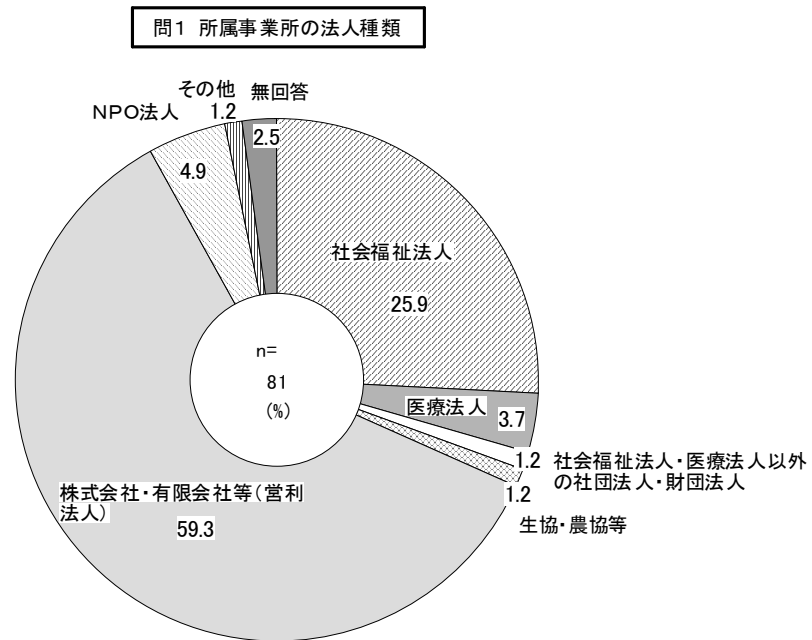


6 ケアマネジャー調査

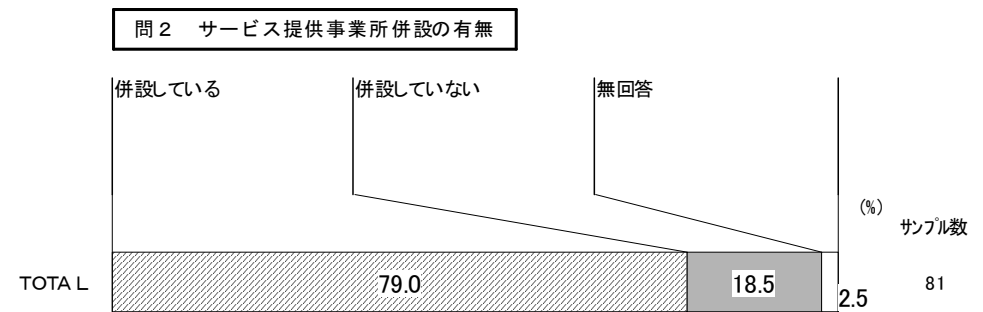
(1) 基本属性（法人種類、事業所所在地 等）

○ 今回調査回答者の属する事業所の概要は次のとおりである。

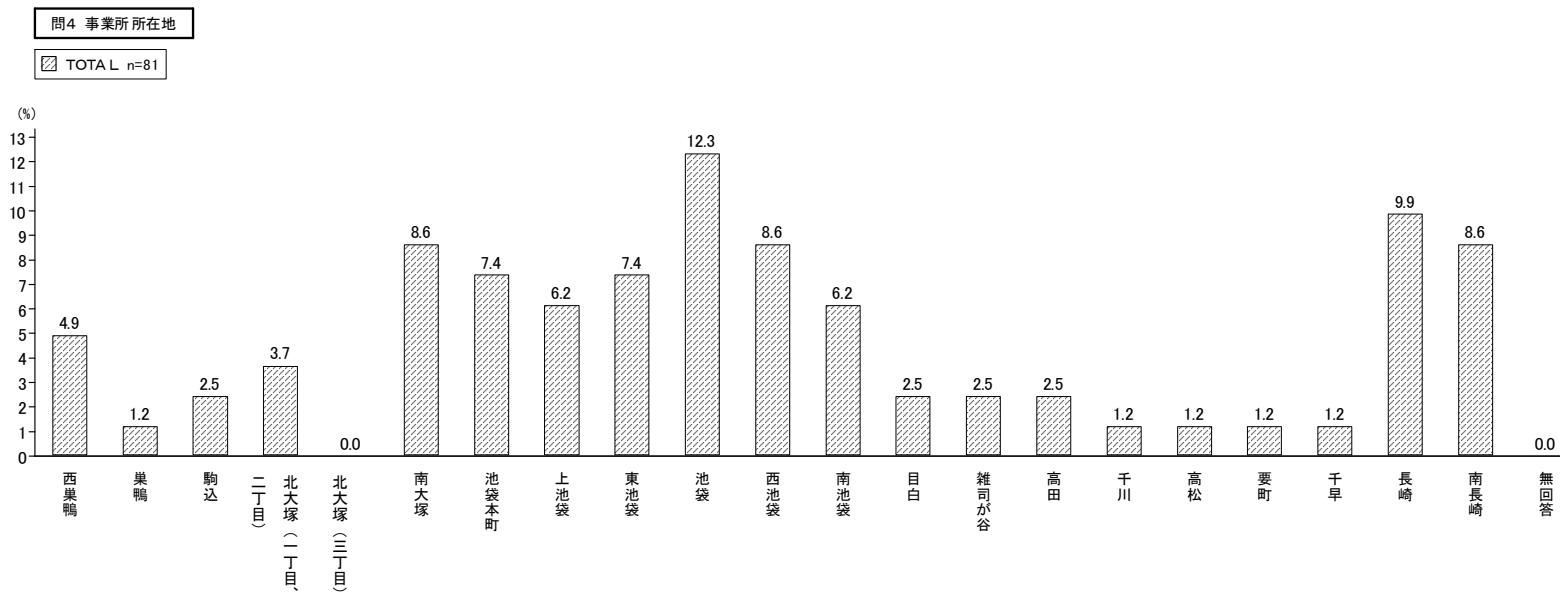
① 法人種類



② サービス事業所併設状況



③ サービス事業所所在地

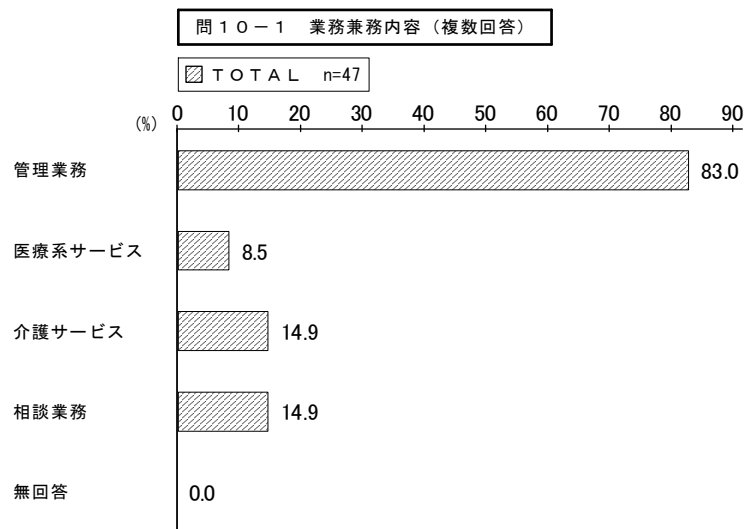
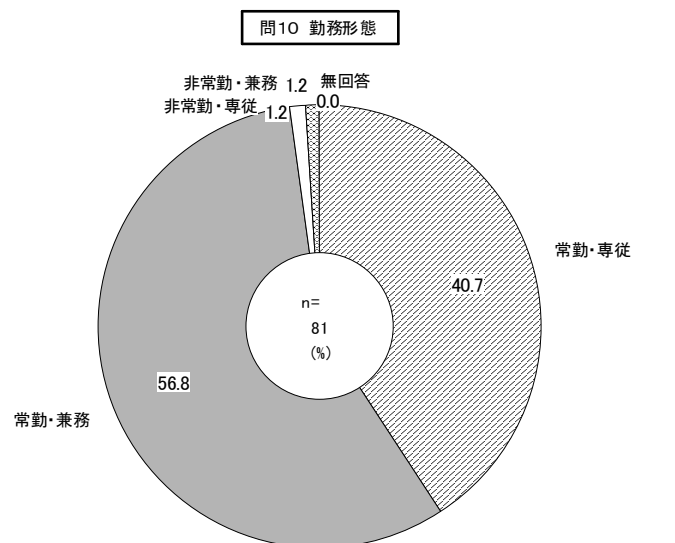


④ 従事職員数 (平均人数)

	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従	非常勤兼務
ケアマネジャー	2.0	1.4	1.5	1.1
ケアマネジャー以外	2.4	1.3	9.3	1.0

⑤ 勤務形態、兼務内容

- 回答者の勤務形態の40.7%は「常勤・専従」、56.8%は「常勤・兼務」となっている。
- 「常勤・兼務」者の兼務内容は、83.0%が「管理業務」となっている。所属事業所の種類別の兼務内容は、下表のとおりである。



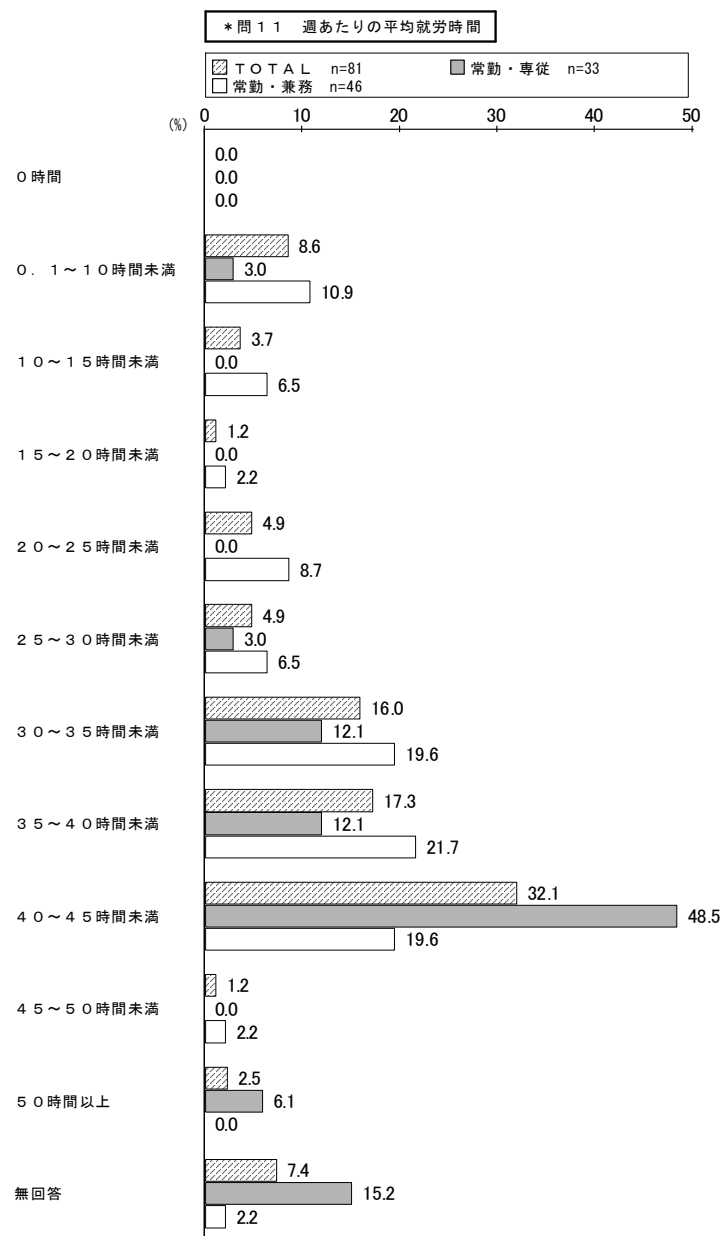
問10-1 業務兼務内容 (複数回答) (上段: 回答数、下段: 構成比%)

問1 所属事業所の法人種類	TOTAL	管理業務	医療系サービス	介護サービス	相談業務	無回答
	TOTAL	47	39	4	7	7
社会福祉法人	12	9	0	3	4	0
医療法人	2	2	1	0	0	0
社会福祉法人・医療法人以外の社団法人・財団法人	1	0	1	0	0	0
株式会社・有限会社等(営利法人)	28	24	2	4	2	0
NPO法人	1	1	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	1	0
無回答	2	2	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑥ 平均就労時間

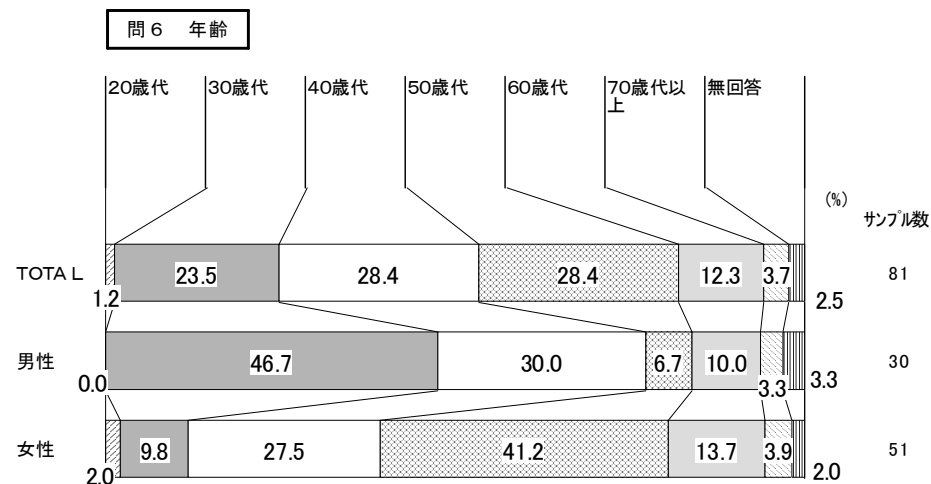
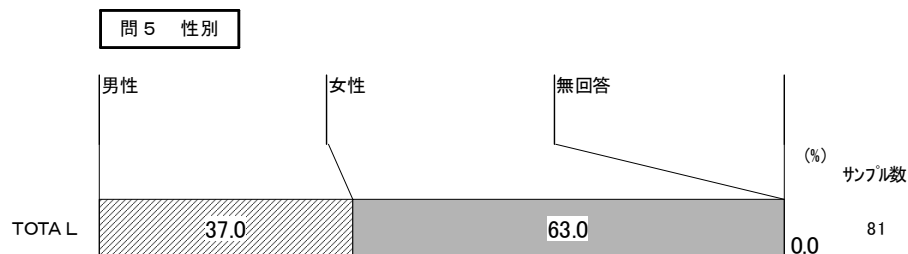
○ 回答者の平均就労時間の分布は、右図のとおりである。

常勤・専従では48.5%が「40～45時間未満」で最も多く、常勤・兼務では21.7%が「35～40時間未満」で最も多くなっている。



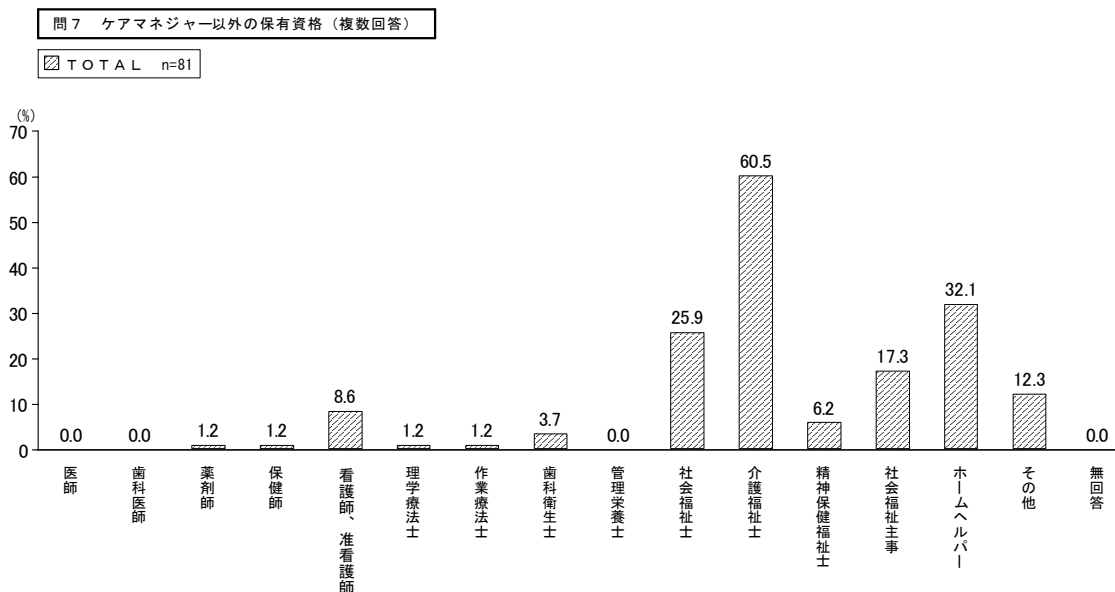
(2) 回答者本人の性・年齢

- 回答者本人の性別、年齢構成は次のとおりである。
年齢構成では、男性の76.7%は30～40歳代である。
一方女性の68.7%は40～50歳代である。



(3) 保有資格（ケアマネジャー以外）

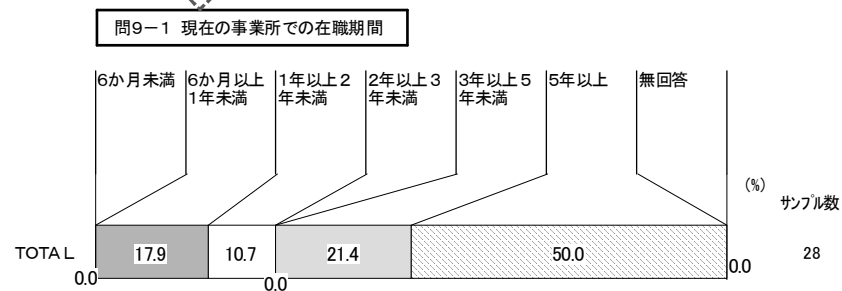
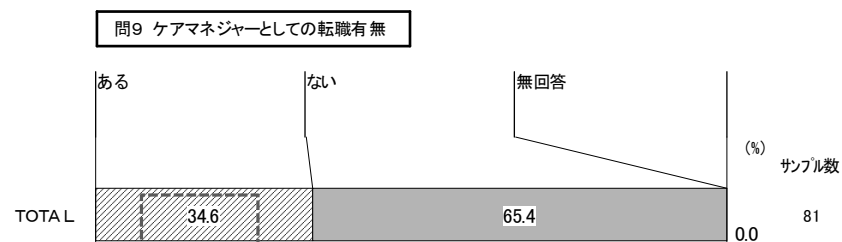
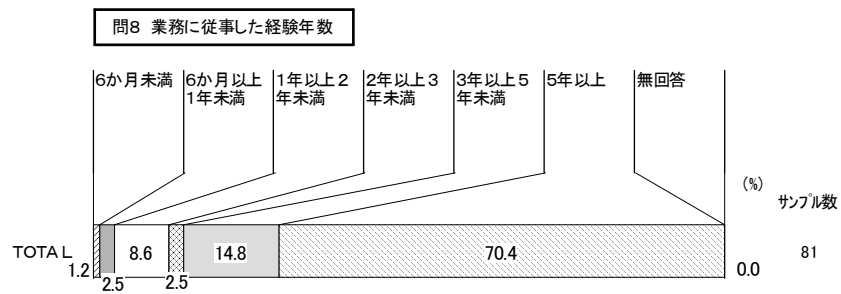
- ケアマネジャー以外に保有する資格については、60.5%が「介護福祉士」で最も多くなっている。



(4) 業務従事経験

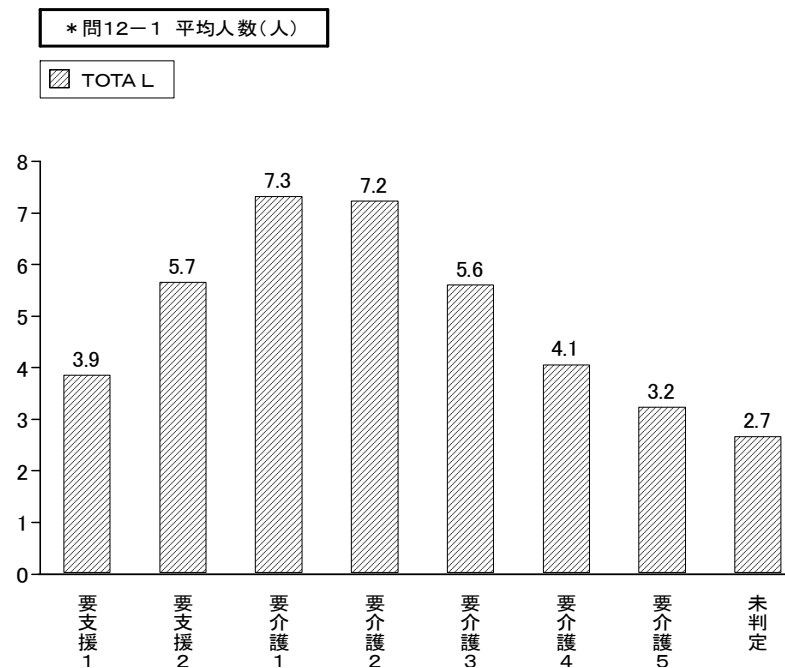
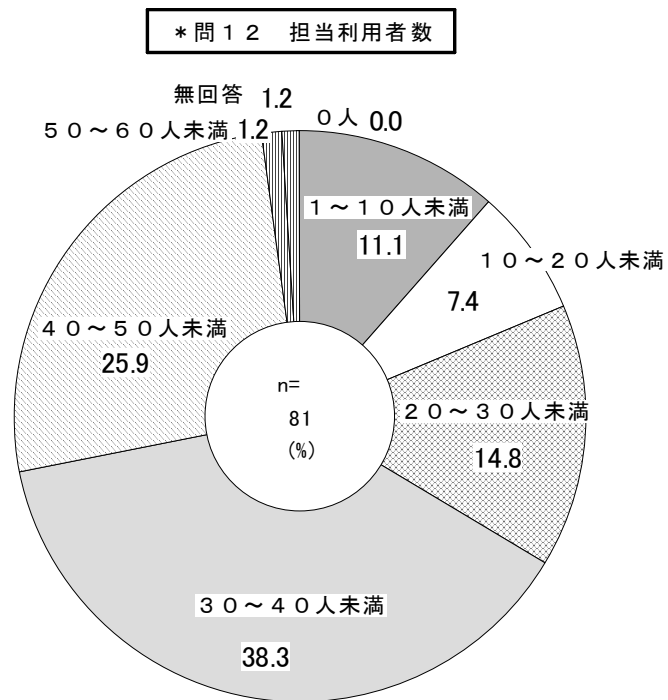
○ ケアマネジャー業務の従事経験年数は、70.4%が「5年以上」となっている。

ケアマネジャーとしての転職経験は、34.6%が「ある」とし、現在の事業所での在職期間は50.0%が「5年以上」で最も多く、次いで21.4%が「3年以上5年未満」となっている。



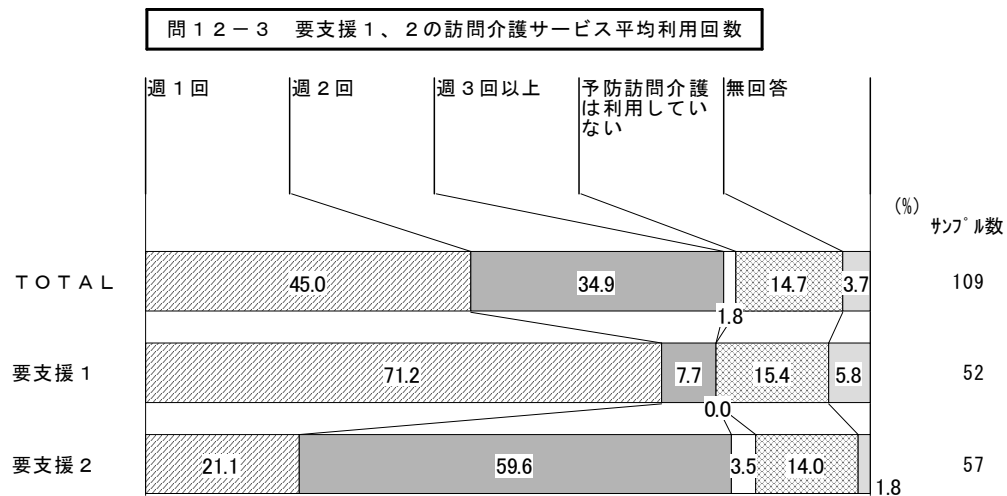
(5) 担当利用者数（平成 25 年 9 月末時点）

- 担当する利用者数は、38.3%が「30～40 人未満」で最も多く、次いで 25.9%が「40～50 人未満」となっている。利用者の介護度別の平均人数は、「要介護 1」が 7.3 人で最も多く、次いで「要介護 2」が 7.2 人となっている。



(6) 訪問介護サービス平均利用回数（要支援1、2）

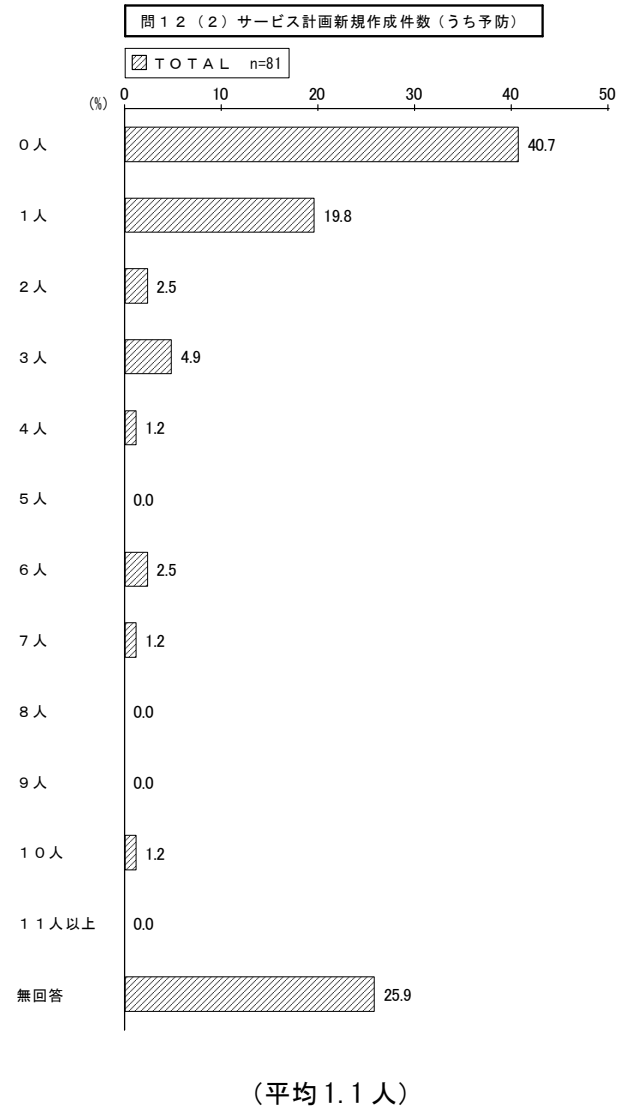
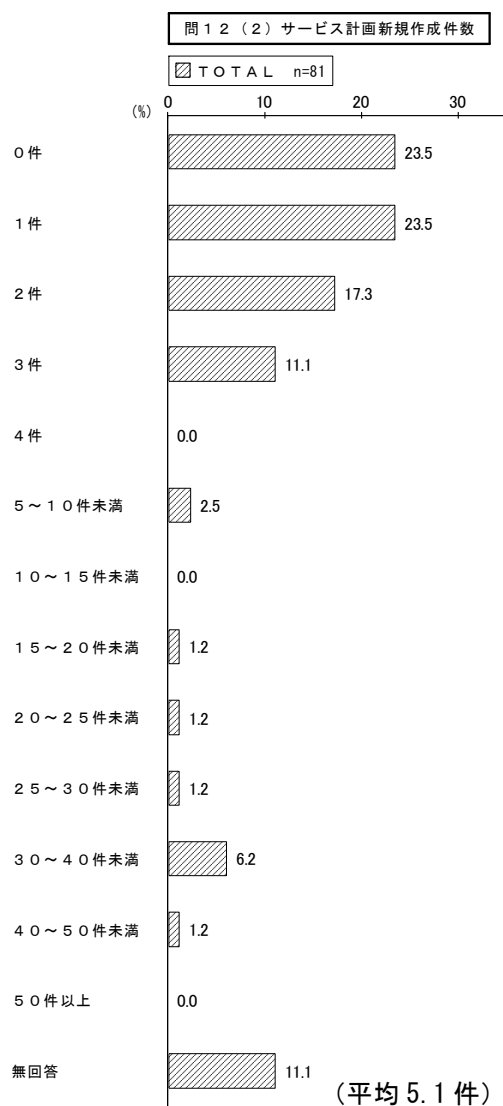
- 要支援1、2の利用者中の訪問介護サービスの平均利用回数は、要支援1では71.2%が「週1回」で最も多く、要支援2では59.6%が「週2回」で最も多くなっている。



(7) 居宅サービス計画新規作成件数（平成25年9月1日～30日の該当件数）

○ 平成25年9月1日～30日における居宅サービス計画新規作成件数については、「0件」、「1件」がともに23.5%となっている。

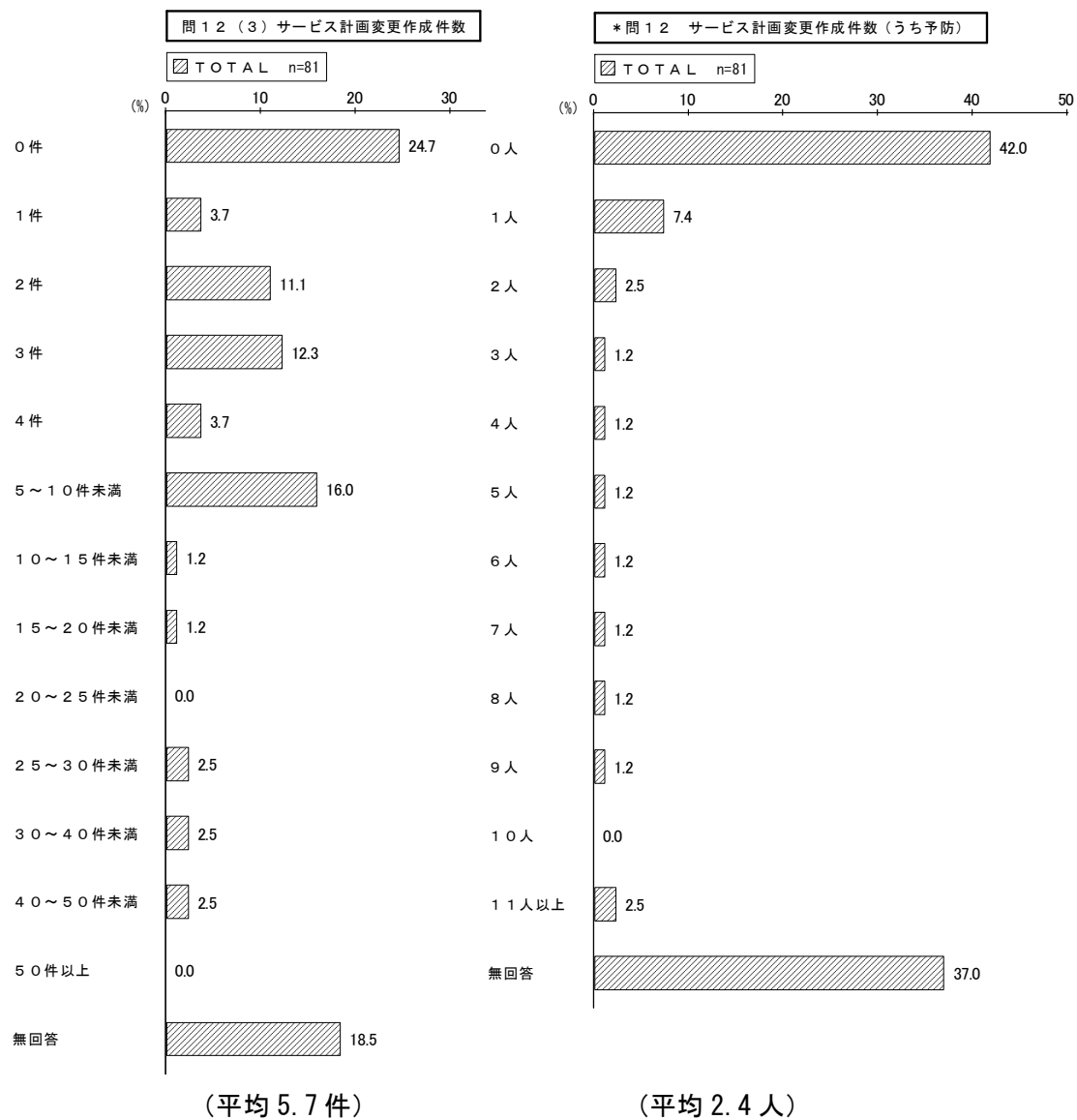
うち予防該当人数は、「0人」が40.7%で最も多い。
 なお、平均件数は5.1件、予防は平均1.1人となっている。



(8) 居宅サービス計画変更件数

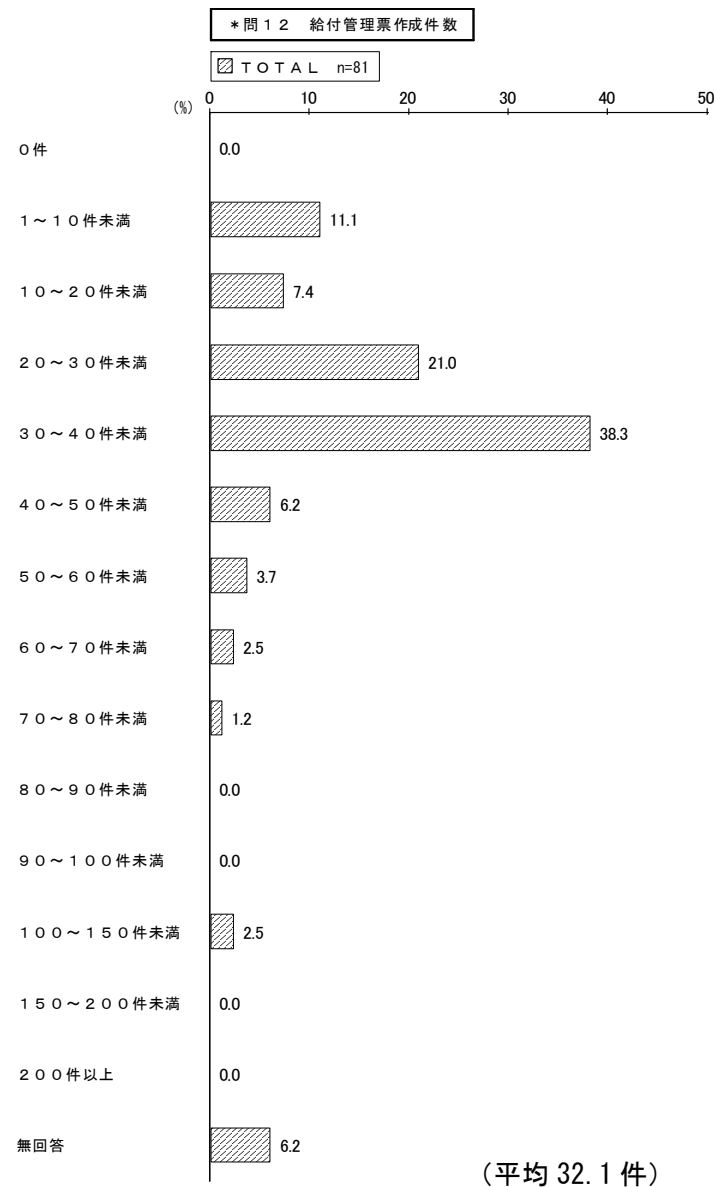
○ 居宅サービス計画変更件数については、24.7%が「0件」で最も多く、うち予防該当人数は、「0人」が42.0%で最も多い。

なお、平均件数は5.7件、予防は平均2.4人となっている。



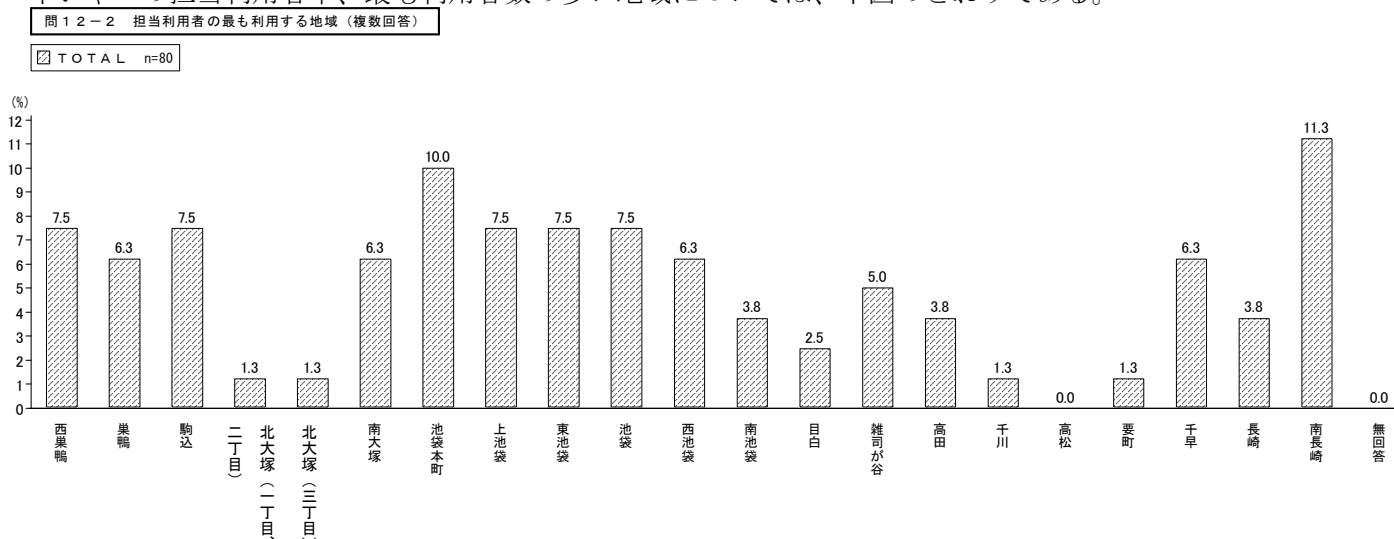
(9) 給付管理票作成件数

○ 給付管理票作成件数は、38.3%が「30～40件未満」で最も多くなっている。なお、平均件数は32.1件となっている。

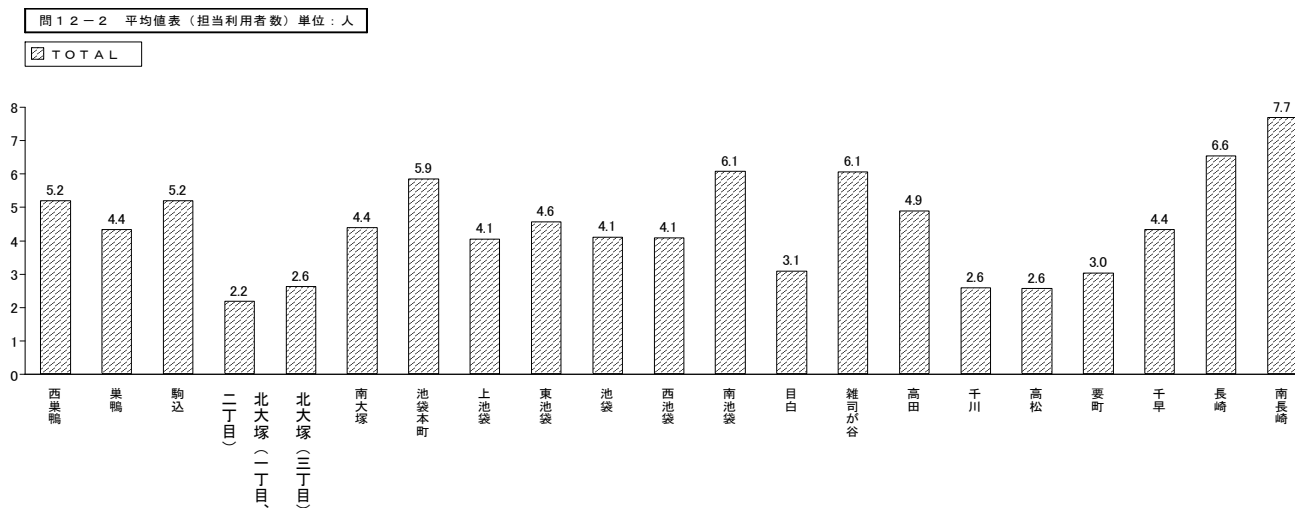


(10) 最も利用者数の多い地域

○ 回答ケアマネジャーの担当利用者中、最も利用者数の多い地域については、下図のとおりである。



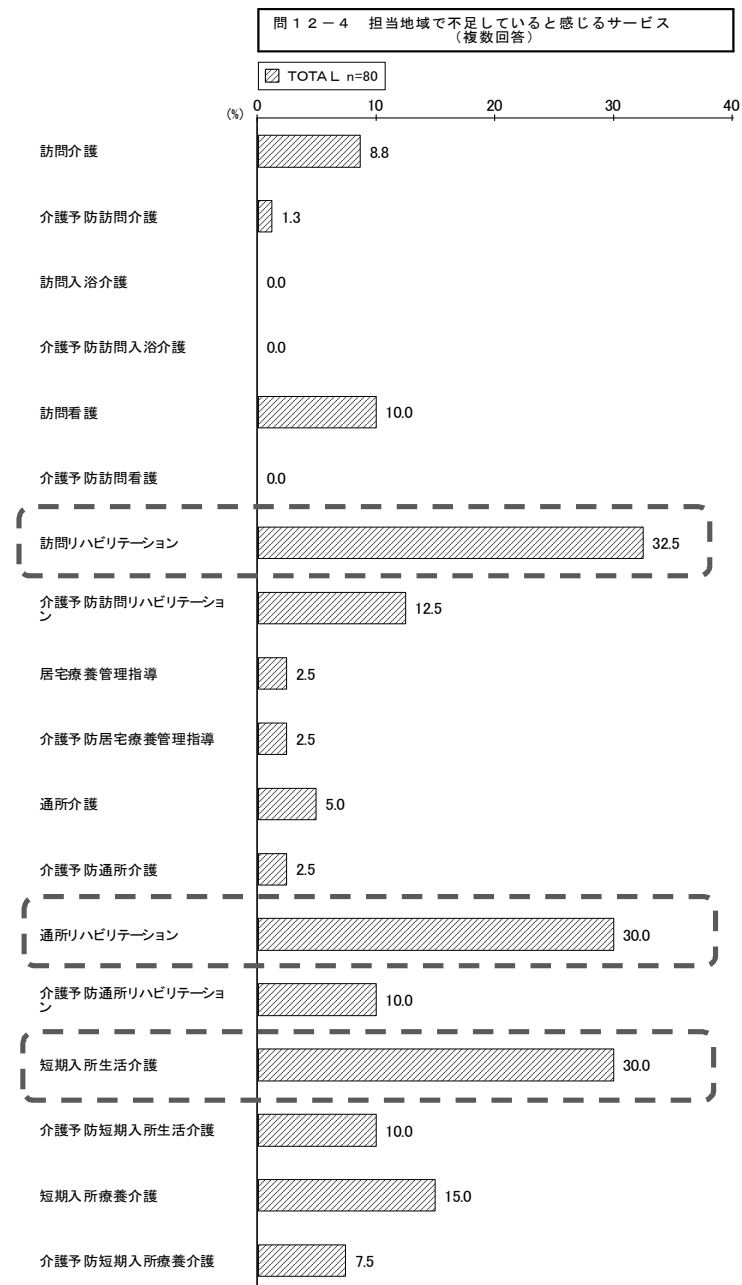
○ 担当利用者の地域別人数 (平均人数) は、下図のとおりである。



(11) 量的に不足しているサービス

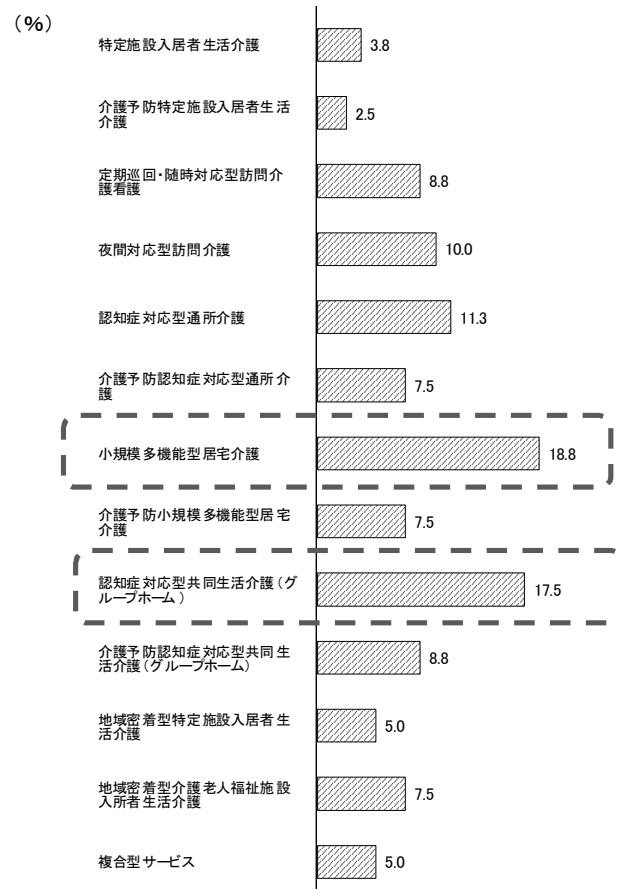
- 担当利用者数が最も多い地域において量的に不足していると思われるサービスについては、介護給付では32.5%が「訪問リハビリテーション」となっている。また「通所リハビリテーション」、「短期入所生活介護」もそれぞれ30.0%となっている。

地域密着型サービスでは、18.8%が「小規模多機能型居宅介護」、17.5%が「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」となっている。

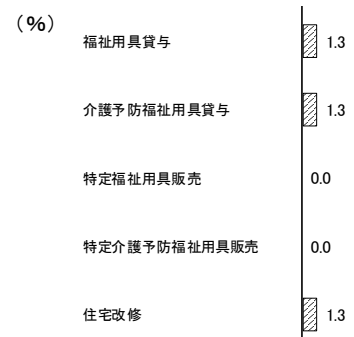


問12-4 担当地域で不足していると感じるサービス
(複数回答)

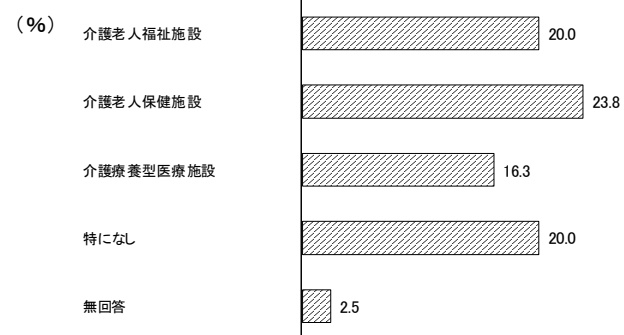
(地域密着型サービス)



(福祉用具・住宅改修)



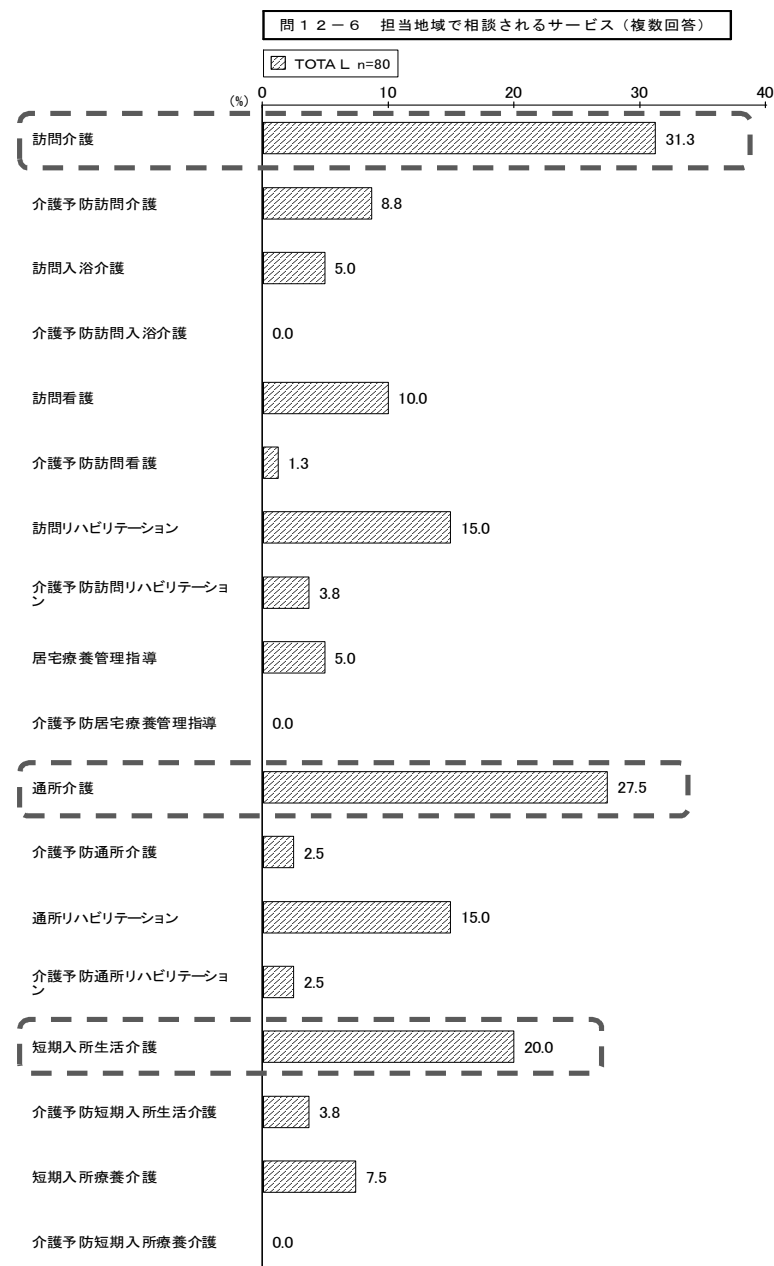
(介護保険施設等)



(12) 利用者から相談されるサービス

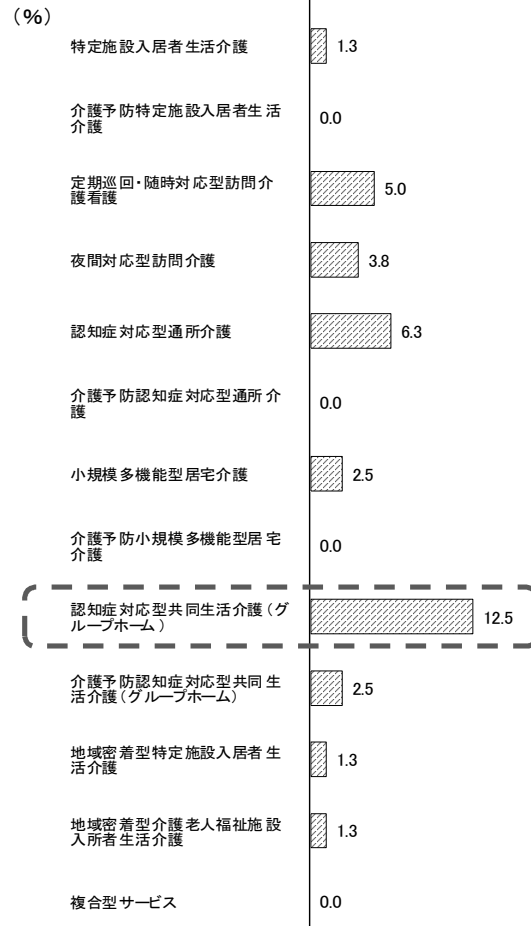
- 担当利用者数が最も多い地域において、サービスの質などの点で利用者から相談されることの多いサービスについては、介護給付サービスでは、31.3%で「訪問介護」となっているほか、27.5%が「通所介護」、20.0%が「短期入所生活介護」となっている。

地域密着型サービスでは、12.5%が「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」となっている。

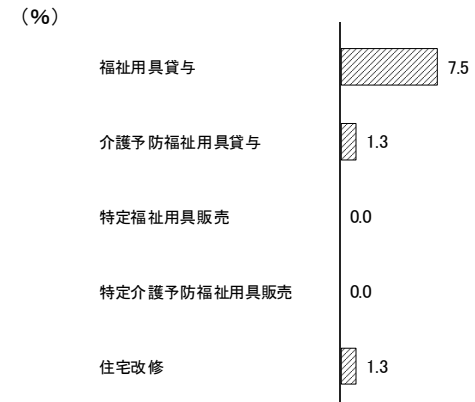


問 1 2 - 6 担当地域で相談されるサービス（複数回答）

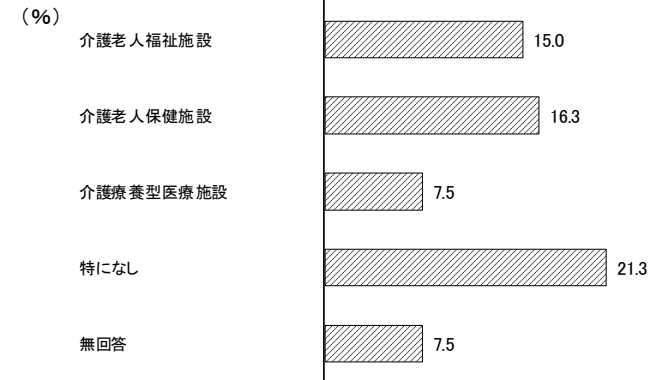
（地域密着型サービス）



（福祉用具・住宅改修）



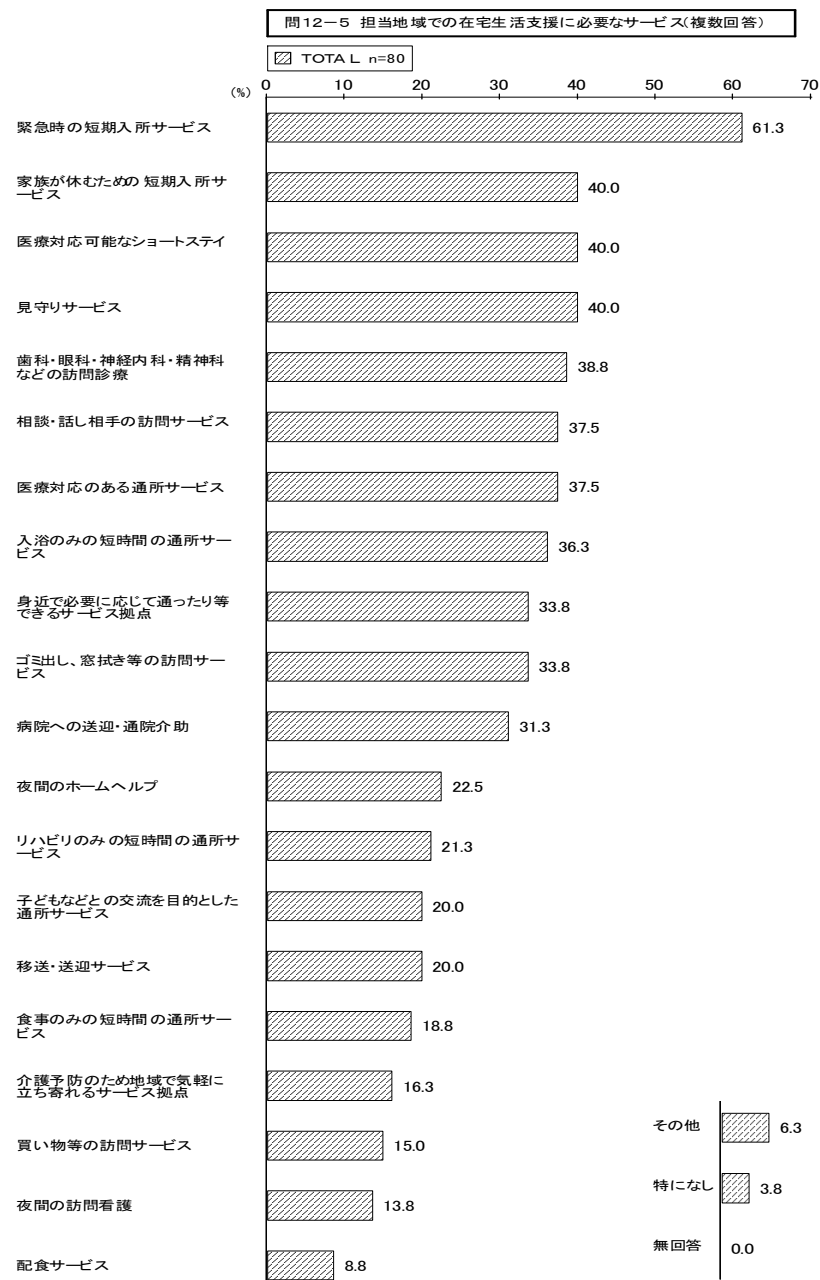
（介護保険施設 等）



(13) 必要なサービス

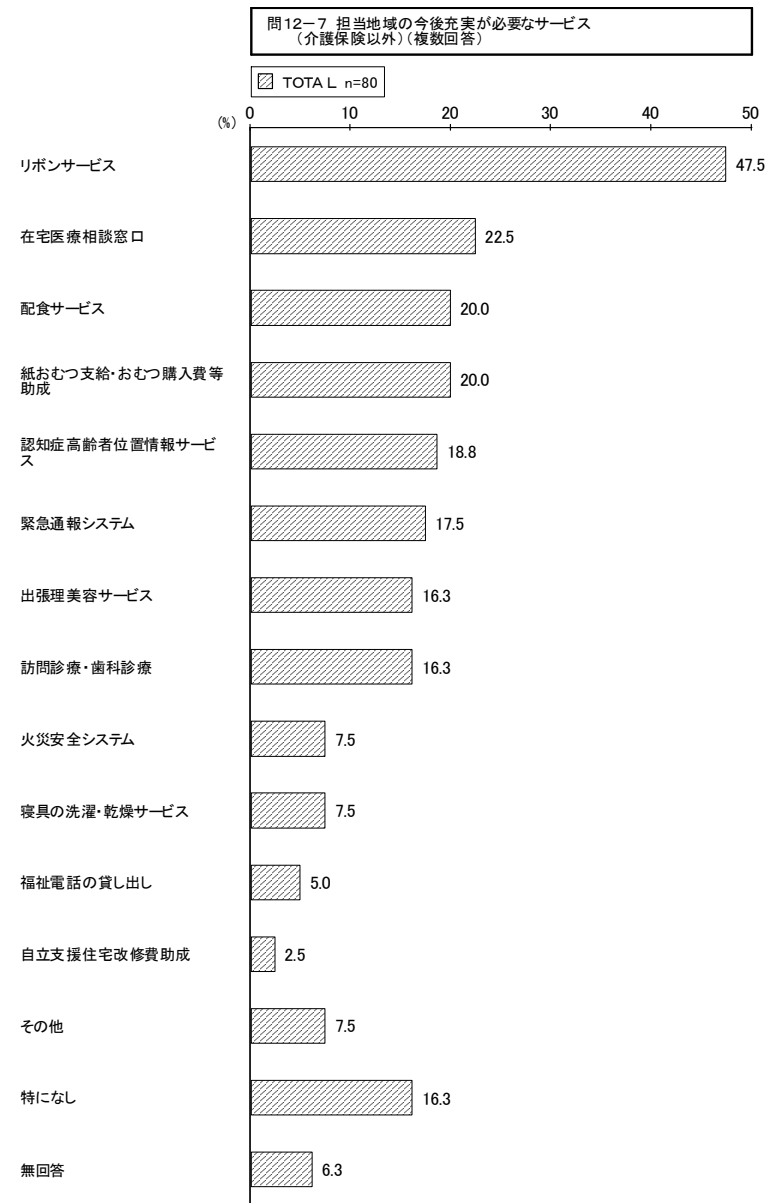
① 在宅生活支援のために必要なサービス

- 担当利用者数が最も多い地域において、インフォーマルなサービスを含め、在宅生活を支えるために今後充実が必要だと感じるサービスについては、61.3%が「緊急時の短期入所サービス」となっており最も多く、次いで「家族が休むための短期入所サービス」、「医療対応可能なショートステイ」、「見守りサービス」がともに40.0%となっている。



② 今後充実が必要だと思う介護保険以外のサービス

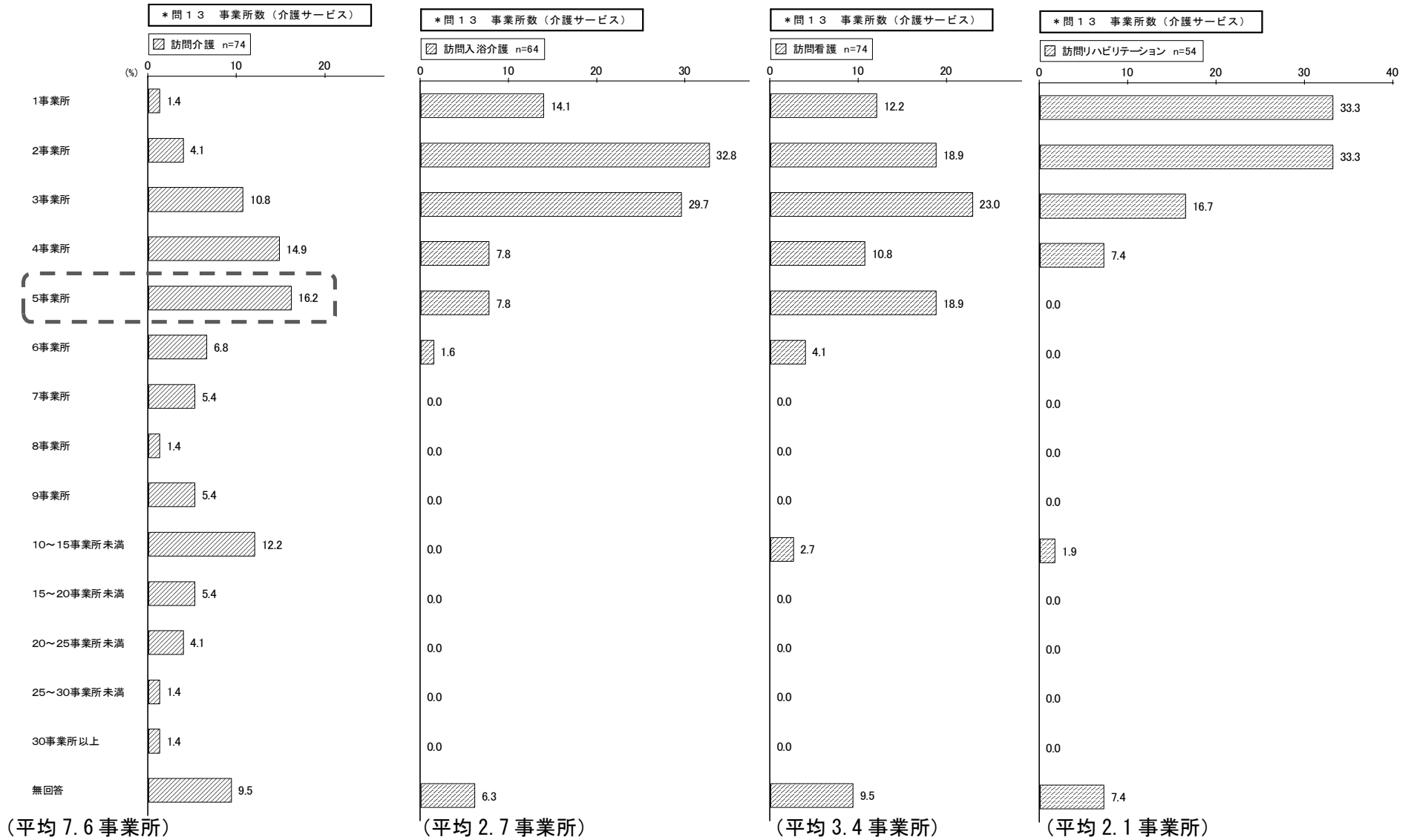
○ 担当利用者数が最も多い地域において、今後充実が必要だと思う介護保険以外のサービスについては、47.5%が「リボンサービス」で最も多く、次いで22.5%が「在宅医療相談窓口」、「配食サービス」、「紙おむつ支給・おむつ購入費等助成」はともに20.0%となっている。



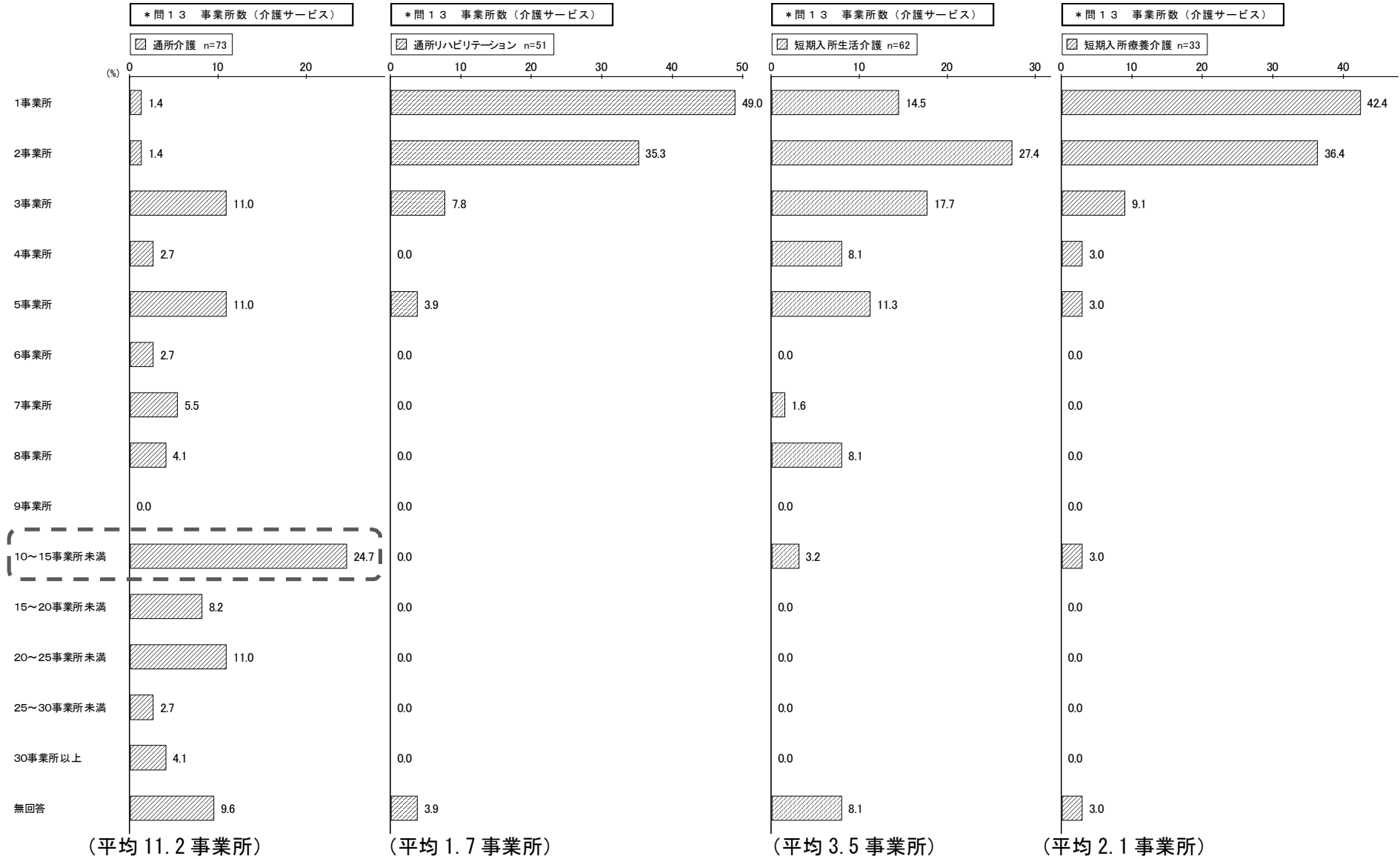
(14) サービス提供依頼可能数

- 普段作成しているケアプランに沿って、実際のサービス提供を依頼できる事業所数をみると、介護サービスでは「通所介護」の24.7%が「10～15事業所未満」としており、平均11.2事業所で最も多い。次いで「訪問介護」では16.2%が「5事業所」としており、平均7.6事業所となっている。
また、「福祉用具貸与」では19.2%が「5事業所」としており、平均6.7事業所となっている。
- 介護予防サービスについては、「通所介護」が平均10.1事業所で最も多く、次いで「訪問介護」が平均8.2事業所、「特定福祉用具販売」が平均6.4事業所となっている。

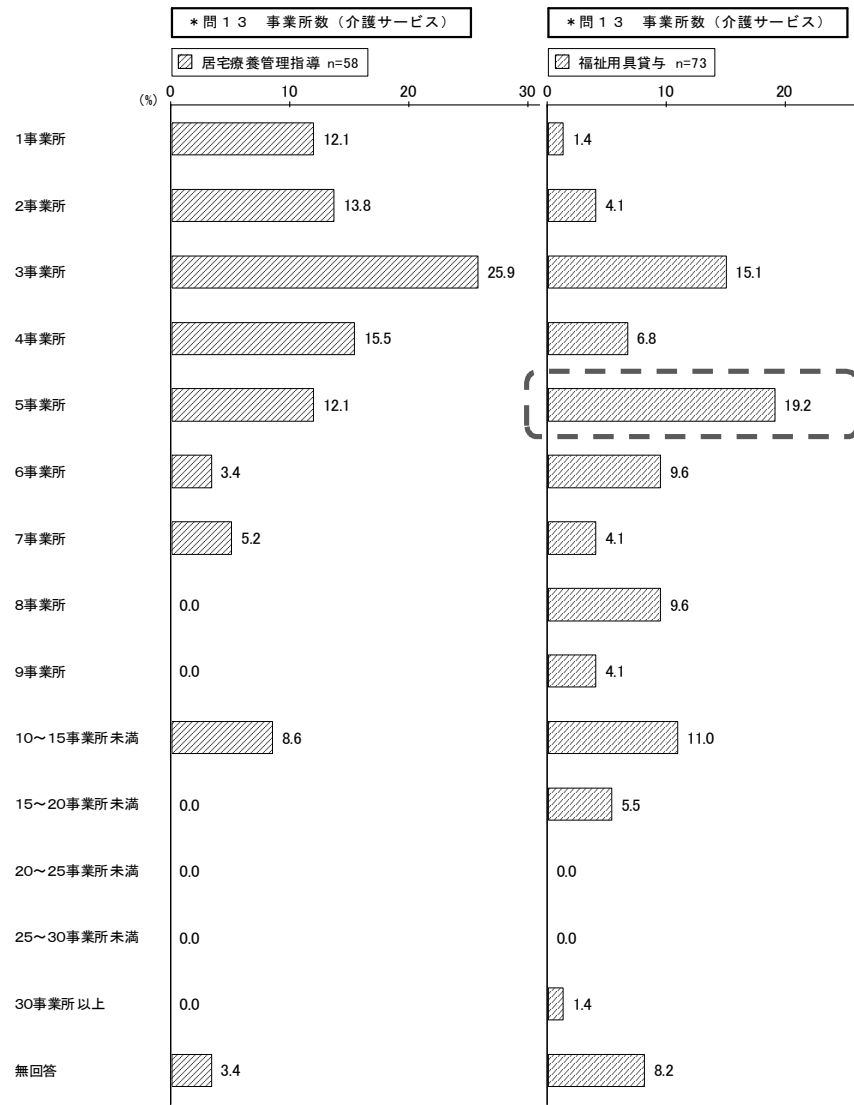
サービス提供依頼可能数（事業所数）



サービス提供依頼可能数（事業所数）



サービス提供依頼可能数（事業所数）



(平均 4.0 事業所)

(平均 6.7 事業所)

(介護予防サービスの提供可能事業所数)

	TOTAL	平均(か所)
訪問介護	74	8.2
訪問入浴介護	64	2.6
訪問看護	74	4.2
訪問リハビリテーション	54	2.6
通所介護	73	10.1
通所リハビリテーション	51	1.7
短期入所生活介護	62	3.4
短期入所療養介護	33	1.7
居宅療養管理指導	58	3.9
特定福祉用具販売	73	6.4

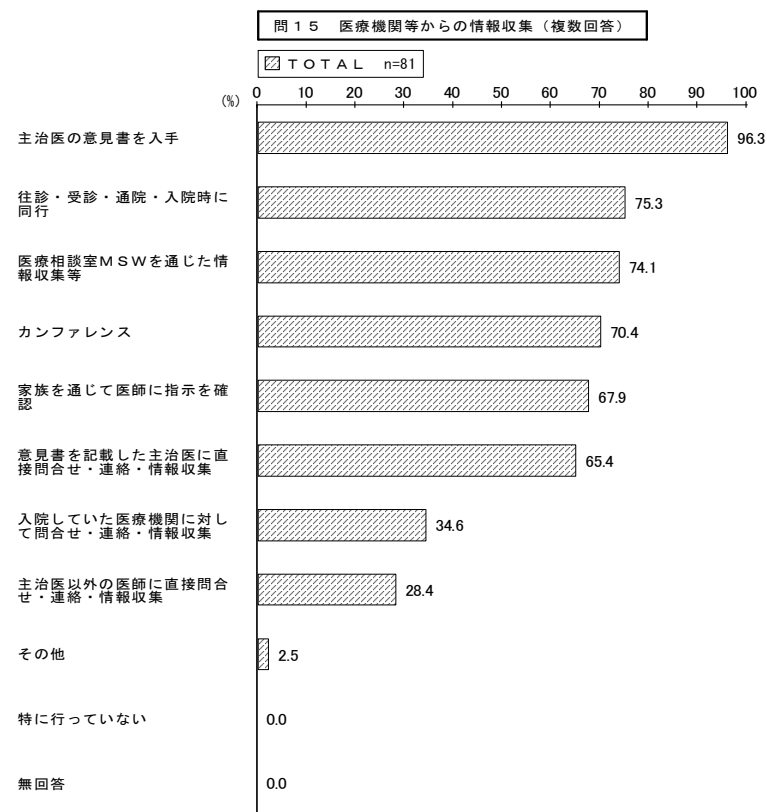
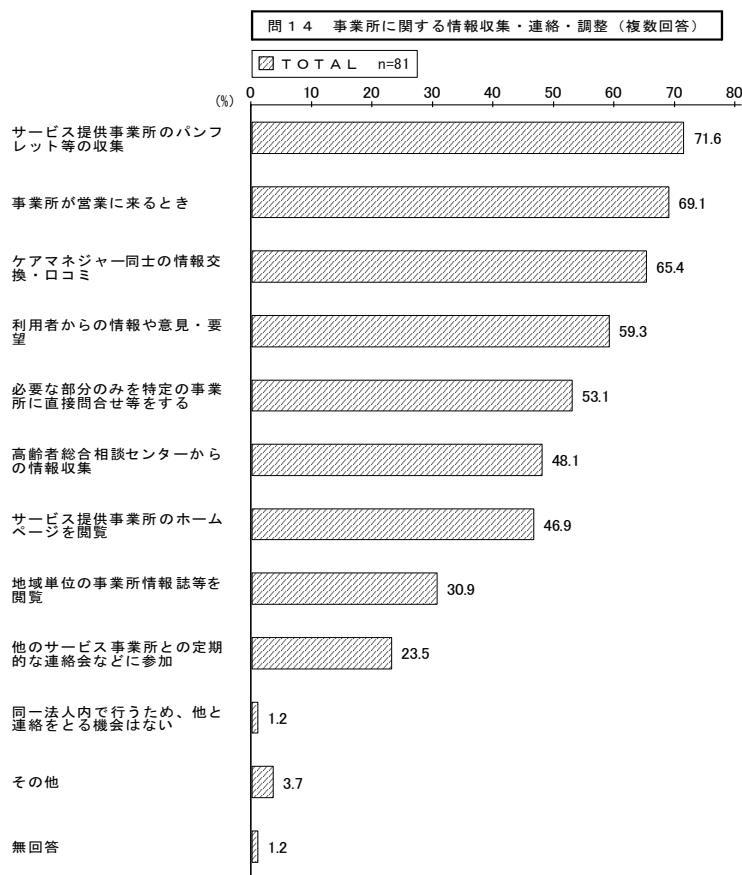
(15) 情報収集、連絡・調整

① サービス提供事業所関連

- サービス提供事業所関連の情報収集、連絡・調整については、71.6%が「サービス提供事業所のパンフレット等の収集」となっており、最も多く、次いで69.1%が「事業所が営業に来るとき」、65.4%が「ケアマネジャー同士の情報交換・口コミ」の順となっている。

② ケアプラン作成時の医療機関等からの情報収集

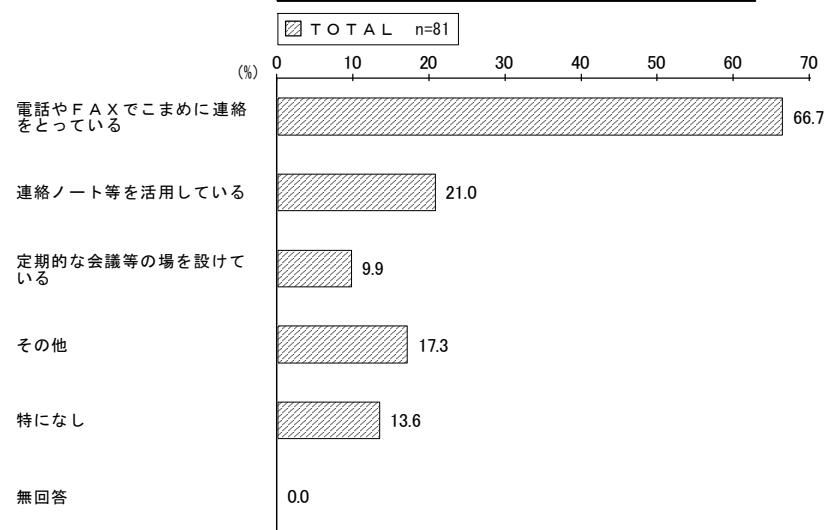
- ケアプラン作成時の医療機関等からの情報収集については、96.3%とほとんどのケアマネジャーが「主治医の意見書を入手」しており、次いで75.3%が「往診・受診・通院・入院時に同行」、74.1%が「医療相談室MSWを通じた情報収集等」の順となっている。



(16) 医療連携での工夫

- 医療連携の工夫については、66.7%が「電話やFAXでこまめに連絡をとっている」となっており最も多く、次いで21.0%が「連絡ノート等を活用している」となっている。

問16 医療連携を円滑にするための工夫（複数回答）



〔問17 医療連携の課題（自由記入：主なもの）〕

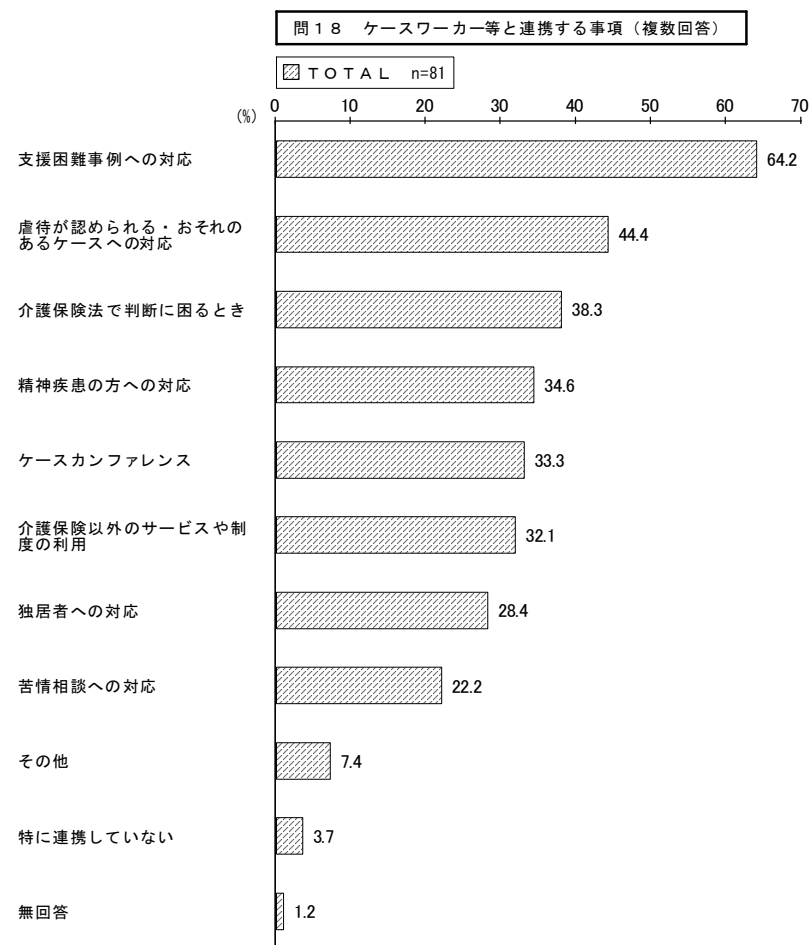
- 訪問診療もされている先生方も増えてきて、とても連携がしやすくなって来ます。
- 複数の「科」にかかっている場合、かかりつけ医が他の医師と連携をとれない場合について。
- 病院から在宅に戻る時の連携の取りづらさ、協力体制のとり方。専門分化した中で、お互いのズレを認識したり、すり合わせたりが不十分。
- 入退院時のカンファレンスなど、できれば医療機関側から声かけしてもらいたい。
- 大学病院等、大きな医療機関にはなかなか同行する事が出来ないので、相談しにくい。
- 受診時の話や指示がケアマネまで伝わりにくい。
- 主治医に情報を得るために電話をしてもMSWを通じてのみのケースが多い。
- 主治医と直接話ができる様に工夫が必要。他区では「主治医⇄CM連絡書」というFAXでやりとりできる用紙を作成する事例あり。
- 医師からの呼びかけによりカンファレンスを開くことができた。
- 主治医意見書に「プラン希望」となっている先生とは連携が取りやすいので助かる。
- 最近は訪問診療医が多く入ってくれているので連携が取りやすくて助かる。
- 最近はケースワーカー側からケアマネに連絡して来てくれる例が多く、連携がスムーズに行えているので助かる。
- 独居の方など、医療機関への入院時、保証人がいなくて困っている。

(17) 区職員との連携

- 区職員（ケースワーカーや保健師等）と連携する機会については、64.2%が「支援困難事例への対応」で最も多く、次いで44.4%が「虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応」、38.3%が「介護保険法で判断に困るとき」となっている。

〔問 18-1 「1. 支援困難事例への対応」でケースワーカーや保健師等との連携の際に期待すること（自由記入：主なもの）〕

- カンファレンスへの出席・利用者宅への訪問、その上で、具体的な相談を行い共に対応をお願いしていきたい。
- 医療面から見た病気の判断や見極め、関わりの糸口の発見など。
- 独居で医療依存が高く（人口透析）、在宅独居での生活維持が困難なケースが有ります。
- それぞれの専門的視点からの関わり。別の視点からの提案、意見、助言。
- 介護保険サービスに対応できないこと。ケアマネだけでは対応できないことに対する支援をお願いしたい。（住宅問題、金銭管理など）
- 具体的な対応方法の提案、介護保険外のサービス等の情報提供など
- 今まで経験されている事例からヒントを預けたり、必要時は対象者宅の訪問に同行して頂いて、実際の状況を見てほしい。
- 具体的な方針を一緒に検討してほしい。
- 特に精神疾患の利用者の対応を期待します。
- 本人、家族の介入拒否や制度にのりまでの金銭管理の支援。本人や家族に精神疾患が疑われる時の対応。医療につなぐ支援。



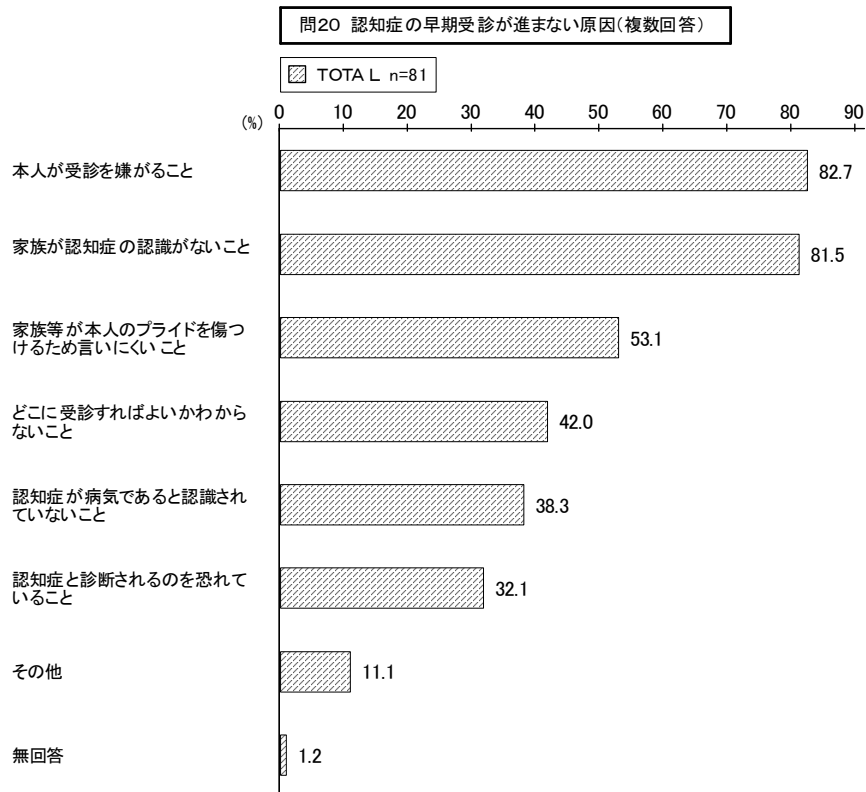
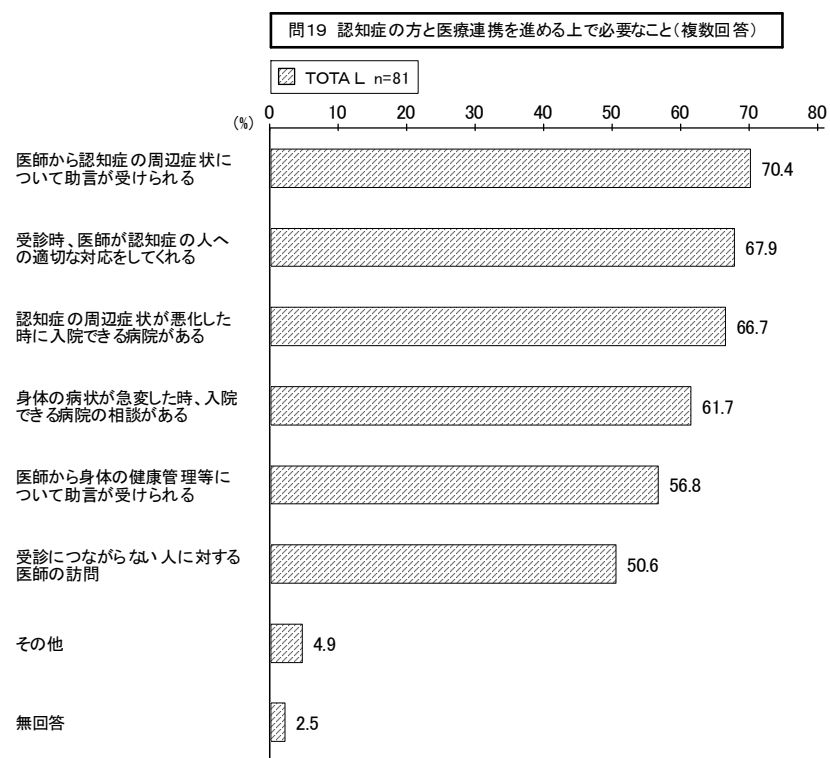
(18) 認知症対応について

① 認知症の方の医療連携を進めるうえで必要なこと

- 認知症の方の医療連携を進めるうえで必要なことについては、70.4%が「医師から認知症の周辺症状について助言が受けられること」となっており最も多く、次いで67.9%が「受診時、医師が認知症の人への適切な対応をしてくれること」、66.7%が「認知症の周辺症状が悪化したときに、入院できる病院があること」の順となっている。

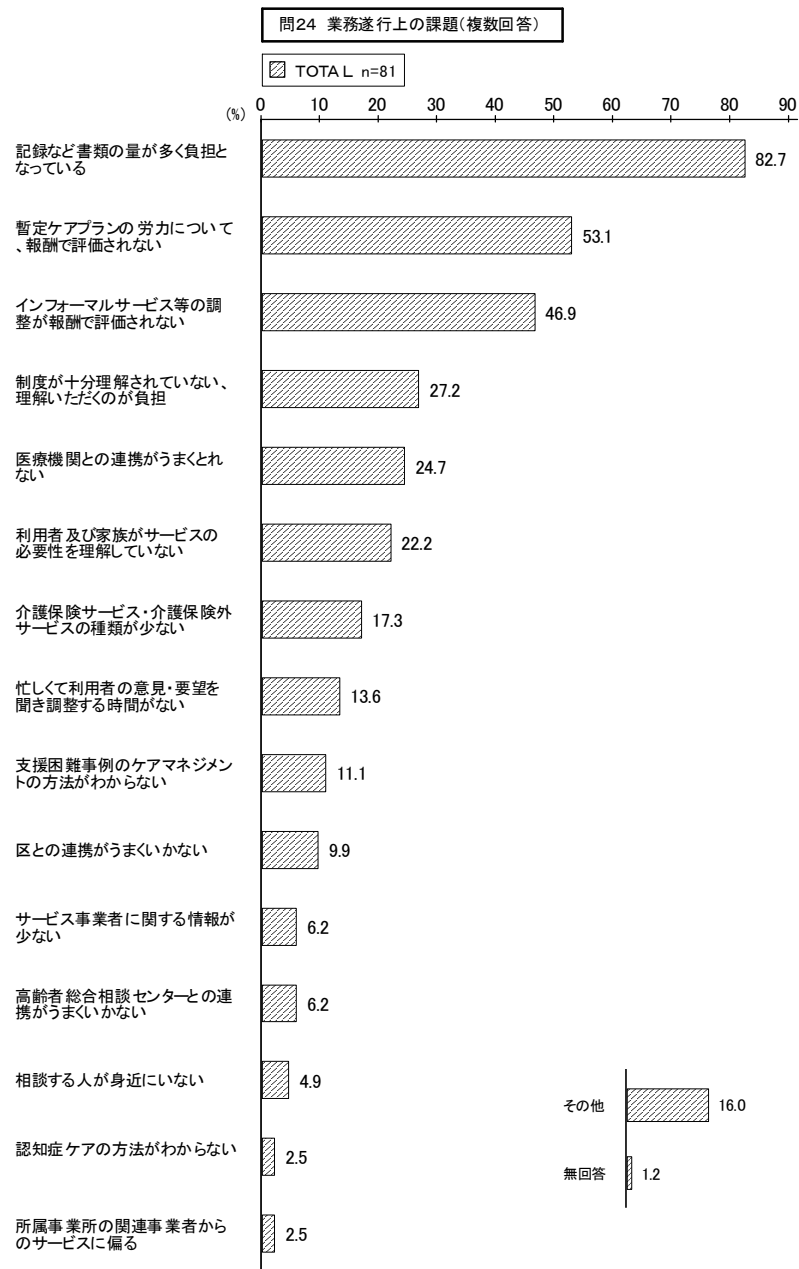
② 認知症の早期受診が進まない理由

- 認知症の早期受診が進まない理由については、82.7%が「本人が受診を嫌がること」となっており最も多く、次いで81.5%が「家族が認知症の認識がないこと」、53.1%が「家族や周囲の人が本人のプライドを傷つけるため言いにくいこと」の順となっている。



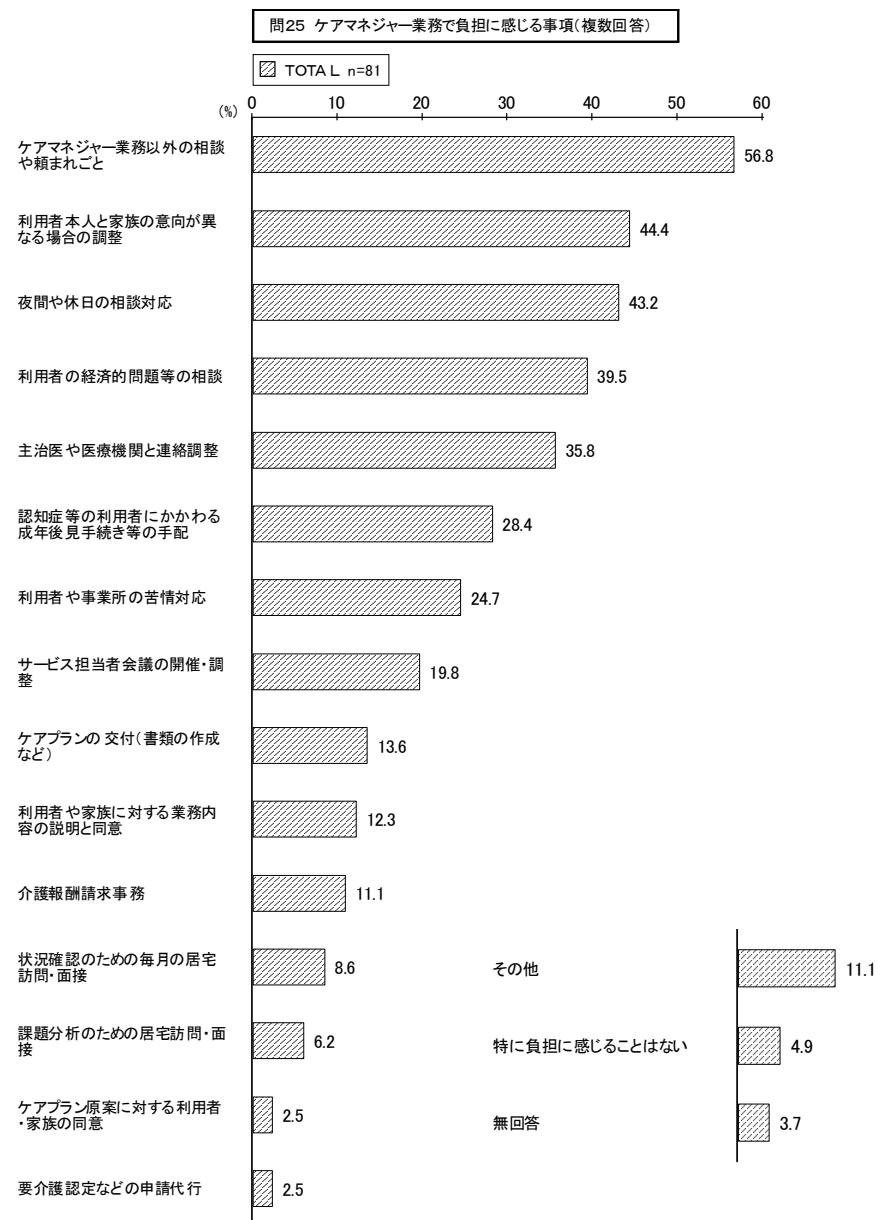
(19) 業務遂行上の課題

- ケアマネジャーの業務遂行上の課題としては、82.7%が「記録など書類の量が多く負担となっている」と最も多く、次いで53.1%が「要介護認定が出る前のいわゆる「暫定ケアプラン」調整の労力について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない」、46.9%が「介護保険サービスを組み込まないインフォーマルサービス等だけのケアプラン調整が、介護報酬で評価されない」の順となっている。



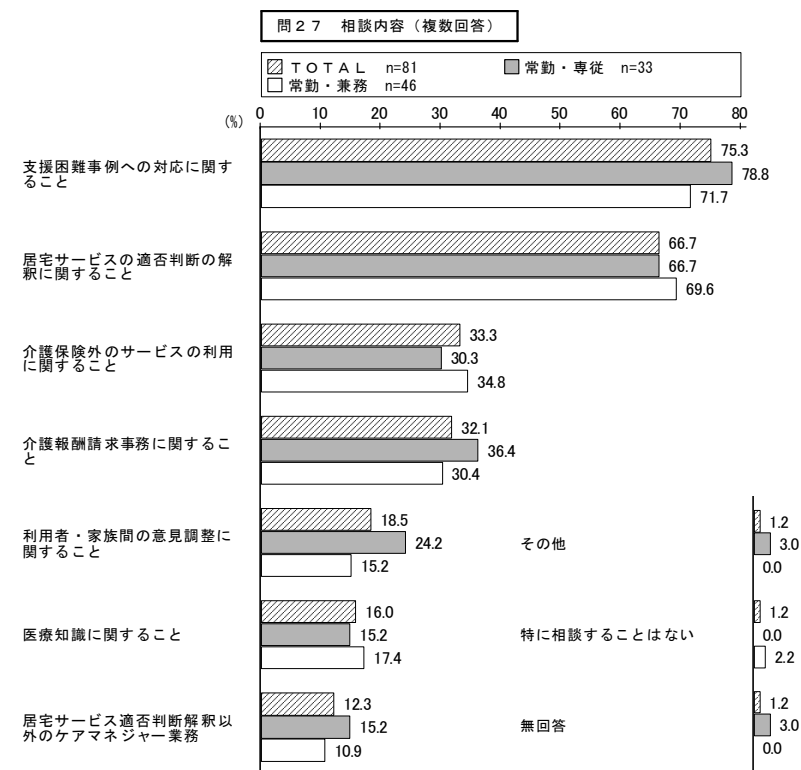
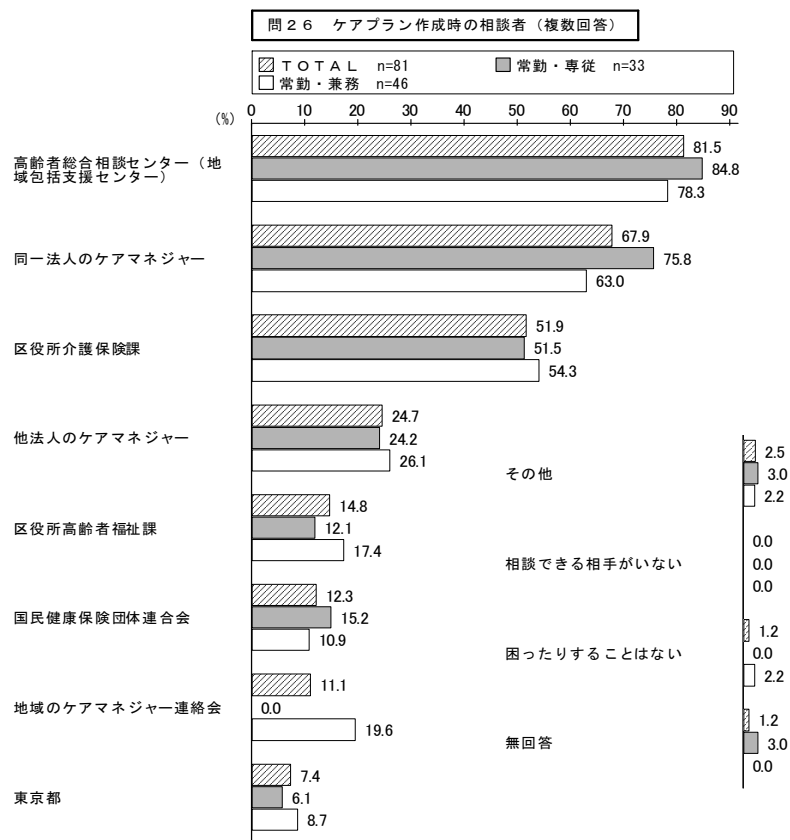
(20) 業務遂行上負担に感じること

- ケアマネジャー業務で負担に感じることについては、56.8%が「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」となっており最も多く、次いで44.4%が「利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整」、43.2%が「夜間や休日の相談対応」の順となっている。



(21) ケアプラン作成時の相談

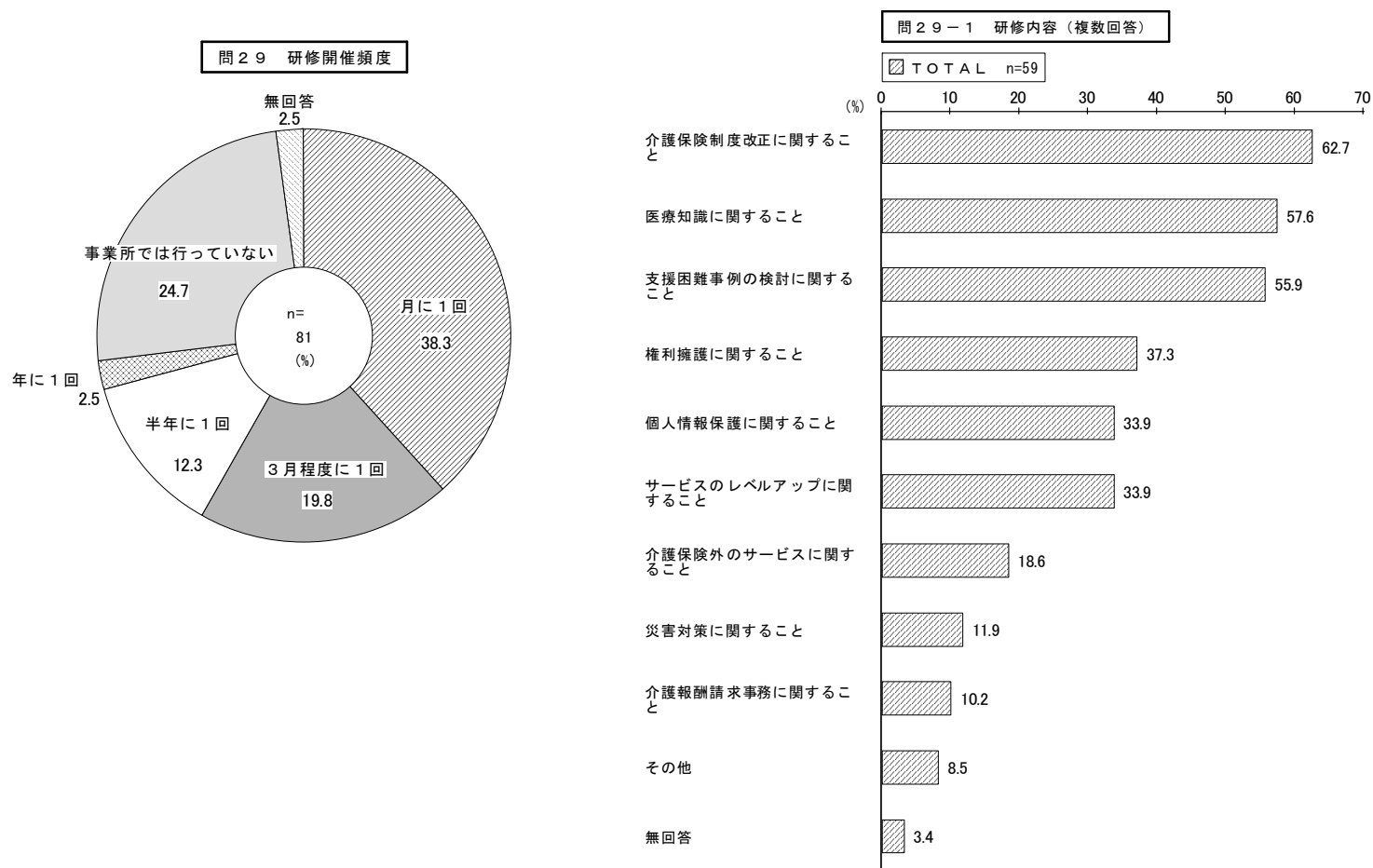
- ケアプラン作成時の相談先については、81.5%が「高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）」となっており最も多く、次いで67.9%が「同一法人のケアマネジャー」、51.9%が「区役所介護保険課」の順となっている。また、常勤・専従者による回答では、「高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）」、「同一法人のケアマネジャー」への相談割合が、常勤・兼務者による回答割合を上回っている。
- 相談内容については、75.3%が「支援困難事例への対応に関すること」となっており最も多く、次いで66.7%が「居宅サービスの適否判断の解釈に関すること（運営基準等を含む）」、33.3%が「介護保険外のサービスの利用に関すること」の順となっている。また、常勤・専従者による回答では、「支援困難事例への対応に関すること」についての相談割合が、常勤・兼務者による回答割合を上回っている。



※ 両グラフとも非常勤専従 n = 1、非常勤兼務 n = 1 を除く

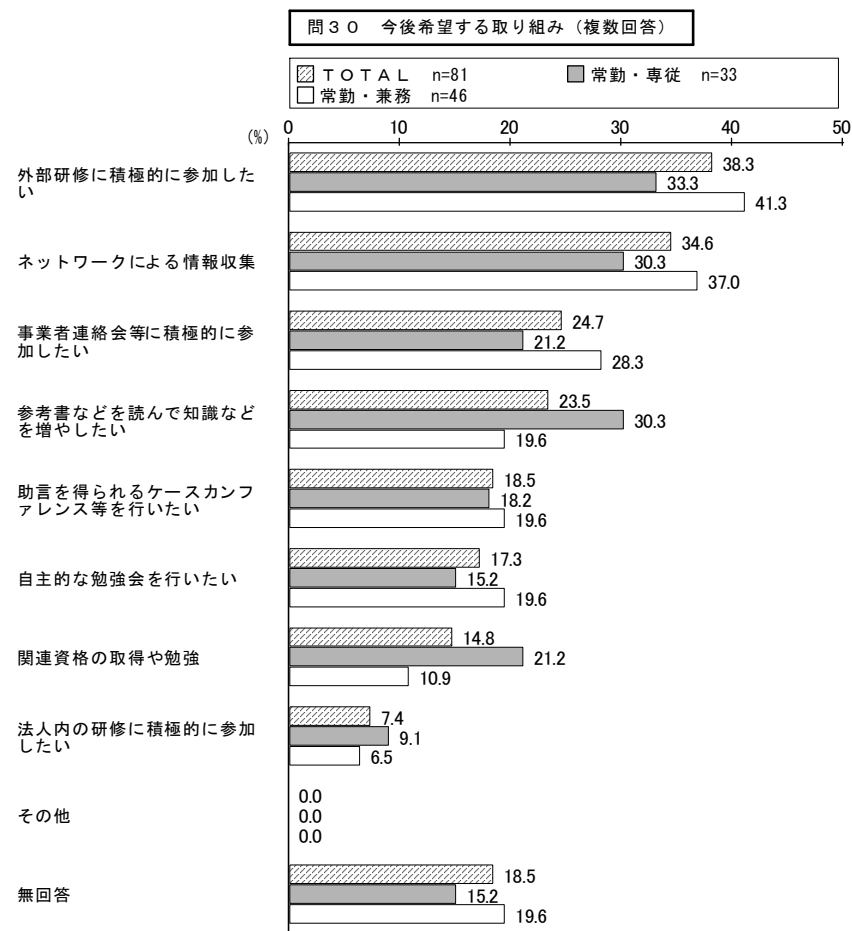
(22) 研修の実施状況

- 研修実施については、38.3%が「月に1回」となっており、最も多く、次いで19.8%が「3月程度に1回」、12.3%が「半年に1回」となっている。
- 研修内容については、62.7%が「介護保険制度改正に関すること」で最も多く、次いで57.6%が「医療知識に関すること」、55.9%が「支援困難事例の検討に関すること」の順となっている。



(23) 今後希望する取り組み

- 今後取り組みたいと考えている項目については、38.3%が「外部研修に積極的に参加したい」となっており最も多く、次いで34.6%が「ネットワークによる情報収集」、24.7%が「事業者連絡会等に積極的に参加したい」の順となっている。また、これら3項目については、常勤・兼務者の回答割合が常勤・専従者を上回っている。



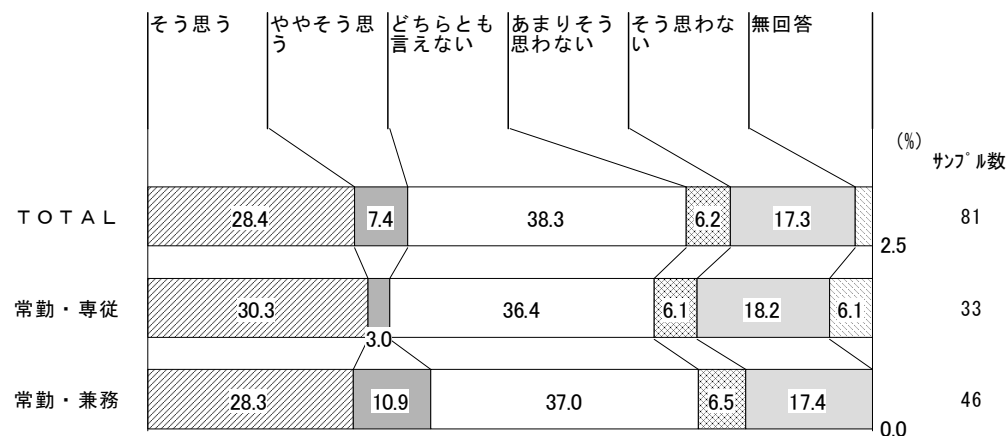
(24) 居宅介護支援事業所の独立性について

○ 居宅介護支援事業所のサービス提供事業者からの独立については、「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた「独立であるべき」とする割合は35.8%となっている。

一方、「あまりそう思わない」、「そう思わない」を合わせた「独立であるべきでない」とする割合は23.5%となっている。また38.3%は「どちらともいえない」となっている。

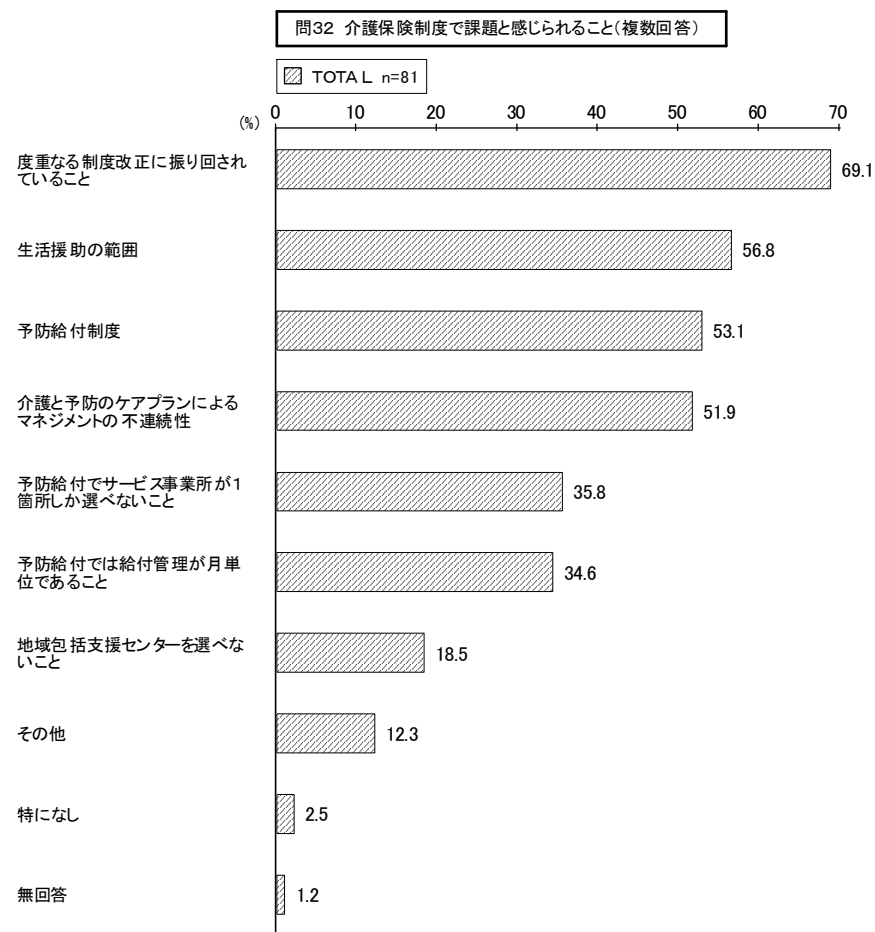
また常勤・兼務者では、「独立であるべき」とする割合は39.2%と常勤・専従者の割合（33.3%）を上回っている。

問31 サービス提供事業者からの独立性について



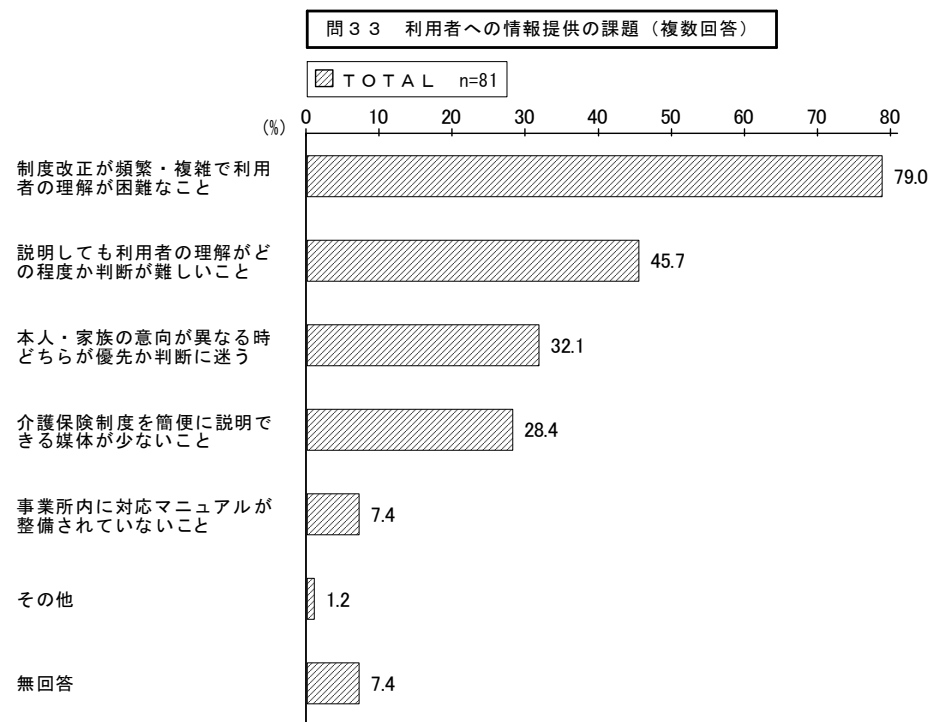
(25) 介護保険制度で課題と感じられること

- 介護保険制度で課題と感じられることについては、69.1%が「度重なる制度改正に振り回されていること」となっており最も多く、次いで56.8%が「生活援助の範囲」、53.1%が「予防給付制度」、51.9%が「介護ケアプランと予防ケアプランによるケアマネジメントの不連続性」の順となっている。



(26) 利用者への情報提供時の課題

- 利用者への情報提供時の課題としては、79.0%が「制度改正が頻繁かつ複雑多岐に亘り、利用者の理解を得るのが困難なこと」で最も多く、次いで45.7%が「重要事項説明書などを用いて契約内容を説明しても、利用者の理解がどの程度得られているか判断が難しいこと（特に認知症高齢者の場合）」、32.1%が「利用者本人と家族の意向が異なる場合にどちらを優先すべきか判断に迷うこと」の順となっている。

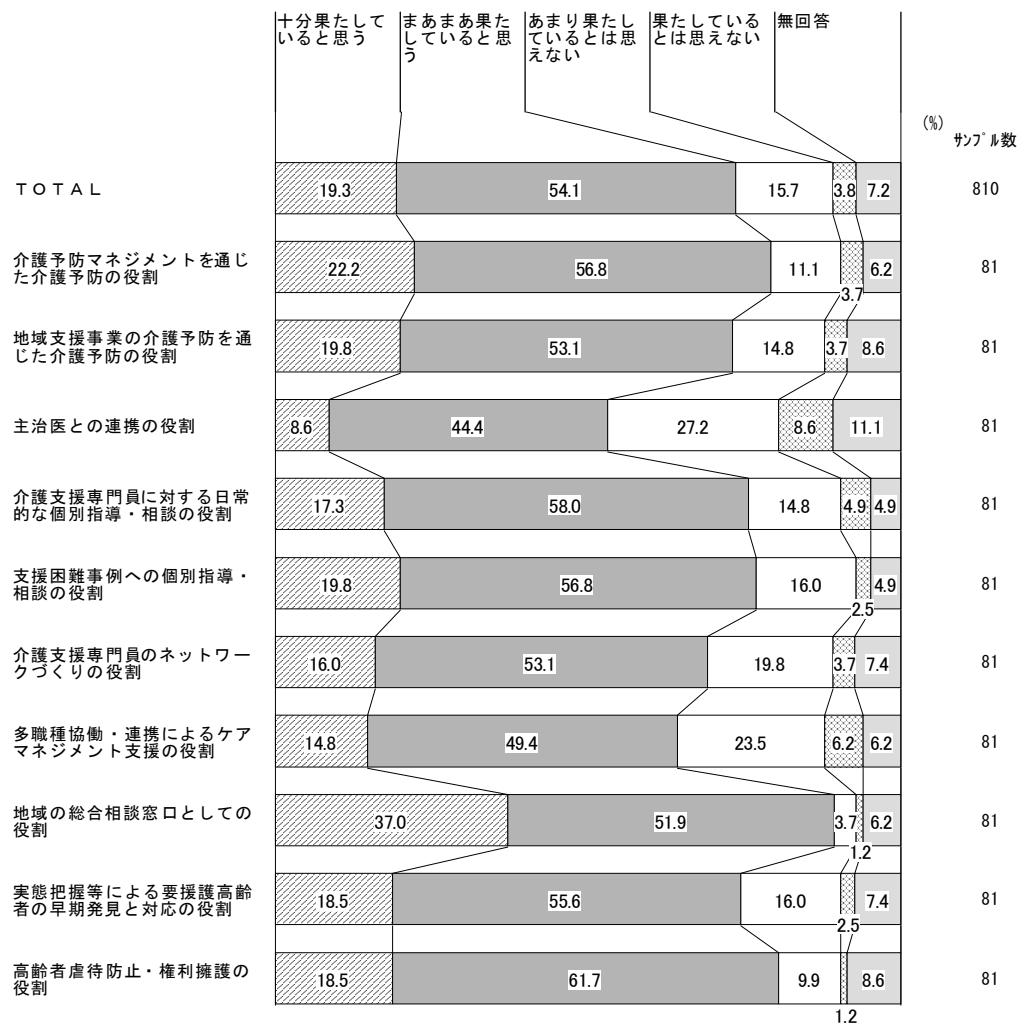


(27) 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の役割について

○ 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）で実施している個別の取り組みに対する評価について「十分果たしていると思う」、「まあまあ果たしていると思う」を合わせた「プラス評価」では、「地域の総合相談窓口としての役割」が88.9%となっている。

次いで「高齢者虐待防止・権利擁護の役割」が80.2%、「介護予防ケアマネジメントを通じた介護予防の役割」が79.0%の順となっている。

問34 高齢者総合相談センターの役割の満足度



(28) 自由回答

【介護保険制度などへの自由意見】：主なもの

(ケアマネジャーの権限について)

- ケアマネが適否判断できるような制度に変えて良いと思う。保険料や1割負担を主張するなど権利を振りかざす利用者が多くなった。あくまでも「補助」ということを強く出してほしい。

(サービス事業者の質の向上)

- 訪問介護、通所介護、福祉用具等、サービス提供事業者もそれぞれアセスメント、計画作成、モニタリング等を行うことになっているので、サービス提供以外の業務に対する理解度を高めるなど、担当職員の質の向上のための取り組みを検討いただきたい。

(独居認知症の利用者への対応)

- 利用者の状態把握ができるよう短時間で入れるサービスがあると良いと思います。特に夏の空調管理や、水分補給等。

(通所介護の利用時間)

- 通所介護を併設している関係上、利用時間について利用時間が長い程料金が高くなるので今度の改正で利用時間を元に戻すか検討をお願いしたい。

(今後の介護保険制度)

- 病院や施設ではなく、在宅で利用者様は生活するケースが多くなると思いますが、現在の介護保険サービスだと充分ではない様子が感じられます。どのように介護保険サービスを充実させ、かつ費用負担が生活を圧迫しないような設定をするかは、大変難しい課題かと思いますが、かゆい所に手が届き、安心して生活が送れるように、制度を整えていってほしいと思います。

(地域包括ケアシステムについて)

- 2025年に向けて地域包括ケアシステムが導入される様ですが、ケアマネがその中心を担う事になると思います。ケアマネのレベルアップと制度(権限)と報酬の見直しが不可欠かと思われます。

資料編

(調査票)

【調査結果の見方】

- ※ 各調査票に回答結果（単純集計）を記載している。
各設問の回答構成比（％）は選択肢（設問の回答文）の前に表記している。
- ※ 選択回答の結果は、設問回答者（N＝「全回答者数」または n＝「設問条件により絞り込まれた回答者数」で表記）に占める選択肢回答者の割合（回答構成比：％）を小数第一位まで表記している（小数第二位を四捨五入）。
また、無回答者の割合は、選択肢欄外等に NA で表記している。
なお、四捨五入表記のため、選択肢回答者割合を加算しても 100.0%にならない場合がある。
- ※ 数値回答の結果は、有効回答者の平均値（小数第一位まで）を表記している。
個別設問の箇所に数値は「平均値」「平均」などを表記している。

健康や介護についてのアンケート

アンケートご協力のお願い

平素から、豊島区の健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
豊島区では、平成24年3月に「豊島区介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、平成27年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、区民のみなさまのご意見をおうかがいするアンケートを実施することといたしました。

対象となられる方は、平成25年12月13日時点で区内在住の65歳以上の方の中から2,000人を無作為に選ばせていただきました。（平成25年12月14日以降の転出等で行き違いがございましたら何卒ご容赦ください。）

このアンケート結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、質問数が多く、大変お手数をおかけしますが、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

平成26年1月

豊島区保健福祉部

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 記入の方法**
アンケートの回答は、この調査票に直接ご記入ください。筆記用具は、鉛筆やボールペンなど、どのようなものでも構いません。
- 2 アンケートの対象者**
封筒のあて名の方がアンケートの対象者となっています。
- 3 アンケート回答者(記入者)**
できる限り、アンケート対象者(あて名の方)ご本人が回答(記入)ください。ただし、ご本人による回答(記入)が難しい場合は、ご家族などの方がご本人の意志を反映して、ご記入くださるようお願いいたします。
- 4 返送の方法**
同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいた調査票を入れて、平成26年1月24日(金)までにポストにご投函ください。
- 5 返送いただいた回答について**
回答は無記名でいただきますので、回答者が特定されることはありません。
また、回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。
ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【アンケートの問い合わせ先】

豊島区 保健福祉部 介護保険課
電話 03(3981)1942

問 1 この調査票を記入するのはどなたですか。(〇はひとつ)

95. 4 ご本人

2. 1 ご家族

0. 1 その他

NA (無回答、以下同じ) =2. 5 N (回答母数、以下同じ) =1, 142

問 2 あなた(ご本人: 封筒のあて名の方)は現在、どちらに住んでいますか。(〇はひとつ)

97. 3 ご自宅(ショートステイ利用者含む)

1. 4 区内の親族等の家

問 3へおすすみください。

0. 3 その他(入院中、介護施設入所、

区外転出、亡くなった等)

アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

NA=1. 0 N=1, 157

問 3 あなた(あて名ご本人)の性別をお答えください。(〇はひとつ)

46. 7 男性

52. 5 女性

NA=0. 9 N=1, 142

問 4 あなた(あて名ご本人)の年齢(平成26年1月1日現在)をお答えください。(〇はひとつ)

36. 6 65~69歳

34. 8 75~79歳

0. 6 85~89歳

0. 1 95歳以上

20. 2 70~74歳

7. 4 80~84歳

0. 1 90~94歳

NA=0. 2 N=1, 142

問 5 あなた(あて名ご本人)のお住まいの地域はどちらですか。(〇はひとつ)

4. 5 西栄鴨

1. 0 北大塚(三丁目)

5. 4 東池袋

3. 9 目白

3. 4 高松

7. 1 栄鴨

5. 3 南大塚

5. 6 池袋

3. 1 雑司が谷

3. 7 要町

7. 1 駒込

6. 7 池袋本町

4. 8 西池袋

4. 4 高田

4. 8 千早

3. 1 北大塚

5. 2 上池袋

2. 6 南池袋

2. 2 千川

8. 1 長崎

(一丁目、二丁目)

8. 0 南長崎

NA=0. 2 N=1, 142

問 6 あなた(あて名ご本人)のお住まいの地域での居住年数をお答えください。

※ 増改築や改修などされている場合でも通算してお答えください。(〇はひとつ)

1. 1 1年未満

6. 7 5~10年未満

7. 1 15~20年未満

62. 9 30年以上

4. 1 1~5年未満

5. 6 10~15年未満

12. 1 20~30年未満

NA=0. 4 N=1, 142

問 7 あなた(あて名ご本人)の世帯の状況をお選びください。(〇はひとつ)

19. 9 ひどい暮らし

34. 7 子や孫など同居

⇒問 7-1へ

34. 8 夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上

3. 0 1~4以外で全員が65歳以上

4. 5 夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上

3. 2 その他

NA=0. 1 N=1, 142

【問7で「4. 子や孫などと同居」とお答えの方におうかがいします。】

問7-1 同居されている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

92. 9 息子・娘	21. 2 孫	35. 4 配偶者	0. 8 その他
11. 4 息子・娘の配偶者	1. 0 兄弟・姉妹	2. 3 親・配偶者の親	

NA=0.5 n=396

【問7で「4. 子や孫などと同居」とお答えの方以外におうかがいします。】

問7-2 一番近くに住んでいるお子さんとの距離はどのくらいですか。

時間は、ふだん行き来する方法でお答えください。(○はひとつ)

6. 7 となり	10. 2 10～20分未満	18. 3 30～1時間未満	11. 4 子どもはいない
8. 2 10分未満	3. 9 20～30分未満	16. 6 1時間以上	

NA=24.7 n=745

【すべての方に】

問8 あなた(あて名ご本人)は、ご家族などの介護をしていますか。(○はひとつ)

8. 0 現在介護をしている

41. 4 現在介護をしていないが、今後介護する立場になる可能性が高い

46. 1 現在介護をしていないし、今後も介護する立場になる可能性はほとんどない

NA=4.5 N=1,142

問9 あなた(あて名ご本人)のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

60. 0 持ち家の戸建て住宅 (借地に持ち家の場合も含む)	5. 0 民間賃貸アパート	0. 0 有料老人ホーム
23. 8 持ち家の集合住宅	4. 8 民間賃貸マンション	1. 9 その他
2. 8 公営住宅	1. 1 民間賃貸の戸建て	
	0. 3 サービス付き高齢者向け住宅	

NA=0.4 N=1,142

問9-1 現在のお住まいの階数をお答えください。

※ 一戸建てにお住まいの場合、日中生活されている階でお答えください。(○はひとつ)

31. 7 1階	34. 9 2階	12. 7 3階	4. 6 4階	3. 3 5階	12. 6 6階以上
----------	----------	----------	---------	---------	------------

NA=0.3 N=1,142

問10 現在のお住まい(またはお住まいのある建物)には、エレベーターはついていますか。
(○はひとつ)

26. 9 ついている	71. 6 ついていない
-------------	--------------

NA=1.5 N=1,142

問11 あなた(あて名ご本人)の年収(年金含む)をお答えください。(○はひとつ)

5. 8 50万円未満	6. 9 300～350万円未満	0. 8 900～1,000万円未満
11. 3 50～80万円未満	5. 5 350～400万円未満	1. 7 1,000～1,100万円未満
8. 2 80～100万円未満	6. 3 400～500万円未満	0. 4 1,100～1,200万円未満
11. 1 100～150万円未満	4. 3 500～600万円未満	0. 2 1,200～1,300万円未満
11. 1 150～200万円未満	2. 1 600～700万円未満	0. 2 1,300～1,400万円未満
9. 9 200～250万円未満	1. 9 700～800万円未満	0. 3 1,400～1,500万円未満
7. 8 250～300万円未満	0. 7 800～900万円未満	1. 8 1,500万円以上

NA=1.8 N=1,142

問11-1 あなた（あて名ご本人）を含めた、世帯全体の年収（年金含む）をお答えください。
（〇はひとつ）

1.1 50万円未満	10.9 300～350万円未満	2.3 900～1,000万円未満
1.7 50～80万円未満	8.9 350～400万円未満	2.3 1,000～1,100万円未満
2.3 80～100万円未満	8.8 400～500万円未満	1.0 1,100～1,200万円未満
5.0 100～150万円未満	7.4 500～600万円未満	1.4 1,200～1,300万円未満
7.9 150～200万円未満	4.3 600～700万円未満	0.4 1,300～1,400万円未満
7.2 200～250万円未満	3.0 700～800万円未満	0.3 1,400～1,500万円未満
8.7 250～300万円未満	3.2 800～900万円未満	3.6 1,500万円以上

NA=8.4 N=1,142

問12 あなた（あて名ご本人）は現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。
（〇はひとつ）

12.9 苦しい	37.2 やや苦しい	39.4 ややゆとりがある	8.0 ゆとりがある
----------	------------	---------------	------------

NA=2.5 N=1,142

問13 あなた（あて名ご本人）は現在、仕事をしていますか。また、どのくらいの頻度ですか。
（〇はひとつ）

19.1 ほぼ毎日仕事についている	4.2 月に数日仕事についている	61.3 仕事はしていない
8.9 週に2～3日仕事についている	5.4 決まっていない	

NA=1.1 N=1,142

【問13で「1」～「4」とお答えの方におうかがいします。】
問13-1 どのような働き方をされていますか。（〇はひとつ）

次ページの
問14へ

13.0 正社員・正規職員	41.6 自営業・自由業
11.2 契約社員・派遣社員・嘱託社員	31.2 パート・アルバイト

NA=3.0 n=430

問13-2 仕事をしている最も大きな理由は何か。（〇はひとつ）

45.6 生活費を得るため	6.3 社会の役に立てるから
5.8 小遣いを得るため	0.0 友人が欲しいから
5.6 健康に良いから	14.9 仕事の事情でやめることができないから
17.0 生活に張りやりズムができるから	3.7 その他（具体的に）

NA=1.2 n=430

問13-3 何歳まで働き続けたいと思いますか。（〇はひとつ）

14.4 70歳まで	13.0 80歳まで	17.4 わからない
14.0 75歳まで	40.5 働き続けられるうちはいつまでも	

NA=0.7 n=430

問13-4 働くうえで重視していることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 54. 7 体力的に無理なく続けられる仕事であること | 22. 3 経験したことがある業界であること |
| 42. 3 自分のペースで進められる仕事であること | 7. 2 勤務先の事業目的・経営ビジョン |
| 38. 6 自分の能力を発揮できること | 4. 9 給料が良いこと |
| 18. 4 勤務日や勤務時間を選べること | 20. 7 自宅が近いこと |
| 30. 2 経験したことのある職種であること | 18. 6 通勤が楽なこと |
| 11. 6 気心の知れた仲間がいる職場であること | 6. 3 特にない |
| 7. 9 以前と同じ勤務先であること | 5. 1 その他 (具体的に) |

NA=0.9 n=430

【すべての方に】

問14 あなた(あて名ご本人)はふだん、ご自分で健康だと思いますか。(○はひとつ)

- | | | | |
|-------------|--------------|----------------|------------|
| 11. 6 とても健康 | 65. 8 まあまあ健康 | 16. 8 あまり健康でない | 4. 6 健康でない |
|-------------|--------------|----------------|------------|

NA=1.1 N=1,142

問15 あなた(あて名ご本人)の健康状態はいかがですか。現在の状況に最も近いものを選びください。(○はひとつ)

- | |
|--|
| 58. 8 大した病気や障害もなく、日常生活は自分で行える |
| 39. 3 日常生活はほぼ自立しており、ひとりで外出できる |
| 0. 6 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助がないと外出できない |
| 0. 1 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つことができる |
| 0. 0 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えなどの介助が必要 |

NA=1.1 N=1,142

問16 あなた(あて名ご本人)は、以下の中で現在、治療中の病気やけがはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|---|
| 43. 5 高血圧症 | 8. 2 泌尿器の病気 (腎臓病、前立腺肥大など) |
| 21. 9 脂質異常症 (高コレステロール血症、中性脂肪など) | 4. 6 がん |
| 12. 3 糖尿病 | 5. 0 呼吸器の病気
(ぜん息、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) など) |
| 3. 2 動脈硬化症 | 8. 0 耳や鼻の病気 (難聴など) |
| 18. 6 腰痛症 | 15. 9 お口の病気 (むし歯、歯周病など) |
| 5. 2 関節症・リウマチ | 1. 4 骨折・外傷 |
| 8. 8 肩こり症 | 0. 4 認知症 |
| 9. 4 骨粗しょう症 | 1. 7 心の病気 |
| 3. 2 脳血管疾患 (脳出血、脳梗塞など) | 6. 7 その他 |
| 5. 7 狭心症・心筋梗塞 | 13. 0 特にない |
| 16. 5 目の病気 (白内障など) | |
| 9. 7 胃腸の病気 (胃炎、肝炎など) | |

NA=1.9 N=1,142

問 16-1 あなた（あて各ご本人）は、かかりつけ医はいますか。（○はひとつ）

82.8 はい（かかりつけ医がいる） 16.0 いいえ（かかりつけ医はいない） NA=1.1 N=1,142

問 17 あなた（あて各ご本人）が、健康を維持するために（または状態が悪くならないように）活用されているアドバイス、相談、教室、活動などの利用状況と今後の利用希望についてお答えください。

※「今後利用したい」は、継続の利用、新規の利用あわせてお答えください。

	利用している、もしくは利用したいものについて、それぞれ○)	利用している	今後利用したい※
食事や栄養バランス等に関する事	8.2	19.4	
運動できる場や方法等に関する事	14.6	23.2	
禁煙に関する事	3.0	5.0	
心の健康に関する事	2.0	9.8	
認知症の予防に関する事	1.8	23.9	
体を動かしたり、運動する場所について	14.7	23.2	
医師や運動指導士、保健師等からのアドバイス	7.2	16.1	
年1回の健康診断	54.6	17.8	
がん検診（乳・子宮は2年に1回、それ以外は年に1回）	22.1	14.3	
お口の健康に関する事	11.7	13.8	
ストレッチ、筋力トレーニング、バランス運動	13.3	24.2	
口腔清掃や口腔リハビリについて	8.8	12.8	
ロコモティブジブロームの予防について (ロコモティブジブロームとは、骨や関節、筋肉といった運動器の障害のために、日常生活に支障をきたすような歩行機能低下やそのおそれのある状態をいいます。)	2.1	18.8	
自分にあつた健康で自立した高齢期を送ることに ついて	5.1	35.8	
	利用している	NA=28.3	N=1,142
	今後利用したい	NA=34.8	N=1,142

問 18 あなた（あて各ご本人）は、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

51.9 自分の健康のこと	4.3	安心して住める場所がないこと
32.0 親族の健康のこと	4.1	趣味や生きがいがないこと
12.0 病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと	13.0	外出先・自宅での転倒・事故
9.5 ひどい暮らしや孤独になること	25.5	地震等災害時の避難のこと
20.8 生活費等経済的なこと	3.0	その他
	14.7	心配ごとや悩みはない ⇒次ページの問19へ
	NA=8.5	N=1,142

【問18で「1. 自分の健康のこと」～「10. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問 18-1 あなた（あて名ご本人）は、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。（あてはまるものすべてに○）

49.0 配偶者	5.0 区の相談窓口
44.5 子ども	5.5 高齢者総合相談センター (地域包括支援センター)
18.4 その他の家族・親族	30.7 かかりつけ医
26.3 友人・知人	1.5 家族のケアマネジャー
2.5 とまり近所の人	1.4 その他
0.5 町会の役員	4.0 相談したりする人はいない
1.3 民生委員・児童委員	

NA=10.5 n=877

【すべての方に】

問 19 あなた（あて名ご本人）のふだんの生活について、「はい（している又はできる）」、「いいえ（していない又はできない）」のどちらかをお選びください。
(それぞれ○はひとつ)

いずれかに○		
はい (できる)	いいえ (できない)	NA



階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか.....	77.1	20.4	2.5
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか.....	87.6	10.2	2.3
15分くらい続けて歩いていますか.....	91.2	6.2	2.5
週に1回以上は外出していますか.....	94.4	3.4	2.2
昨年と比べて外出の回数が減っていますか.....	23.4	73.4	3.2
この1年間に転んだことがありますか.....	16.7	80.1	3.2
転倒に対する不安は大きいですか.....	35.9	60.2	3.9
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか.....	13.3	83.0	3.7

身長 (158.9 cm) 体重 (57.7 kg) ※小数点第1位まで記入 (数値は平均値)

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか.....	26.4	70.8	2.8
お茶や汁物等でむせることがありますか.....	22.9	74.3	2.7
口の渇きが気になりますか.....	25.5	70.7	3.9
周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか	13.7	83.0	3.2
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか.....	82.7	14.8	2.5
今日が何月何日かわからない時がありますか.....	18.2	78.3	3.5
バスや電車を使って1人で外出していますか.....	89.6	8.2	2.2
日用品の買い物をしていますか.....	90.5	7.2	2.3
預貯金の出し入れをしていますか.....	86.7	10.8	2.5

友人の家を訪ねていますか.....	62.2	34.7	3.2
家族や友人の相談にのっていますか.....	77.8	18.7	3.4
(ここ2週間) 毎日の生活に充実感が無い.....	14.3	81.4	4.3
(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	11.2	83.8	5.0
(ここ2週間) 以前は楽しくできていたことが今ではおっくうに感じられる	31.0	65.4	3.6
(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない.....	15.3	80.2	4.5
(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする.....	23.7	72.8	3.5

N=1,142

問20 あなた(あて名ご本人)は、5分前のことが思い出せますか。(Oはひとつ)
94.0 思い出せる 1.3 思い出せない

NA=4.6 N=1,142

問21 あなた(あて名ご本人)は、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか。(Oはひとつ)
94.0 困難なくできる 3.9 いくらか困難であるが、できる 0.3 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 0.1 ほとんど判断できない

NA=1.8 N=1,142

問22 あなた(あて名ご本人)は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。(Oはひとつ)
88.6 伝えられる 2.9 あまり伝えられない 6.7 いくらか困難であるが、伝えられる 0.0 ほとんど伝えられない

NA=1.8 N=1,142

問23 あなた(あて名ご本人)は、食事は自分で食べられますか。(Oはひとつ)
98.6 自分で食べられる 0.0 おかずを切ってもらうなど介助があればできる 0.0 自分では食べられない

NA=1.4 N=1,142

問24 あなた(あて名ご本人)は、認知症のどんなことに関心がありますか。(あてはまるものすべてにO)
25.6 認知症を正しく理解するための講座 16.6 認知症の人の介護の仕方 59.2 認知症の予防に効果的な方法 12.8 認知症の人や家族を支える地域の活動 51.5 認知症の兆候を早期に見つける方法 0.9 その他 29.7 認知症の治療に関する情報 19.3 特になし

NA=3.6 N=1,142

問25 あなた(あて名ご本人)は、平日の日中には、どのくらい外出されていますか。(Oはひとつ)
69.5 ほぼ毎日 3.0 週に1日程度 15.3 1日おき程度 1.0 外出しない週もある 9.2 2〜3日おき程度 0.4 外出しない、できない ⇒問26へ

NA=1.7 N=1,142

【問25で「1」～「5」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問25-1 平日の外出の主な目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 31.1 仕事 | 13.7 身内の者と会う |
| 78.0 買い物 | 7.6 ボラソングア活動 |
| 47.5 散歩 | 28.0 通院やリハビリ |
| 40.8 趣味活動 | 4.8 その他 |
| 37.0 友人・知人と会う | |

NA=0.4 n=1,119

問25-2 1回あたりの外出時間はどのくらいですか。(○はひとつ)

- | | | | |
|------------|--------------|--------------|------------|
| 12.5 1時間未満 | 31.0 1～2時間未満 | 23.2 2～3時間未満 | 29.6 3時間以上 |
|------------|--------------|--------------|------------|

NA=3.7 n=1,119

問25-3 あなた(あて各ご本人)がふだん外出する手段は、どれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------|---------------------|
| 84.5 徒歩 | 13.2 タクシー |
| 45.1 自転車 | 17.5 自分で運転する自動車・バイク |
| 56.8 地下鉄 | 6.5 家族等が運転する自動車 |
| 37.4 私鉄 | 0.2 送迎サービス |
| 61.9 JR | 0.8 その他 |
| 45.7 バス | |

NA=0.2 n=1,119

【すべての方に】

問26 あなた(あて各ご本人)は、外出することについてどのようにお考えですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 76.5 特に負担には感じない |
| 6.3 外出は、なんとなくおっくうである・好きではない |
| 8.8 行く場所や用事もないので外出したいとは思わない |
| 1.5 外での楽しみがない |
| 10.5 外出するより、家にいて過ごす方が好き |
| 0.4 交通が不便なので、外出するのが負担に感じる |
| 0.8 自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる |
| 2.7 トイレの心配(失禁など)があり、外出するのが負担に感じる |
| 1.0 身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない |
| 2.9 その他(具体的に) |

NA=1.8 N=1,142

問 27 あなた（あて名ご本人）は、現在住んでいる環境で困っていることや不満な点はありませんか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|-----------------------|
| 2. 5 スーパーやコンビニなどの買い物場所が近くにない | 5. 3 家族が近くにいない |
| 3. 3 家のまわりに階段や坂が多い | 5. 7 友人が近くにいない |
| 4. 2 家のまわりの道に歩道がない、狭い | 5. 6 参加したい地域活動グループがない |
| 3. 2 電車の駅やバス停が遠い | 8. 6 住民相互の助け合いが乏しい |
| 2. 5 バスの本数が少ない | 11. 9 公園や緑地が少ない |
| 1. 8 医療機関が近くにない | 4. 0 その他 |
| 3. 2 暮らしや健康・福祉のことで利用できる施設や事業所（高齢者総合相談センターなど）が近くにない | （具体的に） |
| | 55. 3 困っていることはない |

NA=8.5 N=1, 142

問 28 あなた（あて名ご本人）は、介護サービスの利用と住まいについて、どのようにお考えですか。最も近いものをお選びください。（○はひとつ）

- | | |
|--|--|
| 8. 7 介護が必要になっても、介護サービスを利用せずに、家族などに介護してもらいながら、自宅で暮らしたい | |
| 52. 9 介護が必要になったら、介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で暮らしたい | |
| 3. 9 バリアフリー化された高齢者向け住宅などに住み替えて、在宅介護サービスを受けながら暮らしたい | |
| 3. 5 日中、ケアの専門家が建物に常駐し、安否確認サービスと生活相談サービスを提供する、「サービス付き高齢者向け住宅」に入居したい | |
| 2. 5 健康なうちから将来介護を受けられる老人ホームなどに入所したい | |
| 18. 0 できる限り自宅で暮らしたいが、介護が必要になったら特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい | |
| 1. 0 その他（具体的に） | |
| 8. 2 わからない | |

問 29 あなた（あて名ご本人）は、ふだん、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。（○はひとつ）

- | | | |
|--------------------|------------------|------------|
| 23. 8 親しく付き合い合っている | 41. 6 あいさつをする程度 | 0. 4 わからない |
| 27. 5 立ち話をする程度 | 6. 2 付き合いはほとんどない | |

NA=0.5 N=1, 142

【問 29 で「4. 付き合いはほとんどない」とお答えの方におうかがいします。】

問 29-1 付き合いがほとんどない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 52. 1 ふだん付き合い合っ機会がないから | 15. 5 引っ越してきて間もないから |
| 16. 9 あまり関わりのをもちたくないから | 14. 1 同世代の人が近くにいないから |
| 7. 0 気の合う人が近くにいないから | 4. 2 その他 |
| 26. 8 ご近所と知り合っかけがないから | 15. 5 特に理由はない |
| 12. 7 仕事や家事などで忙しく時間が少ない | 1. 4 わからない |

NA=0.0 n=71

【すべての方に】

問 30 区では援護を必要とする高齢者の方の日常生活を支援するための介護保険以外の保健・福祉サービスを実施しています。次のうち、今後利用したいものがありますか。(現在利用されている方は今後の利用意向をお答えください。) (あてはまるものすべてに○)

- 29. 6 配食サービス (65 歳以上の高齢者のみ世帯やひと暮らしで食事の準備が困難な方に食事を配達)
- 18. 0 リボンサービス (社会福祉協議会で行う登録制の有償ヘルパー派遣)
- 19. 2 在宅医療相談窓口(豊島区医師会館で行う在宅医療を希望する方の相談)
- 32. 0 緊急通報システム (65 歳以上の高齢者のみ世帯やひと暮らしの方に、緊急時に救急車の出動を要請できる機器の貸出し)
- 6. 5 徘徊高齢者位置情報サービス (位置情報サービスの利用料金助成)
- 28. 5 利用したいものはない

NA=13. 4 N=1, 142

【すべての方に】

問 31 あなた(あて名ご本人)はこの1年間に、個人・団体で次のような地域活動やボランティアに参加したことがありますか(手伝いも含む)。また、「今後参加したいもの」、「引き続き参加したいもの」はありますか。それぞれについて、お答えください。

	過去1年間に参加したもの	今後参加したいもの・引き続き参加したいもの
(それぞれあてはまる番号すべてに○)		
俳句、詩吟、陶芸等の趣味の活動	7. 3	10. 9
体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動	15. 5	21. 2
学習会、子ども会の活動、郷土芸能の伝承等の活動	2. 4	4. 0
環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動	5. 8	9. 5
交通安全、防犯・防災等の活動	12. 3	7. 4
家事援助、移送等の高齢者の支援活動	2. 5	3. 2
保育の手伝い等の子育て支援活動	1. 2	3. 2
祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事	12. 4	6. 9
その他	4. 3	2. 5
具体的(こ⇒		
過去1年に参加したものの 今後参加・引き続き参加したいもの	NA=29. 3 N=1, 142 34. 2 全く参加していない	N=1, 142 16. 1 参加したいものはない

問 32 あなたは現在、高齢者クラブ（区内の 60 歳以上の方が加入できる自主的な組織で、スポーツや文化活動等を行う活動団体のことです。）に加入していますか。(○はひとつ)

10. 3 加入している ⇒次ページの間33へ 85. 0 加入していない

NA=4. 6 N=1, 142

【問32で「2. 加入していない」とお答えの方におうかがいします。】

問32-1 加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 36. 6 「高齢者クラブ」を知らないから | 14. 2 活動内容に魅力を感じないから |
| 27. 1 仕事等で忙しいから | 7. 9 「高齢者」という名称に抵抗があるから |
| 13. 9 会員同士の人間関係がわずらわしいから | 6. 0 役員等を引き受けるのがわずらわしいから |
| 12. 5 加入の仕方がわからないから | 1. 4 同年代の会員が少ないから |
| 14. 0 他の団体・サークル活動で忙しいから | 3. 5 若い世代と交流できないから |
| 7. 3 健康を害しているから | 12. 6 その他 |

NA=2. 9 n=971

【すべての方に】

問 33 災害時のみならず、平常時から手助けする必要がある方の存在を把握しておいていただくために、行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報(氏名や住所等)を、町会等に対して提供することについて、どのように感じますか。(○はひとつ)

- | |
|---|
| 15. 8 積極的に個人情報を提供すべき |
| 56. 7 災害時の備えや、ひとりの暮らしなど見守りが必要な方を手助けするためであれば個人情報を提供してもよい |
| 6. 1 個人情報を提供しない方がよい |
| 16. 8 わからない |

NA=4. 6 N=1, 142

問 34 あなた(あて名ご本人)は、成年後見制度(判断力が低下した方の後ろだて)を知っていますか。(○はひとつ)

67. 6 知っている 26. 3 知らない ⇒ 問 35へ

NA=6. 1 N=1, 142

【問34で「1. 知っている」とお答えの方におうかがいします。】

問 34-1 あなた(あて名ご本人)は、成年後見制度について、今後利用してみたいと思いますか。(○はひとつ)

13. 2 利用してみたい 84. 1 利用するつもりはない

NA=2. 7 n=772

【すべての方に】

問 35 あなた(あて名ご本人)は介護保険制度についてどのようにお考えですか。(○はひとつ)

30. 4 良いと思う 47. 1 まあ良いと思う 11. 5 あまり良くないと思う 4. 3 良くないと思う

NA=6. 7 N=1, 142

問 36 高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な支援を目的とする総合相談窓口として、区内に8カ所の高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)が設置されています。このセンターをご存じですか。(〇はひとつ)

- 20.1 自分が住んでいる地域のセンターの場所もセンターの役割も知っている
- 13.7 場所までは知らないがセンターの役割は知っている
- 13.4 センターの名前は知っている
- 48.0 知らない ⇒ 問 37へ

NA=4.7 N=1,142

【問 36で「1」～「3」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問 36-1 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)についてどのように思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 10.0 センターの広報が十分 | 2.6 職員の対応が不十分 |
| 35.7 センターの広報が不十分 | 2.4 窓口の開所時間帯や曜日に満足 |
| 20.7 歩いて行けるところにあり便利 | 1.9 窓口の開所時間帯や曜日に不満 |
| 6.1 場所が遠く不便 | 21.1 わからない |
| 19.4 職員が丁寧に対応してくれる | 4.8 その他 () |

NA=7.8 n=540

【すべての方に】

問 37 あなた（あて名ご本人）の平成 25 年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか。
（○はひとつ）

番号に○	所得状況	25 年度の 年間保険料額
2. 2 第 1 段階	<ul style="list-style-type: none"> 世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金を受給している方 生活保護を受けている方 	24,840 円
5. 4 第 2 段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が 80 万円以下の方	31,080 円
4. 5 第 3 段階	世帯全員が住民税非課税で、第 1 段階・第 2 段階に該当しない方	46,680 円
4. 8 特例第 3 段階	第 3 段階のうち、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が 120 万円以下の方	43,560 円
8. 2 第 4 段階	本人は住民税非課税で、世帯に住民税を課税されている方がいる	62,280 円
5. 5 特例第 4 段階	第 4 段階のうち、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が 80 万円以下の方	52,920 円
7. 4 第 5 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 125 万円以下の方	67,200 円
11. 1 第 6 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 125 万円を超え 200 万円未満の方	77,760 円
12. 2 第 7 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 200 万円以上 300 万円未満の方	82,800 円
7. 3 第 8 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 300 万円以上 400 万円未満の方	87,840 円
4. 6 第 9 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 400 万円以上 500 万円未満の方	99,720 円
4. 1 第 10 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 500 万円以上 700 万円未満の方	118,440 円
1. 7 第 11 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 700 万円以上 900 万円未満の方	143,280 円
4. 0 第 12 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 900 万円以上の方	168,240 円
9. 9 わからない		

NA=7.0 N=1, 142

問 37-1 現在支払っている介護保険料について、どのように感じていますか。（○はひとつ）

10. 6 特に負担とは思わない	13. 0 負担であり、支払うことが困難
68. 3 負担であるが、支払うことが可能	4. 0 わからない

NA=4.1 N=1, 142

問 38 介護保険料は、区全体の介護サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに豊島区が決定しています。保険料の額は、介護サービスを充実させるほど高く、逆に保険料を抑えれば介護サービスの水準が下がるという関係にあります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなた（あて名ご本人）のお考えに最も近いものはどれですか。（〇はひとつ）

- | | |
|--|---------|
| 13. 3 保険料が今より高くなって、施設や在宅サービスの量を増やす方が良い | |
| 42. 3 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのが良い | |
| 14. 8 サービスの量が低下しても、保険料は安い方が良い | ⇒ 問 39へ |
| 23. 4 わからない | |

NA=6.2 N=1,142

【問 38 で「1」と回答された方におかけします。】

問 38-1 施設や在宅サービスの量が増えるのであれば、保険料の基準額（現在年 62,280 円）は、いくらが適当だと思いますか。（〇はひとつ）

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|-------------|
| 36. 8 年 62,280~75,000円未満 | 19. 7 年 80,000~85,000円未満 | 19. 7 わからない |
| 12. 5 年 75,000~80,000円未満 | 7. 9 年 85,000円以上 | |

NA=3.3 n=152

【すべての方に】

問 39 現在の介護保険料は、世帯の課税状況及びご本人の所得額に応じて 12 段階（段階制）が設定されていますが、あなた（あて名ご本人）は保険料の段階についてどのようにお考えですか。（〇はひとつ）

- | | |
|--|--|
| 25. 3 現在の 12 段階制のままが良い | |
| 13. 9 現在よりも段階を増やし、きめ細やかな段階とする | |
| 25. 5 国民健康保険や税金のように、所得額に応じて一定の割合（料率制）とする | |
| 28. 5 わからない | |

NA=6.7 N=1,142

問 40 あなた（あて名ご本人）は、定期的な収入をどこから得ていますか。

（あてはまるものすべてに〇）

- | | | |
|---------------|------------------|----------------|
| 82. 0 公的年金や恩給 | 7. 5 株式の配当 | 2. 1 親族等からの仕送り |
| 23. 8 給与等 | 16. 6 土地・家屋の家賃収入 | 3. 7 その他 |
| | | （具体的に) |

NA=3.2 N=1,142

ご協力ありがとうございました

お名前、ご住所等は記入不要です。

同封の返信用封筒に入れて、1月24日(金)までに、

切手を貼らずにポストに投函してください。

※ 返信用封筒の郵便番号「170-8710」、承認番号「7621」およびバーコードは、このアンケートを豊島区役所 1 か所に集めるための番号であり、個人を特定するためのものではありません。

サービス利用者：要介護

介護保険在宅サービス利用者調査

アンケートご協力のお願い

平素から、豊島区の健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
豊島区では、平成24年3月に「豊島区介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、平成27年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、区民のみなさまのご意見をおうかがいするアンケートを実施することといたしました。

対象となられる方は、平成25年10月に介護保険サービスを利用された区内在住の方の中から、1,500人を無作為に選ばせていただきました。（本対象者は平成25年12月13日時点で抽出しています。12月14日以降の転出等で行き違いがございますしたら何卒ご容赦ください。）

このアンケート結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、質問数が多く、大変お手数をおかけしますが、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

平成 26 年 1 月

豊島区保健福祉部

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 記入の方法**
アンケートの回答は、この調査票に直接ご記入ください。筆記用具は、鉛筆やボールペンなど、どのようなものでも構いません。
- 2 アンケートの対象者**
封筒のあて名の方がアンケートの対象者となっています。
- 3 アンケート回答者(記入者)**
できる限り、アンケート対象者（あて名の方）ご本人が回答（記入）ください。ただし、ご本人による回答（記入）が難しい場合は、ご家族などの方がご本人の意志を反映して、ご記入くださるようお願いいたします。
- 4 返送の方法**
同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、**平成26年1月24日（金）**までにポストにご投函ください。
- 5 返送いただいた回答について**
回答は無記名でいただきますので、回答者が特定されることはありません。また、回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。
ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【アンケートの問い合わせ先】

豊島区 保健福祉部 介護保険課

電話 03（3981）1942

問 1 この調査票を記入するのはあなたですか。(〇はひとつ)

49. 3 ご本人

44. 7 ご家族

1. 6 その他

NA (無回答、以下同じ) = 4. 4 N (回答母数、以下同じ) = 365

問 2 あなた(ご本人：封筒のあて名の方)は現在、どちらに住んでいますか。(〇はひとつ)

97. 5 ご自宅 (ショートステイ利用者含む)

2. 5 区内の親族等の家

問 3へおすみください。

0. 0 その他 (入院中、介護施設入所、

区外転出、亡くなった 等)

アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。ごさいました。

同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

NA = 0. 0 N = 365

問 3 あなた(あて名ご本人)の性別をお答えください。(〇はひとつ)

34. 0 男 性

65. 2 女 性

NA = 0. 8 N = 365

問 4 あなた(あて名ご本人)の年齢(平成26年1月1日現在)をお答えください。(〇はひとつ)

0. 0 65歳未満 11. 2 70～74歳 37. 0 80～84歳 0. 0 90～94歳

4. 9 65～69歳 25. 8 75～79歳 20. 8 85～89歳 0. 0 95歳以上

NA = 0. 3 N = 365

問 5 あなた(あて名ご本人)のお住まいの地域はどちらですか。(〇はひとつ)

6. 8 西栗鴨 1. 4 北大塚(三丁目) 4. 7 東池袋 3. 8 目白 2. 5 高松

7. 9 栗鴨 6. 6 南大塚 3. 6 池袋 4. 4 雑司が谷 6. 3 要町

5. 5 駒込 5. 5 池袋本町 3. 3 西池袋 2. 2 高田 6. 3 千早

2. 5 北大塚 5. 8 上池袋 3. 6 南池袋 1. 9 千川 6. 6 長崎

(一丁目、二丁目) 9. 0 南長崎

NA = 0. 0 N = 365

問 6 あなた(あて名ご本人)のお住まいの地域での居住年数をお答えください。

※ 増改築や改修などされている場合でも通算してお答えください。(〇はひとつ)

1. 6 1年未満 6. 8 5～10年未満 7. 4 15～20年未満 68. 5 30年以上

3. 6 1～5年未満 3. 8 10～15年未満 7. 9 20～30年未満

NA = 0. 3 N = 365

問 7 あなた(あて名ご本人)の世帯の状況をお選びください。(〇はひとつ)

25. 2 ひどい暮らし 37. 8 子や孫など同居 ⇒問 7-1へ

30. 1 夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上 2. 5 1～4以外で全員が65歳以上

1. 1 夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上 3. 0 その他

NA = 0. 3 N = 365

【問 7で「4. 子や孫など同居」とお答えの方におうかがいします。】

問 7-1 同居されている方はあなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

92. 8 息子・娘 27. 5 孫 33. 3 配偶者 2. 2 その他

26. 1 息子・娘の配偶者 1. 4 兄弟・姉妹 2. 2 親・配偶者の親

NA = 0. 0 n = 138

【問7で「4. 子や孫などと同居」とお答えの方以外におうかがいします。】

問7-2 一番近くに住んでいるお子さんとの距離はどのくらいですか。

時間は、ふだん行き来する方法でお答えください。(Oはひとつ)

13.3	となり	4.9	10～20分未満	14.6	30～1時間未満	8.0	子どもはいない
4.9	10分未満	4.4	20～30分未満	21.7	1時間以上		

NA=28.3 n=226

【すべての方に】

問8 あなた(あて名ご本人)のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(Oはひとつ)

66.8	持ち家の戸建て住宅 (借地に持ち家の場合も含む)	2.2	民間賃貸アパート	0.0	有料老人ホーム
19.5	持ち家の集合住宅	4.9	民間賃貸マンション	1.1	その他
4.1	公営住宅	0.8	民間賃貸の戸建て		
		0.0	サービス付き高齢者向け住宅		

NA=0.5 N=365

問8-1 現在のお住まいの階数をお答えください。

※一戸建てにお住まいの場合、日中生活されている階でお答えください。(Oはひとつ)

47.1	1階	24.9	2階	11.2	3階	3.0	4階	2.5	5階	10.1	6階以上
------	----	------	----	------	----	-----	----	-----	----	------	------

NA=1.1 N=365

問9 現在のお住まい(またはお住まいのある建物)には、エレベーターはついていますか。

(Oはひとつ)

24.1 ついている 72.3 ついていない

NA=3.6 N=365

問10 あなた(あて名ご本人)の年収(年金含む)をお答えください。(Oはひとつ)

12.9	50万円未満	6.6	300～350万円未満	0.5	900～1,000万円未満
12.1	50～80万円未満	4.4	350～400万円未満	0.3	1,000～1,100万円未満
9.9	80～100万円未満	1.9	400～500万円未満	0.0	1,100～1,200万円未満
9.9	100～150万円未満	1.4	500～600万円未満	0.3	1,200～1,300万円未満
12.9	150～200万円未満	0.5	600～700万円未満	0.0	1,300～1,400万円未満
12.3	200～250万円未満	0.0	700～800万円未満	0.0	1,400～1,500万円未満
6.6	250～300万円未満	0.3	800～900万円未満	0.5	1,500万円以上

NA=6.8 N=365

問10-1 あなた(あて名ご本人)を含めた、世帯全体の年収(年金含む)をお答えください。

(Oはひとつ)

3.3	50万円未満	9.3	300～350万円未満	2.2	900～1,000万円未満
2.2	50～80万円未満	9.6	350～400万円未満	2.5	1,000～1,100万円未満
3.8	80～100万円未満	6.3	400～500万円未満	0.5	1,100～1,200万円未満
6.8	100～150万円未満	5.2	500～600万円未満	0.8	1,200～1,300万円未満
8.8	150～200万円未満	3.8	600～700万円未満	0.3	1,300～1,400万円未満
8.2	200～250万円未満	1.1	700～800万円未満	0.8	1,400～1,500万円未満
9.3	250～300万円未満	0.5	800～900万円未満	1.9	1,500万円以上

NA=12.6 N=365

問 11 あなた（あて名ご本人）は現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。
（○はひとつ）

17.3 苦しい 41.1 やや苦しい 33.2 ややゆとりがある 4.9 ゆとりがある

NA=3.6 N=365

問 12 あなた（あて名ご本人）はふだん、ご自分で健康だと思いますか。（○はひとつ）

1.4 とても健康 25.8 まあまあ健康 31.8 あまり健康でない 38.9 健康でない

NA=2.2 N=365

問 13 日常生活を行う上での自立度は、以下のどれにあてはまりますか。（○はひとつ）

19.2 日常生活はほぼ自立しており、ひとりで外出できる

50.4 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助がないと外出できない

23.6 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、
座位を保つことができる

5.2 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えなどの介助が必要

NA=1.6 N=365

問 14 あなた（あて名ご本人）は、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。

（あてはまるものすべてに○）

77.3 自分の健康のこと 17.8 趣味や生きがいがないこと

31.2 親族の健康のこと 55.6 外出先・自宅内での転倒・事故

16.4 病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと 43.0 地震等災害時の避難のこと

20.8 ひとりの暮らしや孤独になること 4.9 その他

24.7 生活費等経済的なこと 2.7 心配ごとや悩みはない ⇒問 15へ

3.8 安心して住める場所がないこと

NA=4.1 N=365

【問 14で「1. 自分の健康のこと」～「10. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問 14-1 あなた（あて名ご本人）は、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いて
もらったり、相談したりしますか。（あてはまるものすべてに○）

39.7 配偶者 1.5 町会の役員 30.0 かかりつけ医

57.9 子ども 2.1 民生委員・児童委員 35.9 ホムパ-・クラブ・チ-

15.3 その他の家族・親族 2.6 区の相談窓口 0.9 その他

10.0 友人・知人 6.8 高齢者総合相談センター 2.1 相談したりする人はいない

4.1 とりの近所の人 (地域包括支援センター)

NA=6.8 n=340

【すべての方に】

問 15 あなた（あて名ご本人）は、以下の中で現在、治療中の病気やけがはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

46. 8 高血圧症	24. 9 骨粗しょう症	8. 8 呼吸器の病気
15. 3 脂質異常症 (高コレステロール血症、中性脂肪など)	14. 2 脳血管疾患 (脳出血、脳梗塞など)	(ぜん息、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) など)
15. 3 糖尿病	10. 7 狭心症・心筋梗塞	11. 5 耳や鼻の病気 (難聴など)
8. 8 動脈硬化症	25. 2 目の病気 (白内障など)	16. 2 お口の病気 (むし歯、歯周病など)
26. 8 腰痛症	7. 1 胃腸の病気 (胃炎、肝炎など)	11. 5 骨折・外傷
9. 6 関節症・リウマチ	11. 8 泌尿器の病気 (腎臓病、前立腺肥大など)	31. 0 認知症
5. 8 肩こり症	5. 2 がん	5. 8 心の病気
		11. 5 その他
		1. 6 特にない

NA=2.7 N=365

問 16 あなた（あて名ご本人）は現在、通院や往診などで診療を受けていますか。（○はひとつ）

74. 5 通院のみ	8. 5 通院と往診	11. 8 往診のみ	0. 8 通院も往診も利用していない
------------	------------	------------	--------------------

NA=4.4 N=365

問 16-3へ

問 16-1 医療機関（病院・医院・診療所など）にはどのくらいの頻度で、通院や往診を受けていますか。（○はひとつ）

8. 4 週2回以上	41. 0 月1回
9. 8 週1回	7. 8 数か月に1回程度
30. 1 月2回程度	2. 0 定期的ではない

NA=0.9 n=346

【問 16 で「2. 通院と往診」「3. 往診のみ」とお答えの方へ】

問 16-2 往診で受けているものは、どのような内容ですか。（あてはまるものすべてに○）

5. 4 点滴	4. 1 気管切開の処置
5. 4 経管栄養（胃ろう等）	2. 7 インスリン注射
6. 8 酸素療法	36. 5 痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）
4. 1 じょくそう（床ずれ）の処置	25. 7 歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）
0. 0 人工呼吸器	32. 4 その他（ ）
5. 4 導尿の管理（カテーテル、自己）	

NA=6.8 n=74

【すべての方に】

問 16-3 あなた（あて名ご本人）は、かかりつけ医はいますか（○はひとつ）

95. 6 はい（かかりつけ医がいる）	3. 3 いいえ（かかりつけ医はいない）
---------------------	----------------------

NA=1.1 N=365

問 17 あなた（あて名ご本人）の現在の要介護度をおうかがいします。（〇はひとつ）

1. 要支援 1	34. 2 要介護 1	14. 8 要介護 3	4. 7 要介護 5
2. 要支援 2	38. 1 要介護 2	8. 2 要介護 4	

NA=0. 0 N=365

問 18 あなた（あて名ご本人）が、介護が必要となった主な原因は何ですか。
下記よりひとつだけお選びください。（〇はひとつ）

15. 3 脳 血 管 疾 患 (脳出血、脳梗塞など)	2. 2 呼吸器疾患 (肺炎等)	4. 1 脊髄損傷
19. 7 骨折・転倒	2. 7 関節疾患 (リウマチ等)	5. 5 パーキンソン病
6. 3 高齢による衰弱	22. 2 認知症	8. 2 その他
3. 0 心臓病	2. 7 糖尿病	
4. 4 がん (悪性新生物)	0. 8 視覚・聴覚障害	

NA=2. 7 N=365

問 19 直近の要介護認定を受けた後、あなた（あて名ご本人）の要介護状態はどのように変わりましたか。（〇はひとつ）

22. 5 良くなった	21. 1 悪くなった	51. 8 変わらない	4. 1 わからない
-------------	-------------	-------------	------------

NA=0. 5 N=365

【問 19 で「1. 良くなった」とお答えの方におうかがいします。】

問 19-1 要介護状態が良くなった原因は何だと思われませんか。（あてはまるものすべてに〇）

8. 5 治療を受け、病気が治ったため
22. 0 治療を受け、時間の経過とともに、けがや骨折が治ったため
41. 5 医療機関等で専門家の指導を受けてリハビリを受けたため
46. 3 自分でできる限りの動くようにしたため
8. 5 認知症が改善もしくは安定したため
18. 3 その他（具体的に
2. 4 わからない

NA=1. 2 n=82

【問 19 で「2. 悪くなった」とお答えの方におうかがいします。】

問 19-2 要介護状態が悪くなった原因は何だと思われませんか。（あてはまるものすべてに〇）

7. 8 脳梗塞等の発作が発生・再発したため
37. 7 病気が徐々に悪化したため
10. 4 けがや骨折をしたため
19. 5 病気やけがで入院し、体力が落ちてしまったため
41. 6 動けなくなり、体力が落ちてしまったため
10. 4 栄養のあるものを食べなくなったため
51. 9 認知症が徐々に進行したため
40. 3 年をとって老化が進んだため
22. 1 転倒やトイシの失敗などにより自信や意欲を失ってしまったため
13. 0 その他（具体的に
1. 3 わからない

NA=0. 0 n=77

「要支援1」、「要支援2」、「要介護1」、「要介護2」の方におうかがいします。

「要介護3」、「要介護4」、「要介護5」の方は、次ページの問21へおすすみください。

問 20 あなた（あて名ご本人）のふだんの生活について、「はい（している又はできる）」、「いいえ（していない又はできない）」のどちらかをお選びください。

（それぞれ〇はひとつ）

いずれかに○		
はい (できる)	いいえ (できない)	NA



階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか.....	13.3	81.4	5.3
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか...	18.2	76.1	5.7
15分くらい続けて歩いていますか.....	38.6	55.7	5.7
週に1回以上は外出していますか.....	64.4	29.2	6.4
昨年と比べて外出の回数が減っていますか.....	57.2	34.8	8.0
この1年間に転んだことがありますか.....	48.1	45.8	6.1
転倒に対する不安は大きいですか.....	82.2	12.9	4.9
6か月間で2〜3kg以上の体重減少がありましたか.....	23.5	66.7	9.8

身長（153.6 cm） 体重（52.5 kg） ※小数点第1位まで記入（数値は平均値）

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか.....	51.5	43.2	5.3
お茶や汁物等でむせることがありますか.....	45.5	49.6	4.9
口の渇きが気になりますか.....	47.0	47.0	6.1
周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか	48.9	45.1	6.1
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか...	49.2	45.8	4.9
今日が何月何日かわからない時がありますか.....	50.4	44.3	5.3
バスや電車を使って1人で外出していますか.....	21.6	72.3	6.1
日用品の買い物をしていますか.....	32.2	62.9	4.9
自分で預貯金のお出し入れをしていますか.....	34.8	59.8	5.3
友人の家を訪ねていますか.....	14.4	79.5	6.1
家族や友人の相談にのっていますか.....	29.9	64.0	6.1
（ここ2週間）毎日の生活に充実感が無い.....	45.8	46.6	7.6
（ここ2週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	47.7	42.4	9.8
（ここ2週間）以前は楽しくできていたことが今ではおっくうに感じられる	64.4	29.2	6.4
（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない.....	50.0	41.7	8.3
（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする.....	52.7	40.5	6.8

n = 264

【すべての方に】

問 21 あなた（あて名ご本人）は、5分前のことが思い出せますか。（○はひとつ）
62. 2 思い出せる 33. 2 思い出せない NA=4. 7 N=365

問 22 あなた（あて名ご本人）は、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか。（○はひとつ）

33. 2 困難なくできる 17. 0 判断するとき、他人からの合図や見守りが必要
35. 3 いくらか困難であるが、できる 12. 1 ほとんど判断できない NA=2. 5 N=365

問 23 あなた（あて名ご本人）は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。（○はひとつ）

40. 0 伝えられる 18. 9 あまり伝えられない
32. 3 いくらか困難であるが、伝えられる 6. 3 ほとんど伝えられない NA=2. 5 N=365

問 24 あなた（あて名ご本人）は、食事は自分で食べられますか。（○はひとつ）

83. 8 自分で食べられる 2. 7 自分では食べられない
11. 8 おかずを切ってもらうなど介助があればできる NA=1. 6 N=365

問 25 あなた（あて名ご本人）は、平日の日中には、どのくらい外出されていますか。（○はひとつ）

18. 9 ほぼ毎日 21. 4 2～3日おき程度 7. 9 外出しない週もある
14. 5 一日おき程度 12. 3 週に1日程度 21. 9 外出しない、できない ⇒ 問 26 ～ NA=3. 0 N=365

【問 25 で「1」～「5」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問 25-1 平日の外出の主な目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

0. 7 仕事	7. 7 趣味活動	0. 7 ボラソテリア活動
36. 9 買い物	7. 3 友人・知人と会う	60. 2 通院やリハビリ
36. 5 散歩	4. 7 身内の者と会う	17. 2 その他

NA=2. 2 n=274

問 25-2 1回あたりの外出時間はどのくらいですか。（○はひとつ）

31. 8 1時間未満 22. 6 1～2時間未満 12. 8 2～3時間未満 28. 8 3時間以上
NA=4. 0 n=274

【すべての方に】

問 26 あなた（あて名ご本人）は、ふだん、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。（○はひとつ）

10. 7 親しく付き合っている	40. 3 あいさつをする程度	2. 5 わからない
15. 6 立ち話をする程度	29. 9 付き合いはほとんどない	

NA=1. 1 N=365

【問26で「4. 付き合いはほとんどない」とお答えの方におうかがいします。】

問26-1 付き合いがほとんどない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 45. 9 健康状態がすぐれないから | 8. 3 引越してきて間もないから |
| 39. 4 普段付き合う機会がないから | 3. 7 同世代の人が近くにいないから |
| 11. 9 あまり関わりをもちたくないから | 20. 2 その他 |
| 12. 8 気の合う人が近くにいないから | 2. 8 特に理由はない |
| 15. 6 ご近所と知り合うきっかけがないから | 2. 8 わからない |
| 1. 8 仕事や家事などで忙しく時間が少ない | |

NA=1.8 n=109

【すべての方に】

問27 あなた(あて名ご本人)は、外出することについてどのような考えですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 17. 0 特に負担には感じない |
| 25. 5 外出は、なんとなくおっくうである・好きではない |
| 20. 0 行く場所や用事もないので外出したいとは思わない |
| 10. 7 外での楽しみがない |
| 20. 8 外出するより、家にいて過ごす方が好き |
| 4. 4 交通が不便なので、外出するのが負担に感じる |
| 6. 6 自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる |
| 15. 1 トイレの心配(失禁など)があり、外出するのが負担に感じる |
| 34. 8 身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない |
| 14. 8 その他(具体的に) |

NA=7.9 N=365

問28 自宅で主にあなた(あて名ご本人)を介護しているのはどなたですか。(○はひとつ)

38. 9 配偶者 27. 9 子 4. 1 子の配偶者 2. 7 その他の親族	14. 8 ホームヘルパー等介護の専門職 0. 3 その他 5. 5 介護している人はいない	10ページ 問29へ
---	--	---------------

NA=5.8 N=365

【問28で「1」～「4」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問28-1 主な介護者(おひとりの)の方の性別・年齢をお答えください。

【性別】(○はひとつ)

34. 2 男 性		63. 9 女 性	
			NA=1.9 n=269

【年齢】(平成26年1月1日現在)(○はひとつ)

0. 0 30歳未満	11. 5 40歳代	10. 4 60～64歳	11. 5 70～74歳	12. 6 80～84歳
0. 7 30歳代	20. 4 50歳代	5. 6 65～69歳	17. 8 75～79歳	7. 1 85歳以上
NA=2.2 n=269				

問28-2 主な介護者(おひとり)の方はあなた(あて各ご本人)と同居していますか。(Oはひとつ)

84.8 同居している	5.6 別居しているが、15分以内で行き来できる範囲である
	7.8 別居しており、行き来に15分以上かかる

NA=1.9 n=269

問28-3 あなた(あて各ご本人)の介護を始めて、どのくらいたちますか。(Oはひとつ)

4.5 半年未満	37.9 1~3年未満	13.8 5~7年未満	10.0 10年以上
7.8 半年~1年未満	17.5 3~5年未満	5.9 7~10年未満	

NA=2.6 n=269

問28-4 一日あたりの介護時間は、どのくらいですか。※在宅で訪問介護などの介護サービスを受けている時間を除いてお答えください。(Oはひとつ)

59.5 必要なときに手を貸す程度	9.3 半日程度
10.0 2~3時間程度	14.9ほとんど終日

NA=6.3 n=269

問28-5 主な介護者(おひとり)の方は要介護認定を受けていますか。(Oはひとつ)

39.0 健康であり、要介護認定は受けていない	
19.0 何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない	
8.6 要支援1・2	
21.6 要介護1・2	
5.6 要介護3~5	

NA=6.3 n=269

【すべての方に】

問29 以下の介護保険の在宅サービスのうち、平成25年12月に利用したサービスすべてにOをつけてください。(あてはまるものすべてにO)

※下記のサービスには介護予防サービスも含まれます。

30.1 訪問介護	0.3 特定施設入居者生活介護
15.6 訪問入浴介護	(有料老人ホーム、ケアハウス)
8.5 訪問看護	2.7 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
11.5 訪問リハビリテーション	0.5 夜間対応型訪問介護
4.1 居宅療養管理指導	1.6 認知症対応型通所介護
50.1 通所介護(デイサービス)	0.3 小規模多機能型居宅介護
18.4 通所リハビリテーション(デイケア)	(1カ所で通所、訪問、泊まりの各サービスを提供)
9.0 短期入所生活介護	0.8 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
(福祉施設のショートステイ)	0.0 地域密着型特定施設入居者生活介護
0.5 短期入所療養介護	(29人以下の小規模な特定施設入居者生活介護)
(医療施設等のショートステイ)	0.5 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
42.5 福祉用具貸与・購入	(29人以下の小規模な特別養護老人ホーム)
11.0 住宅改修	3.3 あてはまるものはない

NA=5.8 N=365

問 30 平成 25 年 12 月の介護保険サービスの利用額（利用者負担分）について、制度上利用できる上限（区分支給限度額）いっぱいまで利用しましたか。（〇はひとつ）

19.5 上限まで利用した
54.8 上限まで利用していない
16.7 わからない
NA=9.0 N=365

区分支給限度額（おおむねの金額）	自己負担額
要支援 1	56,000 円程度
要支援 2	117,000 円程度
要介護 1	187,000 円程度
要介護 2	219,000 円程度
要介護 3	301,000 円程度
要介護 4	345,000 円程度
要介護 5	403,000 円程度
	5,600 円程度
	11,700 円程度
	18,700 円程度
	21,900 円程度
	30,100 円程度
	34,500 円程度
	40,300 円程度

【問 30 で「2」とお答えの方におうかがいします。】

問 30-1 上限まで利用していない理由は何ですか。（〇は2つまで）

41.0 心身の状態からみて、今くらのサービスで十分と考えるため
39.0 家族が介護しているので、それほど多く利用しなくても済んでいるため
14.5 利用料が高くなるため
14.0 現在利用しているサービス以外に、どのようなサービスを利用してよいかわからないため
2.0 利用したいサービスを提供する事業者がないため
9.0 ヘルパーなど他人が家に入るのはわずらわしいと思うため
10.0 通所介護（デイサービス）などのように、施設に通うことには抵抗感があるため
4.0 短期入所（ショートステイ）のように、短期であっても施設に入所することには抵抗感があるため
9.0 その他
NA=1.0 n=200

【すべての方に】

問 31 介護保険の在宅サービスの利用に要する費用（1割の自己負担）について、どのようにお感じですか。（〇はひとつ）

8.5 受けているサービスにしては安い
39.7 受けているサービスに対し、適切な料金である
35.9 負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない
5.5 負担が重く、費用が高くないようにサービスの利用量を調整している
1.6 費用は全く気にしていない、いくら支払っているかわからない
NA=8.8 N=365

問 32 特別養護老人ホームへの入所申込みをしていますか。（〇はひとつ）

4.7 入所申込みをしている	87.7 入所申込みをしていない
NA=7.7	N=365

問 33 現在受けている介護サービスの質に、満足していますか。（〇はひとつ）

27.1 満足している	24.4 どちらともいえない	2.7 不満である
37.3 ほぼ満足している	3.8 やや不満である	
NA=4.7	N=365	

問 34 区では援護を必要とする高齢者の方の日常生活を支援するための介護保険以外の保健・福祉サービスを実施しています。「現在利用しているもの」「今後利用したいもの」それぞれについてお答えください。

	現在利用している	今後利用したい※
※ 「今後利用したいもの」は、継続の利用、新規の利用あわせてお答えください。 (それぞれについて、あてはまる番号すべてに○)		
配食サービス (65 歳以上の高齢者のみ世帯やひとり暮らしで食事の準備が困難な方に食事を配達)	9.9	26.6
福祉電話の貸出し (電話のないひとり暮らし高齢者の方へ電話の貸出し)	0.8	7.9
緊急通報システム (65 歳以上の高齢者のみ世帯やひとり暮らしの方に、緊急時に救急車の出動を要請できる機器の貸出し)	1.9	28.8
火災安全システム (火災報知器などの住宅防災機器の設置給付)	6.0	16.7
紙おむつ支給 (在宅の場合) / おむつ購入費助成 (医療機関へ入院の場合)	6.3	37.0
出張美容サービス (外出できない寝たきりの高齢者の方に、自宅へ出張しての散髪)	3.8	27.7
寝具の洗濯・乾燥サービス (使用中の寝具を月 1 回乾燥または洗濯する)	4.7	29.0
寝たきりの高齢者の方を対象とした訪問診療・歯科診療など	4.9	25.5
徘徊高齢者位置情報サービス (位置情報サービスの利用料金助成)	0.3	14.2
リボンサービス (社会福祉協議会で行う登録制の有償ヘルパー派遣)	3.8	16.4
移送サービス (車椅子のまま乗り降りできるリフト付き自動車の運行)	2.7	17.3
在宅医療相談窓口 (豊島区医師会館で行う在宅医療を希望する方の相談)	2.5	16.2
現在利用しているものはまったくない	21.4	—
今後利用したいものはまったくない	—	3.0

現在利用している NA=48.2 N=365
今後利用したい NA=32.3 N=365

問 35 災害時のみならず、平常時から手助けする必要がある方の存在を把握しておいていただくために、行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報(氏名や住所等)を、町会等に対して提供することについて、どのように感じますか。(○はひとつ)

14.0 積極的に個人情報を提供すべき	
47.7 災害時への備えや、ひとりの暮らしなど見守りが必要な方を手助けするためであれば個人情報を提供してもよい	
7.9 個人情報を提供しない方がよい	
16.4 わからない	

NA=14.0 N=365

問 36 身体状況にも、介護者の状況にも大きな変化がないと仮定した場合、あなた（あて名ご本人）は今後もご自宅での介護を希望されますか。（〇はひとつ）

57. 8 在宅介護サービスを利用しながら、自宅で暮らし続けたい→ 問 37へ
2. 2 バリアフリー化された高齢者向け住宅などに住み替えて、在宅介護サービスを受けながら暮らしたい
2. 7 日中、ケアの専門家が建物に常駐し、安否確認サービスと生活相談サービスを提供する、「サービス付き高齢者向け住宅」に入居したい
1. 1 有料老人ホームやグループホームなどの介護付の住宅に住み替えたい
7. 1 特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい
12. 3 わからない→ 問 37へ

NA=16. 7 N=365

【問 36 で「2」～「5」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問 36-1 あなた（あて名ご本人）が施設等での介護を希望される（ご自宅での介護を希望されない）最も大きな理由をお答えください。（〇はひとつ）

29. 2 専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため
22. 9 自宅で介護を受けたいが、先々の心配があるため
35. 4 介護をしている家族の負担が大きいため
2. 1 介護者がいないため
4. 2 在宅介護は施設よりも経済的な負担が大きいため
0. 0 その他（具体的に

）
NA=6. 3 n=48

【すべての方に】

問 37 あなた（あて名ご本人）は介護保険制度についてどのようなにお考えですか。（〇はひとつ）

36. 4 良いと思う 47. 9 まあ良いと思う 6. 3 あまり良くないと思う 0. 8 良くないと思う

NA=8. 5 N=365

問 38 あなた（あて名ご本人）の平成 25 年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか。

（〇はひとつ）

番号に○	所得状況	25 年度の 年間保険料額
1. 1 第 1 段階	<ul style="list-style-type: none"> 世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金を受給している方 生活保護を受けている方 	24,840 円
8. 2 第 2 段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が 80 万円以下の方	31,080 円
5. 5 第 3 段階	世帯全員が住民税非課税で、第 1 段階・第 2 段階に該当しない方	46,680 円
6. 8 特例第 3 段階	第 3 段階のうち、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が 120 万円以下の方	43,560 円
7. 7 第 4 段階	本人は住民税非課税で、世帯に住民税を課税されている方がいる	62,280 円
4. 4 特例第 4 段階	第 4 段階のうち、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が 80 万円以下の方	52,920 円
4. 4 第 5 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 125 万円以下の方	67,200 円
7. 4 第 6 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 125 万円を超え 200 万円未満の方	77,760 円
7. 4 第 7 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 200 万円以上 300 万円未満の方	82,800 円
4. 9 第 8 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 300 万円以上 400 万円未満の方	87,840 円
1. 9 第 9 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 400 万円以上 500 万円未満の方	99,720 円
0. 5 第 1 0 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 500 万円以上 700 万円未満の方	118,440 円
0. 5 第 1 1 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 700 万円以上 900 万円未満の方	143,280 円
1. 4 第 1 2 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 900 万円以上の方	168,240 円
17. 3 わからない		

NA=20. 5 N=365

問 38- 1 現在支払っている介護保険料について、どのように感じていますか。（〇はひとつ）

12. 6 特に負担とは思わない	9. 0 負担であり、支払うことが困難
53. 2 負担であるが、支払うことが可能	7. 9 わからない

NA=17. 3 N=365

問 39 介護保険料は、区全体の介護サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに豊島区が決定しています。保険料の額は、介護サービスを充実させるほど高く、逆に保険料を抑えれば介護サービスの水準が下がるという関係にあります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなた（あて各ご本人）のお考えに最も近いものはどれですか。（Oはひとつ）

- 13. 4 保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方が良い
- 44. 1 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのが良い
- 4. 7 サービスの量が低下しても、保険料は安い方がいい
- 18. 6 わからない

⇒ 問 40へ

NA=19.2 N=365

【問 39 で「1」とお答えの方におうかがいします。】

問 39-1 施設や在宅サービスの量が増えるのであれば、保険料の基準額（現在年 62,280 円）は、いくらが適当だと思いますか。（Oはひとつ）

- 49. 0 年 62,280~75,000円未満 12. 2 年 80,000~85,000円未満 18. 4 わからない
- 12. 2 年 75,000~80,000円未満 4. 1 年 85,000円以上

NA=4.1 n=49

【すべての方に】

問 40 現在の介護保険料は、世帯の課税状況及びご本人の所得額に応じて12段階（段階制）が設定されていますが、あなた（あて各ご本人）は保険料の段階についてどのような考えですか。（Oはひとつ）

- 23. 3 現在の12段階制のままが良い
- 12. 3 現在よりも段階を増やし、きめ細やかな段階とする
- 15. 1 国民健康保険や税金のように、所得額に応じて一定の割合（料率制）とする
- 32. 3 わからない

NA=17.0 N=365

問 41 あなた（あて各ご本人）は、定期的な収入をどこから得ていますか。

（あてはまるものすべてにO）

- | | | |
|---------------|------------------|----------------|
| 77. 5 公的年金や恩給 | 1. 9 株式の配当 | 4. 4 親族等からの仕送り |
| 4. 9 給与等 | 13. 7 土地・家屋の家賃収入 | 1. 9 その他（
） |

NA=14.8 N=365

【9ページ問28で「1」～「4」にお答えの介護者の方におうかがいします。】

問42 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

【意思疎通について】	【サービス利用について】
19. 7 本人に正確な症状を伝えるのが難しい	9. 3 サービスを思うように利用できない、サービスが足りない
30. 5本人に現在の状況を理解してもらうのが難しい	2. 6 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)
14. 1 来客にも気を遣う	1. 5 サービス事業者との関係がうまくいかない
25. 3 本人の言動が理解できないことがある	2. 6 ケアマネジャーとの関係がうまくいかない
7. 1 本人に受診を勧めても同意してもらえない	【介護者ご自身のことについて】
【介護の仕方について】	27. 1 自分の用事・都合をすませることができない
8. 9 適切な介護方法がわからない	30. 9 身体的につらい(腰痛や肩こりなど)
15. 2 症状への対応がわからない	46. 5 精神的なストレスがたまっている
4. 5 徘徊するため目が離せない	16. 4 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない
16. 4 他の家族等に介護を協力してもらえない	27. 5 自分の自由になる時間が持てない
5. 9 誰に、何を、どのように相談すればいいか、わからない	23. 4 先々のことを考える余裕がない
36. 1 日中、家を空けるのを不安に感じる	19. 0 経済的につらいと感じるときがある
10. 8 介護を家族等他の人に任せていいか、悩むことがある	16. 0 仕事と介護の両立が困難
3. 7 介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	11. 2 家事と介護の両立が困難
2. 2 介護することに対して、周囲の理解が得られない	10. 0 その他(具体的に)
	8. 9 特に困っていることはない

NA=14.1 n=269

ご協力ありがとうございました

お名前、ご住所等は記入不要です。

同封の返信用封筒に入れて、1月24日(金)までに、

切手を貼らずにポストに投函してください。

※ 返信用封筒の郵便番号「170-8710」、承認番号「7621」およびバーコードは、このアンケートを豊島区役所1か所に集めるための番号であり、個人を特定するためのものではありません。

サービス利用者：要支援

介護保険在宅サービス利用者調査

アンケートご協力のお願い

平素から、豊島区の健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
豊島区では、平成24年3月に「豊島区介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、平成27年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、区民のみなさまのご意見をおうかがいするアンケートを実施することといたしました。

対象となられる方は、平成25年10月に介護保険サービスを利用された区内在住の方の中から、1,500人を無作為に選ばせていただきました。（本対象者は平成25年12月13日時点で抽出しています。12月14日以降の転出等で行き違いがございますしたら何卒ご容赦ください。）

このアンケート結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、質問数が多く、大変お手数をおかけしますが、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

平成 26 年 1 月

豊島区保健福祉部

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 記入の方法**
アンケートの回答は、この調査票に直接ご記入ください。筆記用具は、鉛筆やボールペンなど、どのようなものでも構いません。
- 2 アンケートの対象者**
封筒のあて名の方がアンケートの対象者となっています。
- 3 アンケート回答者(記入者)**
できる限り、アンケート対象者（あて名の方）ご本人が回答（記入）ください。ただし、ご本人による回答（記入）が難しい場合は、ご家族などの方がご本人の意志を反映して、ご記入くださるようお願いいたします。
- 4 返送の方法**
同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、**平成26年1月24日（金）**までにポストにご投函ください。
- 5 返送いただいた回答について**
回答は無記名でいただきますので、回答者が特定されることはありません。また、回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。
ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【アンケートの問い合わせ先】

豊島区 保健福祉部 介護保険課
電話 03 (3981) 1942

問1 この調査票を記入するのはあなたですか。(〇はひとつ)

83.0 ご本人

8.0 ご家族

0.3 その他

NA (無回答、以下同じ) = 8.8 N (回答母数、以下同じ) = 352

問2 あなた(ご本人：封筒のあて名の方)は現在、どちらに住んでいますか。(〇はひとつ)

98.6 ご自宅(ショートステイ利用者含む)

1.4 区内の親族等の家

問3へおすすみください。

0.0 その他(入院中、介護施設入所、

区外転出、亡くなった等)

アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。ごさいました。

同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

NA=0.0 N=352

問3 あなた(あて名ご本人)の性別をお答えください。(〇はひとつ)

29.3 男性

68.5 女性

NA=2.3 N=352

問4 あなた(あて名ご本人)の年齢(平成26年1月1日現在)をお答えください。(〇はひとつ)

0.3 65歳未満

9.7 70~74歳

41.5 80~84歳

0.0 90~94歳

3.4 65~69歳

19.0 75~79歳

25.0 85~89歳

0.0 95歳以上

NA=1.1 N=352

問5 あなた(あて名ご本人)のお住まいの地域はどちらですか。(〇はひとつ)

5.4 西栗嶋

1.1 北大塚(三丁目)

4.8 東池袋

4.0 目白

3.7 高松

6.8 栗嶋

5.1 南大塚

6.3 池袋

4.8 雑司が谷

7.1 要町

4.5 駒込

4.0 池袋本町

3.7 西池袋

2.0 高田

6.3 千早

2.6 北大塚

4.5 上池袋

4.8 南池袋

1.4 千川

9.9 長崎

(一丁目、二丁目)

6.8 南長崎

NA=0.3 N=352

問6 あなた(あて名ご本人)のお住まいの地域での居住年数をお答えください。

※ 増改築や改修などされている場合でも通算してお答えください。(〇はひとつ)

0.6 1年未満

6.0 5~10年未満

5.7 15~20年未満

67.6 30年以上

6.3 1~5年未満

4.5 10~15年未満

9.4 20~30年未満

NA=0.0 N=352

問7 あなた(あて名ご本人)の世帯の状況をお選びください。(〇はひとつ)

45.5 ひと暮らし

23.9 子や孫など同居 ⇒問7-1へ

27.6 夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上

0.6 1~4以外で全員が65歳以上

0.9 夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上

0.9 その他

NA=0.9 N=352

【問7で「4.子や孫など同居」とお答えの方におうかがいします。】

問7-1 同居されている方はあなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

90.5 息子・娘

25.0 孫

25.0 配偶者

0.0 その他

23.8 息子・娘の配偶者

0.0 兄弟・姉妹

1.2 親・配偶者の親

NA=0.0 n=84

【問7で「4. 子や孫などと同居」とお答えの方以外にどうかがいします。】

問7-2 一番近くに住んでいるお子さんとの距離はどのくらいですか。

時間は、ふだん行き来する方法でお答えください。(Oはひとつ)

6.0 となり	8.3 10～20分未満	14.3 30～1時間未満	9.8 子どもはいない
7.2 10分未満	3.8 20～30分未満	24.2 1時間以上	

NA=26.4 n=265

【すべての方に】

問8 あなた(あて名ご本人)のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(Oはひとつ)

61.4 持ち家の戸建て住宅 (借地に持ち家の場合も含む)	4.0 民間賃貸アパート	0.0 有料老人ホーム
21.0 持ち家の集合住宅	4.5 民間賃貸マンション	2.3 その他
5.4 公営住宅	0.6 民間賃貸の戸建て	
	0.3 サービス付き高齢者向け住宅	

NA=0.6 N=352

問8-1 現在のお住まいの階数をお答えください。

※一戸建てにお住まいの場合、日中生活されている階でお答えください。(Oはひとつ)

41.5 1階	27.0 2階	11.6 3階	5.1 4階	4.0 5階	8.5 6階以上
---------	---------	---------	--------	--------	----------

NA=2.3 N=352

問9 現在のお住まい(またはお住まいのある建物)には、エレベーターはついていますか。

(Oはひとつ)

26.1 ついている	67.6 ついていない
------------	-------------

NA=6.3 N=352

問10 あなた(あて名ご本人)の年収(年金含む)をお答えください。(Oはひとつ)

7.7 50万円未満	7.1 300～350万円未満	0.9 900～1,000万円未満
10.5 50～80万円未満	3.7 350～400万円未満	0.0 1,000～1,100万円未満
11.4 80～100万円未満	2.8 400～500万円未満	0.3 1,100～1,200万円未満
11.1 100～150万円未満	1.7 500～600万円未満	0.3 1,200～1,300万円未満
12.2 150～200万円未満	0.6 600～700万円未満	0.0 1,300～1,400万円未満
7.1 200～250万円未満	1.4 700～800万円未満	0.0 1,400～1,500万円未満
11.6 250～300万円未満	0.6 800～900万円未満	0.3 1,500万円以上

NA=8.8 N=352

問10-1 あなた(あて名ご本人)を含めた、世帯全体の年収(年金含む)をお答えください。

(Oはひとつ)

2.6 50万円未満	11.6 300～350万円未満	1.7 900～1,000万円未満
4.5 50～80万円未満	4.0 350～400万円未満	1.1 1,000～1,100万円未満
6.0 80～100万円未満	5.4 400～500万円未満	0.6 1,100～1,200万円未満
5.4 100～150万円未満	4.5 500～600万円未満	0.0 1,200～1,300万円未満
8.5 150～200万円未満	2.3 600～700万円未満	0.0 1,300～1,400万円未満
7.1 200～250万円未満	2.0 700～800万円未満	0.3 1,400～1,500万円未満
9.9 250～300万円未満	2.0 800～900万円未満	1.4 1,500万円以上

NA=19.0 N=352

問 11 あなた（あて名ご本人）は現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。
（Oはひとつ）

13.6 苦しい	42.0 やや苦しい	31.5 ややゆとりがある	5.7 ゆとりがある
----------	------------	---------------	------------

NA=7.1 N=352

問 12 あなた（あて名ご本人）はふだん、ご自分で健康だと思えますか。（Oはひとつ）

0.3 とても健康	31.0 まあまあ健康	41.2 あまり健康でない	25.0 健康でない
-----------	-------------	---------------	------------

NA=2.6 N=352

問 13 日常生活を行う上での自立度は、以下のどれにあてはまりますか。（Oはひとつ）

63.6 日常生活はほぼ自立しており、ひとりで外出できる	27.6 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助がないと外出できない	5.7 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つことができる	0.0 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えなどの介助が必要
------------------------------	--------------------------------------	---	------------------------------------

NA=3.1 N=352

問 14 あなた（あて名ご本人）は、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。

（あてはまるものすべてにO）

83.5 自分の健康のこと	14.2 趣味や生きがいがないこと
31.8 親族の健康のこと	48.6 外出先・自宅内での転倒・事故
27.0 病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと	48.6 地震等災害時の避難のこと
22.2 ひとりの暮らしや孤独になること	3.1 その他
22.7 生活費等経済的なこと	1.4 心配ごとや悩みはない ⇒問 15へ
2.8 安心して住める場所がないこと	

NA=2.0 N=352

【問 14で「1. 自分の健康のこと」～「10. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問 14-1 あなた（あて名ご本人）は、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。（あてはまるものすべてにO）

25.9 配偶者	1.5 町会の役員	35.3 かかりつけ医
55.6 子ども	2.4 民生委員・児童委員	25.6 ホール・パブ・クラブ等
15.6 その他の家族・親族	2.9 区の相談窓口	1.2 その他
17.4 友人・知人	13.2 高齢者総合相談センター	2.9 相談したりの人はいな
3.8 となり近所の人	(地域包括支援センター)	い

NA=8.5 n=340

【すべての方に】

問 15 あなた（あて名ご本人）は、以下の中で現在、治療中の病気やけがはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

55. 7 高血圧症	31. 5 骨粗しょう症	9. 1 呼吸器の病気
24. 4 脂質異常症 （高コレステロール血症、中性脂肪など）	7. 7 脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）	9. 1 呼吸器の病気 （ぜん息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）など）
15. 6 糖尿病	13. 4 狭心症・心筋梗塞	18. 8 耳や鼻の病気（難聴など）
9. 7 動脈硬化化症	29. 8 目の病気（白内障など）	15. 9 お口の病気 （むし歯、歯周病など）
45. 7 腰痛症	16. 8 胃腸の病気（胃炎、肝炎など）	11. 1 骨折・外傷
12. 5 関節症・リウマチ	15. 3 泌尿器の病気 （腎臓病、前立腺肥大など）	3. 7 認知症
13. 1 肩こり症	6. 5 がん	5. 4 心の病気
		9. 7 その他
		0. 9 特にない

NA=1.4 N=352

問 16 あなた（あて名ご本人）は現在、通院や往診などで診療を受けていますか。（○はひとつ）

89. 8 通院のみ 3. 7 通院と往診 1. 1 往診のみ 1. 1 通院も往診も利用していない

NA=4.3 N=352

問 16-3へ

問 16-1 医療機関（病院・医院・診療所など）にはどのくらいの頻度で、通院や往診を受けていますか。（○はひとつ）

13. 8 週2回以上	38. 7 月1回
12. 0 週1回	4. 8 数か月に1回程度
26. 1 月2回程度	2. 1 定期的ではない

NA=2.4 n=333

【問 16で「2. 通院と往診」「3. 往診のみ」とお答えの方へ】

問 16-2 往診を受けているものは、どのような内容ですか。（あてはまるものすべてに○）

0. 0 点滴	0. 0 気管切開の処置
0. 0 経管栄養（胃ろう等）	0. 0 インスリン注射
0. 0 酸素療法	41. 2 痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）
0. 0 じよくそう（床ずれ）の処置	5. 9 歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）
5. 9 人工呼吸器	58. 8 その他（ ）
0. 0 導尿の管理（カテーテル、自己）	

NA=11.8 n=17

【すべての方に】

問 16-3 あなた（あて名ご本人）は、かかりつけ医はいますか（○はひとつ）

94. 9 はい（かかりつけ医がいる）	2. 3 いいえ（かかりつけ医はいない）
---------------------	----------------------

NA=2.8 N=352

問 17 あなた（あて名ご本人）の現在の要介護度をおうかがいします。（〇はひとつ）

55. 7 要支援 1	3. 要介護 1	5. 要介護 3	7. 要介護 5
44. 3 要支援 2	4. 要介護 2	6. 要介護 4	

NA=0.0 N=352

問 18 あなた（あて名ご本人）が、介護が必要となった主な原因は何ですか。
下記よりひとつだけお選びください。（〇はひとつ）

9. 7 脳血管疾患（脳出血 脳梗塞など）	1. 7 呼吸器疾患（肺炎等）	4. 0 背髄損傷
22. 4 骨折・転倒	7. 7 関節疾患（リウマチ等）	0. 6 パーキンソン病
12. 5 高齢による衰弱	1. 4 認知症	16. 5 その他
5. 4 心臓病	2. 6 糖尿病	
4. 3 がん（悪性新生物）	0. 6 視覚・聴覚障害	

NA=10.8 N=352

問 19 直近の要介護認定を受けた後、あなた（あて名ご本人）の要介護状態はどのように変わりましたか。（〇はひとつ）

31. 5 良くなった	8. 8 悪くなった	44. 6 変わらない	4. 3 わからない
-------------	------------	-------------	------------

NA=10.8 N=352

【問 19 で「1. 良くなった」とお答えの方におうかがいします。】

問 19-1 要介護状態が良くなった原因は何だと思われませんか。（あてはまるものすべてに〇）

10. 8 治療を受け、病気が治ったため
25. 2 治療を受け、時間の経過とともに、けがや骨折が治ったため
38. 7 医療機関等で専門家の指導を受けてリハビリを受けたため
51. 4 自分でできる限りの動くようにしたため
0. 9 認知症が改善もしくは安定したため
16. 2 その他（具体的に
2. 7 わからない

NA=1.8 n=111

【問 19 で「2. 悪くなった」とお答えの方におうかがいします。】

問 19-2 要介護状態が悪くなった原因は何だと思われませんか。（あてはまるものすべてに〇）

0. 0 脳梗塞等の発作が発生・再発したため
48. 4 病気が徐々に悪化したため
16. 1 けがや骨折をしたため
25. 8 病気やけがで入院し、体力が落ちてしまったため
58. 1 動けなくなり、体力が落ちてしまったため
9. 7 栄養のあるものを食べなくなったため
6. 5 認知症が徐々に進行したため
48. 4 年をとって老化が進んだため
16. 1 転倒やトイシの失敗などにより自信や意欲を失ってしまったため
25. 8 その他（具体的に
0. 0 わからない

NA=0.0 n=31

「要支援1」、「要支援2」、「要介護1」、「要介護2」の方におうかがいします。

「要介護3」、「要介護4」、「要介護5」の方は、次ページの問21へおすすみください。

問 20 あなた（あて名ご本人）のふだんの生活について、「はい（している又はできる）」、「いいえ（していない又はできない）」のどちらかをお選びください。

（それぞれ○はひとつ）

いずれかに○	はい (できる)	いいえ (できない)	N/A
--------	-------------	---------------	-----

階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか.....	14.2	77.3	8.5
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか...	33.5	59.4	7.1
15分くらい続けて歩いていますか.....	58.8	33.0	8.2
週に1回以上は外出していますか.....	81.3	10.5	8.2
昨年と比べて外出の回数が減っていますか.....	49.7	44.0	6.3
この1年間に転んだことがありますか.....	39.5	51.4	9.1
転倒に対する不安は大きいですか.....	76.7	15.1	8.2
6か月間で2〜3kg以上の体重減少がありましたか.....	25.3	65.1	9.7

身長（ 153.7 cm） 体重（ 53.2 kg） ※小数点第1位まで記入（数値は平均値）

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか.....	46.3	46.0	7.7
お茶や汁物等でむせることがありますか.....	41.8	51.1	7.1
口の渇きが気になりますか.....	46.3	46.0	7.7
周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか	19.6	71.9	8.5
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか...	78.1	17.0	4.8
今日が何月何日かわからない時がありますか.....	34.1	59.1	6.8
バスや電車を使って1人で外出していますか.....	53.1	39.2	7.7
日用品の買い物をしていますか.....	69.9	24.7	5.4
自分で預貯金のお出し入れをしていますか.....	74.1	21.0	4.8
友人の家を訪ねていますか.....	31.8	61.4	6.8
家族や友人の相談にのっていますか.....	50.3	40.9	8.8
（ここ2週間） 毎日の生活に充実感が無い.....	34.9	52.8	12.2
（ここ2週間） これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	32.1	56.3	11.6
（ここ2週間） 以前お樂にできていたことが今ではおっくうに感じられる	64.8	27.3	8.0
（ここ2週間） 自分が役に立つ人間だと思えない.....	38.9	50.6	10.5
（ここ2週間） わけもなく疲れたような感じがする.....	51.7	40.3	8.0

N=352

【すべての方に】

問 21 あなた（あて名ご本人）は、5分前のことが思い出せますか。（○はひとつ）
84. 4 思い出せる 9. 4 思い出せない NA=6. 3 N=352

問 22 あなた（あて名ご本人）は、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか。（○はひとつ）

68. 2 困難なくできる 1. 7 判断するとき、他人からの合図や見守りが必要
26. 1 いくらか困難であるが、できる 1. 1 ほとんど判断できない NA=2. 8 N=352

問 23 あなた（あて名ご本人）は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。（○はひとつ）

70. 5 伝えられる 5. 4 あまり伝えられない
21. 6 いくらか困難であるが、伝えられる 0. 9 ほとんど伝えられない NA=1. 7 N=352

問 24 あなた（あて名ご本人）は、食事は自分で食べられますか。（○はひとつ）

96. 3 自分で食べられる 0. 3 自分では食べられない
1. 7 おかずを切ってもらうなど介助があればできる NA=1. 7 N=352

問 25 あなた（あて名ご本人）は、平日の日中には、どのくらい外出されていますか。（○はひとつ）

26. 4 ほぼ毎日 30. 1 2～3日おき程度 9. 4 外出しない週もある
20. 2 一日おき程度 6. 8 週に1日程度 4. 5 外出しない、できない ⇒ 問 26 ⇐ NA=2. 6 N=352

【問 25 で「1」～「5」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問 25-1 平日の外出の主な目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

2. 1 仕事	21. 1 趣味活動	1. 5 ボランティア活動
69. 7 買い物	18. 7 友人・知人と会う	64. 8 通院やリハビリ
36. 7 散歩	9. 2 身内の者と会う	5. 8 その他

NA=0. 9 n=327

問 25-2 1回あたりの外出時間はどのくらいですか。（○はひとつ）

30. 6 1時間未満 33. 0 1～2時間未満 22. 9 2～3時間未満 11. 0 3時間以上
NA=2. 4 n=327

【すべての方に】

問 26 あなた（あて名ご本人）は、ふだん、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。（○はひとつ）

16. 5 親しく付き合っている	43. 2 あいさつをする程度	0. 3 わからない
28. 7 立ち話をする程度	9. 7 付き合いはほとんどない	

NA=1. 7 N=352

【問26で「4. 付き合いはほとんどない」とお答えの方におうかがいします。】

問26-1 付き合いがほとんどない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

26.5 健康状態がすぐれないから	8.8 引越してきて間もないから
70.6 普段付き合う機会がないから	23.5 同世代の人が近くにいないから
14.7 あまり関わりをもちたくないから	14.7 その他
29.4 気の合う人が近くにいないから	2.9 特に理由はない
41.2 ご近所と知り合うきっかけがないから	0.0 わからない
2.9 仕事や家事などで忙しく時間が少ない	

NA=0.0 n=34

【すべての方に】

問27 あなた(あて名ご本人)は、外出することについてどのような考えですか。

(あてはまるものすべてに○)

29.5 特に負担には感じない
26.7 外出は、なんとなくおっくうである・好きではない
19.6 行く場所や用事もないので外出したいとは思わない
8.2 外での楽しみがない
19.9 外出するより、家にいて過ごす方が好き
4.0 交通が不便なので、外出するのが負担に感じる
8.2 自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる
13.9 トイレの心配(失禁など)があり、外出するのが負担に感じる
14.5 身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない
12.2 その他(具体的に)

NA=6.0 N=352

問28 自宅で主にあなた(あて名ご本人)を介護しているのはどなたですか。(○はひとつ)

19.6 配偶者	18.5 ホームヘルパー等介護の専門職
16.2 子	1.1 その他
3.1 子の配偶者	22.7 介護している人はいない
1.1 その他の親族	

NA=17.6 N=352

10ページ 問29へ

【問28で「1」～「4」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問28-1 主な介護者(おひとりの)の方の性別・年齢をお答えください。

【性別】(○はひとつ)

31.2 男性	66.0 女性
---------	---------

NA=2.8 n=141

【年齢】(平成26年1月1日現在)(○はひとつ)

0.0 30歳未満	9.2 40歳代	8.5 60～64歳	7.1 70～74歳	14.9 80～84歳
0.0 30歳代	27.7 50歳代	6.4 65～69歳	13.5 75～79歳	8.5 85歳以上

NA=4.3 n=141

問28-2 主な介護者(おひとり)の方はあなた(あて名ご本人)と同居していますか。(Oはひとつ)

76.6 同居している	9.9 別居しているが、15分以内で行き来できる範囲である
	9.2 別居しており、行き来に15分以上かかる

NA=4.3 n=141

問28-3 あなた(あて名ご本人)の介護を始めて、どのくらいたちますか。(Oはひとつ)

7.1 半年未満	38.3 1~3年未満	10.6 5~7年未満	5.7 10年以上
4.3 半年~1年未満	15.6 3~5年未満	7.1 7~10年未満	

NA=11.3 n=141

問28-4 一日あたりの介護時間は、どのくらいですか。※在宅で訪問介護などの介護サービスを受けている時間を除いてお答えください。(Oはひとつ)

67.4 必要なときに手を貸す程度	4.3 半日程度
5.0 2~3時間程度	1.4 ほとんど終日

NA=22.0 n=141

問28-5 主な介護者(おひとり)の方は要介護認定を受けていますか。(Oはひとつ)

21.3 健康であり、要介護認定は受けていない
10.6 何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない
47.5 要支援1・2
5.0 要介護1・2
0.0 要介護3~5

NA=15.6 n=141

【すべての方に】

問29 以下の介護保険の在宅サービスのうち、平成25年12月に利用したサービスすべてにOをつけてください。(あてはまるものすべてにO)
※下記のサービスには介護予防サービスも含まれます。

21.3 訪問介護	0.0 特定施設入居者生活介護
2.0 訪問入浴介護	(有料老人ホーム、ケアハウス)
1.1 訪問看護	0.3 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2.3 訪問リハビリテーション	0.0 夜間対応型訪問介護
2.8 居宅療養管理指導	0.0 認知症対応型通所介護
25.3 通所介護(デイサービス)	0.0 小規模多機能型居宅介護
19.6 通所リハビリテーション(デイケア)	(1カ所で通所、訪問、泊まりの各サービスを提供)
0.3 短期入所生活介護	0.0 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
(福祉施設のショートステイ)	0.3 地域密着型特定施設入居者生活介護
0.3 短期入所療養介護	(29人以下の小規模な特定施設入居者生活介護)
(医療施設等のショートステイ)	0.0 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
21.6 福祉用具貸与・購入	(29人以下の小規模な特別養護老人ホーム)
8.2 住宅改修	11.6 あてはまるものはない

NA=13.4 N=352

問 30 平成 25 年 12 月の介護保険サービスの利用額（利用者負担分）について、制度上利用できる上限（区分支給限度額）いっぱいまで利用しましたか。（〇はひとつ）

11.1 上限まで利用した
 46.9 上限まで利用していない
 21.3 わからない

NA=20.7 N=352

区分支給限度額（おおむねの金額）	自己負担額
要支援 1	56,000 円程度
要支援 2	117,000 円程度
要介護 1	187,000 円程度
要介護 2	219,000 円程度
要介護 3	301,000 円程度
要介護 4	345,000 円程度
要介護 5	403,000 円程度

【問 30 で「2」とお答えの方におうかがいします。】

問 30-1 上限まで利用していない理由は何ですか。（〇は2つまで）

- 65.5 自身の状態からみて、今くらいのサービスで十分と考えるため
- 15.8 家族が介護しているので、それほど多く利用しなくても済んでいるため
- 9.7 利用料が高くなるため
- 14.5 現在利用しているサービス以外に、どのようなサービスを利用してよいかわからないため
- 3.6 利用したいサービスを提供する事業者がないため
- 5.5 ヘルパーなど他人が家に入るのはわずらわしいと思うため
- 5.5 通所介護（デイサービス）などのように、施設に通うことには抵抗感があるため
- 1.8 短期入所（ショートステイ）のように、短期であっても施設に入所することには抵抗感があるため
- 4.8 その他

NA=4.8 n=165

【すべての方に】

問 31 介護保険の在宅サービスの利用に要する費用（1割の自己負担）について、どのようにお感じですか。（〇はひとつ）

- 13.1 受けているサービスにしては安い
- 45.2 受けているサービスに対し、適切な料金である
- 18.5 負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない
- 2.6 負担が重く、費用が高くなるようにサービスの利用量を調整している
- 4.3 費用は全く気にしていない、いくら支払っているかわからない

NA=16.5 N=352

問 32 特別養護老人ホームへの入所申込をしていますか。（〇はひとつ）

1.1 入所申込みをしている 85.2 入所申込みをしていない

NA=13.6 N=352

問 33 現在受けている介護サービスの質に、満足していますか。（〇はひとつ）

34.9 満足している 16.5 どちらともいえない 2.0 不満である
 30.7 ほぼ満足している 5.4 やや不満である

NA=10.5 N=352

問 34 区では援護を必要とする高齢者の方の日常生活を支援するための介護保険以外の保健・福祉サービスを実施しています。「現在利用しているもの」「今後利用したいもの」それぞれについてお答えください。

	現在利用している	今後利用したい※	
※ 「今後利用したいもの」は、継続の利用、新規の利用あわせてお答えください。 (それぞれについて、あてはまる番号すべてに○)			
配食サービス (65 歳以上の高齢者のみ世帯やひとり暮らしで食事の準備が困難な方に食事を配達)	6.5	28.4	
福祉電話の貸出し (電話のないひとり暮らし高齢者の方へ電話の貸出し)	0.0	6.0	
緊急通報システム (65 歳以上の高齢者のみ世帯やひとり暮らしの方に、緊急時に救急車の出動を要請できる機器の貸出し)	5.7	28.7	
火災安全システム (火災報知器などの住宅防災機器の設置給付)	10.2	17.0	
紙おむつ支給 (在宅の場合) / おむつ購入費助成 (医療機関へ入院の場合)	0.6	22.7	
出張美容サービス (外出できない寝たきりの高齢者の方に、自宅へ出張しての散髪)	0.9	16.5	
寝具の洗濯・乾燥サービス (使用中の寝具を月 1 回乾燥または洗濯する)	4.3	23.0	
寝たきりの高齢者の方を対象とした訪問診療・歯科診療など	0.6	15.6	
徘徊高齢者位置情報サービス (位置情報サービスの利用料金助成)	0.0	8.8	
リボンサービス (社会福祉協議会で行う登録制の有償ヘルパー派遣)	4.3	13.6	
移送サービス (車椅子のまま乗り降りできるリフト付き自動車の運行)	0.3	12.8	
在宅医療相談窓口 (豊島区医師会館で行う在宅医療を希望する方の相談)	0.3	12.5	
現在利用しているものはまったくない	18.5	—	
今後利用したいものはまったくない	—	2.8	
	現在利用している	NA=59.7	N=352
	今後利用したい	NA=42.6	N=352

問 35 災害時のみならず、平常時から手助けする必要がある方の存在を把握しておいていただくために、行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報(氏名や住所等)を、町会等に対して提供することについて、どのように感じますか。(○はひとつ)

8.8 積極的に個人情報を提供すべき	
45.7 災害時への備えや、ひとりの暮らしなど見守りが必要な方を手助けするためであれば個人情報を提供してもよい	
5.1 個人情報を提供しない方がよい	
21.0 わからない	
	NA=19.3 N=352

問 36 身体状況にも、介護者の状況にも大きな変化がないと仮定した場合、あなた（あて各ご本人）は今後もご自宅での介護を希望されますか。（〇はひとつ）

49. 4 在宅介護サービスを利用しながら、自宅で暮らし続けたい → 問 37へ
3. 7 バリアフリー化された高齢者向け住宅などに住み替えて、在宅介護サービスを受けながら暮らしたい
2. 8 日中、ケアの専門家が建物に常駐し、安否確認サービスと生活相談サービスを提供する、「サービス付き高齢者向け住宅」に入居したい
3. 4 有料老人ホームやグループホームなどの介護付の住宅に住み替えたい
5. 4 特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい
8. 5 わからない → 問 37へ

N A = 26. 7 N = 352

→【問 36 で「2」～「5」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問 36-1 あなた（あて各ご本人）が施設等での介護を希望される（ご自宅での介護を希望されない）最も大きな理由をお答えください。（〇はひとつ）

25. 9 専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため
13. 0 自宅で介護を受けたいが、先々の心配があるため
35. 2 介護をしている家族の負担が大きいため
20. 4 介護者がいないため
0. 0 在宅介護は施設よりも経済的な負担が大きいため
1. 9 その他（具体的に)

N A = 3. 7 n = 54

【すべての方に】

問 37 あなた（あて各ご本人）は介護保険制度についてどのようにお考えですか。（〇はひとつ）

44. 0 良いと思う 38. 1 まあ良いと思う 4. 0 あまり良くないと思う 0. 9 良くないと思う

N A = 13. 1 N = 352

問 38 あなた（あて名ご本人）の平成 25 年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか。
（Oはひとつ）

番号に○	所得状況	25 年度の 年間保険料額
1. 4 第 1 段階	<ul style="list-style-type: none"> 世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金を受給している方 生活保護を受けている方 	24,840 円
9. 1 第 2 段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が 80 万円以下の方	31,080 円
5. 4 第 3 段階	世帯全員が住民税非課税で、第 1 段階・第 2 段階に該当しない方	46,680 円
7. 1 特例第 3 段階	第 3 段階のうち、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が 120 万円以下の方	43,560 円
4. 8 第 4 段階	本人は住民税非課税で、世帯に住民税を課税されている方がいる	62,280 円
3. 7 特例第 4 段階	第 4 段階のうち、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が 80 万円以下の方	52,920 円
4. 5 第 5 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 125 万円以下の方	67,200 円
8. 2 第 6 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 125 万円を超え 200 万円未満の方	77,760 円
8. 2 第 7 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 200 万円以上 300 万円未満の方	82,800 円
5. 1 第 8 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 300 万円以上 400 万円未満の方	87,840 円
1. 1 第 9 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 400 万円以上 500 万円未満の方	99,720 円
1. 7 第 10 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 500 万円以上 700 万円未満の方	118,440 円
1. 4 第 11 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 700 万円以上 900 万円未満の方	143,280 円
0. 3 第 12 段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が 900 万円以上の方	168,240 円
14. 2 わからない		

NA=23. 6 N=352

問 38-1 現在支払っている介護保険料について、どのように感じていますか。(Oはひとつ)

15. 3 特に負担とは思わない	9. 1 負担であり、支払うことが困難
50. 9 負担であるが、支払うことが可能	7. 7 わからない

NA=17. 0 N=352

問 39 介護保険料は、区全体の介護サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに豊島区が決定しています。保険料の額は、介護サービスを充実させるほど高く、逆に保険料を抑えれば介護サービスの水準が下がるという関係にあります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなた（あて名ご本人）のお考えに最も近いものはどれですか。（Oはひとつ）

- 12. 8 保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方が良い
 - 37. 5 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのが良い
 - 8. 2 サービスの量が低下しても、保険料は安い方が良い
 - 19. 0 わからない
- ⇒ 問 40へ

NA=22. 4 N=352

【問 39 で「1」とお答えの方におうかがいします。】

問 39-1 施設や在宅サービスの量が増えるのであれば、保険料の基準額（現在年 62,280 円）は、いくらが適当だと思いますか。（Oはひとつ）

- 44. 4 年 62,280~75,000円未満 11. 1 年 80,000~85,000円未満 15. 6 わからない
- 13. 3 年 75,000~80,000円未満 8. 9 年 85,000円以上

NA=6. 7 n=45

【すべての方に】

問 40 現在の介護保険料は、世帯の課税状況及びご本人の所得額に応じて12段階（段階制）が設定されていますが、あなた（あて名ご本人）は保険料の段階についてどのような考えですか。（Oはひとつ）

- 21. 6 現在の12段階制のままが良い
- 13. 9 現在よりも段階を増やし、きめ細やかな段階とする
- 17. 0 国民健康保険や税金のように、所得額に応じて一定の割合（料率制）とする
- 28. 1 わからない

NA=19. 3 N=352

問 41 あなた（あて名ご本人）は、定期的な収入をどこから得ていますか。

（あてはまるものすべてにO）

- | | | |
|---------------|------------------|----------------|
| 80. 1 公的年金や恩給 | 4. 3 株式の配当 | 2. 6 親族等からの仕送り |
| 3. 4 給与等 | 19. 3 土地・家屋の家賃収入 | 2. 8 その他（
） |

NA=10. 2 N=352

【9ページ問28で「1」～「4」にお答えの介護者の方におうかがいします。】

問42 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

【意思疎通について】	【サービス利用について】
3. 5 本人に正確な症状を伝えるのが難しい	5. 0 サービスを思うように利用できない、サービスが足りない
7. 1 本人に現在の状況を理解してもらうのが難しい	0. 7 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)
9. 2 来客にも気を遣う	1. 4 サービス事業者との関係がうまくいかない
9. 9 本人の言動が理解できないことがある	0. 7 ケアマネジャーとの関係がうまくいかない
2. 1 本人に受診を勧めても同意してもらえない	【介護者ご自身のことについて】
【介護の仕方について】	10. 6 自分の用事・都合をすませることができない
5. 7 適切な介護方法がわからない	15. 6 身体的につらい(腰痛や肩こりなど)
2. 8 症状への対応がわからない	19. 1 精神的なストレスがたまっている
0. 0 徘徊するため目が離せない	7. 1 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおちろくない
6. 4 他の家族等に介護を協力してもらえない	12. 8 自分の自由になる時間が持たない
2. 1 誰に、何を、どのように相談すればいいか、わからない	9. 9 先々のことを考える余裕がない
14. 2 日中、家を空けるのを不安に感じる	8. 5 経済的につらいと感じるときがある
5. 0 介護を家族等他の人に任せていいか、悩むことがある	8. 5 仕事と介護の両立が困難
0. 0 介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	7. 1 家事と介護の両立が困難
1. 4 介護することに対して、周囲の理解が得られない	4. 3 その他
	(具体的に)
	21. 3 特に困っていることはない

NA=36.2 n=141

ご協力ありがとうございました

お名前、ご住所等は記入不要です。

同封の返信用封筒に入れて、1月24日(金)までに、

切手を貼らずにポストに投函してください。

※ 返信用封筒の郵便番号「170-8710」、承認番号「7621」およびバーコードは、このアンケートを豊島区役所1か所に集めるための番号であり、個人を特定するためのものではありません。

介護保険サービス未利用者調査

アンケート協力のお願い

平素から、豊島区の健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
豊島区では、平成24年3月に「豊島区介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、平成27年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、区民のみなさまのご意見をおうかがいするアンケートを実施することといたしました。

対象となられる方は、要介護認定を受けているものの、平成25年10月に介護保険サービスの利用が確認できなかった区内在住の約1,500人の方です。（本対象者は平成25年12月13日時点で抽出しています。12月14日以降の転出等で行き違いがございましたら何卒ご容赦ください。）アンケート結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきます。質問数が多く、大変お手数をおかけしますが、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

平成26年1月

豊島区保健福祉部

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 記入の方法**
アンケートの回答は、この調査票に直接ご記入ください。筆記用具は、鉛筆やボールペンなど、どのようなものでも構いません。
- 2 アンケートの対象者**
封筒の**あて名の方が**アンケートの対象者となっています。
- 3 アンケート回答者(記入者)**
できる限り、アンケート対象者**(あて名の方)**ご本人が回答(記入)ください。ただし、ご本人による回答(記入)が難しい場合は、ご家族などの方がご本人の意志を反映して、ご記入くださるようお願いいたします。
- 4 返送の方法**
同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいた調査票を入れて、**平成26年1月24日(金)**までにポストにご投函ください。
- 5 返送いただいた回答について**
回答は無記名でいただきますので、回答者が特定されることはありません。また、回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【アンケートの問い合わせ先】

豊島区 保健福祉部 介護保険課

電話 03(3981)1942

問 1 この調査票を記入するのはあなたですか。(Oはひとつ)

74.8 ご本人

18.3 ご家族

0.3 その他

NA (無回答、以下同じ) =6.6 N (回答母数、以下同じ) =679

問 2 あなた(ご本人：封筒のあて名の方)は現在、どちらに住んでいますか。(Oはひとつ)

97.1 ご自宅(ショートステイ利用者含む)

2.9 区内の親族等の家

問 3へおすみください。

0.0 その他(入院中、介護施設入所、
区外転出、亡くなった等)

アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
ございました。
同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らず
に投函してください。

NA=0.0 N=679

問 3 あなた(あて名ご本人)の性別をお答えください。(Oはひとつ)

33.6 男 性

64.2 女 性

NA=2.2 N=679

問 4 あなた(あて名ご本人)の年齢(平成26年1月1日現在)をお答えください。(Oはひとつ)

0.0 65歳未満

6.5 70~74歳

34.2 80~84歳

2.7 90~94歳

3.2 65~69歳

20.9 75~79歳

32.3 85~89歳

0.0 95歳以上

NA=0.3 N=679

問 5 あなた(あて名ご本人)のお住まいの地域はどちらですか。(Oはひとつ)

4.7 西兼鴨	1.6 北大塚(三丁目)	5.0 東池袋	5.6 目白	4.0 高松
5.9 柴鴨	5.9 南大塚	3.7 池袋	2.9 雑司が谷	4.7 要町
5.9 駒込	6.6 池袋本町	4.6 西池袋	2.1 高田	6.6 千早
2.7 北大塚 (一丁目、二丁目)	5.9 上池袋	1.8 南池袋	2.8 千川	9.6 長崎 7.4 南長崎

NA=0.1 N=679

問 6 あなた(あて名ご本人)のお住まいの地域での居住年数をお答えください。

※増改築や改修などされている場合でも通算してお答えください。(Oはひとつ)

1.8 1年未満	4.6 5~10年未満	3.5 15~20年未満	72.8 30年以上
3.8 1~5年未満	3.4 10~15年未満	9.6 20~30年未満	

NA=0.6 N=679

問 7 あなた(あて名ご本人)の世帯の状況をお選びください。(Oはひとつ)

26.5 ひとの暮らし	38.1 子や孫など同居	⇒問 7-1へ
30.3 夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上	0.7 1~4以外で全員が65歳以上	
1.5 夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上	2.2 その他	

NA=0.6 N=679

【問 7で「4.子や孫など同居」とお答えの方におうかがいします。】

問 7-1 同居されている方はどなたですか。(あてはまるものすべてにO)

87.3 息子・娘	28.6 孫	26.6 配偶者	0.8 その他
20.1 息子・娘の配偶者	0.4 兄弟・姉妹	0.8 親・配偶者の親	

NA=0.4 n=259

【問7で「4. 子や孫などと同居」とお答えの方以外におうかがいします。】

問7-2 一番近くに住んでいるお子さんとの距離はどのくらいですか。(Oはひとつ)

7.7 となり	6.0 10～20分未満	13.2 30～1時間未満	8.4 子どもはいない
6.3 10分未満	4.3 20～30分未満	22.8 1時間以上	

NA=31.3 n=416

問8 あなた(あて名ご本人)のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(Oはひとつ)

67.2 持ち家の戸建て住宅 (借地に持ち家の場合も含む)	3.4 民間賃貸アパート	0.0 有料老人ホーム
15.3 持ち家の集合住宅	5.7 民間賃貸マンション	2.5 その他
3.4 公営住宅	0.7 民間賃貸の戸建て	
	0.1 サービス付き高齢者向け住宅	

NA=1.6 N=679

問8-1 現在のお住まいの階数をお答えください。

※一戸建てにお住まいの場合、日中生活されている階でお答えください。(Oはひとつ)

41.4 1階	33.6 2階	8.5 3階	4.7 4階	2.8 5階	6.3 6階以上
---------	---------	--------	--------	--------	----------

NA=2.7 N=679

問9 現在のお住まい(またはお住まいのある建物)には、エレベーターはついていますか。(Oはひとつ)

21.2 ついている	71.1 ついていない
------------	-------------

NA=7.7 N=679

問10 あなた(あて名ご本人)の年収(年金含む)をお答えください。(Oはひとつ)

10.6 50万円未満	5.6 300～350万円未満	0.4 900～1,000万円未満
14.3 50～80万円未満	2.8 350～400万円未満	0.0 1,000～1,100万円未満
6.8 80～100万円未満	3.2 400～500万円未満	0.3 1,100～1,200万円未満
11.2 100～150万円未満	1.5 500～600万円未満	0.0 1,200～1,300万円未満
12.1 150～200万円未満	1.0 600～700万円未満	0.0 1,300～1,400万円未満
11.8 200～250万円未満	0.3 700～800万円未満	0.3 1,400～1,500万円未満
8.0 250～300万円未満	0.7 800～900万円未満	0.3 1,500万円以上

NA=8.8 N=679

問10-1 あなた(あて名ご本人)を含めた、世帯全体の年収(年金含む)をお答えください。(Oはひとつ)

2.9 50万円未満	9.3 300～350万円未満	1.2 900～1,000万円未満
5.4 50～80万円未満	5.0 350～400万円未満	0.6 1,000～1,100万円未満
2.2 80～100万円未満	7.1 400～500万円未満	0.4 1,100～1,200万円未満
5.4 100～150万円未満	5.0 500～600万円未満	0.0 1,200～1,300万円未満
9.7 150～200万円未満	4.0 600～700万円未満	0.0 1,300～1,400万円未満
9.0 200～250万円未満	2.1 700～800万円未満	0.6 1,400～1,500万円未満
8.5 250～300万円未満	1.5 800～900万円未満	1.6 1,500万円以上

NA=18.4 N=679

問 11 あなた（あて名ご本人）は現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。
（〇はひとつ）

18.4 苦しい 35.3 やや苦しい 35.5 ややゆとりがある 6.2 ゆとりがある
NA=4.6 N=679

問 12 あなた（あて名ご本人）はふだん、ご自分で健康だと思いますか。（〇はひとつ）

2.1 とても健康 32.1 まあまあ健康 32.7 あまり健康でない 30.9 健康でない
NA=2.2 N=679

問 13 日常生活を行う上での自立度は以下のどれにあてはまりますか。（〇はひとつ）

59.6 日常生活はほぼ自立しており、ひとりで外出できる
32.1 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助がないと外出できない
4.3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、
座位を保つことができる
1.9 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えなどの介助が必要
NA=2.1 N=679

問 14 あなた（あて名ご本人）は、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。
（あてはまるものすべてに〇）

80.6 自分の健康のこと	11.8 趣味や生きがいがないこと
30.8 親族の健康のこと	43.0 外出先・自宅内での転倒・事故
19.3 病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと	39.5 地震等災害時の避難のこと
16.5 ひとりの暮らしや孤独になること	3.4 その他
21.5 生活費等経済的なこと	2.1 心配ごとや悩みはない ⇒問 15へ
3.4 安心して住める場所がないこと	

NA=2.4 N=679

【問 14で「1. 自分の健康のこと」～「10. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問 14-1 あなた（あて名ご本人）は、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いて
もらったり、相談したりしますか。（あてはまるものすべてに〇）

32.0 配偶者	1.1 町会の役員	29.9 かかりつけ医
59.8 子ども	2.2 民生委員・児童委員	5.4 家族のケアマネジャー
13.1 その他の家族・親族	3.4 区の相談窓口	1.4 その他
16.3 友人・知人	11.2 高齢者総合相談センター (地域包括支援センター)	3.4 相談したりする人はいない
6.0 とのり近所の人		

NA=2.4 n=649

【すべての方に】

問 15 あなた（あて名ご本人）は、以下の中で現在、治療中の病気やけがはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

48. 5 高血圧症	25. 3 骨粗しょう症	11. 3 呼吸器の病気
21. 6 脂質異常症 （高コレステロール血症、中性脂肪など）	7. 8 脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）	（ぜん息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）など）
15. 2 糖尿病	14. 4 狭心症・心筋梗塞	15. 8 耳や鼻の病気（難聴など）
8. 4 動脈硬化症	25. 9 目の病気（白内障など）	13. 0 お口の病気（むし歯、歯周病など）
39. 0 腰痛症	10. 2 胃腸の病気（胃炎、肝炎など）	8. 1 骨折・外傷
9. 7 関節症・リウマチ	16. 5 泌尿器の病気 （腎臓病、前立腺肥大など）	11. 8 認知症
10. 9 肩こり症	9. 1 がん	4. 7 心の病気
		7. 4 その他
		2. 1 特にない

NA=2. 8 N=679

問 16 あなた（あて名ご本人）は現在、通院や往診などで診療を受けていますか。（○はひとつ）

87. 5 通院のみ	3. 2 通院と往診	2. 4 往診のみ	2. 1 通院も往診も利用していない
------------	------------	-----------	--------------------

NA=4. 9 N=679

問 16-3へ

問 16-1 医療機関（病院・医院・診療所など）にはどのくらいの頻度で、通院や往診を受けていますか。（○はひとつ）

11. 9 週2回以上	39. 1 月1回
9. 5 週1回	6. 6 数か月に1回程度
28. 0 月2回程度	2. 8 定期的ではない

NA=2. 1 n=632

【問 16 で「2. 通院と往診」「3. 往診のみ」とお答えの方へ】

問 16-2 往診を受けているものは、どのような内容ですか。（あてはまるものすべてに○）

7. 9 点滴	2. 6 気管切開の処置
5. 3 経管栄養（胃ろう等）	10. 5 インスリン注射
2. 6 酸素療法	28. 9 痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）
5. 3 じよくそう（床ずれ）の処置	10. 5 歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）
0. 0 人工呼吸器	36. 8 その他（ ）
5. 3 導尿の管理（カテーテル、自己）	

NA=13. 2 n=38

【すべての方に】

問 16-3 あなた（あて名ご本人）は、かかりつけ医はいますか（○はひとつ）

93. 1 （かかりつけ医がいる）	4. 6 いいえ（かかりつけ医はいない）
-------------------	----------------------

NA=2. 4 N=679

問 17 あなた（あて名ご本人）の現在の要介護度をおうかがいします。（〇はひとつ）

37.3 要支援 1	17.1 要介護 1	2.8 要介護 3	1.3 要介護 5
21.6 要支援 2	8.0 要介護 2	2.4 要介護 4	

NA=9.6 N=679

問 18 あなた（あて名ご本人）が、介護が必要となった主な原因は何ですか。
下記よりひとつだけお選びください。（〇はひとつ）

8.7 脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）	3.7 呼吸器疾患（肺炎、肺気腫、肺炎等）	3.8 背髄損傷
15.0 骨折・転倒	5.6 関節疾患（リウマチ等）	1.2 パーキンソン病
11.2 高齢による衰弱	6.5 認知症	12.1 その他
3.5 心臓病	2.8 糖尿病	
3.2 がん（悪性新生物）	1.2 視覚・聴覚障害	

NA=21.5 N=679

問 19 直近の要介護認定を受けた後、あなた（あて名ご本人）の要介護状態はどのように変わりましたか。（〇はひとつ）

19.1 良くなった	12.5 悪くなった	40.6 変わらない	5.2 わからない
------------	------------	------------	-----------

NA=22.5 N=679

【問 19 で「1. 良くなった」とお答えの方におうかがいします。】 問 20 へ

問 19-1 要介護状態が良くなった原因は何だと思われませんか。（あてはまるものすべてに〇）
25.4 治療を受け、病気が治ったため
26.9 治療を受け、時間の経過とともに、けがや骨折が治ったため
32.3 医療機関等で専門家の指導を受けてリハビリを受けたため
53.8 自分でできる限り動くようにしたため
3.8 認知症が改善もしくは安定したため
12.3 その他（具体的に
2.3 わからない

NA=1.5 n=130

【問 19 で「2. 悪くなった」とお答えの方におうかがいします。】

問 19-2 要介護状態が悪くなった原因は何だと思われませんか。（あてはまるものすべてに〇）

4.7 梗塞等の発作が発生・再発したため
36.5 病気が徐々に悪化したため
10.6 けがや骨折をしたため
17.6 病気やけがで入院し、体力が落ちてしまったため
42.4 動かなくなり、体力が落ちてしまったため
10.6 栄養のあるものを食べなくなったため
18.8 認知症が徐々に進行したため
55.3 年をとって老化が進んだため
7.1 転倒やトイシの失敗などにより自信や意欲を失ってしまったため
15.3 その他（具体的に
1.2 わからない

NA=2.4 n=85

「要支援1」、「要支援2」、「要介護1」、「要介護2」の方におうかがいします。

「要介護3」、「要介護4」、「要介護5」の方は、次ページの間22へおすすみください。

問 20 あなた（あて名ご本人）のふだんの生活について、「はい（している又はできる）」、「いいえ（していない又はできない）」のどちらかをお選びください。
（それぞれ〇はひとつ）

※身長・体重の欄には、小数点第一位までの数字をご記入ください。

いずれかに〇		NA
はい (できる)	いいえ (できない)	

階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか.....	16.3	78.4	5.3
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか.....	33.0	62.6	4.4
15分くらい続けて歩いていますか.....	60.0	34.6	5.4
週に1回以上は外出していますか.....	71.6	23.5	4.9
昨年と比べて外出の回数が減っていますか.....	55.6	38.2	6.1
この1年間に転んだことがありますか.....	38.2	55.6	6.1
転倒に対する不安は大きいですか.....	75.8	16.3	7.9
6か月間で2〜3kg以上の体重減少がありましたか.....	22.8	66.8	10.4

身長（ 153.6 cm） 体重（ 52.6 kg）※小数点第1位まで記入（数値は平均値）

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか.....	47.2	46.3	6.5
お茶や汁物等でむせることがありますか.....	42.3	52.5	5.3
口の渇きが気になりますか.....	45.4	48.1	6.5
周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか	33.0	59.6	7.4
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか.....	73.2	22.6	4.2
今日が何月何日かわからない時がありますか.....	37.5	58.1	4.4
バスや電車を使って1人で外出していますか.....	53.5	42.1	4.4
日用品の買い物をしていますか.....	65.6	31.6	2.8
預貯金の出し入れをしていますか.....	65.6	31.2	3.2
友人の家を訪ねていますか.....	31.6	63.5	4.9
家族や友人の相談にのっていますか.....	50.0	43.2	6.8
（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない.....	42.3	49.5	8.2
（ここ2週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	36.3	53.5	10.2
（ここ2週間）以前は樂にできていたことが今ではおっくうに感じられる	68.2	24.6	7.2
（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない.....	41.6	49.8	8.6
（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする.....	54.6	38.4	7.0

n = 570

問 21 あなた（あて名ご本人）は、ふだんから健康や介護予防のために取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|----------------------------------|
| 54. 4 栄養バランスや、かむ回数に気をつけて食事をしている | 66. 5 年 1 回は健康診断を受けている |
| 73. 0 □の中を清潔にしている
（歯みがき、うがいなど） | 33. 7 年 1 回は歯科健診を受けている |
| 20. 4 ウォーキングや体操など、1回 30 分、週 2 回以上定期的に運動をしている | 75. 8 かかりつけの医師（主治医）に定期的に診てもらっている |
| 27. 9 ウォーキングや体操など、自分に合ったペースで定期的に運動をしている | 48. 2 気持ちをできる限りの明るく保っている |
| 56. 0 規則的な生活を心がけている
（夜更かしをしないなど） | 56. 7 休養や睡眠を十分にとっている |
| 50. 4 たばこをやめた、または吸っていない | 2. 5 その他 |
| 29. 3 お酒を飲みすぎない | 1. 4 特にない |
| 41. 4 読み書きや計算など、頭を使う作業に取り組んでいる | |

NA=2. 8 n=570

【問 21 で「1」～「8」のいずれかをお答えの方におうかがいします。】

問 21-1 取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 29. 3 家族のアドバイスや一言 | 10. 2 具体的に症状が現れたので |
| 12. 1 友人・知人からのアドバイスや一言 | 15. 8 検査の結果（数字など）が気になって |
| 2. 7 となり近所の人からのアドバイスや一言 | 25. 0 聞やテレビなどのマスコミの情報から |
| 11. 3 区の広報紙や回覧版などの情報から | 41. 4 以前からの習慣で、自発的に |
| 35. 4 医師等の専門家からの指導や助言 | 2. 7 その他 |

NA=12. 9 n=512

【すべての方に】

問 22 あなた（あて名ご本人）は、5 分前のことが思い出せますか。（○はひとつ）

77. 6 思い出せる 14. 6 思い出せない

NA=7. 8 N=679

問 23 あなた（あて名ご本人）は、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか。（○はひとつ）

- | |
|----------------------------|
| 63. 5 困難なくできる |
| 27. 2 いくらか困難であるが、できる |
| 3. 7 判断するとき、他人からの合図や見守りが必要 |
| 2. 7 ほとんど判断できない |

NA=2. 9 N=679

問 24 あなた（あて名ご本人）は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。（○はひとつ）

- | |
|------------------------|
| 65. 4 伝えられる |
| 25. 2 いくらか困難であるが、伝えられる |
| 5. 6 あまり伝えられない |
| 2. 2 ほとんど伝えられない |

NA=1. 6 N=679

問25 あなた（あて名ご本人）は、食事は自分で食べられますか。（Oはひとつ）

- 94.1 自分で食べられる
- 2.9 おかずを切ってもらうなど介助があればできる
- 1.0 自分では食べられない

NA=1.9 N=679

問26 あなた（あて名ご本人）は、平日の日中には、どのくらい外出されていますか。（Oはひとつ）

- 32.8 ほぼ毎日 19.4 2～3日おき程度 10.6 外出しない週もある
- 12.1 1日おき程度 11.0 週に1日程度 10.5 外出しない、できない

NA=3.5 n=584

問27へおすすみください。

【問26で「1」～「5」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問26-1 平日の外出の主な目的は何ですか。（あてはまるものすべてにO）

- | | | |
|----------|---------------|--------------|
| 5.3 仕事 | 18.3 趣味活動 | 2.6 ボラソテリア活動 |
| 69.9 買い物 | 19.3 友人・知人と会う | 50.0 通院やリハビリ |
| 36.6 散歩 | 7.5 身内の者と会う | 3.1 その他 |

NA=2.9 n=584

問26-2 1回あたりの外出時間はどのくらいですか。（Oはひとつ）

- 36.6 1時間未満 27.7 1～2時間未満 17.3 2～3時間未満 9.2 3時間以上

NA=9.1 n=584

【すべての方に】

問27 あなた（あて名ご本人）は、ふだん、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。（Oはひとつ）

- | | | |
|-------------------|------------------|-----------|
| 19.6 親しく付き合い合っている | 36.8 あいさつをする程度 | 0.3 わからない |
| 25.8 立ち話をする程度 | 15.8 付き合いはほとんどない | |

NA=1.8 N=679

【問27で「4.付き合いはほとんどない」とお答えの方におうかがいします。】

問27-1 付き合いがほとんどない理由は何ですか。（あてはまるものすべてにO）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 27.1 健康状態がすぐれないから | 11.2 引越してきて間もないから |
| 43.0 普段付き合う機会がないから | 4.7 同世代の人が近くにいないから |
| 14.0 あまり関わりをもちたくないから | 9.3 その他 |
| 12.1 気の合う人が近くにいないから | 11.2 特に理由はない |
| 16.8 ご近所と知り合うきっかけがないから | 1.9 わからない |
| 1.9 仕事や家事などで忙しく時間が少ない | |

NA=0.9 n=107

【すべての方に】

問 28 あなた（あて名ご本人）は、外出することについてどのようなにお考えですか。

（あてはまるものすべてに○）

33. 1 特に負担には感じない
23. 0 外出は、なんとなくおっくうである・好きではない
17. 8 行く場所や用事もないので外出したいとは思わない
6. 0 外での楽しみがない
22. 5 外出するより、家について過ごす方が好き
4. 7 交通が不便なので、外出するのが負担に感じる
6. 2 自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる
11. 9 トイレの心配（失禁など）があり、外出するのが負担に感じる
18. 7 身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない
9. 0 その他（具体的に ）

NA=6.3 N=679

問 29 自宅で主にあなた（あて名ご本人）を介護しているのはどなたですか。（○はひとつ）

26. 8 配偶者	1. 5 ホームヘルパー等介護の専門職
24. 3 子	1. 3 その他
2. 5 子の配偶者	19. 7 介護している人はいない
1. 2 その他の親族	

NA=22.7 N=679

【問 29 で「1」～「4」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問 29-1 主な介護者（おひとり）の方の性別・年齢をお答えください。

【性別】（○はひとつ）

30. 6 男 性	62. 9 女 性
-----------	-----------

NA=6.5 n=372

【年齢】（平成 26 年 1 月 1 日現在）（○はひとつ）

0. 3 30 歳未満	9. 1 40 歳代	8. 6 60～64 歳	10. 5 70～74 歳	16. 9 80～84 歳
0. 5 30 歳代	21. 8 50 歳代	6. 7 65～69 歳	11. 6 75～79 歳	7. 0 85 歳以上

NA=7.0 n=372

問 29-2 主な介護者（おひとり）の方はあなた（あて名ご本人）と同居していますか。

（○はひとつ）

79. 3 同居している	7. 8 別居しているが、15 分以内で行き来できる範囲である
	7. 8 別居しており、行き来に 15 分以上かかる

NA=5.1 n=372

問 29-3 あなた（あて名ご本人）の介護は、どのくらいの年数となりますか。（○はひとつ）

13. 2 半年未満	29. 8 1～3 年未満	9. 1 5～7 年未満	6. 5 10 年以上
12. 4 半年～1 年未満	13. 7 3～5 年未満	4. 6 7～10 年未満	

NA=10.8 n=372

問 29-4 一日あたりの介護時間は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

※在宅で保険外の訪問介護などの介護サービスを受けている時間を除いてお答えください。

65. 9 必要なときに手を貸す程度 3. 0 半日程度
4. 3 2～3時間程度 7. 0 ほとんど終日

NA=19. 9 n=372

問 29-5 主な介護者(おひとり)の方は要介護認定を受けていますか。(〇はひとつ)

32. 8 健康であり、要介護認定は受けていない 26. 6 要支援 1・2
14. 0 何らかの病気や障害などがあるが、 11. 8 要介護 1・2
要介護認定は受けていない 3. 0 要介護 3～5

NA=11. 8 n=372

【すべての方に】

問 30 平成 25 年 10 月以前の介護保険在宅サービスの利用状況についておうかがいします。

(〇はひとつ)

47. 3 10 月以前も利用したことはない
24. 9 要支援 1・2 に判定されてから利用していない
2. 1 入院や退院等により、月によって利用したりしなかったりした
1. 2 これまで利用していたが、入院等により、10 月だけ利用しなかった
7. 4 その他

NA=17. 2 N=679

問 31 平成 25 年 10 月時点では介護保険のサービスを全く利用されていませんが、その理由は
何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

6. 9 施設、病院などに入所・入院していた
9. 1 家族以外の介護を受けたくない
7. 8 住宅改修費等の受給のみで良かった
2. 1 介護保険にないサービス(紙おむつの支給、食事サービスなど)のみを利用している
6. 5 11 月以降サービス利用を始めた(または決めた)
3. 8 特別養護老人ホーム等の介護保険施設のみの利用を予定している
28. 7 より重要な要介護状態になったとき利用したい
24. 6 家族(介護者)の体力が衰えたとき利用したい
8. 5 介護サービスを利用したいが、経済的な負担が大きい
8. 1 使いたいサービスがない
15. 6 サービスの内容がよくわからない
10. 9 サービス利用の手続きがよくわからない
16. 8 その他(具体的に)

NA=17. 7 N=679

問 32 区では援護を必要とする高齢者の方の日常生活を支援するための介護保険以外の保健・福祉サービスを実施しています。「現在利用しているもの」「今後利用したいもの」それぞれについてお答えください。

※ 「今後利用したいもの」は、継続の利用、新規の利用あわせてお答えください。 (それぞれについて、あてはまる番号すべてに○)	現在利用している	今後利用したいもの※
配食サービス (65 歳以上の高齢者のみ世帯やひとり暮らしで食事の準備が困難な方に食事を配達)	4.7	26.8
福祉電話の貸出し (電話のないひとり暮らし高齢者の方へ電話の貸出し)	0.3	7.4
緊急通報システム (65 歳以上の高齢者のみ世帯やひとり暮らしの方に、緊急時に救急車の出動を要請できる機器の貸出し)	2.7	25.9
火災安全システム (火災報知器などの住宅防災機器の設置給付)	6.3	12.2
紙おむつ支給 (在宅の場合) / おむつ購入費助成 (医療機関へ入院の場合)	1.5	25.9
出張美容サービス (外出できない寝たきりの高齢者の方に、自宅へ出張しての散髪)	0.3	20.5
寝具の洗濯・乾燥サービス (使用中の寝具を月 1 回乾燥または洗濯する)	2.5	22.7
寝たきりの高齢者の方を対象とした訪問診療・歯科診療など	0.3	17.2
徘徊高齢者位置情報サービス (位置情報サービスの利用料金助成)	0.3	9.9
リボンサービス (社会福祉協議会で行う登録制の有償ヘルパー派遣)	2.2	14.3
移送サービス (車椅子のまま乗り降りできるリフト付き自動車の運行)	0.6	15.2
在宅医療相談窓口 (豊島区医師会館で行う在宅医療を希望する方の相談)	0.6	14.6
現在利用しているものはまったくない	25.6	—
今後利用したいものはまったくない	—	5.0

現在利用しているもの NA=58.6 N=679
今後利用したいもの NA=39.6 N=679

問 33 災害時のみならず、平常時から手助けする必要がある方の存在を把握しておいていただくために、行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報(氏名や住所等)を、町会等に対して提供することについて、どのように感じますか。(○はひとつ)

12.1 積極的に個人情報を提供すべき	
40.9 災害時の備えや、ひとりの暮らしなど見守りが必要な方を手助けするためであれば個人情報を提供してもよい	
6.3 個人情報を提供しない方がよい	
21.2 わからない	

NA=19.4 N=679

問 34 身体状況にも、介護者の状況にも大きな変化がないと仮定した場合、あなた（あて名ご本人）は今後もご自宅での介護を希望されますか。（〇はひとつ）

- | | |
|--|---|
| 18. 7 介護サービスを利用せずに、家族などに介護してもらいながら、自宅で暮らしたい | |
| 48. 9 在宅介護サービスを利用しながら、自宅で暮らし続けたい | |
| 1. 3 バリアフリー化された高齢者向け住宅などに住み替えて、在宅介護サービスを受けながら暮らしたい | |
| 1. 9 日中、ケアの専門家が建物に常駐し、安否確認サービスと生活相談サービスを提供する、「サービス付き高齢者向け住宅」に入居したい | 問 34-2 へ
おすす
み
く
だ
さ
い。 |
| 2. 4 有料老人ホームやグループホームなどの介護付の住宅に住み替えたい | |
| 4. 0 特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい | |
| 6. 0 わからない | → 問 35 へおすす
み
く
だ
さ
い。 |

NA=16. 8 N=679

【問 34 で「1」「2」とお答えの方におうかがいします。】

問 34-1 今後とも、自宅での生活を続けていく上でどのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 35. 3 夜間や緊急時の訪問看護サービス | 19. 4 家族介護者に対する支援（介護講座等） |
| 19. 0 日中に施設に通う介護サービス | 15. 9 認知症に対する支援 |
| 15. 5 手すりの設置などの住宅改修 | 44. 7 緊急時に受け入れ可能な施設 |
| 8. 1 介護サービス以外の保健福祉サービス | 22. 7 在宅医療やリハビリ |
| 10. 9 地域の中での見守りサービス | 1. 5 その他() |
- NA=13. 5 n=459

【問 34 で「3」～「6」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問 34-2 あなた（あて名ご本人）が施設等での介護を希望される（ご自宅で介護を希望しない）最も大きな理由をお答えください。（〇はひとつ）

- | | |
|--------------------------------|--|
| 32. 3 専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため | |
| 12. 3 自宅で介護を受けたいが、先々の心配があるため | |
| 18. 5 介護をしている家族の負担が大きいため | |
| 20. 0 介護者がいないため | |
| 1. 5 在宅介護は施設よりも経済的な負担が大きいため | |
| 0. 0 その他（具体的に) | |
- NA=15. 4 n=65

【すべての方に】

問35 あなた（あて名ご本人）は介護保険制度についてどのようなにお考えですか。（〇はひとつ）

28.4 良いと思う 28.9 まあ良いと思う 11.6 あまり良くないと思う 2.4 良くないと思う

NA=28.7 N=679

問36 あなた（あて名ご本人）の平成25年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか。

（〇はひとつ）

番号に○	所得状況	25年度の 年額保険料
2.5 第1段階	・世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金を受給している方 ・生活保護を受けている方	24,840円
11.8 第2段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が80万円以下の方	31,080円
5.6 第3段階	世帯全員が住民税非課税で、第1段階・第2段階に該当しない方	46,680円
4.6 特例第3段階	第3段階のうち、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が120万円以下の方	43,560円
8.2 第4段階	本人は住民税非課税で、世帯に住民税を課税されている方がいる	62,280円
4.0 特例第4段階	第4段階のうち、本人の「公的年金等収入金額+合計所得金額」が80万円以下の方	52,920円
4.4 第5段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が125万円以下の方	67,200円
6.8 第6段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が125万円を超え200万円未満の方	77,760円
9.0 第7段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が200万円以上300万円未満の方	82,800円
3.1 第8段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が300万円以上400万円未満の方	87,840円
2.5 第9段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が400万円以上500万円未満の方	99,720円
1.8 第10段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が500万円以上700万円未満の方	118,440円
0.1 第11段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が700万円以上900万円未満の方	143,280円
0.9 第12段階	本人が住民税を課税されていて、合計所得金額が900万円以上の方	168,240円
12.4 わからない		

NA=22.4 N=679

問36-1 現在支払っている介護保険料について、どのように感じていますか。（〇はひとつ）

11.9 特に負担とは思わない 11.0 負担であり、支払うことが困難
50.4 負担であるが、支払うことが可能 9.3 わからない

NA=17.4 N=679

問 37 介護保険料は、区全体の介護サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに豊島区が決定しています。保険料の額は、介護サービスを充実させるほど高く、逆に保険料を抑えれば介護サービスの水準が下がるという関係にあります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなた（あて名ご本人）のお考えに最も近いものはどれですか。

(Oはひとつ)

- | |
|--|
| 12. 8 保険料が今より高くなって、施設や在宅サービスの量を増やす方が良い |
| 32. 5 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのが良い |
| 8. 2 サービスの量が低下しても、保険料は安い方が良い |
| 24. 2 わからない |
- ⇒ 問 38 へ

NA=22. 2 N=679

【問 37 で「1」とお答えの方におかがいします。】

問 37-1 施設や在宅サービスの量が増えるのであれば、保険料の基準額（現在年 62, 280 円）は、いくらが適当だと思いますか。(Oはひとつ)

- | | | |
|--------------------------|-------------------------|-------------|
| 48. 3 年 62,280~75,000円未満 | 6. 9 年 80,000~85,000円未満 | 26. 4 わからない |
| 11. 5 年 75,000~80,000円未満 | 2. 3 年 85,000円以上 | |

NA=4. 6 n=87

【すべての方に】

問 38 現在の介護保険料は、世帯の課税状況及びご本人の所得額に応じて12段階（段階制）が設定されていますが、あなた（あて名ご本人）は保険料の段階についてどのような考えですか。(Oはひとつ)

- | |
|--|
| 22. 1 現在の12段階制のままが良い |
| 10. 3 現在よりも段階を増やし、きめ細やかな段階とする |
| 15. 3 国民健康保険や税金のように、所得額に応じて一定の割合（料率制）とする |
| 33. 7 わからない |

NA=18. 6 N=679

問 39 あなた（あて名ご本人）は、定期的な収入をどこから得ていますか。

(あてはまるものすべてにO)

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------|
| 80. 6 公的年金や恩給 | 3. 5 株式の配当 | 3. 7 親族等からの仕送り |
| 3. 8 給与等 | 9. 9 土地・家屋の家賃収入 | 3. 4 その他 () |
- NA=11. 2 N=679

【10 ページ問 29 で「1」～「4」にお答えの介護者の方におうかがいします。】
問 40 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

【意思疎通について】

- 13. 7 本人に正確な症状を伝えるのが難しい
- 16. 9 本人に現在の状況を理解してもらおうのが難しい
- 9. 9 来客にも気を遣う
- 14. 0 本人の言動が理解できないことがある
- 7. 5 本人に受診を勧めても同意してもらえない

【介護の仕方について】

- 8. 6 適切な介護方法がわからない
- 9. 7 症状への対応がわからない
- 1. 3 徘徊するため目が離せない
- 6. 5 他の家族等に介護を協力してもらえない
- 6. 5 誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない
- 23. 9 日中、家を空けるのを不安に感じる
- 5. 4 介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある
- 1. 6 介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない
- 1. 9 介護することに対して、周囲の理解が得られない

【サービス利用について】

- 11. 6 サービスを思うように利用できない、サービスが足りない
- 1. 6 サービスを利用したら本人の状況が悪化した(ことがある)
- 1. 6 サービス事業者との関係がうまくいかない
- 0. 5 ケアマネジャーとの関係がうまくいかない

【介護者ご自身のことについて】

- 11. 6 自分の用事・都合をすませることができない
- 18. 3 身体的につらい(腰痛や肩こりなど)
- 23. 4 精神的なストレスがたまっている
- 7. 8 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない
- 15. 3 自分の自由になる時間が持てない
- 14. 0 先々のことを考える余裕がない
- 9. 7 経済的につらいと感じるときがある
- 11. 6 仕事と介護の両立が困難
- 7. 8 家事と介護の両立が困難
- 7. 3 その他
(具体的に)
- 12. 6 特に困っていることはない

NA=34.7 n=372

ご協力ありがとうございました

お名前、ご住所等は記入不要です。

同封の返信用封筒に入れて、1月24日(金)までに、

切手を貼らずにポストに投函してください。

※ 返信用封筒の郵便番号「170-8710」、承認番号「7621」およびバーコードは、このアンケートを豊島区役所 1 か所に集めるための番号であり、個人を特定するためのものではありません。

ケアマネジャー調査

アンケートご協力のお願い

平素から、豊島区の健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
豊島区では、平成 24 年 3 月に「豊島区介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、平成 27 年 3 月をめどに計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、区内居宅介護支援事業所のケアマネジャーの方に業務の現状やご意見等をおうかがいするアンケートを実施することといたしました。

このアンケート結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきます。お手数をおかけしますが、ご回答にご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成 26 年 1 月

豊島区保健福祉部

【ご記入にあたってのお願い】

- 記入の方法**
ご記入いただく筆記用具は、鉛筆やボールペンなど、どのようなものでもかまいません。
- アンケートの対象者**
この調査は平成 25 年 10 月に豊島区内で居宅介護支援（介護予防を含む）を提供されている事業所に送付させていただきました。
- アンケート回答者(記入者)**
事業所の中心的立場にあるケアマネジャーの方がご回答（記入）ください。
※回答者個人の意見ではなく、「事業所の意見」としてご回答いただきますようお願いいたします。
- 返信の方法**
同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、平成 26 年 1 月 24 日（金）までにポストにご投函ください。
- 返送いただいた回答について**
回答は無記名でいただきますので、回答者が特定されることはありません。また、回答はすべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。
ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【アンケートの問い合わせ先】

豊島区 保健福祉部 介護保険課 電話 03 (3981) 1942

問 1 あなたが所属している事業所の法人種類は下記のどれですか。（○はひとつ）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 25. 9 社会福祉法人 | 59. 3 株式会社・有限会社等（営利法人） |
| 3. 7 医療法人 | 4. 9 NPO 法人 |
| 1. 2 上記以外の社団法人・財団法人 | 1. 2 その他 |
| 1. 2 生協・農協等 | |

NA（無回答、以下同じ）=2.5 N（回答母数、以下同じ）=81

問 2 あなたの所属する事業所には、サービス提供事業所が併設していますか。（○はひとつ）

79. 0 併設している 18. 5 併設していない

NA=2.5 N=81

問 3 貴事業所のケアマネジャー数、及び、ケアマネジャー以外で居宅介護支援関連業務の補助（介護報酬請求事務、給付管理票入力など）に従事している職員数（換算ではない実人数）についてご記入ください。（平成25年12月1日現在）（数値は平均値）

	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従	非常勤兼務
ケアマネジャー	2.0 人	1.4 人	1.5 人	1.1 人
ケアマネジャー以外	2.4 人	1.3 人	9.3 人	1.0 人

問 4 あなたが所属している事業所の所在地をお選びください。（〇はひとつ）

4. 9 西楽鴨	0. 0 北大塚(三丁目)	7. 4 東池袋	2. 5 目白	1. 2 高松
1. 2 巣鴨	8. 6 南大塚	12. 3 池袋	2. 5 雑司が谷	1. 2 要町
2. 5 駒込	7. 4 池袋本町	8. 6 西池袋	2. 5 高田	1. 2 千早
3. 7 北大塚	6. 2 上池袋	6. 2 南池袋	1. 2 千川	9. 9 長崎
（一丁目、二丁目）				8. 6 南長崎

問 5 あなたの性別は下記のいずれですか。（〇はひとつ）

37. 0 男性	63. 0 女性
----------	----------

問 6 あなたの年齢（平成25年12月1日現在）は下記のどれにあてはまりますか。（〇はひとつ）

1. 2 20 歳代	23. 5 30 歳代	28. 4 40 歳代	28. 4 50 歳代	12. 3 60 歳代	3. 7 70 歳代以上
------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------

NA=2.5 N=81

問 7 あなたは、ケアマネジャー以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。

（あてはまるものすべてに〇）

0. 0 医師	1. 2 理学療法士	60. 5 介護福祉士
0. 0 歯科医師	1. 2 作業療法士	6. 2 精神保健福祉士
1. 2 薬剤師	3. 7 歯科衛生士	17. 3 社会福祉主事
1. 2 保健師	0. 0 管理栄養士	32. 1 ホームヘルパー
8. 6 看護師、准看護師	25. 9 社会福祉士	12. 3 その他(具体的に)

NA=0.0 N=81

問 8 あなたは、平成25年12月1日現在、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などをしている場合は、前職なども含めた合計期間でお答えください。（〇はひとつ）

1. 2 6か月未満	8. 6 1年以上2年未満	14. 8 3年以上5年未満
2. 5 6か月以上1年未満	2. 5 2年以上3年未満	70. 4 5年以上

NA=0.0 N=81

問 9 あなたは、ケアマネジャーとして、転職したことがありますか。（〇はひとつ）

34. 6 ある	65. 4 ない	→ 問 10 へ
----------	----------	----------

NA=0.0 N=81

問 9-1 あなたは、現在の居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして在職している期間はどのくらいですか。（〇はひとつ）

0. 0 6か月未満	10. 7 1年以上2年未満	21. 4 3年以上5年未満
17. 9 6か月以上1年未満	0. 0 2年以上3年未満	50. 0 5年以上

NA=0.0 n=28

問 10 あなたの勤務形態は、次のうちどれですか。(○はひとつ)

40. 7 常勤・専従	56. 8 常勤・兼務	1. 2 非常勤・専従	1. 2 非常勤・兼務	NA=0. 0	N=81
-------------	-------------	-------------	-------------	---------	------

【問 10 で「2. 常勤・兼務」または「4. 非常勤・兼務」と答えた方におうかがいします。】

問 10-1 どのような業務を兼務していますか。(あてはまるものすべてに○)

83. 0 管理業務	8. 5 医療系サービス	14. 9 介護サービス	14. 9 相談業務	NA=0. 0	n=47
------------	--------------	--------------	------------	---------	------

問 11 週あたりの居宅介護支援に従事する時間は平均するとどのくらいですか。(数値は平均値)

31. 5 _____ 時間

問 12 あなたが担当している利用者数(要支援・要介護者)などについておうかがいします。担当する利用者や件数がない場合は「0」と記入してください。(数値は平均値)

1. 担当利用者数 (予防含む) (一時的入院中などを含め、継続的に関わっている利用者数を記入してください)	(平成 25 年9月末時点)	30. 6 人
2. 居宅サービス計画新規作成件数 (介護予防サービス計画を含む)	(平成 25 年9月1日~30日の該当件数)	5. 1 件 (うち予防 1. 1 人)
3. 居宅サービス計画変更件数 (介護予防サービス計画を含む)	(平成 25 年9月中の該当件数)	5. 7 件 (うち予防 2. 4 人)
4. 給付管理票作成件数	(平成 25 年9月1日~30日の 国保連への請求件数)	32. 1 件

問 12-1 問 12 の「1. 担当利用者数 (予防含む)」について、要介護度別等の人数を記入してください。
(数値は平均値)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	未判定※
3. 9 人	5. 7 人	7. 3 人	7. 2 人	5. 6 人	4. 1 人	3. 2 人	2. 7 人

※ 未判定の人数は、問 12 の「1. 担当利用者数」に含まれない数

問 12-2 問 12 の「1. 担当利用者数 (予防含む)」について、地域別の人数を記入してください。
また、最も利用者数の多い地域の番号に○をつけてください。(数値は平均値)

7. 5 西栗嶋	5. 2 人	7. 5 上池袋	4. 1 人	3. 8 高田	4. 9 人
6. 3 栗嶋	4. 4 人	7. 5 東池袋	4. 6 人	1. 3 千川	2. 6 人
7. 5 駒込	5. 2 人	7. 5 池袋	4. 1 人	0. 0 高松	2. 6 人
1. 3 北大塚(一丁目二丁目)	2. 2 人	6. 3 西池袋	4. 1 人	1. 3 要町	3. 0 人
1. 3 北大塚(三丁目)	2. 6 人	3. 8 南池袋	6. 1 人	6. 3 千早	4. 4 人
6. 3 南大塚	4. 4 人	2. 5 目白	3. 1 人	3. 8 長崎	6. 6 人
10. 0 池袋本町	5. 9 人	5. 0 雑司が谷	6. 1 人	11. 3 南長崎	7. 7 人

NA=0. 0 n=80

問12-3 問12-1の要支援1、2の方について、平成25年9月における訪問介護サービスの平均的な利用回数の番号に○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)

(それぞれ○はひとつ)	週1回	週2回	週3回以上	予防訪問介護は利用していない	NA
要支援1	71.2	7.7	0.0	15.4	5.8
要支援2	21.1	59.6	3.5	14.0	1.8

要支援1 NA=5.8 n=52
要支援2 NA=1.8 n=52

【問12-4～問12-7は、問12-2で選択した「担当している利用者が最も多い地域」についてお答えください。】
問12-4 問12-2で選択した「担当している利用者が最も多い地域」で、事業所数もしくはは定員など、量的に不足していると感じるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

8.8 訪問介護	0.0 特定福祉用具販売
1.3 介護予防訪問介護	0.0 特定介護予防福祉用具販売
0.0 訪問入浴介護	1.3 住宅改修
0.0 介護予防訪問入浴介護	3.8 特定施設入居者生活介護
10.0 訪問看護	2.5 介護予防特定施設入居者生活介護
0.0 介護予防訪問看護	8.8 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
32.5 訪問リハビリテーション	10.0 夜間対応型訪問介護
12.5 介護予防訪問リハビリテーション	11.3 認知症対応型通所介護
2.5 居宅療養管理指導	7.5 介護予防認知症対応型通所介護
2.5 介護予防居宅療養管理指導	18.8 小規模多機能型居宅介護
5.0 通所介護	7.5 介護予防小規模多機能型居宅介護
2.5 介護予防通所介護	17.5 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
30.0 通所リハビリテーション	8.8 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
10.0 介護予防通所リハビリテーション	5.0 地域密着型特定施設入居者生活介護
30.0 短期入所生活介護	7.5 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
10.0 介護予防短期入所生活介護	5.0 複合型サービス
15.0 短期入所療養介護	20.0 介護老人福祉施設
7.5 介護予防短期入所療養介護	23.8 介護老人保健施設
1.3 福祉用具貸与	16.3 介護療養型医療施設
1.3 介護予防福祉用具貸与	20.0 特になし

NA=2.5 n=80

問 12-5 問 12-2 で選択した「担当している利用者が最も多い地域」で、インフォーマルなサービスを含めて、在宅生活を支えるために今後充実が必要だと感じるサービスはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

<p>38. 8 歯科・眼科・神経内科・精神科などの訪問診療</p> <p>16. 3 介護予防のため地域で気軽に立ち寄れるサービス拠点</p> <p>37. 5 相談・話し相手の訪問サービス</p> <p>22. 5 夜間のホームヘルプ</p> <p>13. 8 夜間の訪問看護</p> <p>36. 3 入浴のみの短時間の通所サービス</p> <p>18. 8 食事のみの短時間の通所サービス</p> <p>21. 3 リハビリのみの短時間の通所サービス</p> <p>37. 5 医療対応のある通所サービス</p> <p>20. 0 子どもなどとの交流を目的とした通所サービス</p>	<p>61. 3 緊急時の短期入所サービス</p> <p>40. 0 家族が休むための短期入所サービス</p> <p>33. 8 身近な地域で、必要に応じて通ったり、泊まったり、住んだりできるサービス拠点</p> <p>20. 0 移送・送迎サービス</p> <p>31. 3 病院への送迎・通院介助</p> <p>40. 0 医療対応可能なショートステイ</p> <p>33. 8 ゴミ出し、窓拭き等の訪問サービス</p> <p>15. 0 買い物等の訪問サービス</p> <p>8. 8 配食サービス</p> <p>40. 0 見守りサービス</p> <p>6. 3 その他（具体的に 3. 8 特になし</p>
---	--

問 12-6 問 12-2 で選択した「担当している利用者が最も多い地域」で、サービスの質などの点で利用者から相談されるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)
NA=0.0 n=80

<p>31. 3 訪問介護</p> <p>8. 8 介護予防訪問介護</p> <p>5. 0 訪問入浴介護</p> <p>0. 0 介護予防訪問入浴介護</p> <p>10. 0 訪問看護</p> <p>1. 3 介護予防訪問看護</p> <p>15. 0 訪問リハビリテーション</p> <p>3. 8 介護予防訪問リハビリテーション</p> <p>5. 0 居宅療養管理指導</p> <p>0. 0 介護予防居宅療養管理指導</p> <p>27. 5 通所介護</p> <p>2. 5 介護予防通所介護</p> <p>15. 0 通所リハビリテーション</p> <p>2. 5 介護予防通所リハビリテーション</p> <p>20. 0 短期入所生活介護</p> <p>3. 8 介護予防短期入所生活介護</p> <p>7. 5 短期入所療養介護</p> <p>0. 0 介護予防短期入所療養介護</p> <p>7. 5 福祉用具貸与</p> <p>1. 3 介護予防福祉用具貸与</p>	<p>0. 0 特定福祉用具販売</p> <p>0. 0 特定介護予防福祉用具販売</p> <p>1. 3 住宅改修</p> <p>1. 3 特定施設入居者生活介護</p> <p>0. 0 介護予防特定施設入居者生活介護</p> <p>5. 0 定期巡回・随時対応型訪問介護看護</p> <p>3. 8 夜間対応型訪問介護</p> <p>6. 3 認知症対応型通所介護</p> <p>0. 0 介護予防認知症対応型通所介護</p> <p>2. 5 小規模多機能型居宅介護</p> <p>0. 0 介護予防小規模多機能型居宅介護</p> <p>12. 5 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）</p> <p>2. 5 介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）</p> <p>1. 3 地域密着型特定施設入居者生活介護</p> <p>1. 3 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護</p> <p>0. 0 複合型サービス</p> <p>15. 0 介護老人福祉施設</p> <p>16. 3 介護老人保健施設</p> <p>7. 5 介護療養型医療施設</p> <p>21. 3 特になし</p>
---	--

NA=7.5 n=80

問 12-7 問 12-2 で選択した「担当している利用者が最も多い地域」で、今後充実が必要だと思う介護保険以外のサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

20.0 配食サービス	22.5 在宅医療相談窓口
5.0 福祉電話の貸し出し	2.5 自立支援住宅改修費助成
17.5 緊急通報システム	47.5 リボンサービス (社会福祉協議会で実施している家事援助等の会員制サービス)
7.5 火災安全システム	
20.0 紙おむつ支給・おむつ購入費等助成	16.3 訪問診療・歯科診療
16.3 出張理美容サービス	7.5 その他 (具体的に)
7.5 寝具の洗濯・乾燥サービス	16.3 特になし
18.8 認知症高齢者位置情報サービス	

NA=6.3 n=80

問 13 あなたが、普段作成しているケアプランに沿って、実際のサービス提供を依頼できる事業所をいくつかづらい持っていますか。

自事業所 (居宅介護支援事業所に併設されている事業所、同一法人による事業所) を除いた事業所数でお答えください。(あてはまる番号すべてに○と数字)

↓あてはまる番号に○	介護サービス (数値は平均値)	介護予防サービス (数値は平均値)
91.4 訪問介護	7.6 事業所	8.2 事業所
79.0 訪問入浴介護	2.7 事業所	2.6 事業所
91.4 訪問看護	3.4 事業所	4.2 事業所
66.7 訪問リハビリテーション	2.1 事業所	2.6 事業所
90.1 通所介護	11.2 事業所	10.1 事業所
63.0 通所リハビリテーション	1.7 事業所	1.7 事業所
76.5 短期入所生活介護	3.5 事業所	3.4 事業所
40.7 短期入所療養介護	2.1 事業所	1.7 事業所
71.6 居宅療養管理指導	4.0 事業所	3.9 事業所
90.1 福祉用具貸与	6.7 事業所	(特定福祉用具販売) 6.4 事業所

NA=4.9 N=81

問 14 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

<p>71.6 サービス提供事業所のパンフレット等の収集</p> <p>46.9 サービス提供事業所のホームページを閲覧</p> <p>30.9 地域単位の事業所情報誌等を閲覧</p> <p>48.1 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)からの情報収集</p> <p>23.5 他のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加</p> <p>53.1 ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の事業所に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整</p>	<p>1.2 サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の事業所との連絡をとる機会はない</p> <p>65.4 ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ</p> <p>69.1 事業所が営業に来るとき</p> <p>59.3 利用者からの情報や意見・要望</p> <p>3.7 その他</p> <p>(具体的に)</p>
--	--

問 15 ケアプランの作成にあたって、医療機関等からの情報収集などを行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

<p>96.3 主治医の意見書を入力</p> <p>65.4 意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集</p> <p>28.4 意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集</p> <p>34.6 入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集</p> <p>75.3 往診・受診・通院・入院時同行</p> <p>74.1 医療相談室MSWを通じて情報収集等</p> <p>67.9 家族を通じて医師に指示を確認</p> <p>70.4 カンファレンス</p> <p>2.5 その他(具体的に)</p> <p>0.0 特に行っていない</p>	<p>NA=1.2 N=81</p>
--	--------------------

問 16 医療連携を円滑に進めるために工夫していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

<p>21.0 連絡ノート等を活用している</p> <p>66.7 電話やFAXでこまめに連絡をとっている</p> <p>9.9 定期的な会議等の場を設けている</p>	<p>17.3 その他</p> <p>(具体的に)</p> <p>13.6 特になし</p> <p>NA=0.0 N=81</p>
--	--

問 17 医療連携において、課題があればご記入ください。(自由記入)

--

問 18 区職員（ケースワーカーや保健師等）と連携するときにはどのような場合ですか。
（あてはまるものすべてに○）

64.2 支援困難事例への対応	44.4 虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応
33.3 ケースカンファレンス	34.6 精神疾患の方への対応
22.2 苦情相談への対応	7.4 その他
32.1 介護保険以外のサービスや制度の利用	（具体的に
38.3 介護保険法で判断に困るとき	3.7 特に連携していない
28.4 独居者への対応	

NA=1.2 N=81

問 18-1 問 18 で「1. 支援困難事例への対応」に回答された方におうかがいします。ケースワーカーや保健師等との連携の際には、どのようなことを期待されていますか。（自由記入）

問 19 認知症に関することについておうかがいします。

認知症の人の医療連携を進める上で必要なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

56.8 医師から身体の健康管理等について助言	66.7 認知症の周辺症状が悪化したときに、入院で が受けられること	きる病院があること
70.4 医師から認知症の周辺症状について助言	67.9 受診時、医師が認知症の人への適切な対応 が受けられること	をしてくれること
61.7 身体の病状が急変したときに、入院できる	50.6 受診につながらない人に対する医師の訪問 病院の相談があること	4.9 その他（具体的に ）

NA=2.5 N=81

問 20 認知症の早期受診が進まない原因は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

38.3 認知症が病気であると認識されていないこと	81.5 家族が認知症の認識がないこと
82.7 本人が受診を嫌がること	42.0 どこに受診すればよいかわからないこと
32.1 認知症と診断されるのを恐れていること	11.1 その他
53.1 家族や周囲の人が本人のプライドを傷つける ため言いにくいこと	（具体的に ）

NA=1.2 N=81

問 21 サービス担当者会議開催（平成 25 年 7 月～9 月）にあたり「参加を呼びかけた人」、「実際に参加した人」それぞれをお答えください。（それぞれについて、あてはまる番号に○）

それぞれについて、あてはまる番号に○	参加を呼びかけた人	実際に参加した人
利用者	98.8	98.8
家族	97.5	97.5
主治医	54.3	30.9
サービス事業者	96.3	92.6
主治医以外の医療機関関係者（医師・看護師・MSW等）	55.6	51.9
高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）職員	72.8	70.4
民生委員・児童委員	3.7	2.5
区役所の保健師	3.7	3.7
区役所のケースワーカー	30.9	19.8
薬剤師	4.9	3.7
栄養士	2.5	1.2
その他（具体的に）	6.2	6.2
	参加を呼びかけた人 N A=0.0 N=81	1.2
	実際に参加した人 N A=0.0 N=81	いない

問 22 主治医、利用者や家族等がサービス担当者会議に参加しない場合、その理由は何だと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

（それぞれあてはまる番号すべてに○）	日にちや曜日が合わない	時間等が合わない	連絡がつかない	サービス担当者会議の意義や役割を理解してくれない	自分との信頼関係が確立されていない	自分が出席を呼びかけていない	必ず参加している	N
サービス事業者が参加しない理由⇒	77.8	67.9	0.0	2.5	0.0	0.0	17.3	2.5
主治医が参加しない理由 ⇒	65.4	70.4	6.2	14.8	11.1	25.9	1.2	6.2
利用者が参加しない理由 ⇒	4.9	2.5	0.0	2.5	0.0	3.7	80.2	8.6
家族が参加しない理由 ⇒	46.9	45.7	9.9	11.1	2.5	3.7	39.5	4.9

N=81

問 23 サービス担当者会議の開催にあたり困難と感じていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

21.0 自分の日程調整	14.8	家族の出席	4.9	資料作り
63.0 サービス事業者との日程調整	76.5	主治医の出席	8.6	会議の進め方に不安がある
4.9 利用者の出席	4.9	会場の確保	3.7	その他 （具体的に）

N A=6.2 N=81

問 24 ケアマネジャー業務を行う上で、課題として考えているのはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

17.3 介護保険サービス・区の介護保険外サービスの種類が少ない	4.9 相談する人が身近にいない
6.2 サービス事業者に関する情報が少ない	2.5 所属事業所の関連事業者からのサービスに偏る
22.2 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない	82.7 記録など書類の量が多く負担となっている
13.6 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が充分とれない	27.2 利用者に制度が十分理解されていない、理解しただけのが負担
11.1 支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない	46.9 介護保険サービスを組み込まないインフォーマルサービス等だけのケアプラン調整が、介護報酬で評価されない
2.5 認知症ケアの方法がわからない	53.1 要介護認定が出る前のいわゆる「暫定ケアプラン」調整の労力について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない
24.7 医療機関との連携がうまくとれない	16.0 その他
6.2 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）との連携がうまくいかない	(具体的に)
9.9 区との連携がうまくいかない	

NA=1.2 N=81

問 25 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担感を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

12.3 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	11.1 介護報酬請求事務
6.2 課題分析のための居宅訪問・面接	43.2 夜間や休日の相談対応
19.8 サービス担当者会議の開催・調整	56.8 ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと
2.5 ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意	44.4 利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整
13.6 ケアプランの交付（書類の作成など）	39.5 利用者の経済的問題等の相談
8.6 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接	28.4 認知症等の利用者にかかわる成年後見手続き等の手配
35.8 主治医や医療機関と連絡調整	11.1 その他（
24.7 利用者や事業所の苦情対応	4.9 特に負担に感じることはない
2.5 要介護認定などの申請代行	

NA=3.7 N=81

問 26 ケアプランを作成する上で、わからないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

67.9 同一法人のケアマネジャー	14.8 区役所高齢者福祉課
24.7 他法人のケアマネジャー	7.4 東京都
11.1 地域のケアマネジャー連絡会	12.3 国民健康保険団体連合会
81.5 高齢者総合相談センター (地域包括支援センター)	2.5 その他（
	0.0 相談できる相手がない
	1.2 困ったりすることはない
51.9 区役所介護保険課	

NA=1.2 N=81

問 27 どのようなことを相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

75.3 支援困難事例への対応に関すること	16.0 医療知識に関すること
18.5 利用者・家族間の意見調整に関すること	32.1 介護報酬請求事務に関すること
66.7 居宅サービスの適否判断の解釈に関すること (運営基準等を含む)	1.2 その他 (具体的に)
12.3 3. 以外のケアマネジャー業務に関すること	1.2 特に相談することはない
33.3 介護保険外のサービスの利用に関すること	

NA=1.2 N=81

問 28 介護保険制度は3年ごとに大きな改正がありますが、改正内容をどのように学んでいますか。
(あてはまるものすべてに○)

64.2 国や都などの研修に参加	38.3 高齢者総合相談センター主催の研修に参加
21.0 自主的な勉強会	58.0 インターネットの活用
82.7 区の事業者連絡会や集団指導に参加	29.6 介護報酬に関する解釈本を読む
22.2 民間の外部研修に参加	1.2 その他 ()

NA=1.2 N=81

問 29 あなたの事業所では、どれくらいの頻度で研修が行われていますか。(○はひとつ)

38.3 月に1回	12.3 半年に1回	24.7 事業所では行っていない⇒ 問 30へ
19.8 3月程度に1回	2.5 年に1回	

NA=2.5 N=81

【問 29 で「1」～「4」にお答えになった方におうかがいします。】

問 29-1 どのような研修内容ですか (あてはまるものすべてに○)

62.7 介護保険制度改正に関すること	37.3 利権保護に関すること
10.2 介護報酬請求事務に関すること	11.9 害対策に関すること
57.6 療知識に関すること	33.9 ミニカーション能力の向上等、サービスのレベルアップに関すること
55.9 援助難事例の検討に関すること	
18.6 介護保険外のサービスに関すること	8.5 その他 ()
33.9 個人情報保護に関すること	

NA=3.5 n=59

問 29-2 研修講師はどなたですか (あてはまるものすべてに○)

55.9 事業所責任者	6.8 他事業所のケアマネジャー
30.5 同一事業所内で持ち回り	13.6 医療関係者 (医師・看護師等)
6.8 高齢者総合相談センターの主任ケアマネジャー	6.8 区役所職員
27.1 法人内の職員	15.3 その他 ()

NA=3.4 n=59

問 30 次にお示しする取り組みのうち、現在は行っていないが、今後始めたいと思っっている取り組みはありますか。(あてはまるものすべてに○)

17.3 自主的な勉強会を行いたい	23.5 参考書などを読んで知識などを増やしたい
24.7 事業者連絡会等に積極的に参加したい	34.6 ネットワークによる情報収集
18.5 具体的な検討・助言を得られるケースカンファレンス等を行いたい	14.8 関連資格の取得や勉強
7.4 法人内の研修に積極的に参加したい	0.0 その他 ()
38.3 外部研修に積極的に参加したい	

NA=18.5 N=81

問 31 居宅介護支援事業所は、サービス提供事業者から独立している方がよいと思いますか。(〇はひとつ)

28. 4 そう思う	38. 3 どちらとも言えない	17. 3 そう思わない
7. 4 ややそう思う	6. 2 あまりそう思わない	

N A = 2. 5 N = 81

問 32 介護保険制度で課題と感じられることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

53. 1 予防給付制度
51. 9 介護ケアプランと予防ケアプランによるケアマネジメントの不連続性
34. 6 一部のサービスが予防給付では給付管理が月単位であること
18. 5 地域包括支援センターを選べないこと
35. 8 予防給付では、サービス事業所が1箇所しか選べないこと
56. 8 生活援助の範囲
69. 1 度重なる制度改正に振り回されていること
12. 3 その他 ()
2. 5 特になし

N A = 1. 2 N = 81

問 33 利用者への情報提供の際に、課題として感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

45. 7 重要事項説明書などを用いて契約内容を説明しても、利用者の理解がどの程度得られているか判断が難しいこと (特に認知症高齢者の場合)
28. 4 介護保険制度を簡便に説明できる媒体が少ないこと
7. 4 居宅介護支援事業所内に利用者対応マニュアルが整備されていないこと
79. 0 制度改正が頻繁かつ複雑多岐に亘り、利用者の理解を得るのが困難なこと
32. 1 利用者本人と家族の意向が異なる場合にどちらを優先すべきか判断に迷うこと
1. 2 その他 (具体的に)

N A = 7. 4 N = 81

問 34 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）はその役割を果たしていると思いますか。
 次の各項目それぞれについてお答えください。（それぞれについて、あてはまる番号に○をひとつ）

それぞれについて、あてはまる番号に○	十分果たしていると思う	まあまあ思っている	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思えない	N A
介護予防ケアマネジメントを通じた介護予防の役割	22. 2	56. 8	11. 1	3. 7	6. 2
「地域支援事業の介護予防」を通じた介護予防の役割	19. 8	53. 1	14. 8	3. 7	8. 6
主治医との連携の役割	8. 6	44. 4	27. 2	8. 6	11. 1
介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談の役割	17. 3	58. 0	14. 8	4. 9	4. 9
支援困難事例への個別指導・相談の役割	19. 8	56. 8	16. 0	2. 5	4. 9
地域における介護支援専門員のネットワークづくりの役割	16. 0	53. 1	19. 8	3. 7	7. 4
多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援の役割	14. 8	49. 4	23. 5	6. 2	6. 2
地域の総合相談窓口としての役割	37. 0	51. 9	3. 7	1. 2	6. 2
実態把握等による要援護高齢者の早期発見と対応の役割	18. 5	55. 6	16. 0	2. 5	7. 4
高齢者虐待防止・権利擁護の役割	18. 5	61. 7	9. 9	1. 2	8. 6

N=81

最後に、介護保険制度に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

<p>テーマ [</p>	<p>について]</p>
--------------	--------------

ご協力ありがとうございました
 同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

豊島区 介護保険アンケート調査 報告書

2014年（平成26）年3月発行

発行 豊島区 保健福祉部 介護保険課

〒170-8422 豊島区東池袋1-18-1

電話 03（3981）1942

